



HP PageWide XL 4500/4600 プリンタおよび MFP

ユーザーガイド

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

商標

Adobe®、Acrobat®、Adobe Photoshop®、および PostScript®は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Corel®は、Corel Corporation または Corel Corporation Limited の商標および登録商標です。

ENERGY STAR および ENERGY STAR マークは、米国における商標です。

Microsoft®および Windows®は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

PANTONE®は、Pantone, Inc.の測色基準の商標です。

目次

1 はじめに	1
プリンタの概要	2
安全に関する注意事項	2
メイン コンポーネント	7
フロントパネル	8
HP Utility	13
内蔵 Web サーバ	13
プリンタをオン・オフする	15
印刷メニュー	15
プリンタを準備する	16
ユーザ補助機能	36
その他の情報源	37
2 用紙の取り扱い	38
一般的な情報およびヒント	39
サポートされている用紙の種類	40
用紙ステータス	42
用紙を取り付ける	43
用紙を取り外す	47
用紙オプション	48
用紙を保管する	48
用紙を取り付けられない	49
保護する用紙の種類	49
紙詰まり	50
3 インクシステム	68
インクカートリッジ	69
プリントバー	72
クリーニング コンテナ	80
メンテナンスカートリッジ	82
セーフモード	85

4 ネットワーク	87
はじめに	88
ネットワーク プロトコルの制御	88
フロントパネルのメニュー項目	89
リンク設定方法	93
トラブルシューティング	94
5 印刷ジョブを送信する	98
ドライバから印刷する	99
USB フラッシュドライブから印刷する	102
電子メールで印刷 (HP ePrint)	104
印刷品質を選択する	104
6 キューの管理	106
ジョブキューについて	107
ジョブキューへの操作	108
ジョブキューのオプション	111
デフォルトの印刷設定	111
ジョブの削除	112
内蔵 Web サーバのジョブキュー	113
7 スキャンとコピー(MFPのみ)	114
クイックセット	115
スキャン	115
コピー	121
スキャナ環境設定	126
スキャナのトラブルシューティング	126
スキャナ診断プロット	138
8 回収と完了	141
トップスタッカ	142
HP フォルダ	143
9 印刷品質	154
印刷に関する一般的なアドバイス	155
印刷品質アプリケーションを最適化する	155
印刷診断プロット	156
詳細オプション	158
高度なプリントヘッドの復元	158
ページの長さの正確さ	159
プリントヘッド手動軸合わせ	160

10 保守	161
プリンタ ステータスを確認する	162
プリンタ外観のクリーニング	162
プリンタを移動または保管する	162
折畳デバイスを移動または保管する	163
スキャナガラスプレートをクリーニングする(MFPのみ)	163
スキャナガラスプレートを交換する(MFPのみ)	165
スキャナをキャリブレーションする(MFPのみ)	168
折畳デバイスのタブリールを交換する	169
ファームウェアをアップデートする	174
安全なファイル消去	175
ディスク拭取り	176
11 アクセサリ	177
注文方法	177
アクセサリのリスト	177
他社製のアクセサリ	178
12 サポートが必要な場合	179
リクエストのサポート	180
カスタマーセルフリペア	180
サービス情報	181
13 プリンタの使用状況に関する情報を取得する	182
プリンタ使用状況とアカウント情報を入力する	183
使用状況に関する情報の取得	183
詳細なジョブアカウント情報を入力する	185
14 プリンタの仕様	187
機能の仕様	188
物理的仕様	189
メモリの仕様	189
電源の仕様	189
動作環境の仕様	190
動作音に関する仕様	190
速度に関する仕様(線画/高速モードの場合)	190
15 フロントパネルエラーメッセージ	191
用語集	192

1 はじめに

- [プリンタの概要](#)
- [安全に関する注意事項](#)
- [メイン コンポーネント](#)
- [フロントパネル](#)
- [HP Utility](#)
- [内蔵 Web サーバ](#)
- [プリンタをオン・オフする](#)
- [印刷メニュー](#)
- [プリンタを準備する](#)
- [ユーザ補助機能](#)
- [その他の情報源](#)

プリンタの概要

このプリンタは、高速のモノクロとカラー印刷のために設計されたカラー インク ジェット プリンタです。さらに、MFP モデルを使用する場合はスキャンとコピーも可能です。主な機能は以下のとおりです。

- HP PageWide XL 4500 プリンタ シリーズ：モノクロとカラーで D/A1 サイズを 1 分間に最大 12 ページ印刷します。最初のページは 20 秒で出力されます。
- HP PageWide XL 4600 プリンタ シリーズ：モノクロとカラーで D/A1 サイズを 1 分間に最大 15 ページ印刷します。最初のページは 20 秒で出力されます。
- MFP モデルには、1200 dpi のスキャナが統合されており、単一のデバイスで印刷、スキャン、およびコピーを行なうことができます。
- 簡単に使用できる 1 台のデバイスです。
- 最大 4 本のロール紙を使用することができ、100 ページ対応のスタッカを内蔵しています。
- 低量印刷のコストに相当する低いランニングコストです。
- 優れた技術文書を作成できます。鮮明な線、細部、なめらかなグレースケールで印刷できます。
- HP PageWide XL の顔料インクは濃い黒色、鮮明なカラー、耐湿性と耐退色性に対応し、コーティング加工されていないボンド紙にも印刷できます。
- 最大 101.6 cm (40 インチ)幅のさまざまな用紙に印刷できます。ISO/US 技術規格とオフセット規格にも対応しています。
- 機密のジョブをより安全に保護・管理し、プリンタで暗証番号を使ってドキュメントを取り出します。
- AES-256 を使ったハードディスクドライブの自己暗号化機能、安全なディスク消去機能、IPsec を使用して、機密情報の保護を高めます。
- HP DesignJet ユニバーサル プリント ドライバの使用により、個別にドライバを管理する時間とコストを削減できます。

安全に関する注意事項

プリンタを安全に使用するために、使い始める前に、この安全に関する注意事項および地域の環境、衛生、安全に関する規則をお読みになり、よく理解して、従ってください。

自分自身はもとより他の人にも及ぶ危険要因を最小限に抑えるために、適切な技術研修を受け、作業中に遭遇する可能性がある危険性について学び、適切な対策を講じることを推奨します。

一般的な安全に関するガイドライン

- プリンタ内部には、HP のカスタマーセルフリペアプログラムで取り扱う部品以外にオペレータが保守をするような部品はありません(<http://www.hp.com/go/selfrepair/>を参照)。他の部品の保守作業については、資格を有するサービス担当者に依頼してください。
- 以下のいずれかの場合は、プリンタの電源をオフにして、サービス担当者に連絡してください。
 - 電源コードまたはプラグが損傷した。
 - 乾燥エンクロージャが破損した(アジア太平洋および日本のみ)。
 - プリンタがなんらかの衝撃によって破損した。
 - 機械的な破損またはエンクロージャの破損が発生している。
 - プリンタに液体が入った。
 - プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする。
 - プリンタを落とした。
 - 乾燥モジュールが破損した(アジア太平洋および日本のみ)。
 - プリンタが正常に動作しない。
- 以下の場合は、プリンタの電源をオフにしてください。
 - 雷雨時
 - 停電時
- 警告ラベルが付いている部分には特に注意してください。

感電の危険

⚠ 警告！ 内蔵電源および電源インレットの内部回路は、死亡または重大な人身事故につながる可能性のある危険な電圧で動作します。

⚠ 警告！ 乾燥システムの内部回路(アジア太平洋および日本のみ)は、死亡または重大な人身事故につながる可能性のある危険な電圧で動作します。

プリンタには1本の電源コードが使用されています。プリンタの保守作業前に電源コードを抜いてください。

感電の恐れを防止するため、以下の点を守ってください。

- プリンタは、接地された電源コンセントのみに接続する必要があります。
- 乾燥モジュールを分解しないでください(アジア太平洋および日本のみ)。
- 閉じられたシステムのカバーや差し込み口を取り外したり開いたりしないでください。
- 異物をプリンタのスロットに差し込まないでください。
- プリンタの後ろを歩く際にケーブルにつまづかないように注意してください。

熱による危険(アジア太平洋および日本のみ)

プリンタの乾燥サブシステムは高温で動作するため、触れると火傷する恐れがあります。怪我を防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- 用紙詰まりが起きて用紙の出力部分に触れる場合は、プリンタを冷却してから行ってください。
- プリンタを冷却してから保守操作を実行してください。

発火の危険

プリンタの乾燥サブシステム内の部品(アジア太平洋および日本のみ)は、高温で動作します。

発火の恐れを防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- 機器がインストールされる国の法律に準拠したプリンタの要件および電気工事規定を満たす責任は、顧客にあります。製品プレートに示された電源電圧を使用してください。
- プリンタ付属の HP が提供する電源コード以外は使用しないでください。破損した電源コードを使用しないでください。他の製品の電源コードを使用しないでください。
- 異物をプリンタのスロットに差し込まないでください。
- 液体がプリンタにこぼれないように注意してください。清掃後、すべてのコンポーネントが乾いていることを確認してからプリンタの使用を再開してください。
- 可燃性ガスを含むエアゾール製品を、プリンタの内部または周囲で使用しないでください。爆発性ガスが大気中に存在する場合はプリンタを使用しないでください。
- プリンタの開口部を遮断したり、覆わないでください。
- 乾燥モジュールを分解または改造しないでください(アジア太平洋および日本のみ)。

機械的危険

プリンタには怪我の原因になる可能性のある可動部分があります。怪我の防止のため、プリンタの近くで作業する場合は、以下の注意事項に従ってください。

- 衣服や身体はプリンタの可動部分に近づけないようにしてください。
- ネックレス、ブレスレットなど、垂れ下がる物体の着用は避けてください。
- 長髪の場合は、頭髮がプリンタ内に落下しないように束ねてください。
- 袖や手袋がプリンタの可動部分に巻き込まれないように注意してください。
- カバーがかかっている状態でプリンタを動作させないでください。
- カッター アセンブリを分解しないでください。保守作業は、資格のあるサービス担当者に依頼してください。
- 引き出しの上に立たないでください。プリンタが倒れる可能性があります。

ランプ放射の危険

光はビーコン、インクレベルインジケータ、用紙引き出しインジケータ、フォーマットステータスインジケータから放射されます。この放射光は、ランプおよびランプシステムの光生物学的安全性に関する IEC 62471:2006 の免除事項の要件に準拠しています。これらのモジュールを改造しないでください。

重量のある用紙による危険

人身事故を避けるため、重いロール紙を取り扱う場合は特に注意が必要です。

- 重いロール紙の取り扱いは、複数の人で行う必要がある場合があります。背中に負担をかけたり痛めたりしないように注意してください。
- フォークリフトやパレットトラックなどの荷役機器を使用することを検討してください。
- 重いロール紙を取り扱う場合は、長靴や手袋などの保護用具を着用してください。
- ロール紙の最大重量を超えないようにしてください。[188 ページの機能の仕様](#)を参照してください。

ロール紙の重量は最大 18 kg に及ぶことがあります。重いロール紙を取り扱う場合は、地域の環境、衛生、安全に関する規則に従ってください。

インクの取り扱い

インクメンテナンスカートリッジや廃棄用コンテナを取り扱う場合は、手袋の着用を推奨します。

警告および注意


このマニュアルでは、プリンタを適切に使用して破損を防ぐために、以下の記号が使用されています。これらの記号の付いた指示に従ってください。

⚠ 警告！ この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。

⚠ 注意： この記号の付いたガイドラインに従わない場合、軽度の人身事故またはプリンタの破損につながる恐れがあります。

警告ラベル

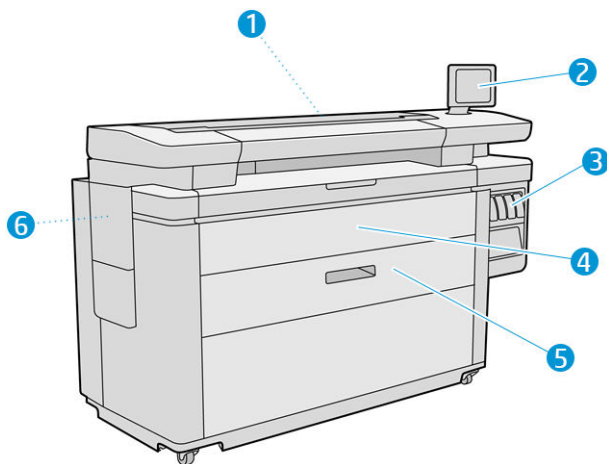
ラベル	説明
 <p>ELECTRIC SHOCK HAZARD Heating modules operate at hazardous voltages. Disconnect all power sources before servicing. Caution! Double pole. Neutral fusing.</p> <p>Before starting, read and follow the operating and safety instructions. Avant de commencer, lisez et suivez les instructions de fonctionnement et de sécurité. Lesen und befolgen Sie bitte die Bedienungs- und Sicherheitsanweisungen, bevor Sie starten. Antes de empezar, lea y siga las instrucciones sobre funcionamiento y seguridad. 开始之前, 请阅读并遵循以下操作和安全说明。 在开始之前, 请先阅读并依照操作与安全指引进行。</p>	<p>感電の危険。加熱モジュールは危険な電圧で動作しています。プリンタの保守作業前に電源コードを取り外してください。</p> <p>注意：2極。中性ヒューズ。</p> <p>始める前に、操作および安全に関する注意事項を読んで従ってください。</p>
	<p>損傷の危険。サービスキャリッジが動いているときは触れないでください。</p> <p>このラベルは、サービスキャリッジへのアクセス部分、ガススプリングの上、および折畳デバイスにあります。</p>
	<p>クリーニングコンテナを取り扱う場合は、手袋の着用を推奨します。</p> <p>このラベルはクリーニングコンテナ上とサービスキャリッジへのアクセス部分にあります。</p>
	<p>引き出しを階段の代わりに使用しないでください。プリンタのバランスが失われる可能性があります。</p> <p>このラベルは引き出し上にあります。</p>
	<p>スターホイールは破損しやすいため、触らないでください。</p> <p>このラベルは出力部分の両側にあります。</p>

 **注記**：プリンタの最終的なラベルの位置およびサイズは、多少異なる場合がありますが、必ず潜在的な危険のある場所の近くで見えるようになっています。

メインコンポーネント

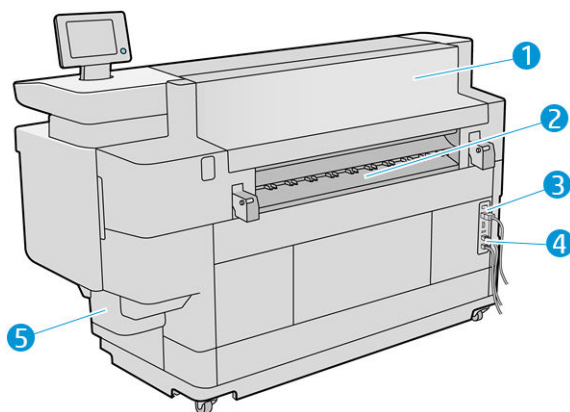
以下のプリンタ前面図および背面図は主なコンポーネントを示します。

前面図



1. プリントバー
2. フロントパネル
3. インクカートリッジ
4. フロントカバー
5. 引き出し
6. メンテナンスカートリッジ

背面図



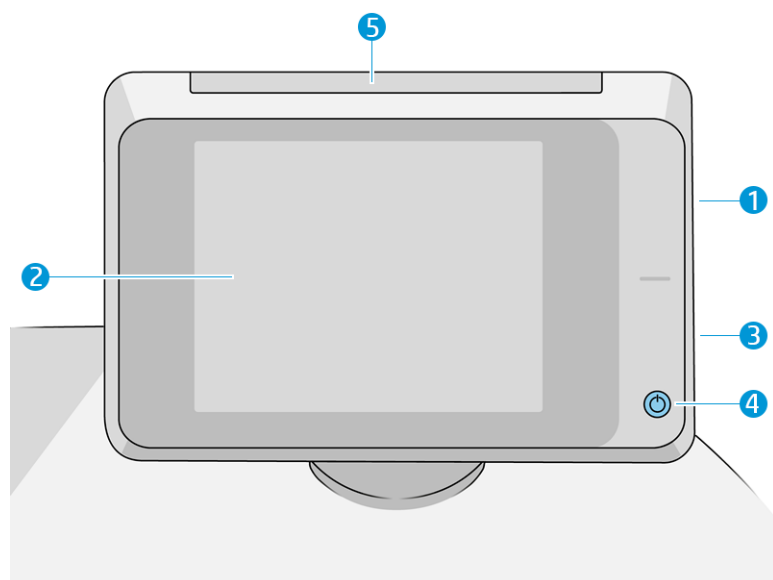
1. 排紙モジュール
2. 排紙
3. 電源スイッチおよびプラグ
4. 電源プラグ
5. メンテナンスカートリッジ

4. LAN 接続
5. クリーニング コンテナ


フロントパネル

フロントパネルはグラフィカルユーザ インタ フェースを備えたタッチ センサー式画面で、プリンタ前面の右側にあります。水平方向に 360 度回転するため、プリンタの前からでも後からでも操作できます。傾斜させて反射を防ぐこともできます。

ここでは、プリンタを完全に管理することができます。プリンタに関する情報の確認、プリンタの設定変更、プリンタ ステータスのモニター、サプライの交換やキャリブレーションなどのタスクの実行ができます。必要に応じてフロントパネルには、アラート(警告およびエラー メッセージ)が表示されます。







フロントパネルには以下のコンポーネントがあります。

1. 高速 USB ホスト ポート(印刷するファイルまたはスキャン ファイルが保存された USB フラッシュドライブの接続用)。USB フラッシュドライブを挿入すると、 がフロントパネルのホーム画面に表示されます。
2. フロントパネル自体。グラフィカルユーザ インタフェースを備えたタッチセンサー式画面です。
3. ラウドスピーカ。
4. 電源ボタン。電源をオン/オフにしたり、スリープモードから復帰することができます。プリンタの電源がオンの場合、ボタンが点灯します。プリンタがスリープモードのときは、点滅しません。
5. ビーコン。プリンタのステータスおよびアラートを遠くからでも確認できます。

フロントパネルには、動的な情報およびアイコンを表示するための大きな中央領域があります。左側および右側にある 4 つの固定アイコンをそれぞれ別々に表示できます。通常は、同時にすべては表示されません。

左右の固定アイコン

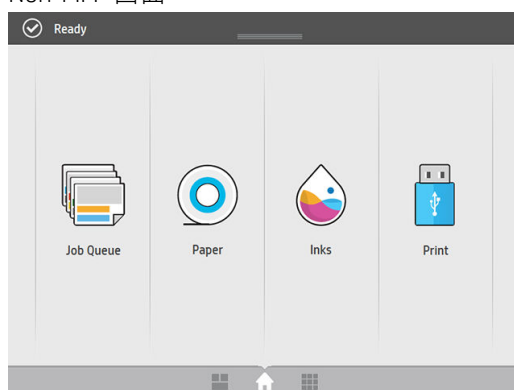
- ホーム画面に戻るには、 をタップします。
- 現在の画面のヘルプを表示するには、 をタップします。
- 前の画面に戻るには、 をタップします。これにより、現在の画面で行った変更が破棄されることはありません。
- 現在の処理をキャンセルするには、 をタップします。

ホーム画面

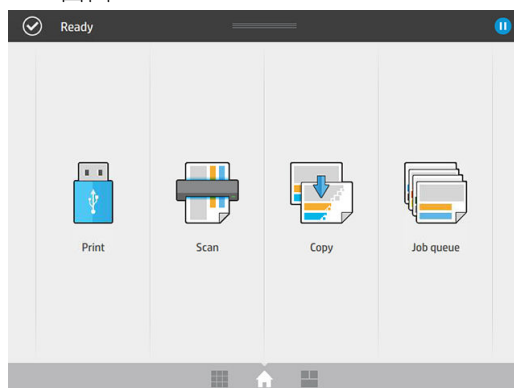
トップレベルの画面が3つあり、画面上で指をスライドさせるか、画面の下部で適切なボタンをタップすることで、画面を変えることができます。

- 最初のメイン画面では、お使いのプリンタ モデルとアクセサリに応じた、プリンタの重要な機能に直接アクセスできます。

Non-MFP 画面



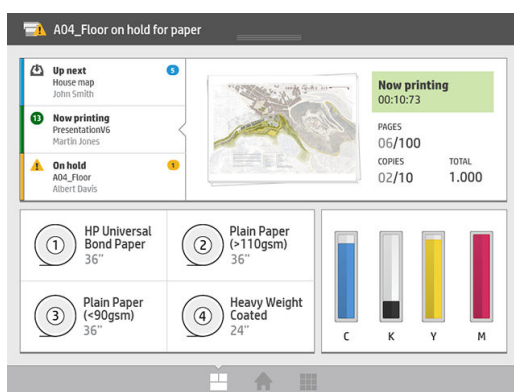
MFP 画面



- すべてのアプリケーション画面には、プリンタで使用できるすべてのアプリケーションのリストとそれぞれのステータスが表示されます。



- ウィジェット画面では、インクや用紙などのサプライ、現在印刷中のジョブ、ジョブキューを一目で確認できます。



プリンタアラート

プリンタのフロントパネルの上部にはビーコンがあります。ビーコンにはプリンタのステータスの概要が表示され、遠くからでも確認することができます。

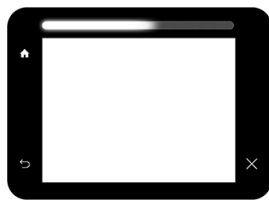


- 重要：** ビーコンで表示される情報は、機能に関する情報の提供のみを目的としており、ユーザの安全に関するものではありません。プリンタを操作するときは、ビーコンのランプで示されるステータスに関わらず、必ずプリンタの警告ラベルを考慮に入れる必要があります。



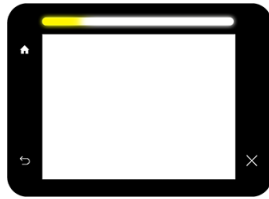
白色の点灯

プリンタの準備ができています。



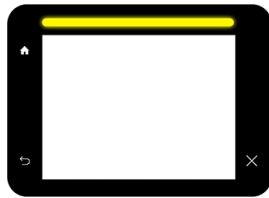
白色の光が動いている
場合

プリンタは印刷中または印刷準備中です。



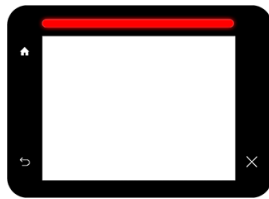
端に黄色の光が点灯する
場合

間もなくプリンタへの対処が必要になります。例えば、インクや用紙が切れる場合です。印刷中は、黄色の光は左側で点灯し続け、白色の光が動きます。




黄色の点灯

印刷できますが、何か問題があります。問題が解決しない場合は、サポート担当者にお問合せください。印刷中は、白色の光ではなく、黄色の光が点灯します。



赤色の点灯

印刷できないため、対処する必要があります。またはプリンタの主なサブシステムが機能していません。

ビーコンの設定は、 をタップし、[システム]>[ビーコン]を選択すると変更できます。例えば、ビーコンの明るさを変更することができます。また、ビーコンの警告をオフにして、確実なエラーのみを表示することもできます。

調光モード

プリンタをしばらく使用しないと(デフォルトで5分)、プリンタは調光モードになり、フロントパネルの明るさが25%下がり、ビーコンの明るさが10%下がります。フロントパネルの使用や印刷ジョブの受信など、何らかの操作があると調光モードが終了し、通常の明るさに戻ります。調光モードがしばらく続いた後(デフォルトで15分)、プリンタはスリープモードになります。フロントパネルでこの時間設定を変更できます。[11 ページのスリープモード](#)を参照してください。

スリープモード

スリープモードでは、操作のない状態が一定時間続いた後プリンタが省電力状態になり、ディスプレイの一部が消えるため、節電状態になります。プリンタの機能はこのモードになっても有効です。プリンタのネットワーク接続は維持され、必要に応じて復帰します。

プリンタは、以下のいずれかの方法でスリープモードから復帰できます。

- 電源ボタンを押す
- ドアまたは引き出しを開く

- 印刷ジョブを送信する
- スキャナにページを挿入する(MFPのみ)




プリンタは数秒で復帰します。完全に電源をオフにした場合より早く復帰できます。スリープモードになっていると、電源ボタンは点滅します。

スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、[12 ページのシステム オプションを変更する](#)を参照してください。

プリンタの監視(印刷スプーラを使用)とリモート プリンタの管理(HP Utility と Web JetAdmin を使用)は、スリープモード時でも使用できます。一部のリモート管理タスクには、タスクを実行する必要がある場合にプリンタをリモートで復帰するオプションが用意されています。

フロントパネルの表示の言語を変更する


フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更するには2通りの方法があります。

- 現在フロントパネルに表示されている言語が理解できる場合は、をタップし、[システム]>[言語]を選択します。
- 現在フロントパネルに表示されている言語が理解できない場合は、まずプリンタの電源を切ります。次に電源ボタンを押して、電源をオンにします。フロントパネルにアイコンが表示されたら、、を順にタップします。この手順を実行すると、フロントパネルでアイコンが素早く点滅します。

どちらの方法でも、フロントパネルの表示に言語選択メニューが表示されます。希望する言語をタップします。

選択可能な言語は、英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、オランダ語、イタリア語、ドイツ語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語です。

システムオプションを変更する

フロントパネルでプリンタのさまざまなシステム オプションを変更できます。をタップし、[システム]を選択します。


- [日付と時刻オプション]では、プリンタの日付と時刻を表示または設定できます。
- [スピーカ音量]では、プリンタのスピーカの音量を変更できます。[オフ]、[低]、[高]から選択できます。
- [フロントパネルの明るさ]では、フロントパネルの表示の明るさを変更できます。デフォルトの明るさは50です。
- [ピーコン]>[ピーコン]を選択すると、ピーコンの明るさを変更できます。[高]、[中]、[低]、[オフ]の中から選択できます。
- [ピーコン]>[警告アラートを通知]を選択すると、警告のアラートをオンまたはオフにできます。
- [電源オプション]>[プリンタのスリープモード待ち時間]を選択すると、スリープモードに移行するまでプリンタが待機する時間を変更できます([11 ページのスリープモード](#)を参照)。待機時


間は 5 ~ 240 分に設定できます。デフォルトの時間は 20 分です(調光モードの 5 分を含む合計時間)。

- [単位の選択]では、フロントパネルに表示される測定単位を変更できます。[インチ]または[メートル]を選択します。デフォルトで、単位は[メートル]に設定されています。
- [工場出荷時の設定に戻す]では、プリンタの設定を工場出荷時に設定された元の値に戻すことができます。このオプションは、ギガビットイーサネットの設定および用紙のプリセットを除く、すべてのプリンタの設定を元に戻します。

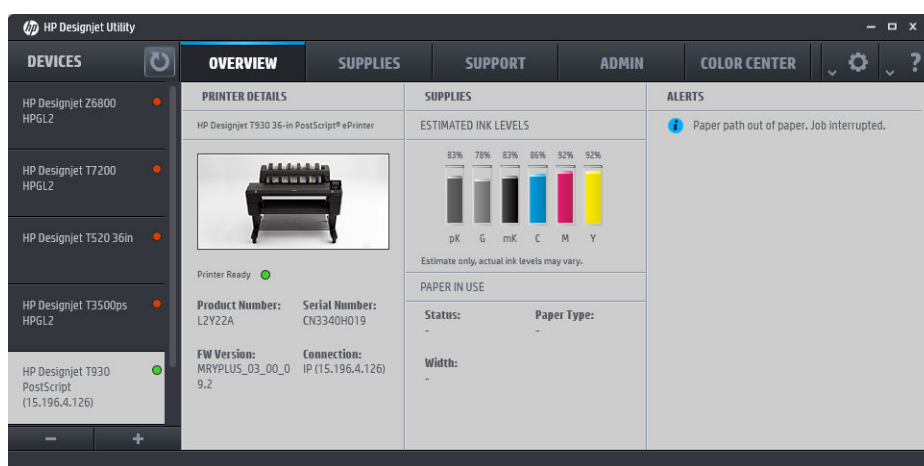
HP Utility

HP Utility を使用すると、TCP/IP 接続を使用しているコンピュータからプリンタを管理できます。

 **注記** : Mac OS X 用の HP Utility と Windows 用の HP DesignJet Utility は機能が似ており、このガイドではまとめて HP Utility と呼ぶことがあります。

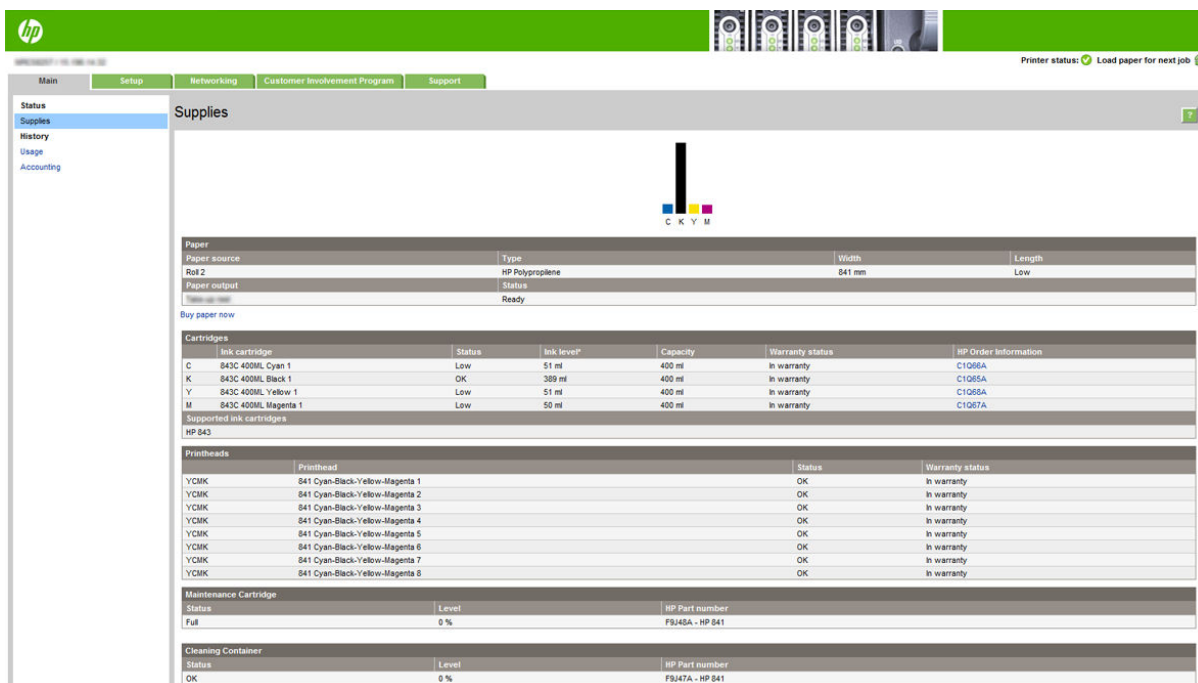
- **Windows** で HP DesignJet Utility を起動するには、タスクバーの  アイコンを押すか、または[スタート] > [すべてのプログラム] > [HP] > [HP DesignJet Utility] > [HP DesignJet Utility]を選択します。これにより、HP DesignJet Utility が起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。HP DesignJet Utility を初めて開くと、機能強化の自動アップデートを促される場合があります。自動アップデートを推奨します。
- **Mac OS X** で HP Utility を起動するには、Dock ショートカットを使用するか、[アプリケーション] > [HP] > [HP Utility]をクリックします。これにより、HP Utility が起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。

左側のパネルでプリンタを選択すると、右側のパネルに表示される内容がすべてそのプリンタ固有のものになります。



内蔵 Web サーバ


内蔵 Web サーバはプリンタ内部で実行される Web サーバです。ユーザは内蔵 Web サーバを使用して、プリンタ情報の入手、設定やプリセットの管理、新規ファームウェアのインストール、および問題のトラブルシューティングを行うことができます。サービスエンジニアは、内蔵 Web サーバを使用して、プリンタの問題を診断するのに役立つ内部情報を取得できます。



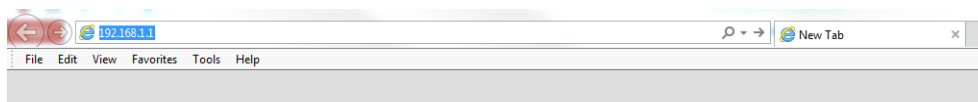
内蔵 Web サーバにリモートからアクセスするには、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザを使用します。

内蔵 Web サーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Windows 7 以降に対応する Microsoft Internet Explorer 8 以降
- OS X 10.8 以降に対応する Apple Safari 6 以降
- Mozilla Firefox 36 以降
- Google Chrome 41 以降

お使いのプリンタの IP アドレスをメモしておきます。これは、 アイコンをタップし、**[ネットワーク]**を選択すると、フロントパネルに表示されます。

コンピュータで内蔵 Web サーバを使用するには、Web ブラウザを開き、ブラウザのアドレスバーにプリンタの IP アドレスを入力します。



内蔵 Web サーバのウィンドウには 5 つのタブが表示されます。各ページの上部近くにあるボタンにより、オンラインヘルプにアクセスできます。

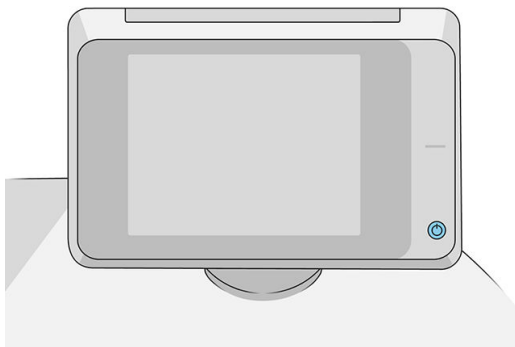
内蔵 Web サーバが対応する言語は、英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、オランダ語、イタリア語、ドイツ語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語です。Web ブラウザのオプションで指定した言語が使用されます。内蔵 Web サーバが対応していない言語を指定すると、英語が使用されます。

言語を変更するには、Web ブラウザの言語設定を変更します。例えば、Chrome では、**[設定]** > **[言語]** (高度な設定ビュー)をクリックし、使用したい言語がダイアログボックスのリストの一番上にあることを確認します。Internet Explorer バージョン 8 では、**[ツール]**メニューから**[インターネットオプション]** > **[言語]**をクリックします。言語の優先順位ダイアログボックスで、使用する言語がリストの一番上に表示されていることを確認します。

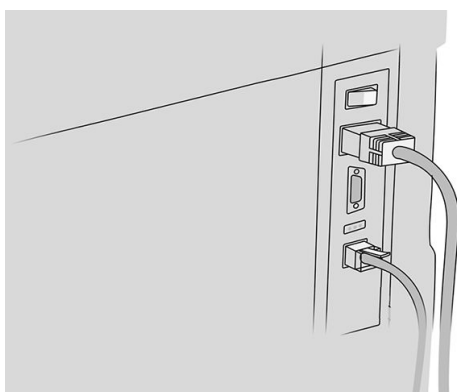
変更を完了するには、Web ブラウザを閉じてから再び開きます。

プリンタをオン・オフする

プリンタの電源をオンまたはオフにしたり、プリンタをリセットする場合は、通常はフロントパネルの電源ボタンを使用することを推奨します。



ただし、プリンタを長期間保管する場合、または電源ボタンが動作しない場合は、背面の電源スイッチで電源を切ることが推奨されます。



電源を入れ直すには、背面の電源スイッチを使用します。

プリンタの電源を入れ直すと、初期化およびプリントバーのチェックと準備に約3分かかります。プリントバーの準備には、約1分15秒かかります。ただし、プリンタを2週間以上使用していない場合は、プリントバーの準備に最長7分かかることがあります。プリントヘッドの復元が必要な場合はさらに13分かかることがあります。


[11 ページのスリープモード](#)も参照してください。

印刷メニュー

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。フロントパネルから呼び出すことができます。

印刷メニューを呼び出す前に、プリンタと用紙の印刷準備ができていることを確認します。

- 幅がA3 横置き(420mm、16.53 インチ)以上の用紙を使用します。それより小さい用紙では、イメージの一部が印刷されないことがあります。
- フロントパネルには、「印刷可能です」というメッセージが表示されている必要があります。


印刷メニューを印刷するには、 をタップし、**[印刷メニュー]**までスクロールしてそれをタップし、必要な印刷メニューを選択します。次の印刷メニューを使用できます。


- デモ印刷ではプリンタの機能の一部を表示します
 - － 描画デモ印刷
 - － レンダリング デモ印刷
 - － GIS マップ印刷
- ユーザ情報の印刷
 - － 使用状況レポートでは、印刷の合計数、用紙の種類別の印刷部数、印刷品質オプション別の印刷部数、スキャン枚数、および色ごとに使用されるインク合計量のそれぞれの推定値を表示します(これらの推定値の正確性は保証されていません)
 - － HP-GL/2 パレットの印刷では、現在選択しているカラー パレットのカラー/グレースケール定義を表示します
 - － PostScript フォントでは、使用可能な PostScript フォントを表示します (PostScript プリンタのみ)
 - － フォルダ パターンの印刷
- サービス情報の印刷
 - － ステータス情報の印刷
 - － プリンタ使用状況の印刷
 - － イベント ログの印刷
 - － キャリブレーション状況の印刷
 - － 接続設定の印刷
 - － すべてのページの印刷(上記のすべてのレポートが印刷されます)
- 出力先の印刷
 - － 軸合わせを確認するため、折畳デバイスの印刷テスト
 - － 軸合わせをテストするため、スタッカの印刷テスト

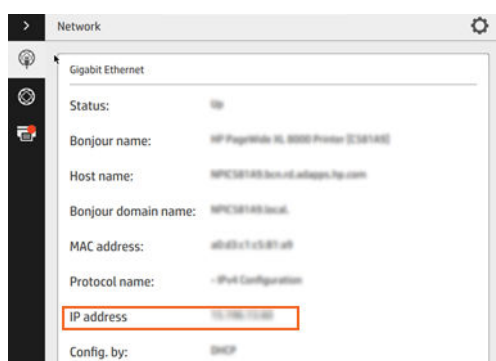
プリンタを準備する

ネットワークにプリンタを接続する



プリンタは、同一ネットワークのすべてのコンピュータと同様の方法で、ほとんどのネットワークに対して自動的に設定されます。ネットワークに初めて接続する場合は、この処理に数分かかる場合があります。

プリンタに動作しているネットワーク設定がある場合は、フロントパネルからネットワークアドレスを確認できます。それには、 をタップします。

 **ヒント** : Windows または Mac OS のコンピュータクライアントへの接続を設定中に必要になることがあるため、プリンタのネットワーク名と IP アドレスをメモしておいてください。



ネットワーク構成を変更する

現在のネットワーク構成を変更するには、フロントパネルで 、 をタップし、**[ギガビットイーサネット]**を選択します。ここでは、通常は必要ありませんが、設定を手動で変更することができます。これは、内蔵 Web サーバを使用してリモートで行うこともできます。

使用可能な接続設定の詳細は、[87 ページの「ネットワーク」](#)を参照してください。

プリンタのネットワーク設定が間違っている場合、フロントパネルからネットワーク設定を工場出荷時の値に戻すことができます。 、、 をタップし、**[工場出荷時の設定に戻す]**を選択します。次に、プリンタを再起動する必要があります。これにより、ほとんどのネットワークに対して動作するネットワーク設定が自動的に提供されます。プリンタの他の設定は変わりません。

ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する(Windows の場合)

以下の指示は、プリンタドライバを使用して、ソフトウェアアプリケーションから印刷する場合に該当します。別の印刷方法については、[98 ページの「印刷ジョブを送信する」](#)を参照してください。

手順を実行する前に、以下のことを確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネットスイッチまたはルータの電源が入っていて、正常に動作している。
- プリンタとコンピュータがネットワークに接続されている([16 ページのネットワークにプリンタを接続する](#)を参照)。

上記を確認したら、プリンタソフトウェアをインストールしてプリンタに接続できます。

プリンタソフトウェアをインストールする

1. フロントパネルに表示されるプリンタのホスト名と IP アドレスをメモしておいてください ([13 ページの内蔵 Web サーバ](#)を参照)。
2. HP のホームページ(<http://www.hp.com/go/pagewidexlseries/support/drivers>)からプリンタソフトウェアをダウンロードします。

3. Windows または Mac OS X のソフトウェアを選択し、インストールする特定のソフトウェア(デフォルトではすべてのソフトウェア)を選択します。
4. ダウンロードしたらソフトウェアを開き、画面の手順に従います。

コンピュータがネットワーク上でプリンタを検出できない場合は、**【プリンタが見つかりません】**ウィンドウが表示されます。このウィンドウでプリンタの検出を再試行できます。ファイアウォールが有効になっている場合、プリンタを検出するために、ファイアウォールを一時的に無効にする必要があることがあります。プリンタのホスト名、IP アドレス、または MAC アドレスによってプリンタを検出するオプションもあります。

プリンタソフトウェアをアンインストールする(Windows の場合)

他のソフトウェアをアンインストールする場合と同じ方法で、コントロールパネルを使用してソフトウェアをアンインストールします。

ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する(Mac OS X の場合)

Mac OS X 環境でプリンタをネットワークに接続する場合は、以下の方法で実行できます。

- Bonjour
- TCP/IP


 **注記：** このプリンタは AppleTalk をサポートしていません。

以下の指示は、プリンタ ドライバを使用して、ソフトウェア アプリケーションから印刷する場合に該当します。別の印刷方法については、[98 ページの「印刷ジョブを送信する」](#)を参照してください。

手順を実行する前に、以下のことを確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネットスイッチまたはルータの電源が入っていて、正常に動作している。
- プリンタとコンピュータがネットワークに接続されている([16 ページのネットワークにプリンタを接続する](#)を参照)。

上記を確認したら、プリンタソフトウェアをインストールしてプリンタに接続できます。

1. フロントパネルで  をタップします。プリンタの mDNS サービス名をメモします。
2. HP のホームページ(<http://www.hp.com/go/pagewidexlseries/support/drivers>)からインストールパッケージにアクセスします。画面で指示された場合は、リストから該当のプリンタを選択します。
3. PageWide プリンタのウィンドウが画面に表示されたら、**【ソフトウェアとドライバ】**をクリックします。
4. Windows または Mac OS X のソフトウェアを選択し、インストール対象のソフトウェア(デフォルトではすべてのソフトウェア)を選択します。
5. ソフトウェアがインストールされた後、HP Utility が自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。画面の指示に従います。
6. セットアップアシスタント画面で、**【プリンタ名】**列にあるプリンタの mDNS サービス名(手順 1 でメモした名前)を検索します。


- 正しい名前を検出した場合、必要に応じて横方向にスクロールして[接続方法]列を表示し、それが **Bonjour** を示していることを確認します。次に、その行をハイライトします。それ以外の場合は、リストの下方方向への検索を続けます。
- プリンタ名が見つからない場合は、**続行**をクリックし、後で[システム環境設定]で手動でセットアップを行います。

[**続行**]をクリックします。

7. 画面の指示に従って続行します。

プリンタソフトウェアをアンインストールする(Mac OS X の場合)

前述のインストールの手順では、HP アンインストーラ アプリケーションをシステムにインストールするオプションがあります。これは、システムの[アプリケーション]フォルダ内の[HP]の下にあります。

 **重要** : HP アンインストーラ アプリケーションは、システムにインストールされているすべての HP ソフトウェアをアンインストールします。

印刷キューのみを削除するには、システム環境設定から、[印刷とスキャン]ダイアログ ボックスを選択します。プリンタ名をクリックし、[-]ボタンをクリックします。

接続を設定する


接続を設定すると、ローカル ネットワークから印刷したり、プリンタを最新の状態に維持したり、プリンタの追加サービスにアクセスできるようになります。お使いのネットワーク ケーブルをプリンタに忘れずに接続してください。

以下のために、接続と設定に同意する必要があります。

- ファームウェアアップデートの自動受信
- 顧客の貢献プログラムへの参加
- プリンタの追加サービスの有効化
- 電子メール印刷の有効化



プリンタの接続をテストするには、ネットワーク接続が必要です。プリンタの接続を設定し、トラブルシューティングを行い、プリンタを接続することによって得られる優れた機能を使い始めてください。

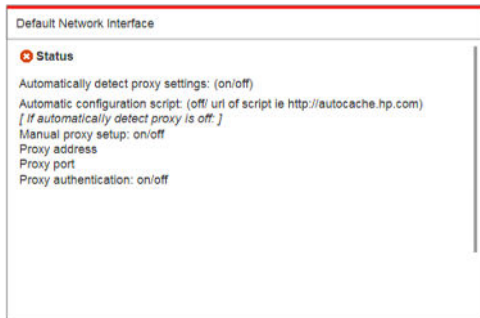
HP パートナー リンク ペイパーコース サービスをご利用いただいている場合、接続アプリケーションを使って、[プリンタサービス]>[新しいサービスの登録]をタップし、プリンタサービスを登録してください。

プリンタの最初のセットアップ時に、このサービスを有効にするかどうかを尋ねられます。この選択は後でも変更できます。それには、 をタップし、[接続]>[接続への同意をリセットする]を選択します。

さらに、以下の説明に従って、各サービスを個々に有効または無効にすることができます。

HP へのプリンタの接続を確認する

プリンタから HP のサービスに接続できるかどうかは、、 をタップし、そこに表示されるステータスを確認します。



HP への接続に問題がある場合は、問題の詳細と可能ないくつかの解決方法が提供されます。


顧客の貢献プログラムとプリンタのその他のサービスを設定する



顧客の貢献プログラムのステータスは、、 をタップして確認できます。


HP、顧客の貢献プログラム、その他のオンライン印刷サービスへの接続をテストするには、**[全ての接続性をテスト]** をタップします。問題が検出されると、問題の詳細と可能ないくつかの解決方法が提供されます。

HP Connected を使った電子メールでの印刷を設定する

HP Connected サービスを使うと、ジョブを電子メールメッセージに添付して、プリンタに簡単に送信できます。

HP Connected を使用するには、「接続契約」に同意する必要があります。この選択は後で変更できます。それには、 をタップし、**[接続]** > **[接続への同意をリセットする]** を選択します。

電子メールでの印刷を設定するには、、 を順にタップすると、お使いのプリンタに固有なプリンタコードと、プリンタにジョブを送信する場合に使用可能な電子メールアドレスが表示されます。また、<http://www.hpconnected.com> で、プリンタコードを使用して、ユーザーとプリンタを登録する必要があります。


以下のオプションは、[HP Connected]画面の右上にある  をタップするとアクセスできます。




- **[HP Connected 接続メニュー]**：お使いのプリンタの HP Connected を有効または無効にするか、HP Connected サービスからプリンタを完全に削除できます。
- **[プリンタコード]**：プリンタコードを表示または更新できます。
- **[電子メールアドレス]**：プリンタの電子メールアドレスを表示できます。

- **[HP Connected ジョブ]**: 電子メールで受信したジョブを直接印刷するか(デフォルト)、ジョブキューで保留にするかを決定できます。
- **[HP Connected 設定を元に戻す]**: HP Connected 設定をデフォルト値に戻すことができます。

ファームウェアのアップデートを設定する


内蔵 Web サーバまたはフロントパネルから、ファームウェアのアップデートをダウンロードするかどうかとその方法を選択できます。

 **注記**: 管理者パスワードが設定されている場合は、以下の設定を変更する必要があります。

- 内蔵 Web サーバの場合: **[セットアップ]>[ファームウェアのアップデート]**をクリックします。
- フロントパネルを使用する場合: 、、 をタップします。

以下の設定があります。


- **[確認]**: **[自動]**(デフォルト設定)を選択した場合、プリンタは毎週(または、プリンタが先に7回再起動した場合はこの後に)自動的に新しいファームウェアが入手可能かどうかを確認します。**[手動]**を選択した場合、プリンタは自動的に確認しません。いつでも手動で確認できます。
- **[ダウンロード]**: **[自動]**(デフォルト設定)を選択した場合、プリンタは新しいファームウェアが利用可能になると自動的にダウンロードします。**[手動]**を選択した場合、ダウンロードのたびに承認が求められます。

 **注記**: ファームウェアをダウンロードしても、プリンタにインストールされるわけではありません。新しいファームウェアをインストールするには、インストールを手動で確認する必要があります。

- **[ファームウェアのアップデート履歴]**: プリンタにインストールされた過去のファームウェアバージョンの一覧です。現在のバージョンに問題がある場合は、現在インストールされているバージョンの直前のバージョンを再インストールすることが通常可能です。

スキャン先ネットワークフォルダまたはスキャン先 FTP フォルダを設定する (MFP のみ)

スキャンしたイメージは USB フラッシュドライブ、ネットワークフォルダ、または FTP フォルダに保存できます。USB フラッシュドライブオプションには準備が必要ありませんが、その他のオプションは以下の方法で設定するまで機能しません。

 **注記**: このプリンタは、NTLMv1 ベースおよび NTLMV2 ベースの認証を使用して、(クライアントとして)スキャン先のネットワーク共有フォルダにアクセスします。スキャン先の FTP フォルダでは、プレーンテキストの認証が使用されます。そのためセキュリティ上の理由でスキャン先のネットワークを優先すべきです。


スキャン先のネットワークフォルダのためにサーバを設定する

1. スキャナがネットワーク経由でアクセスできるコンピュータ上にフォルダを作成します。
[23 ページの例: Windows で、スキャン先のネットワークフォルダを作成する](#)または
[25 ページの例: Mac OS で、スキャン先のネットワークフォルダを作成する](#)を参照してください。
2. 同一コンピュータ上にプリンタのユーザアカウントを作成します。

- 「スキャナ ユーザ」と共有されるようにフォルダの共有オプションを変更して、そのユーザに対してフォルダの完全な制御機能を割り当てます。
- フォルダの共有名を作成します。

スキャン先の FTP フォルダのためにサーバを設定する

- FTP サーバ上にフォルダを作成します。
- FTP サーバのサーバ名、ユーザ名およびパスワードを確認してください。

 **重要**：いずれかのオプションについて上記の手順を完了してから、以下の残りの手順を実行します。

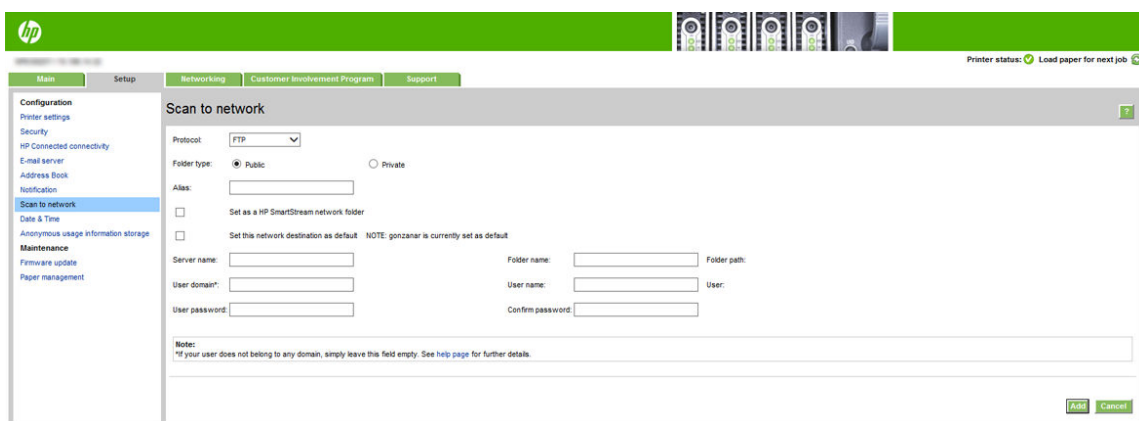
内蔵 Web サーバを設定する

- プリンタの内蔵 Web サーバで[セットアップ]タブをクリックし、[ネットワークにスキャン]をクリックします。[13 ページの内蔵 Web サーバ](#)を参照してください。



または、HP Utility で[設定]タブをクリックし、[ネットワークにスキャン]をクリックします。[13 ページの HP Utility](#)を参照してください。

- [ネットワークにスキャン]ページで、[ネットワーク フォルダの追加]をクリックし、さまざまなフィールドに情報を入力します。



- [プロトコル]は、[FTP]または[CIFS] (ネットワークにスキャンの場合)を選択します。
- [フォルダのタイプ]は、[公開]または[プライベート]を選択します。フォルダのタイプは内蔵 Web サーバとフロントパネルでアイコンにより示されます。[プライベート]を選択した場合、フロントパネルでパスワードを入力する必要があります。
- [エイリアス]は、スキャン ファイルの保存先を選択するときにフロントパネルに表示されます。ネットワークまたは FTP フォルダ名とは異なることがあります。
- このネットワーク先をデフォルトとして設定します。HP SmartStream をインストールしている場合は、ネットワーク先として設定するためのオプションが表示されます。
- [サーバ名]には、リモート コンピュータのネットワーク名を入力します。


- **[フォルダ名]**には、フォルダの共有名を入力します。
- **[ユーザ名]**には、「スキャナ ユーザ」の名前を入力します。
- **[ユーザパスワード]**には、「スキャナ ユーザ」のパスワードを入力します。
- **[ドメイン名]**には、ユーザ名が存在するドメインの名前を入力します。「スキャナ ユーザ」がどのドメインにも属していない場合は、このフィールドは空白のままにします。

サーバ名およびフォルダ名は、\\サーバ名\フォルダ名のようにネットワーク フォルダ パスを構築して、共有フォルダへの接続に使用します。

ネットワーク フォルダの場合、リモート コンピュータの名前または IP アドレス、共有フォルダの名前、およびリモート コンピュータ上ですでに作成している「スキャン ユーザ」のユーザ名とパスワードを入力します。ユーザが Windows ドメインのメンバーである場合を除いて、ユーザのドメイン フィールドは空白のままにします。ユーザがリモート コンピュータの唯一のローカル ユーザである場合、このフィールドは空白のままにします。共有フォルダが同じローカル ネットワークの Windows コンピュータ上にある場合のみ、サーバ名フィールドに(IP アドレスではなく)名前を使用できます。

FTP フォルダの場合、サーバ名、フォルダ名、ユーザ名、およびパスワードを入力します。[ユーザドメイン]は空白のままにします。

3. **[追加]**をクリックして、設定を保存します。

 **注記**：製品がすでにネットワークにスキャンするように設定されている場合に、異なる共有フォルダを使用するには、**[変更]**をクリックします。

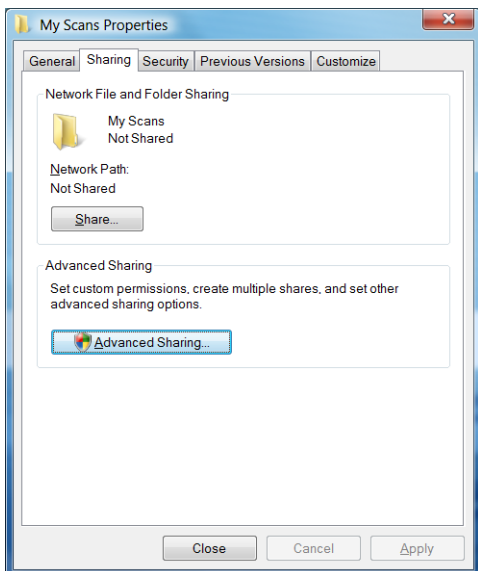
4. プリンタはネットワーク フォルダにアクセスできることを自動的に確認します。アクセスできない場合は、[136 ページのネットワーク フォルダまたは HP SmartStream \(アクセサリとしてインストールしている場合\)にアクセスできない](#)を参照してください。

内蔵 Web サーバで**[確認]**をクリックして、共有フォルダにアクセス可能であるかどうかを後で確認できます。正しく設定された共有フォルダは、ユーザのパスワードが変更された場合、または共有フォルダが移動もしくは削除された場合には、アクセスできなくなる可能性があります。

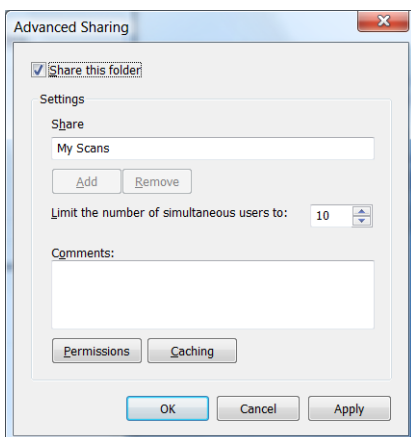
例：Windows で、スキャン先のネットワーク フォルダを作成する

1. リモート コンピュータ上で「スキャナ ユーザ」の新しいユーザ アカウントを作成します。この目的に既存のユーザ アカウントを使用できますが、推奨されません。
2. リモート コンピュータ上に新しいフォルダを作成します(既存のフォルダを使用しない場合)。
3. フォルダを右クリックして、**[プロパティ]**をクリックします。

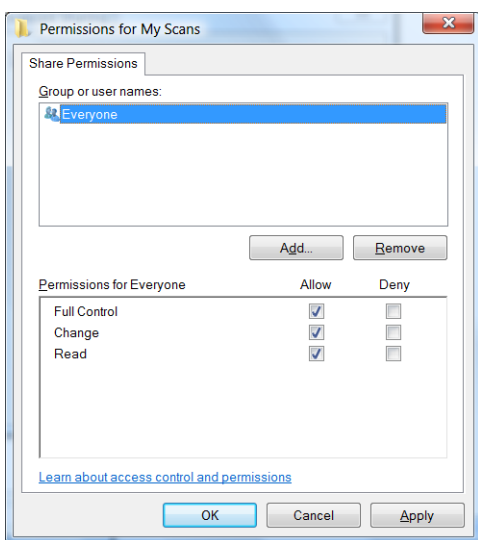
4. [共有]タブで、[詳細な共有]ボタンをクリックします。



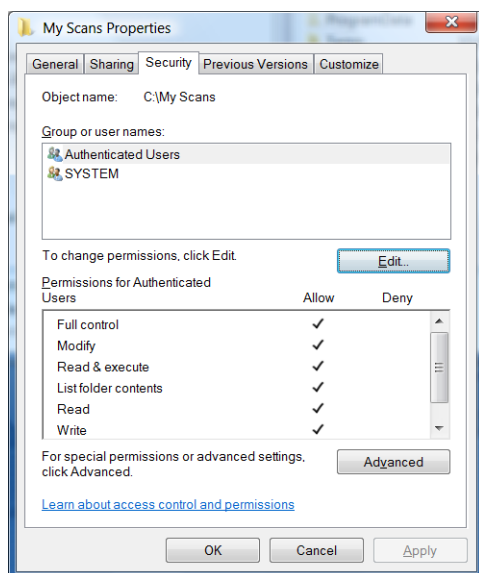
5. [このフォルダを共有する]ボックスをオンにします。



6. 「スキャナ ユーザ」に共有フォルダに対するフルコントロールの読み取り/書き込み権限があることを確認する必要があります。権限を付与するには、[権限]をクリックし、ユーザ(または、そのユーザを含む適切なグループ)に対して[フルコントロール]を選択します。



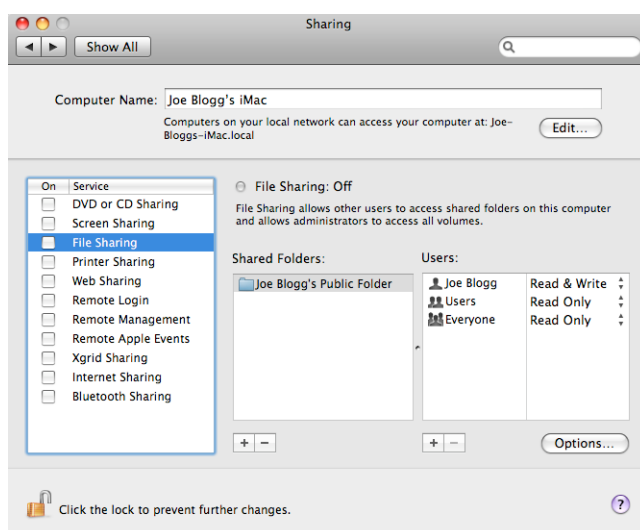
7. フォルダの[プロパティ]ウィンドウに[セキュリティ]タブがある場合、[セキュリティ]タブで、このフォルダに対する[フルコントロール]を同一ユーザに付与する必要があります。NTFS などの一部のファイルシステムのみでこれが必要です。



「スキャナ ユーザ」はこれでフォルダにアクセスし、そのフォルダにファイルを書き込むことができます。次に、フォルダにスキャンを送信できるようにプリンタを設定する必要があります。

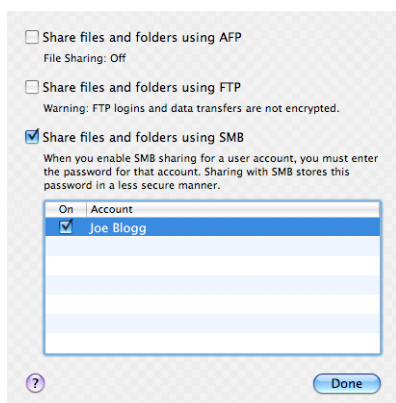
例 : Mac OS で、スキャン先のネットワーク フォルダを作成する

1. リモート コンピュータ上で「スキャナ ユーザ」の新しいユーザ アカウントを作成します。この目的に既存のユーザ アカウントを使用できませんが、推奨されません。
2. リモート コンピュータ上でフォルダを作成するか、選択します。デフォルトで、Mac OS ユーザには、この目的のために簡単に使用可能な「共有」フォルダがあります。
3. [システム環境設定]アプリケーションを開いて、[共有]アイコンをクリックします。

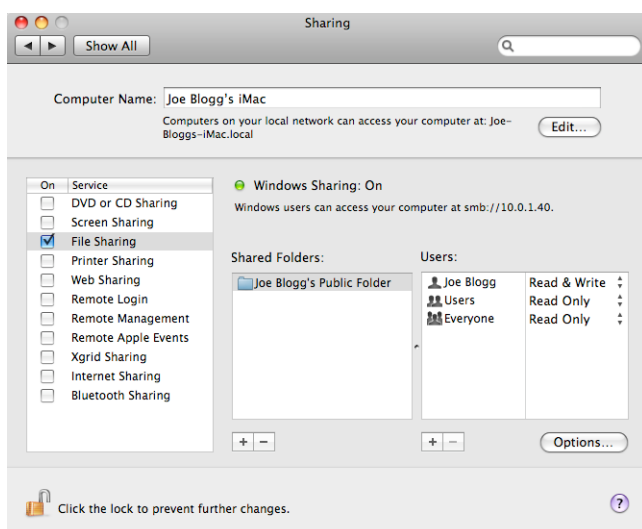


4. 「スキャナ ユーザ」にフォルダへの[読み取り/書き込み]アクセス権限があることを確認します。
5. [オプション]をクリックします。

6. [SMB を使用してファイルとフォルダを共有する]ボックスを選択し、「スキャナユーザ」が「オン」列で選択されていることを確認します。



7. [完了]をクリックします。これで、ファイルの共有が有効になっていて、Windows 共有がオンになっていることが確認されます。



「スキャナユーザ」はこれでフォルダにアクセスし、そのフォルダにファイルを書き込むことができます。次に、フォルダにスキャンを送信できるようにプリンタを設定する必要があります。

電子メールサーバを設定する

内蔵 Web サーバを使用して電子メールサーバを設定するには、[設定]>[電子メールサーバ]をクリックし、以下のフィールドに入力します(通常は電子メールサーバプロバイダにより入力されています)。

- **[SMTP サーバおよびポート番号]**: プリンタから送信されるすべての電子メールメッセージを処理する送信メールサーバ(SMTP)の IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名。メールサーバが認証を必要とする場合、電子メール通知は機能しません。
- **[プリンタのメールアドレス]**: プリンタで設定されたアカウントに割り当てられている電子メールアドレス。この電子メールアドレスは、プリンタから送信されるすべての電子メールメッセージの[送信元:]フィールドに表示されます。これは、HP Connected によって使用される電子メールアドレスと同じものではありません。
- **[添付ファイルのサイズ制限]**: 電子メールメッセージに添付されるファイルの最大サイズ。フロントパネルから電子メールをスキャンした場合、添付ファイルがこの制限より大きいと警告が表示されます。ただし、警告を無視してメッセージを送信することもできます。

- **[SSL 証明書を使用]** : サーバに暗号化接続が必要な場合は、このボックスをオンにして SSL 証明書を使用します。リンクをクリックして、詳細な証明書設定を構成します。
- **[認証]** : 認証を選択した場合は、ユーザ名とパスワードも求められます。

電子メールサーバを設定したら、設定を確認することを強く推奨します。

電子メールアドレス帳を設定する(MFP のみ)

プリンタでは LDAP v3 (Lightweight Directory Access Protocol の最新バージョン)が使用されます。これにより、スキャンして電子メールで送信する場合にネットワークのアドレス帳にアクセスできます。

LDAP を使用するには、2016 年 1 月以降にリリースされたプリンタのファームウェアが必要です。

以下の説明は、LDAP を使用して、プリンタをネットワークの電子メールアドレス帳に接続する方法、およびプリンタから電子メールメッセージを送信するために、デフォルトの SMTP を設定する方法を示します。

電子メールを検索する

プリンタでスキャンして電子メールで送信するために LDAP を使用する場合、電子メールアドレスのデータベースが検索されます。電子メールアドレスを入力し、**[検索]**ボタンをクリックすると、LDAP は電子メールアドレスのリストを検索し、一致する文字を探します。追加の文字を入力したり、新しい検索を実行して、検索結果を絞り込むことができます。

LDAP をサポートしているプリンタは、標準の送信電子メール プロファイルの使用にも対応しています。そのため、そういったプリンタから電子メールを送信するために、LDAP サーバに接続する必要はありません。

開始する前に必要な情報

設定を開始する前に、以下の情報があることを確認します。

- サーバ認証の要件
- 検索を開始するパス(BaseDN、検索ルート) (例えば、o=mycompany.com)
- 入力した名前的一致(cn または samAccountName など)、電子メールアドレスの取得(mail など)、コントロールパネルに表示される名前(displayName など)の属性

アドレス帳を設定する

内蔵 Web サーバで、**[セットアップ]** > **[アドレス帳]**をクリックし、ネットワークのアドレス帳にアクセスします。

ここからは、LDAP サーバから電子メールアドレス帳を取得するように、プリンタを設定できます。それにより、**[電子メールにスキャン]**画面で検索を行うと、電子メールアドレスが選択できるようになります。

1. 内蔵 Web サーバを開きます。
2. **[Setup]** タブをクリックします。
3. 左側のナビゲーションペインで、**[アドレス帳]**をクリックします。

4. [ネットワークのコンタクト先を有効にする (LDAP サーバを使用)]をクリックします。

HP PageWide XL 4500PS MFP

Logged in as administrator Printer status: Load paper for next job

Main Setup **Networking** Customer Involvement Program Support

Configuration
Printer settings
Security
HP Connected connectivity
E-mail server
Address Book
Notification
Scan to network
Date & Time
Anonymous usage information storage
Maintenance
Firmware update
Paper management

Address Book

Network Contacts Setup

Enable Network Contacts (use LDAP server)

Click Add button to configure a server.

Add Edit Remove

Contacts Stored on the Device

Enable store contacts

Delete all

Apply Cancel

5. [追加]ボタンをクリックし、LDAP の設定ページに進みます。

HP PageWide XL 4500PS MFP

Logged in as administrator Printer status: Load paper for next job

Main Setup **Networking** Customer Involvement Program Support

Configuration
Printer settings
Security
HP Connected connectivity
E-mail server
Address Book
Notification
Scan to network
Date & Time
Anonymous usage information storage
Maintenance
Firmware update
Paper management

Address Book

Network Directory Server (LDAP)

LDAP Server Address:

Port:

Use a secure connection (SSL)

Server Authentication Requirements

Server does not require authentication
 Server requires authentication

LDAP Database Search Settings

Path to start search (BaseDN, Search Root):

Recipient's Display Name: Recipient's E-mail Address:

LDAP Filter Condition:

Test for LDAP Retrieval

Test:
 Test

Apply Cancel

6. [LDAP サーバアドレス]ボックスには、LDAP サーバの名前(例えば、ldap.mycompany.com)を入力します。

LDAP サーバがわからない場合は、サーバ管理者に連絡し、使用するネットワーク アドレスと属性コードを取得します。

7. 安全な接続(SSL)を有効にするには、[安全な接続の使用(SSL)]をクリックします。
8. LDAP サーバが認証を必要とする場合は、[サーバ認証の要件]領域で適切な種類の認証を選択します。

9. [検索を開始するパス (BaseDN、検索ルート)]ボックスに、データベースを検索するパス(例えば、o=mycompany.com)を入力します。
10. [受信者の表示名]ボックスには、その人の名前を含む属性の名前(例えば、displayName)を入力します。
11. [受信者の電子メールアドレス]ボックスには、その人の電子メールアドレスを含む属性の名前(例えば、mail または rfc822Mailbox)を入力します。
12. 電子メールアドレスを取り出すために、オプションのフィルタをセットアップするには、[LDAP フィルタ条件]ボックスを使用します。
13. LDAP 検索が正しく設定されていることを確認するには、[テスト]ボックスに最低 3 文字のネットワーク コンタクト名を入力し、[テスト]ボタンをクリックします。テストが正常に行われると、一致候補を示すリストが表示されます。
14. [適用]ボタンをクリックして、設定を保存します。これでセットアップは終了しました。

使用状況に関する情報をオン/オフにする

プリンタは、使用状況に関する情報を電子メールで定期的送信することができます。以下がその手順です。

- HP DesignJet Utility (Windows)の場合：[管理者]タブから、[プリンタ設定]>[アカウントिंग]をクリックします。
- HP Utility (Mac OS X)の場合：[プリンタ設定]>[アカウントिंग]をクリックします。
- 内蔵 Web サーバの場合：[セットアップ]>[プリンタ設定]>[アカウントिंग]をクリックします。

いずれの場合も、以下のオプションを設定してください。

- [アカウントिंग ファイルの送信]：[有効](デフォルトは[無効]です)
- [アカウントिंग ファイルの送信]：有効な電子メールアドレス
- [アカウントिंग ファイルの送信頻度]：日数(1 ~ 60)または印刷回数(1 ~ 500)を選択

電子メールサーバが設定されていることも確認する必要があります。[26 ページの電子メールサーバを設定する](#)を参照してください。


電子メール通知をオン/オフにする

電子メール通知をプリンタから受信するには、電子メールサーバを設定する必要があります([26 ページの電子メールサーバを設定する](#)を参照)。

通知サービスは常にオンになっていますが、特定の通知はすべてデフォルトでオフになっています。特定の通知をオンまたはオフにするには、内蔵 Web サーバの[セットアップ]タブから、[通知]を選択します。

プリンタへのアクセスを制御する


フロントパネルのセキュリティ設定

フロントパネルで、 をタップし、**[セキュリティ]** をタップすると、プリンタの一部の機能を制御できます。

- **[USB ドライブ]** : USB フラッシュドライブの使用を有効または無効にします。
- **[USB からのファームウェアアップデート]** : USB フラッシュドライブからのファームウェアのアップデートを有効または無効にします。
- **[HP Connected Center 接続の有効化]**。
- **[ユーザセッション]** : 1分、3分、または5分後の自動ログアウトを有効または無効にします。
- **[EWS]** : 内蔵 Web サーバを有効または無効にします。
- **[プリンタのアクセスコントロール]** : 管理者パスワードの有効化、無効化、または変更を行います。
- **[印刷と Web サービスの管理]** : HP Utility、HP SmartStream、SDK for RIP などの印刷および管理ツールで使用する Web サービスを有効または無効にします。
- **[リモート制御 Web サービスのスキャン](MFP のみ)** : サーバをリモートで制御するために使用する Web サービスを有効または無効にします。

管理者パスワードが設定されている場合は、以下の操作の実行権限が付与されている必要があります。


- セキュリティ設定を変更する(管理者パスワード自体を含む)
- インターネット接続の設定を変更する
- 自動ファームウェアアップデートの設定を変更する
- 自動ファームウェアアップデートの自動的なダウンロードまたはインストールを有効または無効にする
- 以前のファームウェアバージョンに戻す
- 出荷時デフォルトへのリセット


 **注記** : 管理者パスワードは、フロントパネルのオンスクリーンキーボードに存在する文字のみを使用できます。内蔵 Web サーバで新しいパスワードを設定する場合、その制限された文字セットに存在しない文字は拒否されます。

内蔵 Web サーバのセキュリティ設定

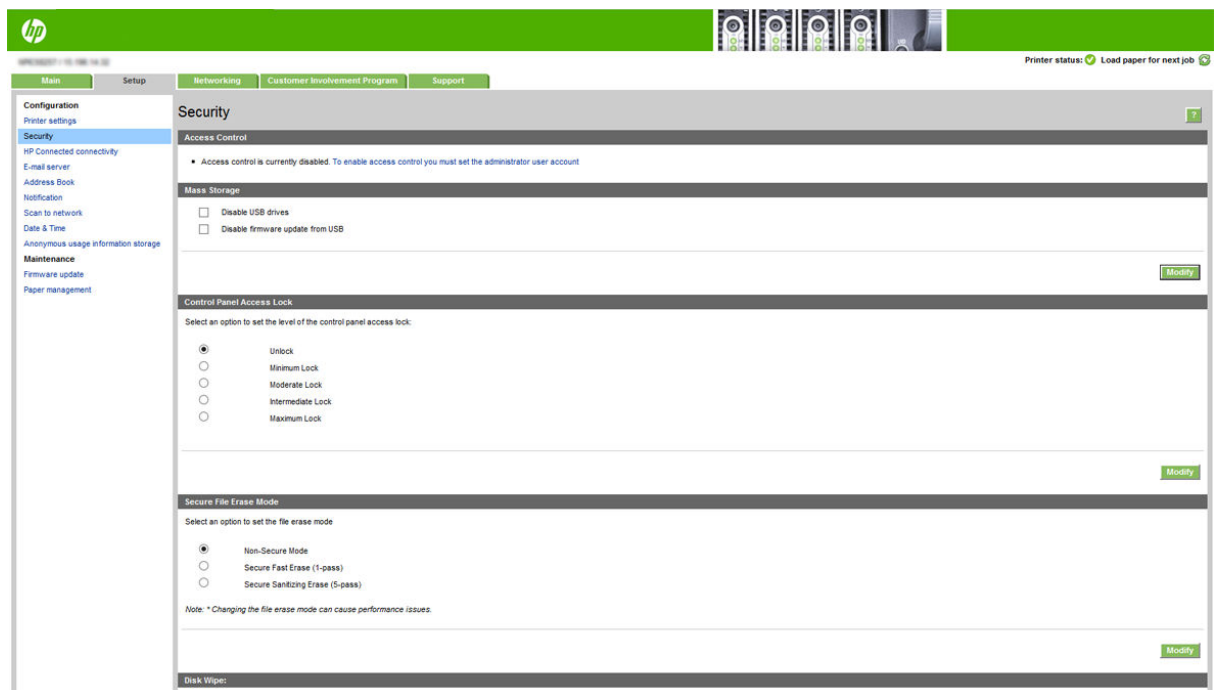
内蔵 Web サーバから、**[セットアップ]**タブをクリックし、**[セキュリティ]**をクリックしてセキュリティ設定を変更することができます。

- 管理者とゲストに別個のパスワードを指定して、内蔵 Web サーバへのアクセスを制御する
- ハードディスクの一部またはすべてのファイルを安全に消去する
- フロントパネル操作のさまざまなグループを有効または無効にする
- フロントパネルと同じセキュリティ設定を使用する(上記を参照)

 **注記**：管理者パスワードが必要な場合があります。

 **注記**：詳細については、内蔵 Web サーバのオンライン ヘルプを参照してください。

内蔵 Web サーバで、プリンタのフロントパネルへのアクセスを制御するには、**[セットアップ]**タブに移動し、**[セキュリティ]**をクリックします。



使用できるオプションは以下のとおりです。

- **[ロック解除]**：フロントパネルへのアクセスが制限されません。
- **[ロック(最小限)]**：フロントパネルへのアクセスが制限されません。
- **[ロック(低)]**：[ロック(最小限)]に加えて、すべてのプリンタ設定、ジョブキュー、情報およびサービス印刷、プリンタログへのアクセスが拒否されます。
- **[ロック(中)]**：[ロック(低)]の制限に加えて、用紙、インクサプライ、メンテナンスオプション、デモ印刷へのアクセスが拒否されます。ユーザーは、プリンタおよびサプライ品情報のみを表示することができます。
- **[ロック(最大限)]**：すべてのフロントパネルオプションへのアクセスが拒否されます。ステータスアプリケーションに詳細情報は表示されません。

オプションが制限されると、ロックされ、パドロックアイコンが表示されます。

内蔵 Web サーバのアクセスコントロール

内蔵 Web サーバから、**[セットアップ]**タブをクリックし、**[アクセスコントロール]**をクリックするとアクセスコントロール設定を変更をすることができます。

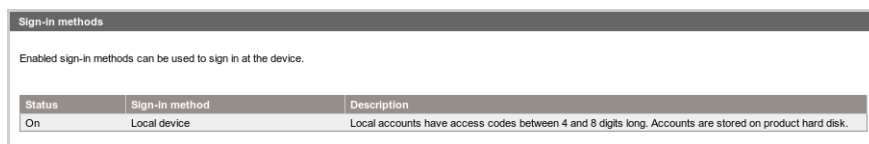
これらのアクセスコントロール設定を使用するには、フロントパネルへのアクセスを制限しないようにセキュリティ設定(**[ロック解除]**)を行う必要があります。[30 ページの内蔵 Web サーバのセキュリティ設定](#)を参照してください。

アクセスコントロールのカテゴリ

- **[サインイン方法]**：プリンタへのサインインに使用できる方法を管理します。
- **[デバイスユーザー アカウント]**：プリンタのユーザー アカウントを作成、編集、削除します。
- **[サインインおよび権限ポリシー]**：特定タスクに対するサインイン要件を管理し、活動のタイプ別にユーザー アクセスを制限します。

サインイン方法

現在唯一可能なサインイン方法は**[ローカル デバイス]**です。これはプリンタのハードディスクに保存されているアクセスコードが4~8桁の長さのローカルアカウントを指します。



Status	Sign-in method	Description
On	Local device	Local accounts have access codes between 4 and 8 digits long. Accounts are stored on product hard disk.

デバイスユーザー アカウント

4つの操作を選択できます。

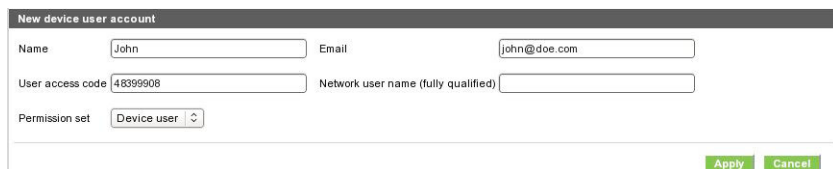
- **[新規]**：新しいユーザー アカウントを追加します。
- **[編集]**：選択したユーザー アカウントを編集します。
- **[削除]**：選択したユーザー アカウントを削除します。
- **[すべて削除]**：すべてのユーザー アカウントを削除します。



Name	Email	User access code	Network user name (fully qualified)	Permission set
------	-------	------------------	-------------------------------------	----------------

New Edit Delete Delete all

[新規]をクリックすると次のウィンドウが表示され、ここに少なくとも名前と電子メールアドレスを指定する必要があります。



New device user account

Name: John Email: john@doe.com

User access code: 48399908 Network user name (fully qualified):

Permission set: Device user

Apply Cancel

ユーザー アクセスコードと権限セットは、次のように変更することができます。

- 管理者ユーザー：管理者ユーザーにはすべてのアクセス権限が付与されており、これを編集することはできません。
- デバイスユーザー：デバイスユーザーには一部のアクセス権限が付与されており、アクセスコントロールページで編集することができます。
- ゲストユーザー：ゲストユーザーには一部のアクセス権限が付与されており、アクセスコントロールページで編集することができます。

[適用]をクリックして新規ユーザーを追加すると、次のように同ユーザーが表示されます。

<input type="checkbox"/>	Name	Email	User access code	Network user name (fully qualified)	Permission set
<input type="checkbox"/>	John	john@doe.com	48399908	--	Device user

サインインおよび権限ポリシー

デバイスユーザーとゲストユーザーの権限はここで変更でき、[適用]をクリックして適用します。

Main Setup **Networking** Customer Involvement Program Support

Configuration

- Printer settings
- Security
- Access Control**
- HP ePrint connectivity
- Email server
- Address Book
- Notification
- Scan to network
- Date & Time
- Anonymous usage information storage
- Maintenance**
- Firmware update
- Paper management

Access Control

Sign-in methods

Enabled sign-in methods can be used to sign in at the device.

Status	Sign-in method	Description
On	Local device	Local accounts have access codes between 4 and 8 digits long. Accounts are stored on product hard disk.

Device user accounts

When using device user accounts, people will sign in at the device using an access code. A permission set is assigned to each account.


<input type="checkbox"/>	Name	Email	User access code	Network user name (fully qualified)	Permission set
<input type="checkbox"/>	John	john@doe.com	48399908	--	Device user


Sign-in and Permissions Policies


You can set sign-in requirements for specific tasks, and restrict access by users who have not signed in ("Guests") to specific features. Permissions can be applied to local user accounts stored on the printer.

Feature	Administrator	Guest	User
Administration			
Firmware update	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Settings	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
View network status	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Modify network configuration	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Optimize printing quality	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Prepare printer for restipment	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Restore factory settings	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Copy			
Print			
Print in color	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Print from USB	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Ink			
Manage ink system (settings)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Paper			
Paper source settings	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Scan			
Scan to email	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Scan to network folder	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Save to USB drive	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Job queue			
Manage job queue	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

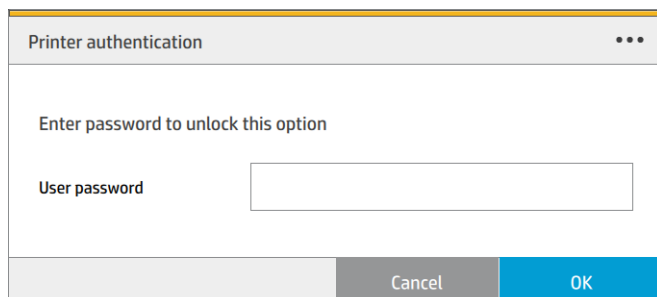
Access Granted
 Require Sign In
 Full Access
 Access Denied

 **注記：**一部の機能を使用するには、上位の機能を使えることが必要になります。たとえば、[USBからの印刷]には、[印刷]が必要になります。

 **注記：**すべてのユーザーには少なくともゲストの権限が与えられています。

 **注記**：この場合の[ファームウェアのアップデート]機能は、ファームウェアの自動アップデートを意味します。USB フラッシュドライブからのファームウェアのアップデートをブロックするには、このための設定を使用する必要があります。この設定はすべてのユーザーに影響を及ぼします。

ユーザーがブロックされている機能を初めて使用しようとした時には、次のウィンドウが表示されるため、ここに適切なパスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを指定するには、右上にある3つのドットをクリックします。



アカウント ID を要求する

ユーザアカウント別にプリンタの使用状況を記録したい場合、それぞれのジョブに対してアカウント ID を要求するようにプリンタを設定することができます。

- HP DesignJet Utility (Windows)の場合：[管理者]タブから、[プリンタ設定] > [アカウントティング] > [アカウント ID の要求]をクリックします。
- HP Utility (Mac OS X)の場合：[プリンタ設定] > [アカウントティング] > [アカウント ID の要求]をクリックします。

この設定をオンにした場合、アカウント ID フィールドの入力が必須になります。アカウント ID のないジョブは、アカウントティング保留状態になります。

ジョブの送信時にアカウント ID をプリンタ ドライバに設定することができます。プリンタ側でジョブがアカウントティング保留状態に設定されている場合、内蔵 Web サーバ、HP DesignJet Utility、HP Utility、またはフロントパネルでジョブキューに移動して保留状態のジョブをクリックして、アカウント ID を通知することができます。ウィンドウに表示されるテキスト ボックスに、アカウント ID を入力することができます。

ドライバ

このプリンタには、さまざまなドライバがあり、最適なドライバはお使いの環境によって異なります。

- オペレーティング システム
- 印刷に使用するアプリケーションの種類
- 所有するプリンタの数
- 所有する出力アクセサリ

必要に応じて、1つ以上のドライバをインストールしてください。

最新のドライバソフトウェアは、<http://www.hp.com/go/pagewidexlseries/support/drivers/>からダウンロードできます。

特定の Windows ドライバ

		HP-GL/2	PCL3GUI v4	PostScript	PostScript v4	PDF v4
Application	CAD, GIS, office applications	Recommended	Recommended			
	Applications requiring accurate color			Recommended	Recommended	
	Adobe Acrobat or Adobe InDesign					Recommended
System	Windows 7		n/a		n/a	n/a
	Windows 8 or later					
	Desktop					
	Modern app	n/a		n/a		

一般的な Windows ドライバ

多数の HP DesignJet プリンタおよび PageWide XL プリンタがある場合、ユニバーサル Windows ドライバを推奨します。これにより、インストールとキューの管理が容易になります。ドライバには HP-GL/2 と PostScript のオプションがあります。

ユニバーサル Windows ドライバの設定ツール

ユニバーサル Windows ドライバの設定ツールは VDF ファイルの作成ユーティリティです。これによりデフォルト設定を変更したり、一部の設定をロックして他の人が変更できないようにすることで、DesignJet と PageWide XL のユニバーサルプリンタドライバ(UPD)をパーソナライズすることができます。このツールは IT 管理者向けで、異なるユーザ役割に対して、色、回転、およびドライバの品質オプションを設定したりロックすることができます。

ツールをインストールするには、<http://www.hp.com/go/pagewidexlseries/support/> にアクセスします。画面で指示された場合は、リストから該当のプリンタをクリックします。

「ソフトウェアとドライバ」のセクションで、**[ソフトウェア]>[ユーティリティ]>[UPD 設定ツール]>[ダウンロード]**の順にクリックします。ツールのインストール方法および使用方法の詳細については、<https://support.hp.com/us-en/document/c05658213> を参照してください。

Mac OS ドライバ

ラスタ ドライバ

- 特に Mac OS X 10.8、10.9、10.10 に対応
- CAD、GIS、および Office アプリケーションに最適

PostScript 3 ドライバ

- 特に Mac OS X 10.8、10.9、10.10 に対応
- 正確な色が必要なアプリケーションに最適

また <http://www.hp.com/go/pagewidexlseries/support/drivers/> 以外に、Apple Software アップデートから Mac OS ドライバを入手することもできます。

Windows ドライバの環境設定を設定する

必要に応じてプリンタ ドライバでデフォルトの設定を変更できます。例えば、カラー エミュレーションや用紙の節約に関するオプションなどです。これを行うには、コンピュータの画面の[スタート]ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター]をクリックします。[デバイスとプリンター]ウィンドウで、お使いのプリンタのアイコンを右クリックし、[印刷設定]をクリックします。[印刷設定]ウィンドウで変更した設定は、現在のユーザのデフォルト値として保存されます。

システムのすべてのユーザのデフォルト値を設定するには、プリンタのアイコンを右クリックし、[プリンタのプロパティ]をクリックし、[詳細設定]タブに移動し、[標準の設定]をクリックします。標準の設定で変更した設定は、すべてのユーザに対して保存されます。

ユーザ補助機能

フロントパネル

必要に応じて、フロントパネルの表示の明るさやスピーカの音量を変更できます([12 ページのシステム オプションを変更する](#)を参照)。

内蔵 Web サーバ

フロントパネルを使用しなくても、内蔵 Web サーバからプリンタのステータスを確認したり、その他の操作を実行できます。

内蔵 Web サーバのユーザ補助機能の詳細については、[サポート] > [情報の参照] > [ユーザ補助機能]を参照してください。

Accessibility Features Close window

Note: if you are using a screen reader, you may wish to turn off the periodic printer status updates. You can do this by changing the Refresh rate option on the Printer settings page to 'No refresh'.

This site complies with main Web Content Accessibility Guidelines. A text equivalent is provided for every non-text element. Form controls are properly grouped and labeled. Row and column headers in data tables are identified and associated with the corresponding table cells. Important user interface items have shortcut keys to enable quick access, shown below:

List of area access keys		List of buttons access keys		
Area	Access Key	Button	Description	Access Key
Go to main tabs area	1	Submit data	Any button sending data to the printer (Print, Apply, Update,...)	S
Go to left menu items area	2	Reset data	Cancel button, revert form changes	R
Go to content area	3	Generic help	Get support page	H
		Supplies ordering	Order supplies to HP	O

List of browsers supporting previous access keys		
Browser	AccessKey Combination for area access keys	AccessKey Combination for buttons access keys
Internet Explorer 7 and above	ALT + AccessKey, TAB to activate first item in the area	ALT + AccessKey
Mozilla Firefox 3.6 and above	ALT + AccessKey, TAB to activate first item in the area	ALT + AccessKey
Google Chrome 7 and above	ALT + AccessKey, TAB to activate first item in the area	ALT + AccessKey
Safari 3 and above	ALT + AccessKey, TAB to activate first item in the area	ALT + AccessKey

HP ユーザ補助機能の詳細については、www.hp.com/hpinfo/abouthp/accessibility/を参照してください。ここでは、HP ユーザ補助機能プログラムに関する情報や、障害を抱えるお客様を対象とした製品およびサービスに関する HP の取り組みについて紹介しています。

その他の情報源

以下のドキュメントは、<http://www.hp.com/go/pagewidexlseries/support/manuals/>からダウンロードできます。

- 基本情報
- ユーザーズガイド
- 法律に関する情報
- 限定保証

このガイドの一部に含まれるクイックレスポンス(QR)コード画像は、特定のトピックに関する追加ビデオ説明へのリンクを提供しています。

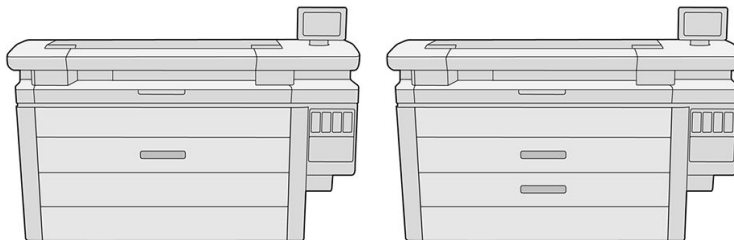
2 用紙の取り扱い

- [一般的な情報およびヒント](#)
- [サポートされている用紙の種類](#)
- [用紙ステータス](#)
- [用紙を取り付ける](#)
- [用紙を取り外す](#)
- [用紙オプション](#)
- [用紙を保管する](#)
- [用紙を取り付けられない](#)
- [保護する用紙の種類](#)
- [紙詰まり](#)

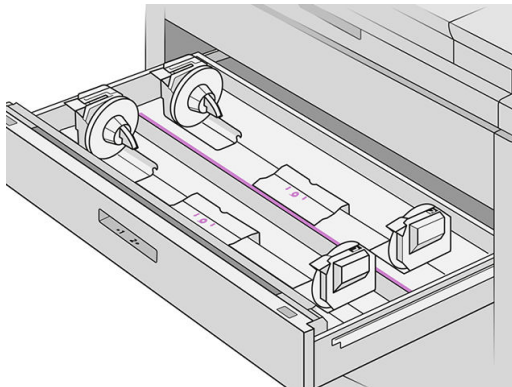
一般的な情報およびヒント

- すべての用紙の幅は 279 mm から 1016 mm の間で、ロール紙のコア径は 76 mm でなければなりません。
- フォト用紙を取り扱う場合は、用紙に油が付着しないように、綿製の手袋を着用します。
- 各引き出しには 2 本のロール紙(前と後)を取り付けることができます。

お使いのプリンタでは 1 つまたは 2 つの引き出しを使用できます。2 つ目の引き出しはアクセサリとしてご購入いただけます。ロール紙の位置は、上段の引き出しには 1 と 2、下段の引き出しには 3 と 4 という番号が付いています。



ロール紙の番号は、各引き出しの前面とロール紙のハブに表示されます。



- 各引き出しにステータスを示すランプが付いています。

ロール紙用引き出しのランプのアイコン

- オフ：ロールには用紙が取り付けられているか、またはロールがありません。





- オン(黄色)：ロールの用紙がなくなりました。



- オン(赤色) : ロールに用紙がありません。



引き出しのロックランプ

-  オフ : 引き出しを開けることができます。
 -  オン : 引き出しを開けないでください。用紙が動いているため、紙詰まりが発生することがあります。
- 適切な設定を使用すると、用紙を節約できます。
 - プリンタは自動的にロール紙の残りの長さを推定します。

サポートされている用紙の種類

お使いのプリンタでは、以下の種類の用紙を使用できます。

サポートされている HP 用紙

商品名	幅	長さ	製品番号
普通紙			
HP スタンダードボンド紙、3 インチ コア	420 mm (16.5 インチ)	152 m (500 フィート)	K6B85A
	457 mm (18 インチ)	152 m (500 フィート)	M2N04A
	594 mm (23.4 インチ)	152 m (500 フィート)	K6B86A
	610 mm (24 インチ)	152 m (500 フィート)	K6B88A
	762 mm (30 インチ)	152 m (500 フィート)	M2N05A
	841 mm (33.1 インチ)	152 m (500 フィート)	K6B87A
	914 mm (36 インチ)	152 m (500 フィート)	L4L08A
	914 mm (36 インチ)	175 m (575 フィート)	M2N06A
HP インクジェット用上質普通紙、3 インチ コア	420 mm (16.5 インチ)	152 m (500 フィート)	L4Z41A
	594 mm (23.4 インチ)	152 m (500 フィート)	L4Z42A
	610 mm (24 インチ)	152 m (500 フィート)	L4Z44A

商品名	幅	長さ	製品番号
	841 mm (33.1 インチ)	152 m (500 フィート)	L4Z43A
	914 mm (36 インチ)	152 m (500 フィート)	L4Z45A
HP プレミアムボンド紙、3 インチ コア	610 mm (24 インチ)	91m (300 フィート)	L6B12A
	841 mm (33.1 インチ)	91m (300 フィート)	L6B11A
	914 mm (36 インチ)	91m (300 フィート)	L6B13A
	1016 mm (40 インチ)	91m (300 フィート)	L6B14A
コート紙			
HP スタンダード厚手コート紙、3 インチ コア	841 mm (33.1 インチ)	91m (300 フィート)	L5C79A
	914 mm (36 インチ)	91m (300 フィート)	L5C80A
	1016 mm (40 インチ)	91m (300 フィート)	L5C81A
ポスター紙			
HP プロダクションマットポスター紙、3 インチ コア	610 mm (24 インチ)	46 m (150 フィート)	N2V71A
	610 mm (24 インチ)	91m (300 フィート)	L5P96A
	914 mm (36 インチ)	46 m (150 フィート)	N2V72A
	914 mm (36 インチ)	91m (300 フィート)	L5P97A
	1016 mm (40 インチ)	46 m (150 フィート)	N2V73A
	1016 mm (40 インチ)	91m (300 フィート)	L5P98A
HP プロダクション半光沢ポスター紙、3 インチ コア	610 mm (24 インチ)	46 m (150 フィート)	N2V75A
	610 mm (24 インチ)	91m (300 フィート)	L5Q01A
	914 mm (36 インチ)	46 m (150 フィート)	N2V76A
	914 mm (36 インチ)	91m (300 フィート)	L5Q02A
	1016 mm (40 インチ)	46 m (150 フィート)	N2V77A
	1016 mm (40 インチ)	91m (300 フィート)	L5Q03A

商品名	幅	長さ	製品番号
HP 光沢ポスター紙、3 インチ コア	1016 mm (40 インチ)	61 m (200 フィート)	L5Q08A
バナー			
HP ポリプロピレンマット紙、3 インチ コア	1016 mm (40 インチ)	46 m (150 フィート)	L6B19A

その他のサポートされている用紙の種類

普通紙

- 普通紙 <90 g/m²
- 普通紙 90 ~ 110g/m²
- 普通紙 <110 g/m²
- 再生紙
- カラー紙

テクニカル紙

- ベラム紙
- 半透明ボンド紙

コート紙

- コート紙 90 ~ 100 g/m²
- 厚手コート紙

ポスター紙

- マットポスター紙
- 半光沢ポスター紙
- 光沢ポスター紙
- 半光沢フォト用紙
- 裏面青紙

バナーおよび看板

- ポリプロピレン
- Tyvek 135 g/m²

ブループリント

- ブループリント

用紙ステータス

給紙方法には、お使いのプリンタの引き出しと、各ロールに対する以下のステータスメッセージのいずれかが表示されます。

- 用紙が残りわずか
- 用紙がありません
- 用紙が取り付けられていません
- キャリブレーションの保留
- 保留を確認
- 正しく取り付けられていません
- 取り付けが正常に行われていません
- 使用可能です
- エラー

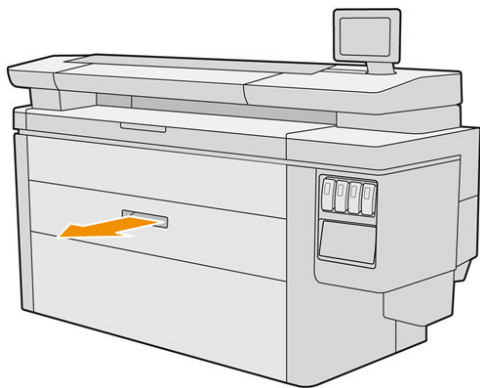
用紙を取り付ける



1. 用紙のアプリケーションを起動し、用紙のメニューにアクセスして、**[取り付け]**をタップします。

※ **ヒント:** プリンタが印刷していなかったり、引き出しのロックランプが消灯している場合は、この手順を省略することができます。

2. 引き出しを開きます。



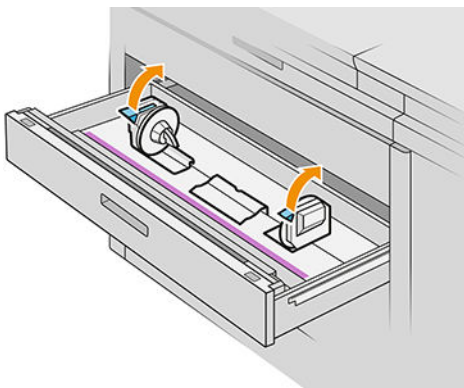
⚠ **警告!** 引き出しの上に立たないでください。プリンタが倒れる可能性があります。

⚠ **注意:** MFPのみ：スキャナの上にロール紙を置かないでください。

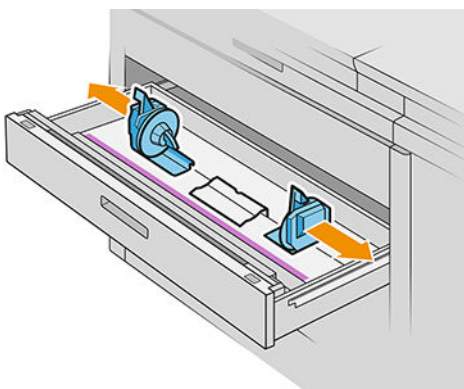
💡 **ヒント:** 一度に複数のロール紙を取り付けることができます。

ヒント: 重いロール紙は上段の引き出しに取り付けます。最大 18 kg の重さがあります。

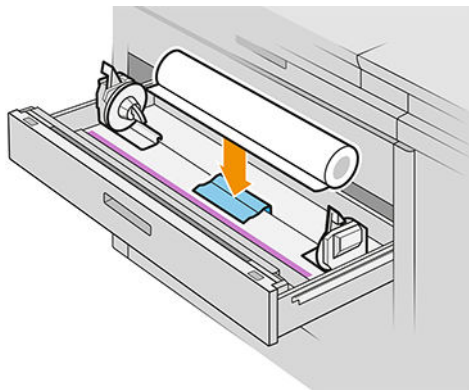
3. 左側と右側のハブにあるロックレバーを起こします。



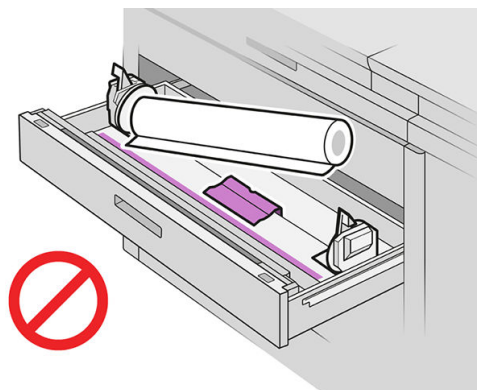
4. ハブ(リンクしています)を端に移動し、ロール紙のためにスペースを開けます。



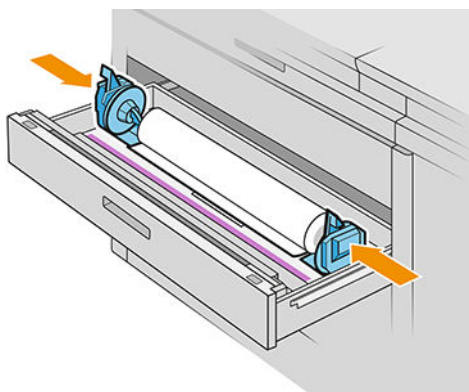
5. 図のように用紙の端をハブに合わせて、ロール紙を引き出しのハブの間に取り付けます。



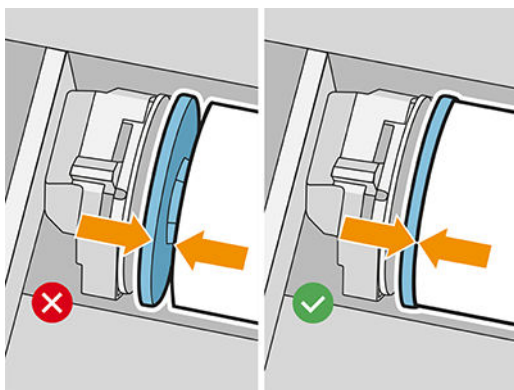
図のようにロール紙を斜めに取り付けしないでください。



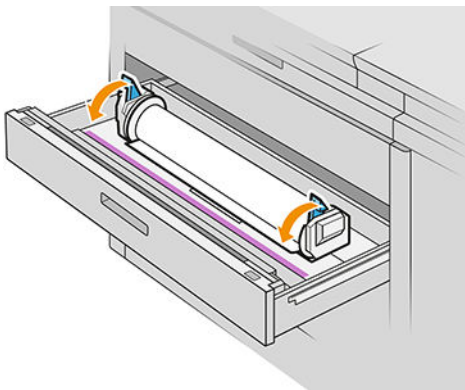
6. ハブを中央に向かって押し、ロール紙に取り付けます。



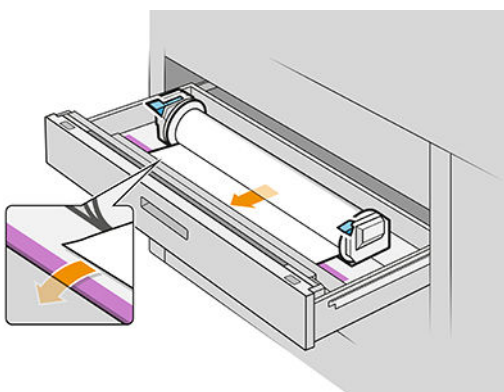
7. ロール紙の両側にハブがしっかりと収まっていることを確認します。



8. **重要**：左側と右側のハブにあるロックレバーを倒します。



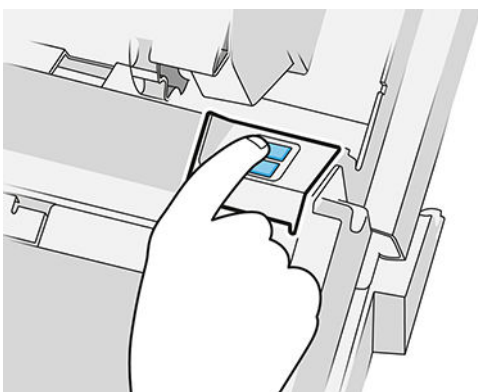
9. 適切なスロットに用紙を挿入します。前部のスロットは前部の用紙、後部のスロットは後部の用紙のためです。



✧ **ヒント**：後部のロール紙は、自動給紙が行われるために、余分に巻き込む必要があります。自動的に用紙送りが行われるまで、用紙を挿入してください。

10. ブザーがなるまでロールを挿入します。
11. 用紙の端がまっすぐに揃っていない場合は、該当するボタンで用紙をカットすることができます（引き出しのロールごとにボタンがあります）。

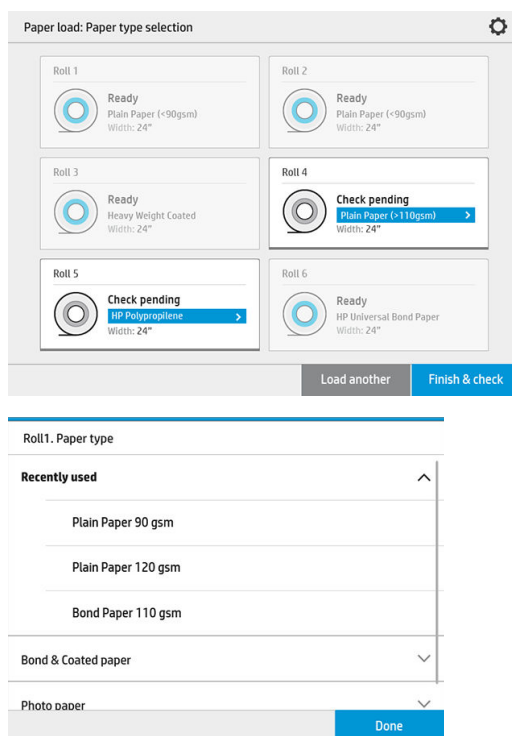
ボタンを押すと、用紙が送られます。ボタンを放すと、用紙がカットされます。




カットした端を忘れずに取り出してください。

12. ロール紙の取り付けを終了したら、引き出しを閉じます。

13. フロントパネルで用紙の種類を選択します。フロントパネルは最後にこの位置に取り付けられていた用紙の種類を記憶しています。

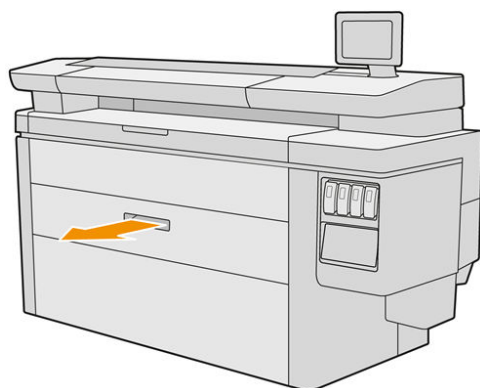



14. 準備ができたら、**[完了と確認]**をタップします。取り付けられている用紙の位置、幅、長さがプリンタにより確認されます。メイン画面に幅と長が表示されます。

 **注記**：用紙の種類を選択しないと、フロントパネルはしばらく待機状態になり、その後自動的に**[完了と確認]**が実行されます。

用紙を取り外す

1. プリンタが印刷していないこと、引き出しのロックランプが消灯していることを確認します。
2. 引き出しを開きます。




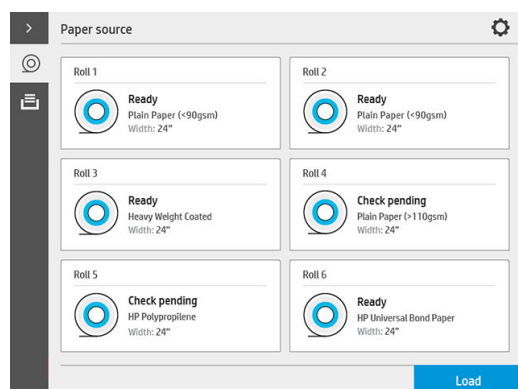
 **警告**！引き出しの上に立たないでください。プリンタが倒れる可能性があります。

3. 給紙スロットの用紙を外します。
4. 左側と右側のハブにあるロックレバーを起こします。

5. ハブを端に移動し、ロール紙を外します。
6. ロール紙(コアだけが残っている場合はコア)を取り外します。
7. 左側と右側のハブにあるロックレバーを倒します。
8. 引き出しを閉じます。

用紙オプション

用紙オプションを表示するには、 をタップします。



使用できるオプションは以下のとおりです。

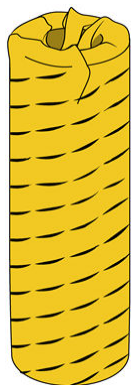
- 種類の変更：取り付ける用紙の種類を変更できます。
- 保護する用紙の種類：誤って印刷することを防ぐために、選択した用紙の種類を保護することができます。

用紙を保管する

用紙の品質を保守するには、以下の推奨事項に従ってください。

- 用紙のラベルに示された温度と湿度の範囲で、元のパッケージにロール紙を保管します。
- トレーシングペーパーを湿気の多い環境で保管すると、用紙を取り付けた場合、幅が変動したり、プリンタに詰まる可能性があります。この問題を避けるには、湿気の多い状態で保管する場合、元のパッケージを使って用紙を保管します。低温および低湿度の環境(15°Cで80%の相対湿度など)では、プリンタから取り外します。用紙が湿度によって影響を受けたと思われる場合は、ロール紙の先端から約8mの長さをカットします。
- ロール紙を別の紙または布で覆って保管します。
- どのような用紙であっても、印刷に使用する24時間前には、包装を外して、使用する環境に用紙を出しておくようにします。

- ロール紙の先端をテープでコアにとめることは、重量のある素材の場合特に重要です。用紙自体の硬さによって用紙が緩み、コアから外れてしまう可能性があるからです。




用紙を取り付けられない

- 選択した引き出しとスロットにロール紙があることを確認します。
- 両方のハブのロックレバーが下がっており、ハブが正しく取り付けられていることを確認します。
- プリンタに用紙を挿入する前に、ハブがロックされていることを確認します。
- 用紙がプリンタに正しく挿入されていることを確認します。
- 用紙がしわがあつたり、曲がっておらず、端がまっすぐになっていることを確認します。
- 引き出しが正しく閉じていることを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られていることを確認します。
- 用紙がコアにしっかりと取り付けられていることを確認します。
- 用紙の仕様に準拠していることを確認します。

★ **ヒント**：後部のロール紙を取り付ける場合は、前部のロール紙よりも多くの用紙(約 40 cm、16 インチ)を手動で挿入する必要があります。


保護する用紙の種類

誤って印刷することを防ぐために、選択した用紙の種類を保護することができます。保護されている用紙の種類は、その用紙の種類が明確にジョブに指定された場合にのみ印刷されます。

用紙の種類を保護するには、用紙のアプリケーションを起動し、保護する用紙の種類に対して[...]をタップして、**[ロール紙の保護]**を選択します。または、をタップし、**[ジョブ管理]** > **[自動ロール紙選択]** > **[保護された用紙の種類]**を選択します。

用紙が保護されていると、用紙名の前に  アイコンが表示されます。

保護されたロール紙に印刷するには、プリンタドライバまたはその他のジョブ送信ソフトウェアからジョブを送信する際に、明確に用紙の種類を選択します。

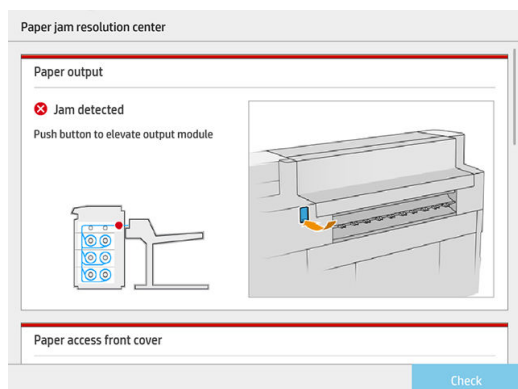
 **注記**：保護された用紙の種類を明確に選択せず、その他の用紙の種類が使用できない場合、用紙切れのメッセージが表示されます。

紙詰まり



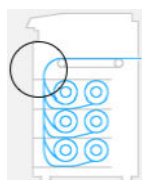
プリンタで紙詰まりが検出されると、自動的に問題の解決が試みられます。問題を解決できないと、プリンタが停止するため、手動で問題を修正する必要があります。

フロントパネルで紙詰まりウィザードが起動し、紙詰まりが発生した場所とその解決方法が表示されます。

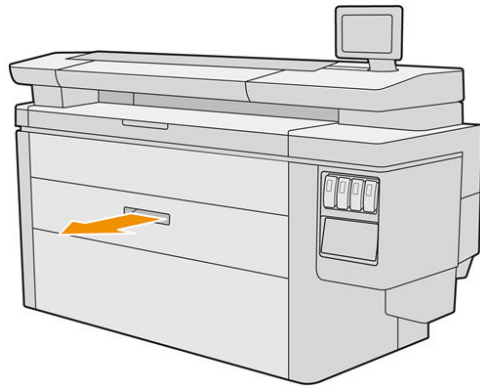


ウィザードの各画面の指示に従って、紙詰まりを取り除いてください。すべての用紙を取り除いたら、**[今すぐチェックする]**をタップして、問題が正常に解決したかどうかを確認します。

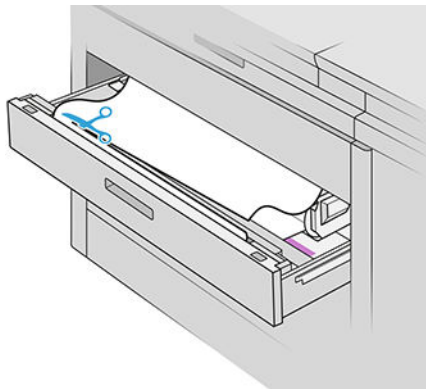
引き出しでの紙詰まり



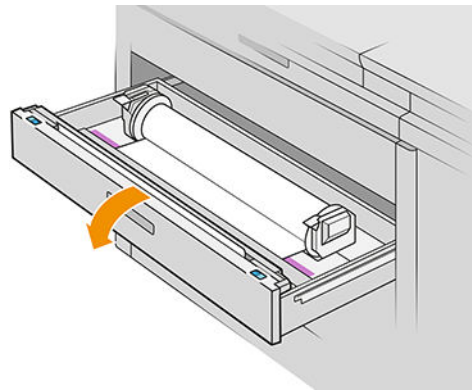
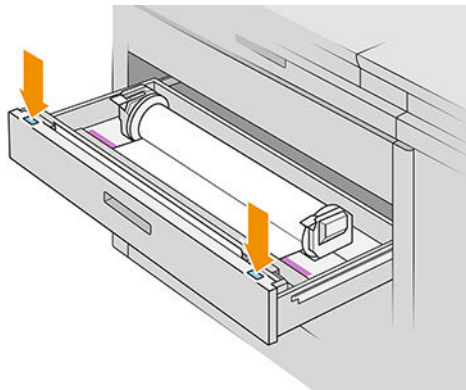
1. 紙詰まりが発生した引き出しを開きます。



- 必要に応じて用紙をカットします。



- 引き出しのフロントカバーを開きます。



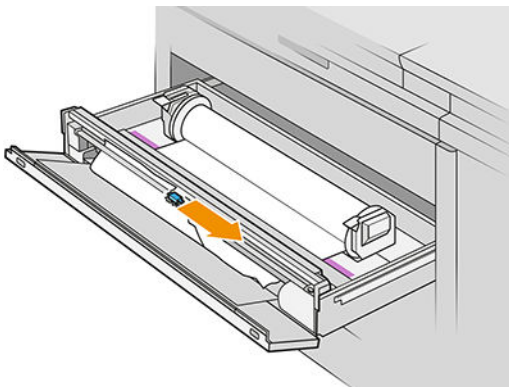
紙詰まりが発生した可能性のある部分は以下のマークで示されます。



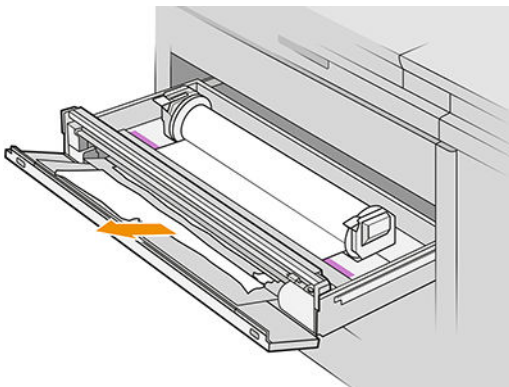
4. カッターを右側に移動します(まだ移動していない場合)。

⚠ 注意 : カッターを移動するときにはけがをしないように注意してください。

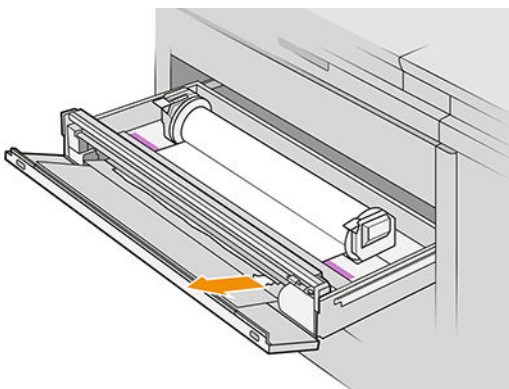
注意 : カッターアセンブリを分解しないでください。保守作業は、資格を有するサービス担当者に依頼してください。



5. 必要に応じて手動で用紙カットして、用紙を取り除きます。

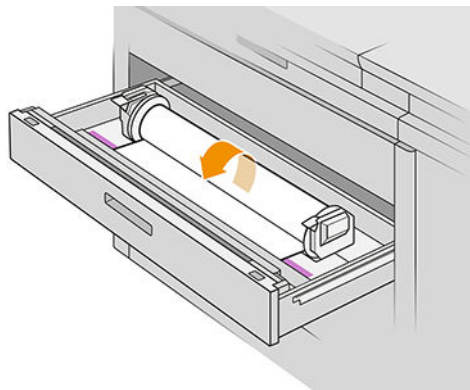


6. 引き出しに用紙の切れ端が残っていないことを確認します。

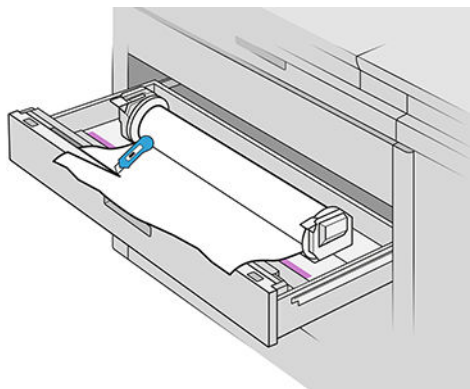


7. 引き出しのフロントカバーを閉じます。

8. 用紙を巻き戻します。

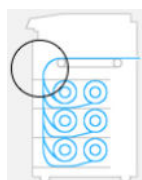


9. 用紙の先端が揃っていない場合は、カットします。



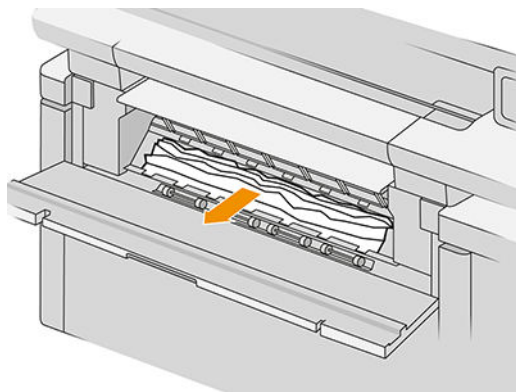
10. もう一度巻き戻し、スロットに用紙を挿入します。
11. 用紙カットボタンを使って、もう一度用紙の端をカットします。
12. 引き出しを閉じます。
13. 用紙の準備が整うまで待ちます。
14. プリンタはジョブを再開し、失われたページを自動的に再印刷します。ただし、ジョブのすべてのページが印刷されたことを自分で確認する必要があります。

用紙アクセスのフロントカバーでの紙詰まり

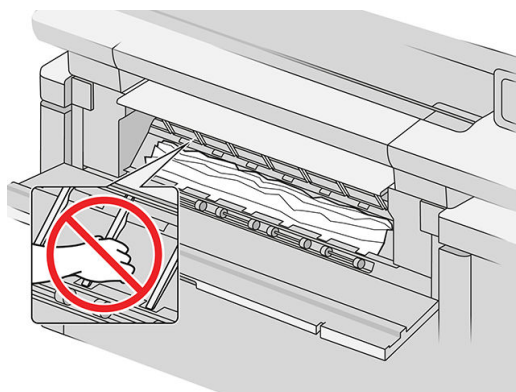


1. フロントカバーを開きます。

2. 用紙を引き出します。



⚠ 注意：用紙だけを引き出し、プリンタの支柱を引き出さないように注意してください。



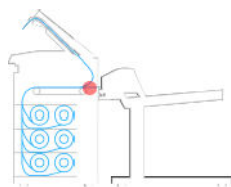
3. 必要に応じて用紙をカットします。

✂ 重要：この目的にはカッターではなく、はさみを使用します。

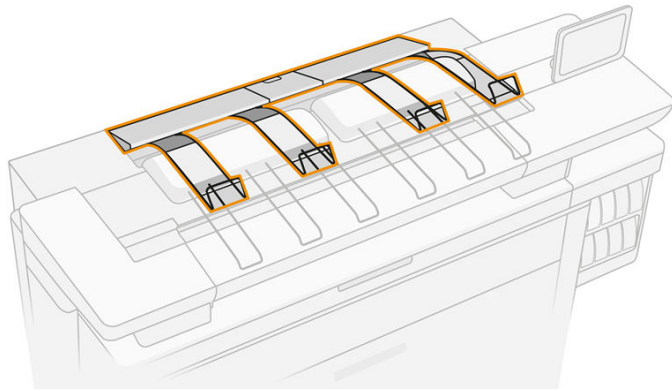


4. 用紙の切れ端が残っていないことを確認します。
5. フロントカバーを閉じます。
6. 用紙の準備が整うまで待ちます。
7. プリンタはジョブを再開し、失われたページを自動的に再印刷します。ただし、ジョブのすべてのページが印刷されたことを自分で確認する必要があります。

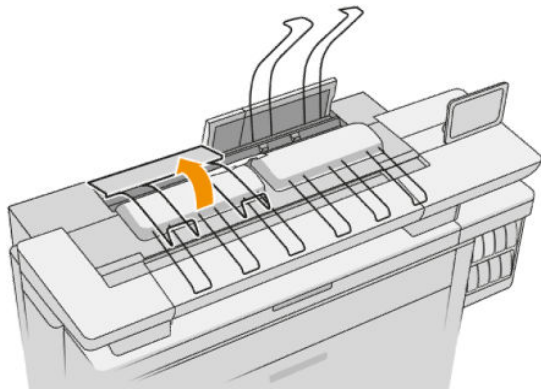
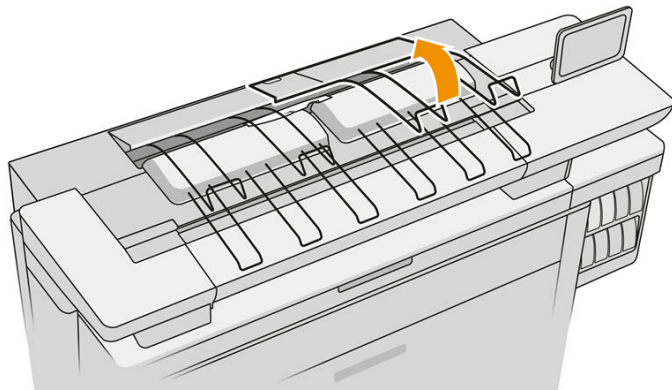
ベルトでの紙詰まり



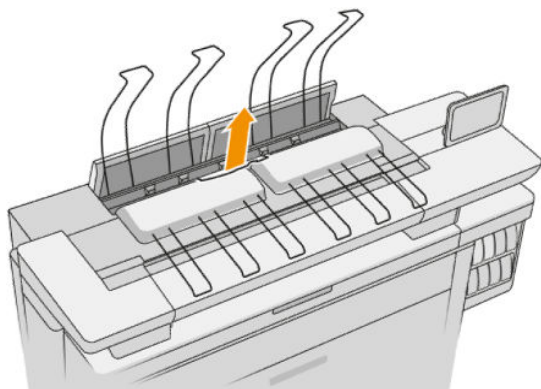
1. トップスタッカカバーの場所を確認します。



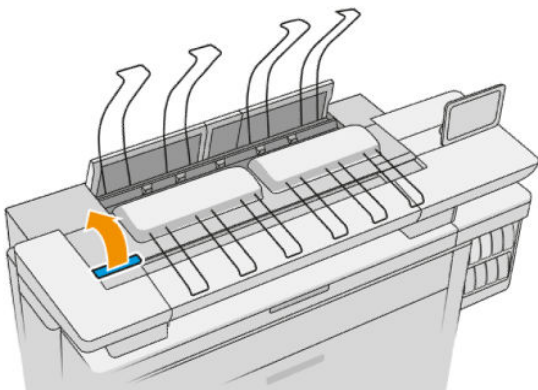
2. トップスタッカカバーを開きます。



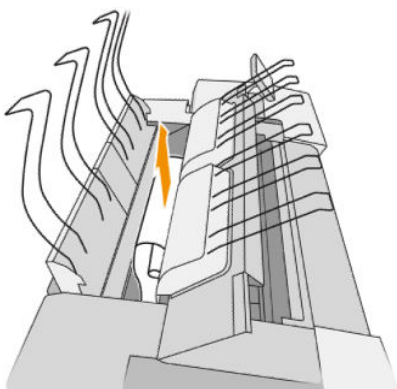
3. トップスタッカを空にします。



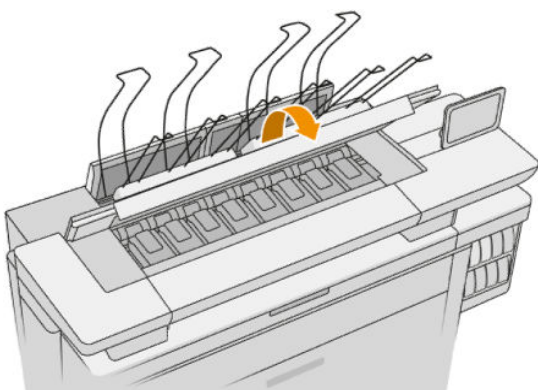
4. 左のハンドルの位置を確認し、これを引っ張ってプリントバーカバーを開きます。



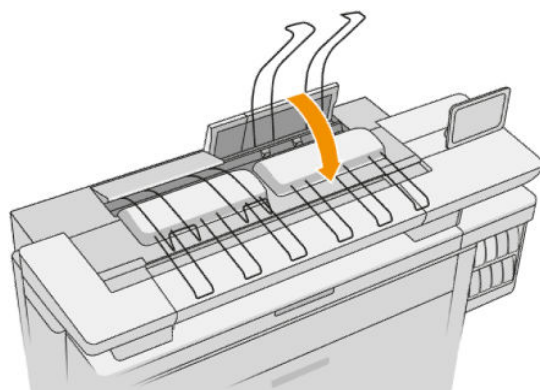
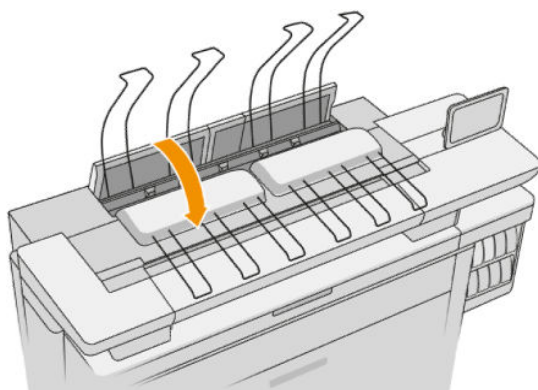
5. ベルト領域から用紙をすべて取り出します。



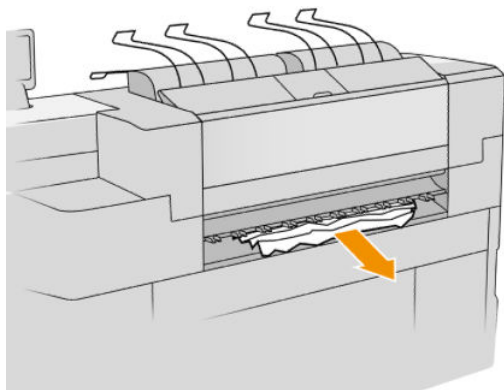
6. プrintバーカバーを閉じます。



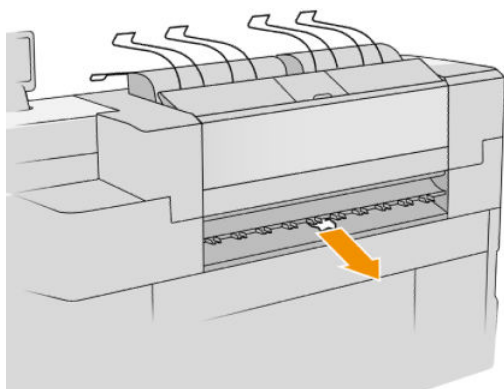
7. トップスタッカカバーを閉じます。



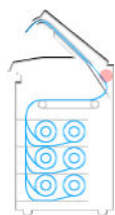
8. プリンタ背後の排出領域に用紙がないことを確認します。ピンチホイールに注意してください。



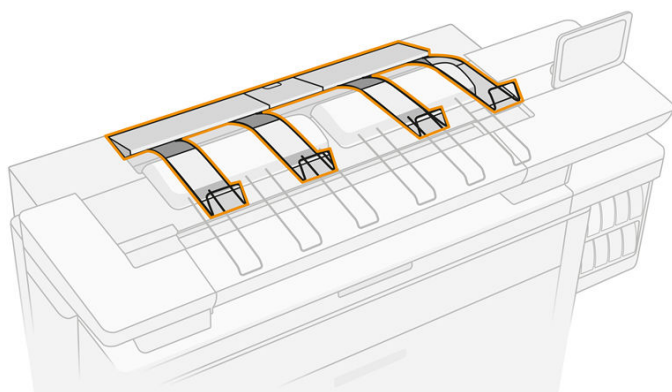
9. プリンタ内に用紙の切れ端が残っていないことを確認します。



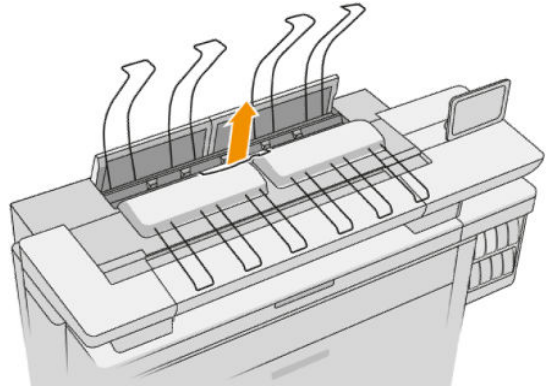
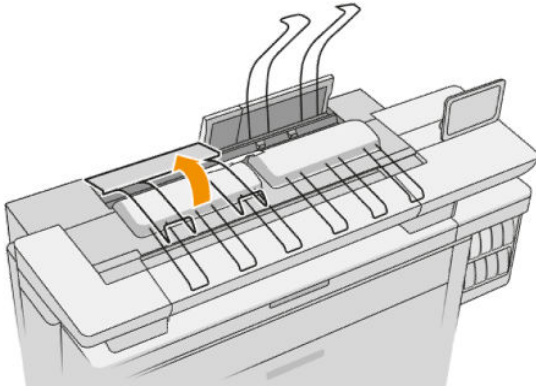
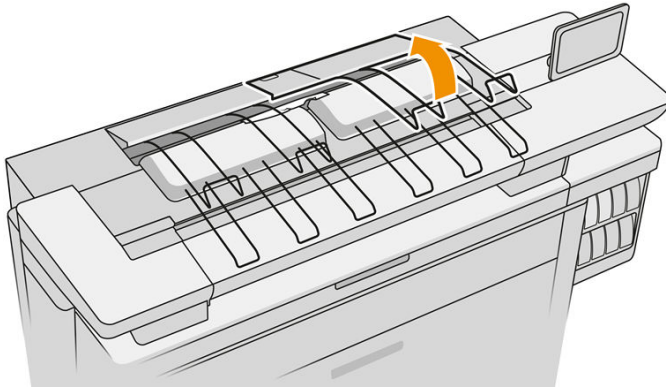
トップスタッカでの紙詰まり



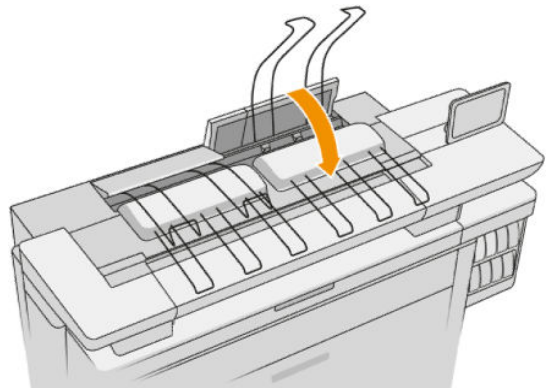
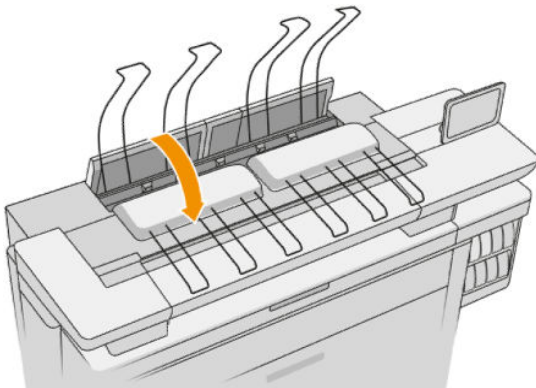
1. トップスタッカカバーの場所を確認します。



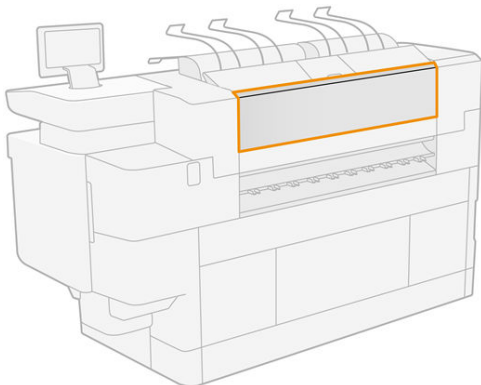
2. トップスタッカカバーを開いて用紙を取り除きます。



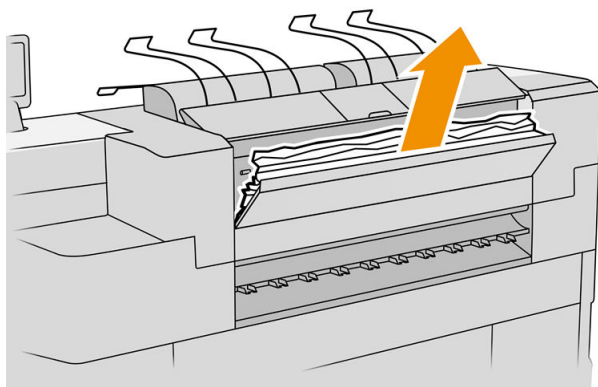
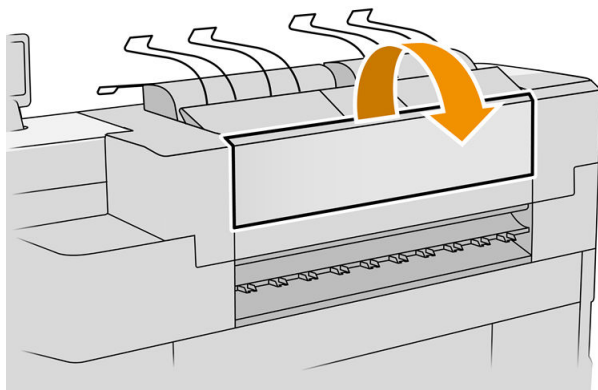
3. トップスタッカカバーを閉じます。



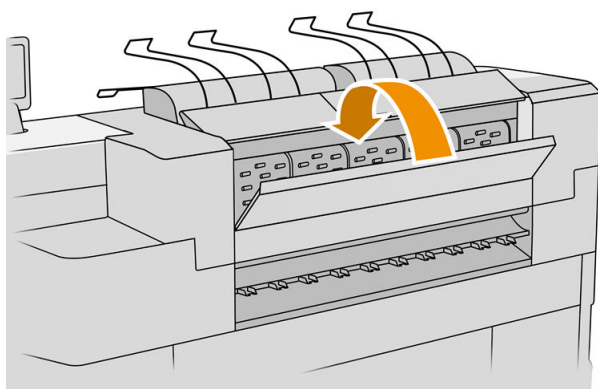
4. トップスタッカのリアカバーの場所を確認します。



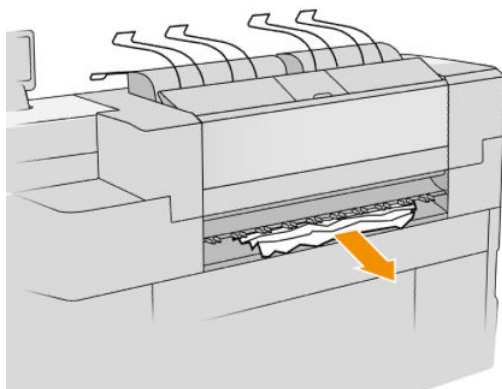
5. トップスタッカのリアカバーを開いて用紙を取り除きます。



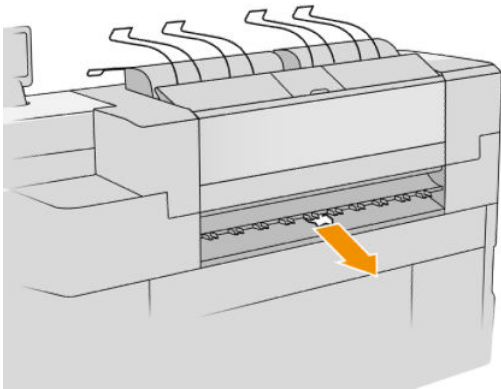
6. トップスタッカのリアカバーを閉じます。



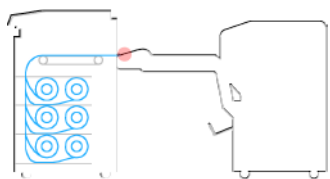
7. 排出領域に用紙がないことを確認します。ピンチホイールに注意してください。



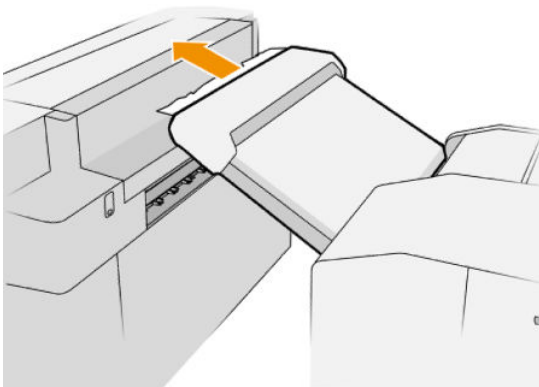
8. プリンタ内に用紙の切れ端が残っていないことを確認します。



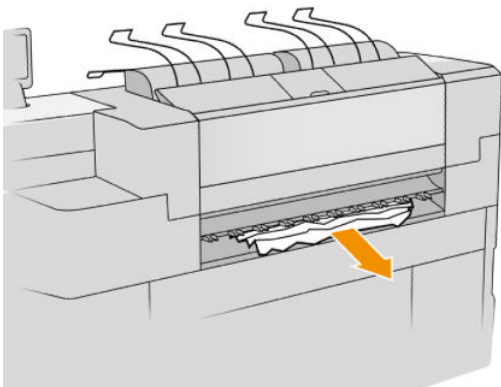
フォルダ入力での紙詰まり(HP F60、HP F70、および HP PageWide XL フォルダ)



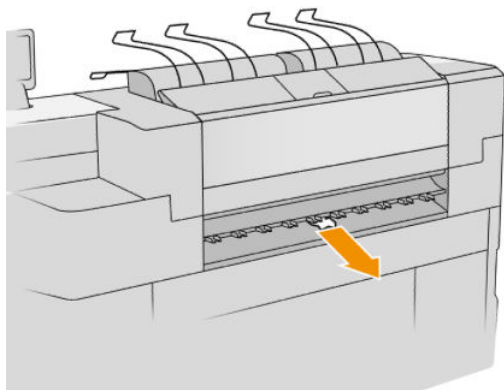
1. フォルダトレイを持ち上げます。
2. トレイから用紙を取り除きます。



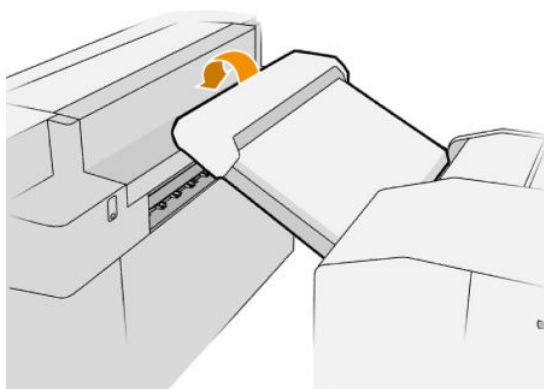
3. プリンタから用紙を引き出します。ピンチホイールに注意してください。



4. プリンタ内に用紙の切れ端が残っていないことを確認します。




5. フォルダトレイを閉じます。

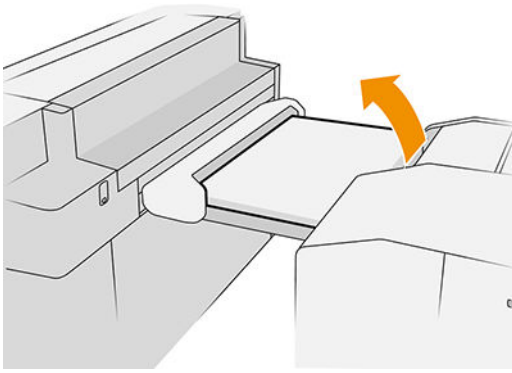


折畳なしトレイでの紙詰まり(HP F60、HP F70、および HP PageWide XL フォルダ)



 **重要:** この操作はサービスエンジニアまたは適切なトレーニングを受けた人が実行する必要があります。

1. トレイのトップカバーを開きます。



2. 必要に応じて、プリンタと折畳デバイス間の用紙をカットします。
3. 用紙を取り除きます。
4. カバーを閉じます。

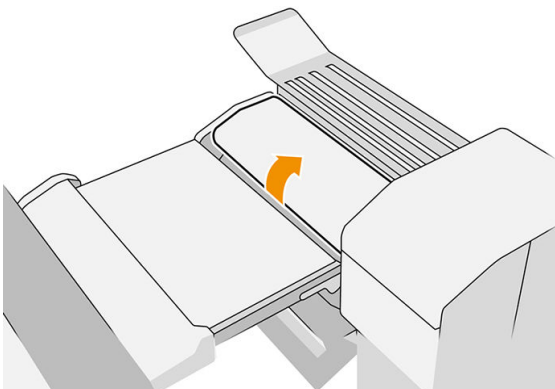
⚠ 注意：手を置く場所に注意します。

5. 用紙の準備が整うまで待ちます。
6. プリンタはジョブを再開し、失われたページを自動的に再印刷します。ただし、ジョブのすべてのページが印刷されたことを自分で確認する必要があります。

連続折りパスでの紙詰まり(HP F60、HP F70、および HP PageWide XL フォルダ)



1. 折畳なしトレイから用紙を取り出してみてください。すべての用紙をこの方法で取り除くことができない場合は、以下の手順を続行します。
2. 連続折りカバーを開きます。



3. 用紙を引き出します。

📖 注記：連続折りトレイのあたりまたは折畳デバイスの後ろに用紙が見える場合があります。用紙が見える場所から用紙を引き出してみてください。

4. 用紙の切れ端をすべて取り除きます。
5. 金属製のボールが所定の位置にあることを確認します。
6. カバーを閉じます。
7. 用紙の準備が整うまで待ちます。
8. プリンタはジョブを再開し、失われたページを自動的に再印刷します。ただし、ジョブのすべてのページが印刷されたことを自分で確認する必要があります。

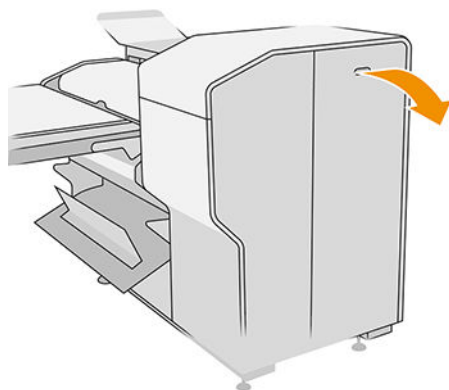
連続折りと四つ折りの間の経路での紙詰まり

これは、折畳デバイスの背面から簡単に見えるはずですが、連続折りカバーを開き、折畳デバイスのモーターを止め、用紙を取り除きます。

四つ折りパスでの紙詰まり(HP F60、HP F70、および HP PageWide XL フォルダ)

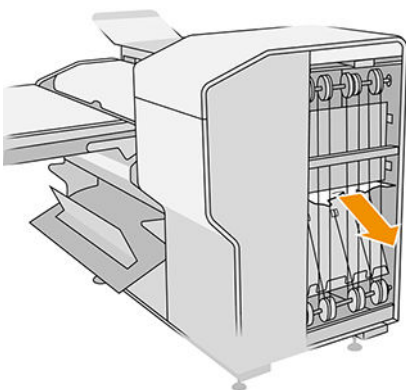


1. 四つ折りカバーを開きます。



2. 用紙を取り除きます。

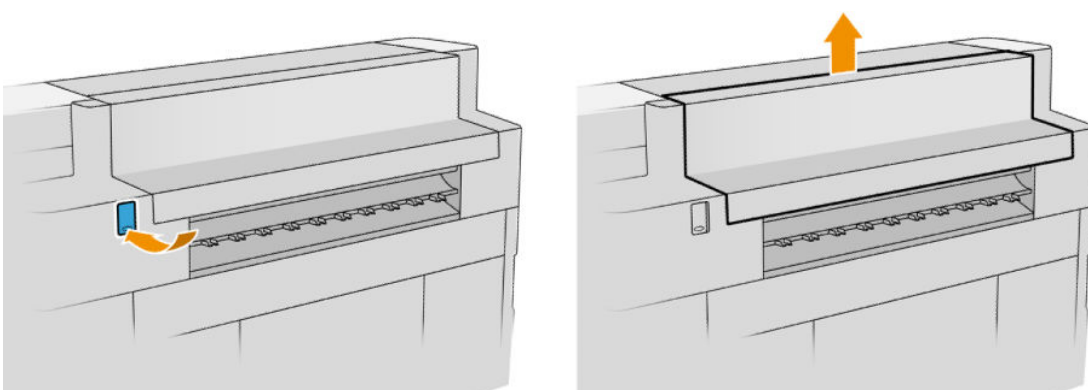
⚠ **注意** : けがをしないように注意してください。



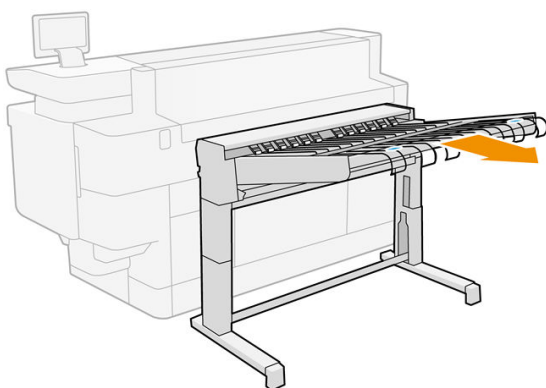
3. カバーを閉じます。
4. 用紙の準備が整うまで待ちます。
5. プリンタはジョブを再開し、失われたページを自動的に再印刷します。ただし、ジョブのすべてのページが印刷されたことを自分で確認する必要があります。

大容量スタッカでの紙詰まり

1. 排紙ボタンを押して、排紙モジュールを上げます。

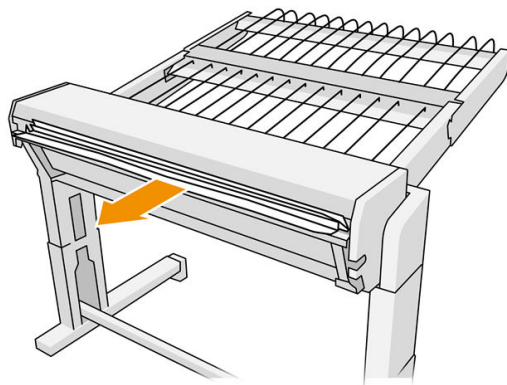


2. 大容量スタッカを取り外します。スタッカはトレイの後ろにあるビームを持って引くことができます。

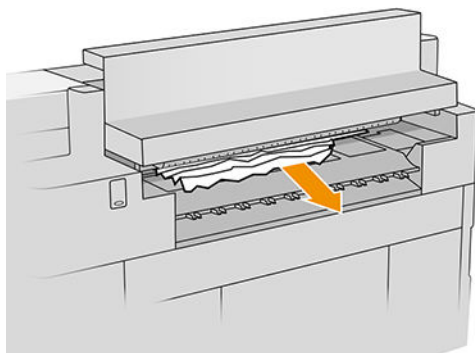


3. 必要に応じて、プリンタと大容量スタッカの間の用紙をカットします。

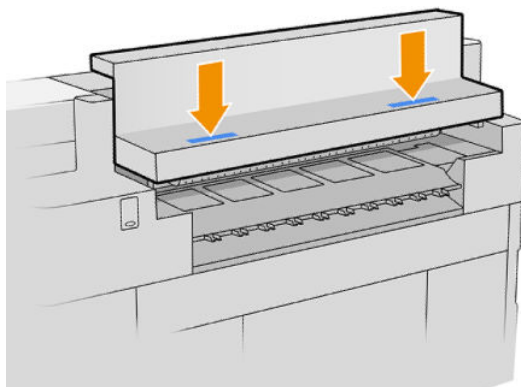
4. 大容量スタッカから用紙を取り出します。



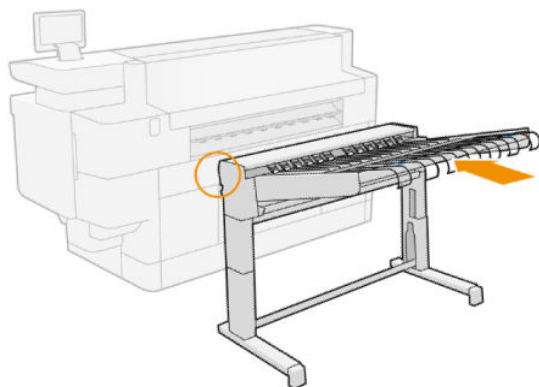
5. プリンタから用紙を取り除きます。



6. 排紙モジュールを閉じます。



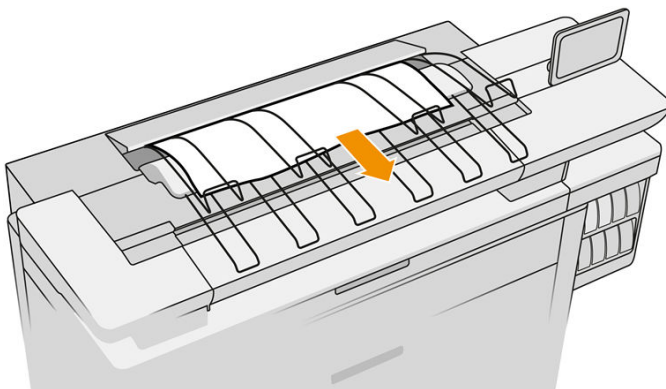
7. 大容量スタッカを再度取り付けます。



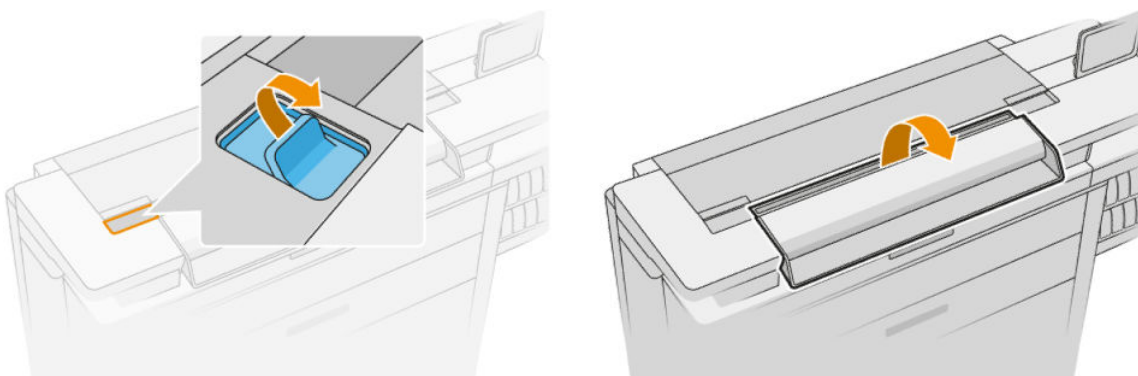
8. 用紙の準備が整うまで待ちます。
9. プリンタはジョブを再開し、失われたページを自動的に再印刷します。ただし、ジョブのすべてのページが印刷されたことを自分で確認する必要があります。

スキャナでの紙詰まり(MFPのみ)

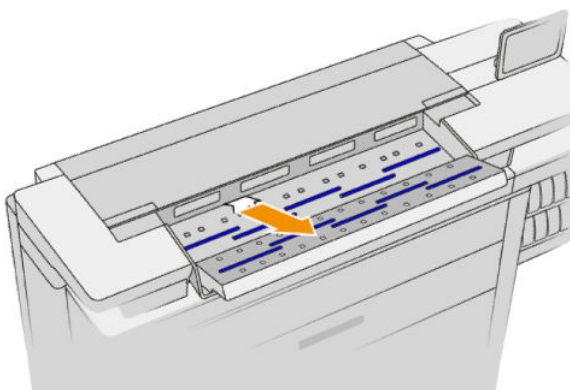
1. トップスタッカを空にします。



2. トップスタッカを引き出します。
3. スキャナの背面の左側に小さなレバーがあります。レバーを上方にスライドさせて、スキャナカバーを開きます。

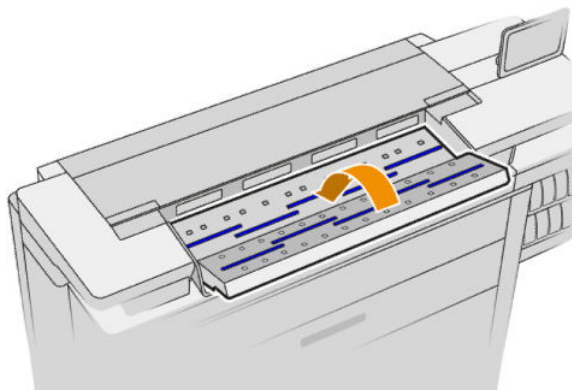


4. 用紙を取り除きます。



5. スキャナに用紙が残っていないことを確認します(手を挿入します)。

6. カバーを閉じます。



7. トップスタッカを閉じます。
8. プリンタはジョブを再開し、失われたページを自動的に再印刷します。ただし、ジョブのすべてのページが印刷されたことを自分で確認する必要があります。

3 インク システム

- [インクカートリッジ](#)
- [プリントバー](#)
- [クリーニング コンテナ](#)
- [メンテナンスカートリッジ](#)
- [セーフモード](#)

インクカートリッジ

プリンタには4セットのインクカートリッジがあり、CKYMの順に並んでいます。それぞれの容量は400 ml です。



プリンタには以下のようにインクカートリッジごとに、パッドロックとインク滴の2つのLEDインジケータがあります。



- カートリッジが使用されるとパッドロックのLEDがオンになります。

重要：パッドロックのLEDがオンになっているときに、カートリッジを取り外さないでください。

- カートリッジの残量がほとんどなくなると、インク滴のLEDが黄色になり、カートリッジが空になった場合または問題がある場合は、赤色になります。

インクカートリッジには、メンテナンスやクリーニングは必要ありませんが、取り付ける前によく振る必要があります。インクの残量が少なくなっても、高品質の印刷が持続します。

注意：インクカートリッジを取り扱う際は、静電気の放電に対して敏感なピン、リードおよび内部回路に触れないようにしてください。これらのデバイスはESDセンシティブデバイスと呼ばれます。[192 ページの用語集](#)を参照してください。静電気の放電は電子製品の主な障害のひとつとなります。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなる場合があります。

各カートリッジのステータスは、以下のように、フロントパネルに表示されます。

- OK：カートリッジは正常に動作しています。
- 再取り付け：カートリッジが応答していません。カートリッジを取り外し、取り付け直すと、問題が解決する場合があります。
- 交換：カートリッジに問題があることが確認されました。正常に動作するカートリッジと交換する必要があります。
- インクが少ない：カートリッジのインク残量が少なくなっています。間もなく交換する必要があります。
- インク残量が僅か：カートリッジのインク残量が僅かです。すぐに交換する必要があります。
- 無し：カートリッジにはインクがありません。今すぐ交換する必要があります。
- 未装着：カートリッジがありません。
- 間違い/非対応/不正：カートリッジのタイプがこのプリンタに適していません。
- 使用期限切れ：カートリッジの使用期限が終了しています。
- 変更済み：カートリッジが補充または変更されていることが検出されました。

インクカートリッジの製品番号


PageWide プリンタ 400 ml	C1Q57A	HP 843A 400 ml ブラック インクカートリッジ
	C1Q58A	HP 843A 400 ml シアン インクカートリッジ
	C1Q59A	HP 843A 400 ml マゼンタ インクカートリッジ
	C1Q60A	HP 843A 400 ml イエロー インクカートリッジ
	C1Q61A	HP 843B 400 ml ブラック インクカートリッジ
	C1Q62A	HP 843B 400 ml シアン インクカートリッジ
	C1Q63A	HP 843B 400 ml マゼンタ インクカートリッジ
	C1Q64A	HP 843B 400 ml イエロー インクカートリッジ
	C1Q65A	HP 843C 400 ml ブラック インクカートリッジ
	C1Q66A	HP 843C 400 ml シアン インクカートリッジ
	C1Q67A	HP 843C 400 ml マゼンタ インクカートリッジ
	C1Q68A	HP 843C 400 ml イエロー インクカートリッジ

即座にインクカートリッジを交換する

パッドロックの LED がオフになっていたら、いつでもカートリッジを交換できます。パッドロックの LED がオンになっていたら、ジョブキューを一時停止し、LED がオフになるまで待ちます。

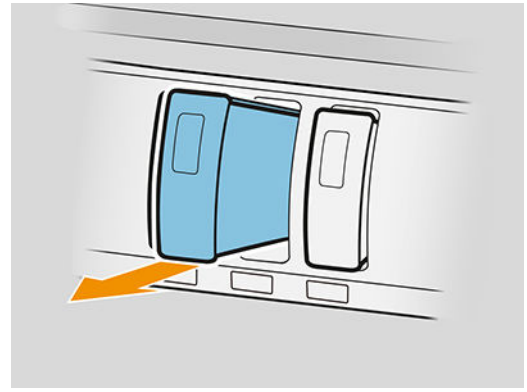
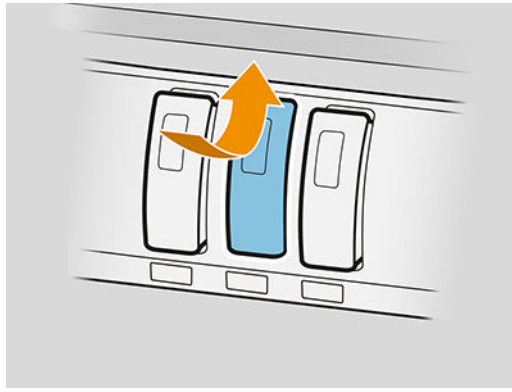
フロントパネルからインクカートリッジを交換する



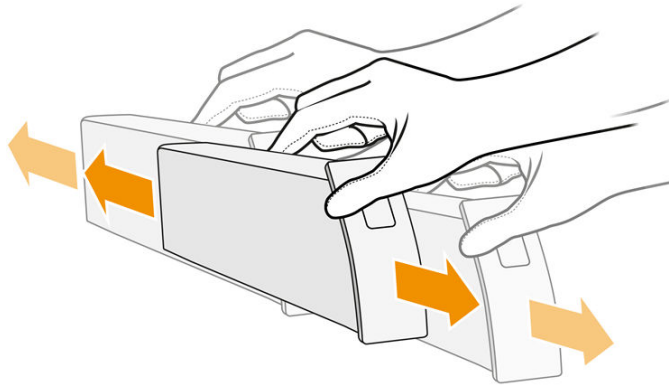
1. フロントパネルで  をタップし、**[インクカートリッジ]**タブ、**[交換]**を選択します。

カートリッジのインクが切れた場合、プリンタは自動的に同じ色の別のカートリッジに切り替えようとしてくれます。その後で、印刷を中断せずに、空のカートリッジを交換することができます。交換するインクカートリッジがロックされている場合、ジョブキューを一時停止してから交換を続ける必要があります。

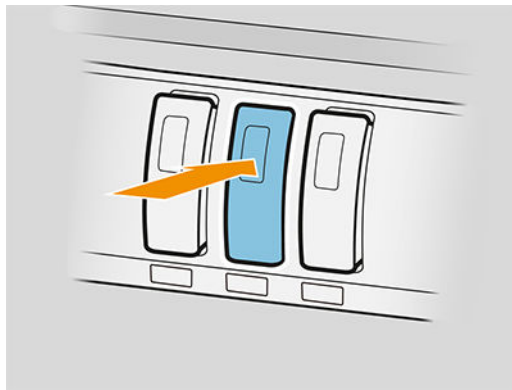
2. 指示されたら、古いカートリッジを押し、スライドさせて取り出します。



3. 新しいカートリッジを6回振ります。



4. 新しいカートリッジを入れ、奥まで差し込みます。



5. フロントパネルに表示される指示に従ってください。
6. 必要なカートリッジをすべて交換したら、**[完了と確認]**をタップします。
7. インクシステムの消耗品を廃棄する際は、国と地域で適用されるすべての法規に従ってください。






ページを印刷中にインクを使い切った場合、印刷が停止して、ページが排出されます。新しいカートリッジを挿入すると印刷が再開し、中断されたページが完全に再印刷されます。

カートリッジが空になった場合は、新しいHPのカートリッジと交換することを推奨します。[69 ページのインクカートリッジの製品番号](#)を参照してください。


補充したインクカートリッジや改造品インクカートリッジの使用は、以下の重大な欠点があります。

- プリンタが破損する危険があります。この場合は、カートリッジに関連するプリンタの修理に対してプリンタ保証は無効になります。同様に、インクの汚れによる問題に対してもプリンタ保証は無効になります。
- 今後プリンタで使用する同じ色のすべてのプリントヘッドの保証が無効になります。
- 印刷品質が低下する可能性があります。
- プリンタはカートリッジ内のインク残量を推定できなくなり、残量が報告されません。

プリンタで空と認識されるカートリッジを使用できるようにするには、次の手順に従います。

1. フロントパネルの  をタップしてから、、、、 を選択します。
2. フロントパネルにカートリッジが改造されているという通知が出され、カートリッジ受け入れ処理が始まります。フロントパネルに表示される指示に従ってください。お使いのカートリッジがHP 純正カートリッジでない場合は、処理を停止することをお勧めします。カートリッジが純正かどうかを確認するには、<http://www.hp.com/go/anticounterfeit> にアクセスします。
3. 処理を継続すると、フロントパネルに一連の警告メッセージが表示されます。

処理が完了すると、フロントパネルに通常のインクカートリッジ表示が示されますが、カートリッジのインク残量は報告されません。


 **注記：**ダイナミックセキュリティ対応プリンター。HP 純正のチップを使うカートリッジによる使用のみを意図されています。HP 純正以外のチップでは動作しないことがあります。また、現在動作しているカートリッジでも将来的に動作しなくなる可能性があります。詳細情報：
<http://www.hp.com/go/learnaboutsupplies>。

インクカートリッジのメンテナンス

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別なメンテナンスは必要ありません。カートリッジが使用期限に達したら交換してください。使用期限はフロントパネルのインクカートリッジ情報で確認できます。

インクカートリッジのトラブルシューティング

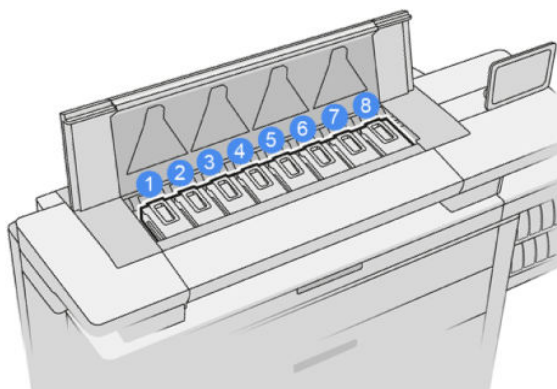
1. 正しいカートリッジ(モデル番号)を使用しているかどうかを確認します。
2. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであることを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいことを確認します。インクカートリッジの正面の矢印が上を向いている必要があります。

 **注意：**インクカートリッジスロットの内部はクリーニングしないでください。

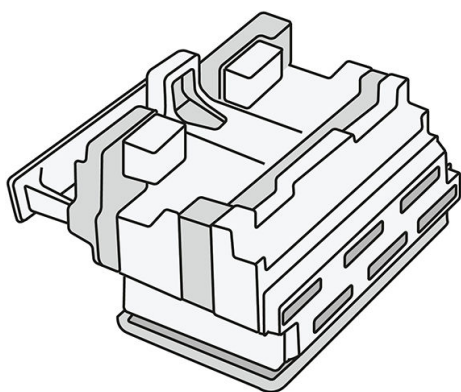
プリントバー

重要な印刷コンポーネントに 1016 mm (40 インチ)の固定プリントバーがあります。このプリントバーを構成する 8 つのプリントヘッドは、正面からプリンタを見た場合、左から右に向かって 1~8 の

番号が付いています。プリントバーは4色の顔料系インクを吐出し、その下では高速で用紙送りが行われます。



プリントヘッドの耐久性は非常に優れており、インクカートリッジを交換するたびにプリントヘッドを交換する必要はありません。プリントヘッドは、インクカートリッジのインク残量が少なくなった場合でも、品質を高水準に維持します。



最適な印刷品質を維持するため、自動的に一定の間隔でプリントヘッドがテストされ、必要に応じて修復されます。この処理には少し時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合もあります。最終的にプリントヘッドの交換が必要になると、フロントパネルにメッセージが表示されます。

プリンタの用紙取り付けシステムには、自動索引機能があります。用紙が取り付けられているときは常にプリンタがロール紙の位置を移動させ、プリントヘッドのノズルの使用状況を補正して、各プリントヘッドの使用期間を長持ちさせます。これは自動で行われますが、ロール紙とロール紙の間で、前部のロールと後部のロールの位置が多少異なる場合があります。

⚠ 注意： プリントヘッドのノズルに手を触れないでください。




⚠ 注意： いかなる理由であっても、どのような面にもプリントヘッドのノズル面を下にして置かないでください。

💡 ヒント： プリントヘッドはプリンタ内で最適な状態に保たれます。それだけでなく、プリントヘッドを取り外してプリンタに戻すと、プリンタを再度キャリブレーションする必要があります。そのため、不要にプリントヘッドを取り外さないことを推奨します。

プリントヘッドのステータス

- **OK：** プリントヘッドは正常に機能しています。
- **未装着です：** スロットでプリントヘッドが検出されませんでした。

- **交換して下さい:** プリントヘッドに問題があることが特定されました。新しいプリントヘッドまたは正常に機能しているプリントヘッドと交換する必要があります。
- **再度取付けて下さい:** プリントヘッドに問題があることが特定されましたが、プリントヘッドを取り外し、取り付け直すと、問題が解決される場合があります。
- **取り外して下さい:** プリントヘッドを取り外す必要があります。
- **プリントヘッドの交換が不完全です。再度行ってください。**
 プリントヘッドの交換プロセスが完了しませんでした。交換をやり直して、プロセスを完了する必要があります。
- 保証のステータスが「**保証対象外**」となっている場合、保証条件が終了していることを示します(例えば、インクの消費量が保証制限を超えた場合などです)。

 **注記:** プリントヘッドの保証期間が終了している場合、状態ゲージに3つの可能なステータスのいずれかが表示されます。

- **OK:** プリントヘッドは正常に印刷できます。
- **モニター IQ:** 印刷物で印刷品質が維持されない場合があります。
- **修復:** そのプリントヘッドで、高度なプリントヘッドの修復を使用することを推奨します ([158 ページの高度なプリントヘッドの復元](#) を参照してください)。

保証のステータスが「**保証の注記を参照してください**」となっている場合、保証条件に違反していることを示します(例えば、HP インクの使用期限が終了していたり、HP 製以外のインクを使用している場合などです)。

プリンタ情報のアプリケーションで、保証のステータスを確認できます。

保証の詳細は、プリンタに付属している限定保証書を参照してください。


プリントヘッドの製品番号


HP 841 プリントヘッドの製品番号は C1Q19A です。

プリントヘッドを交換する


プリントヘッドはほとんど交換する必要がありませんが、プリントヘッドに問題があったり、使用期限に近づいている場合、フロントパネルに表示されます。

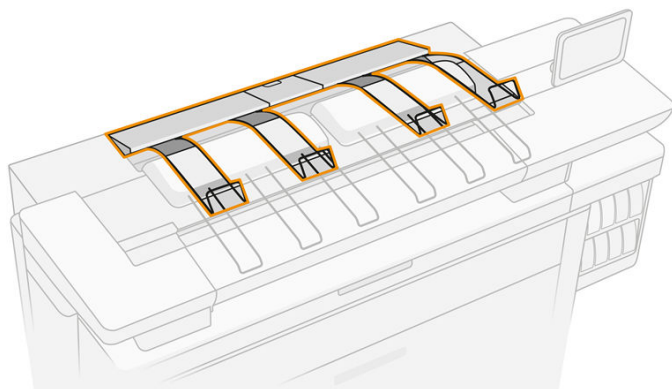
または、プリンタで検出される前に、テスト印刷によりプリントヘッドに問題があることが示される場合があります。

 **注意:** プリントヘッドを取り扱う際は、静電気の放電に対して敏感なピン、リードおよび内部回路に触れないようにしてください。これらのデバイスは ESD センシティブ デバイスと呼ばれます。
[192 ページの用語集](#) を参照してください。静電気の放電は電子製品の主な障害のひとつとなります。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなる場合があります。

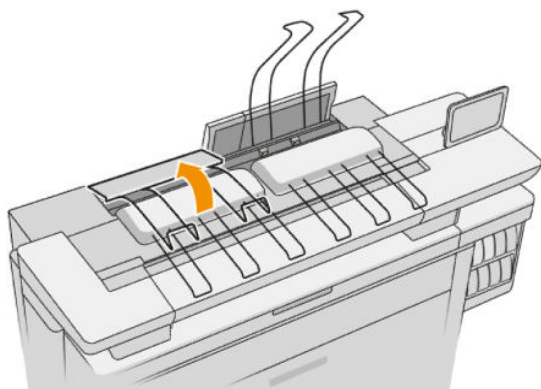
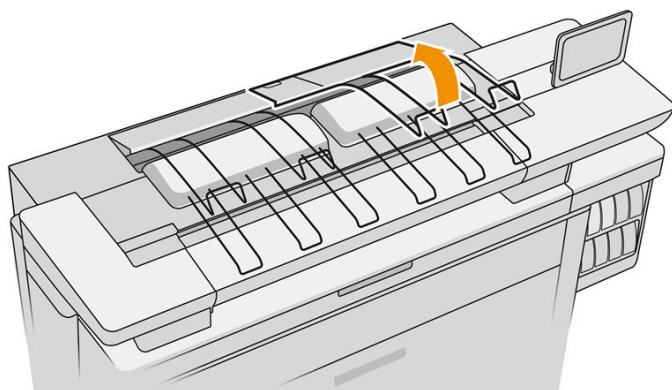
 **重要:** プリントヘッドを交換した場合、プリンタを再度キャリブレーションする必要があります ([157 ページのプリントバーをキャリブレーションする](#) 参照)。プリントヘッドを交換する前に、キャリブレーションのために適切な用紙が取り付けられていることを確認します。インクシステムのコンポーネントを取り扱う場合は、手袋を着用します。



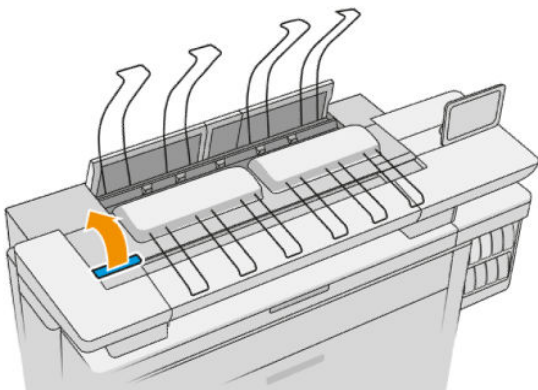
1. すべてのインクカートリッジの量が25%以上あることを確認します。
2. フロントパネルでプリントヘッドの交換を開始します。  をタップし、[プリントヘッド]タブ、[交換]をタップします。
3. トップスタッカカバーの場所を確認します。



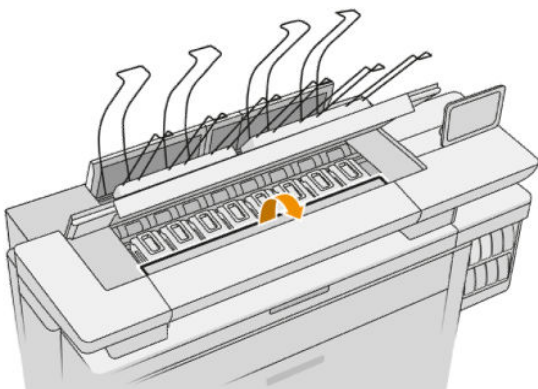
4. トップスタッカカバーを開きます。



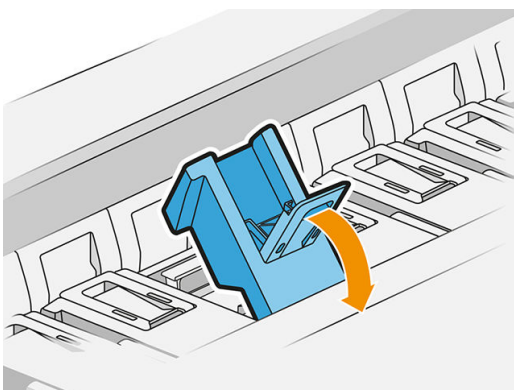
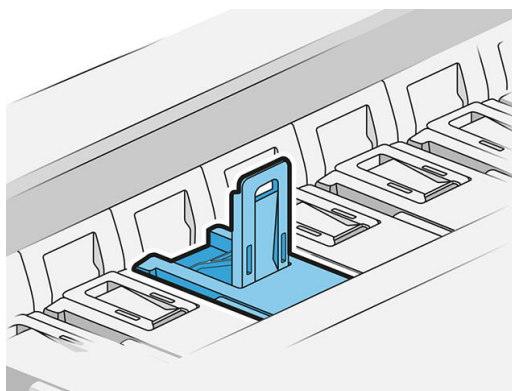
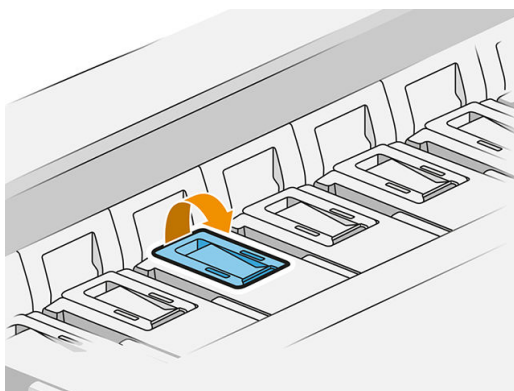
5. 左のハンドルを確認し、これを引っ張ってプリントバーカバーを開きます。



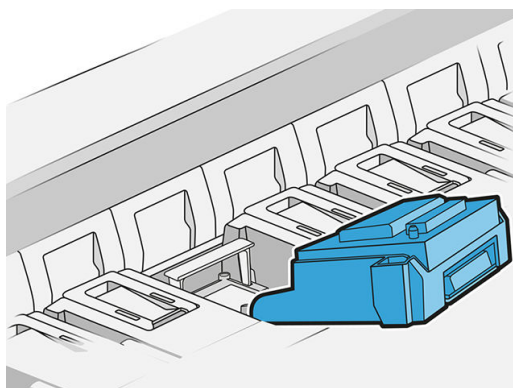
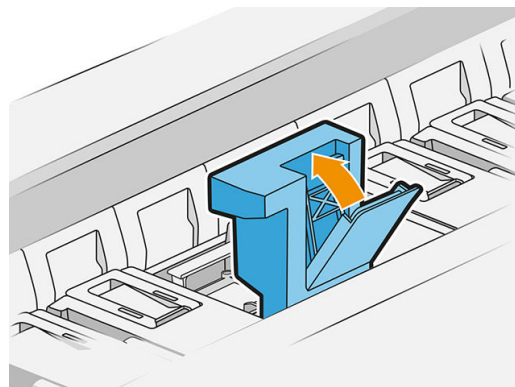
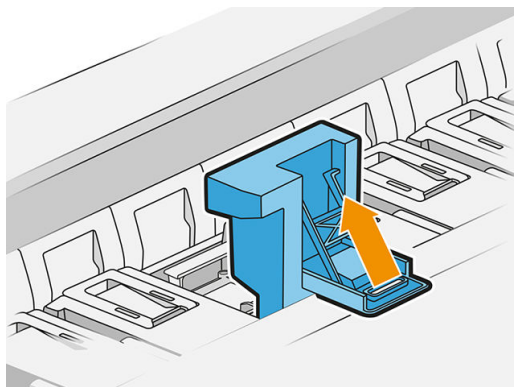
6. 内部カバーを開きます。



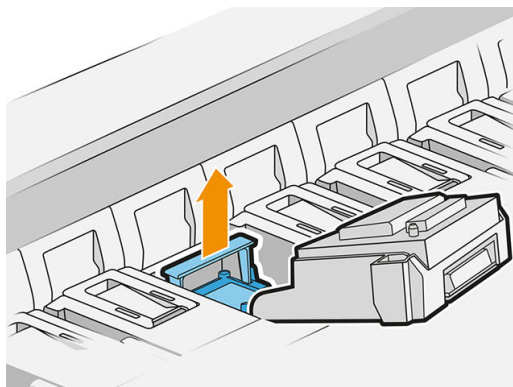
7. 青いハンドルを引いてラッチを開きます。



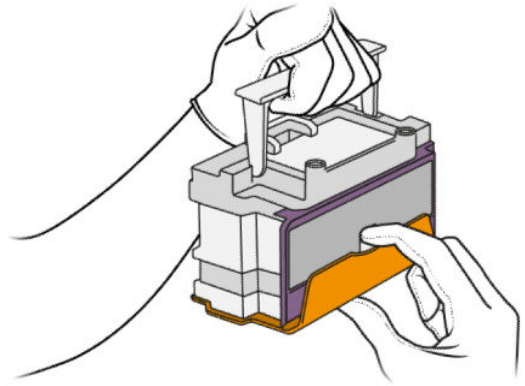
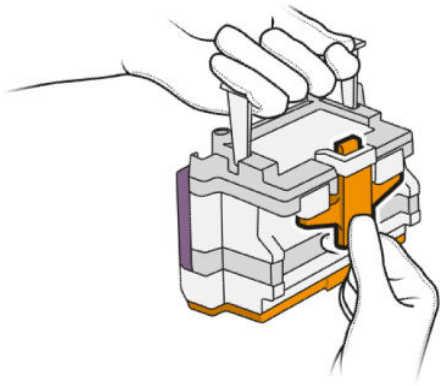
8. ラッチを引いてカバーに載せます。



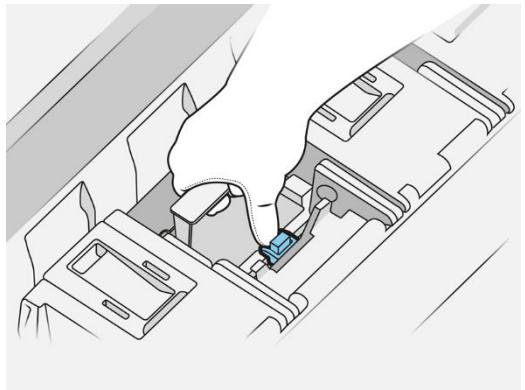
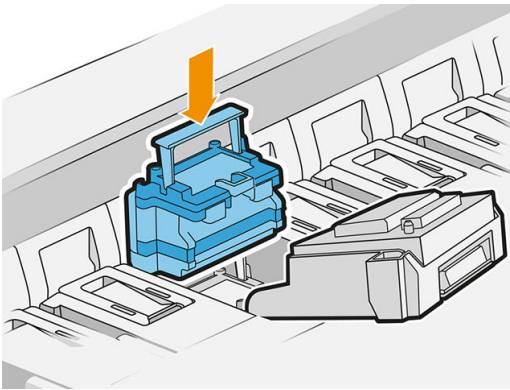
9. ハンドルを使用して、プリントヘッドを取り外します。



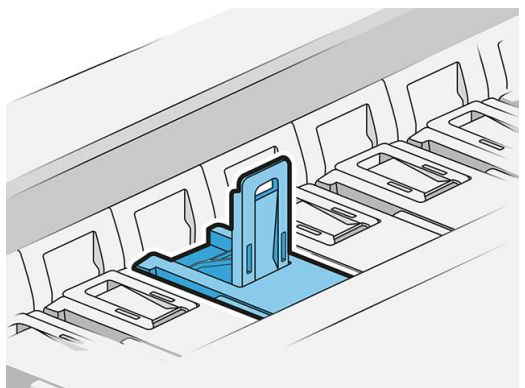
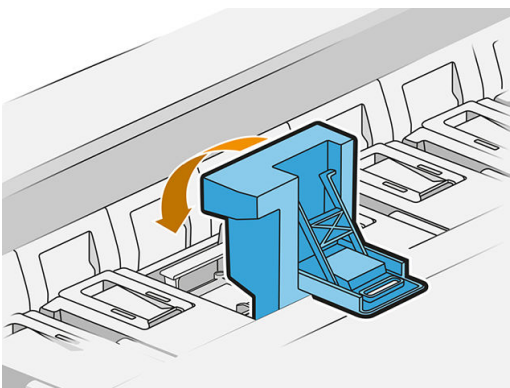
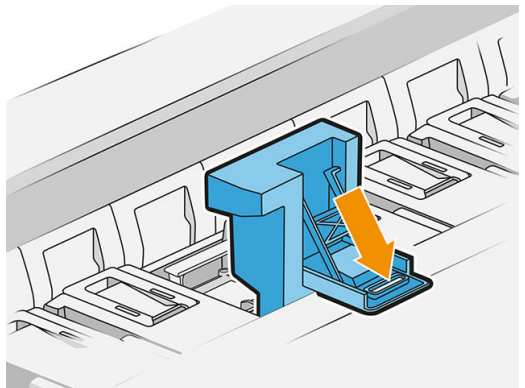
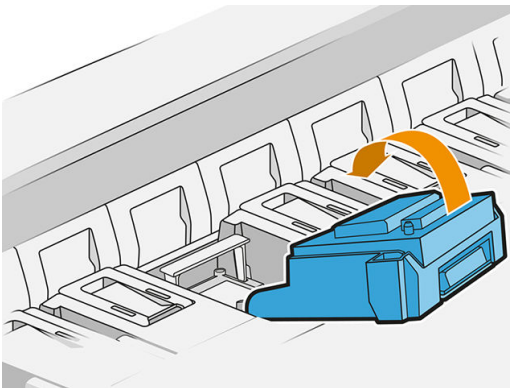
10. 以下に示す順序で、新しいプリントヘッドからゆっくり保護キャップを取り外します。



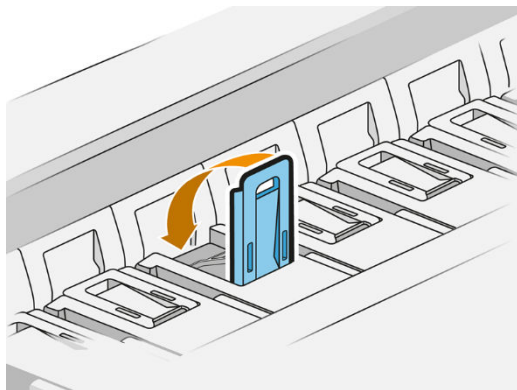
11. 新しいプリントヘッドを正しい向きで挿入し、所定の位置にクリップで固定します。



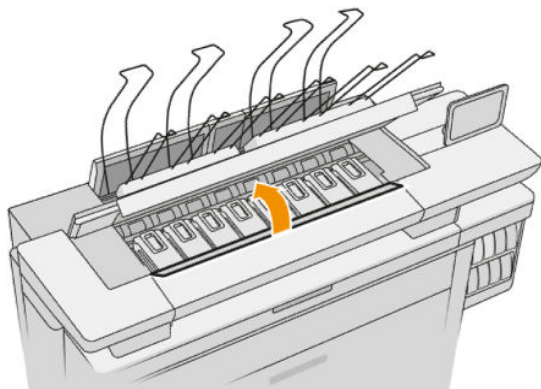
12. ラッチを開めます。



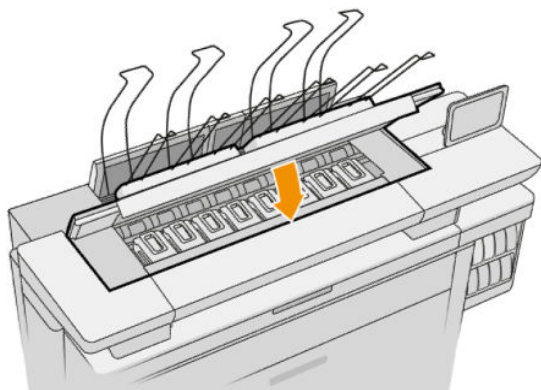
13. 青いハンドルを閉じます。



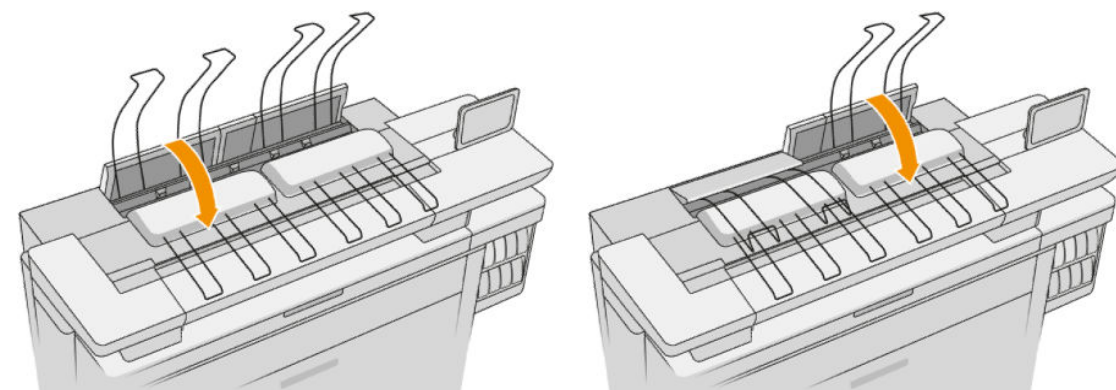
14. 内部カバーを閉じます。



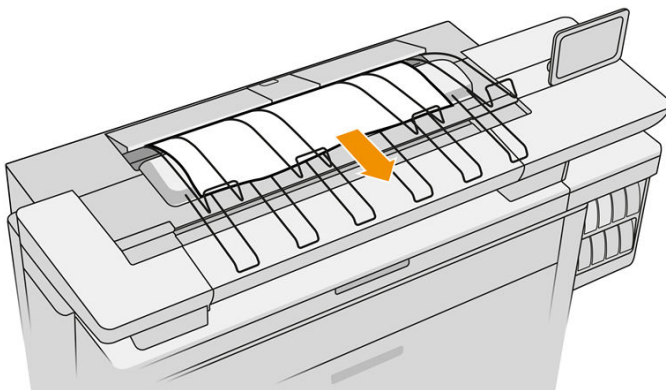
15. プリントバー カバーを閉じます。



16. トップスタッカカバーを閉じます。



17. トップスタッカを空にします。



18. **[続行]**をタップし、プリンタが自動キャリブレーションを開始して確認を終了するまで、約 32 分お待ちください。
19. インクシステムの消耗品を廃棄する際は、国と地域で適用されるすべての法規に従ってください。

プリントヘッドのメンテナンス

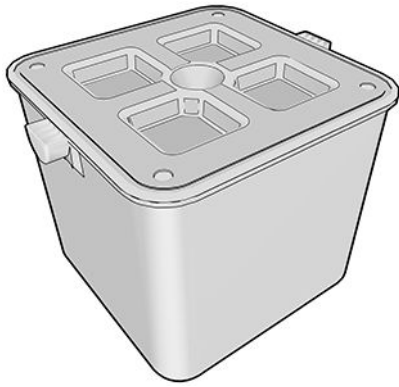
プリントヘッドはプリンタおよびメンテナンスカートリッジにより自動的にクリーニングされます。不要にプリントヘッドを取り外さないでください。

プリントヘッドのトラブルシューティング

1. 正しいプリントヘッド(モデル番号)を使用しているかどうかを確認します。
2. プrintヘッドからオレンジ色の保護キャップを取り外したかどうかを確認します。
3. プrintヘッドの向きが正しいことを確認します。他のPrintヘッドと比較します。
4. プrintヘッドのカバーが閉じられ、ラッチで固定されているかどうかを確認します。
5. 以上を試しても印刷中の問題が解決しない場合は、[154 ページの「印刷品質」](#)を参照してください。

クリーニング コンテナ

クリーニング コンテナは液体状の使用済みインクを回収するための交換可能な部品で、約 2 リットルの容量があります。



このコンテナは、プリンタの使用済みインクがプリンタを損傷したり、周辺を汚したりしないようにするために設計されています。

そのためには、クリーニング コンテナを正しく取り付けて維持し、フロントパネルに指示が表示された場合にクリーニング コンテナを取り替えます。

※ ヒント：クリーニング コンテナを交換する場合は、手袋の着用を推奨します。

クリーニング コンテナを交換する際は、プリンタの電源を入れた状態で行います。そうしないと、カウンタが正しく機能しない可能性があります。

コンテナの取り付けまたは接続が正しくない状態でプリンタを稼働し続け、損傷が発生したりクリーニングが必要になった場合、HP はそれらの費用について責任を負うことはできません。

フロントパネルでクリーニング コンテナのステータスを確認することができます。

クリーニング コンテナのステータス

- 使用可能です
- 未装着です：クリーニング コンテナが検出されません。
- ほぼ満杯：コンテナのインクの量についてはプリンタによる推定です。
- 一杯：プリンタが印刷を停止しました。クリーニング コンテナを交換した後に印刷が継続します。

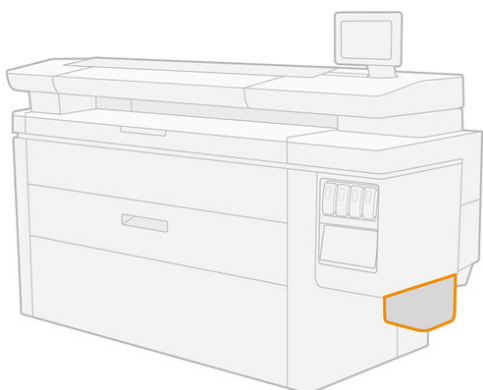
クリーニング コンテナの製品番号

HP 841 クリーニング コンテナの製品番号は F9J47A です。

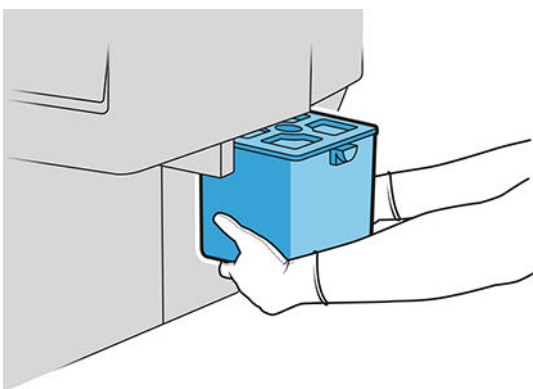
クリーニング コンテナを交換する




1. フロントパネルで 、その他の  をタップし、[クリーニングコンテナ]>[交換]を選択します。
2. クリーニングコンテナを探します。




3. クリーニングコンテナを取り外します。それには少し持ち上げて、引き出します。



 **ヒント:** クリーニングコンテナをプリンタから長期間外しておくと、インクが漏れて、床が汚れる場合があります。迅速に交換してください。

4. 新しいクリーニングコンテナから梱包材を外します。
5. 古いコンテナがあった場所に新しいクリーニングコンテナを取り付けます。

 **注記:** 別のプリンタで使用したクリーニングコンテナを取り付ける場合、**ほぼ満杯**の警告は確かではありません。

6. プリンタによって取り付けの確認が行われます。
7. インクシステムの消耗品を廃棄する際は、国と地域で適用されるすべての法規に従ってください。

クリーニングコンテナのトラブルシューティング

クリーニングコンテナが正しく取り付けられていても、プリンタで検出されない場合、コンテナを外して、取り付け直してみてください。それでも検出されない場合は、サポート担当者にお問合せください。

メンテナンスカートリッジ

メンテナンスカートリッジはプリントヘッドをクリーニングして維持し、使用済みインクを保管します。

メンテナンスカートリッジには、プリントヘッドのクリーニングに使用する布のロールが内蔵されています。500回の拭き取り(クリーニング)が可能です。プリンタを頻繁に使用する場合は、約2か月ごとに交換する必要があります。

クリーニングロールの終端が検出されると、プリンタはジョブを開始しなくなります。その場合、メンテナンスカートリッジを新品と交換する必要があります。

📌 **ヒント:** メンテナンスカートリッジを交換する場合は、手袋の着用を推奨します。

メンテナンスカートリッジのステータス

- 使用可能です
- 見つかりません
- ほぼ終了です
- 終了しました

メンテナンスカートリッジの製品番号

HP 841 メンテナンスカートリッジの製品番号は F9J48A です。

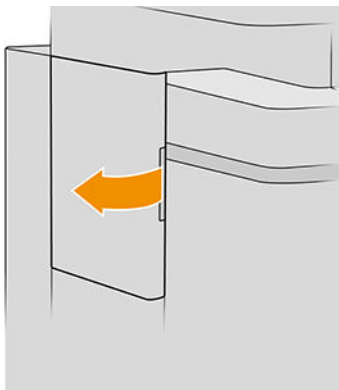
メンテナンスカートリッジを交換する



📌 **重要:** メンテナンスカートリッジを交換する場合、新しいメンテナンスカートリッジを手元に準備しておきます。カートリッジが交換位置に移動すると、交換を終了するまでに40秒の時間があります。その時間制限を超えると、プリントヘッドが乾燥しないように、メンテナンスカートリッジが自動的に元の位置に戻ります。フロントパネルにエラーが表示されたら、サービスのドアを閉めます。

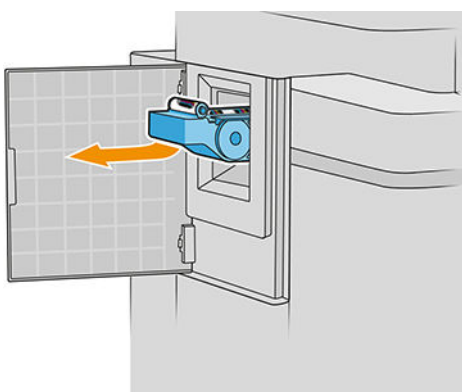
1. 新しいメンテナンスカートリッジの梱包材を外します。
2. フロントパネルで交換を開始します。

3. フロントパネルにメッセージが表示されたら、メンテナンスカートリッジのドアを開きます。

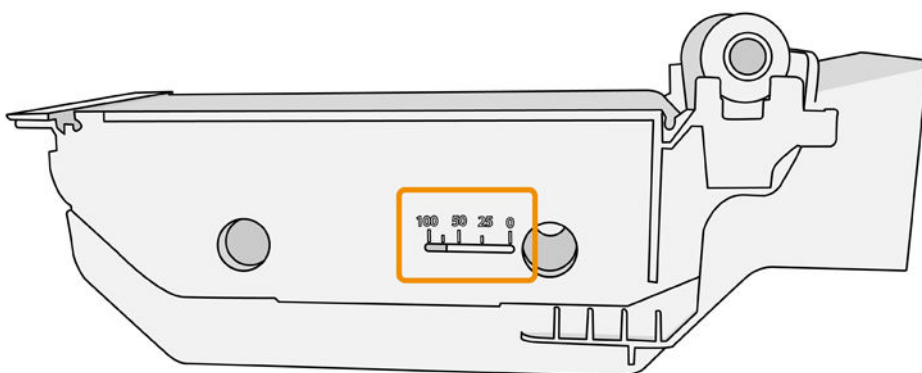


重要：メンテナンスカートリッジを取り外すときは、インクが入っているため注意します。そのため、手袋を着用し、カートリッジのハンドルを持ちます。

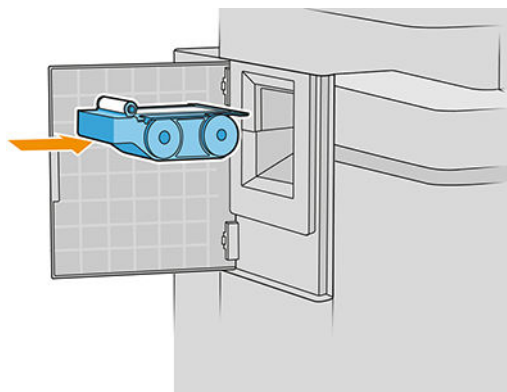
4. メンテナンスカートリッジを取り出すには、ハンドルを持って引き出します。



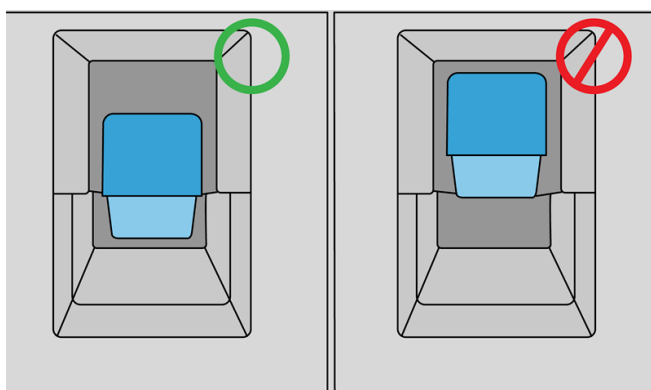
5. 一部使用済みの交換カートリッジを取り付ける場合は、残りの布の量をメモしておきます。カートリッジの側面に、残量が概算(パーセント)で表示されます。この数値が後で必要になります。




6. 新しいメンテナンスカートリッジをスロットに挿入します。




 **重要**：メンテナンスカートリッジを正しく取り付けるように注意してください。



7. メンテナンスカートリッジを所定の場所まで押します。無理矢理押し込まないでください。

 **注記**：ドアを閉めるまで、フロントパネルに新しいメンテナンスカートリッジは表示されません。

8. ドアを閉じます。
9. インクシステムの消耗品を廃棄する際は、国と地域で適用されるすべての法規に従ってください。

 **注記**：印刷を開始するには、プリンタにインクカートリッジ、プリントヘッドおよびメンテナンスカートリッジがすべて取り付けられており、プリンタウィンドウおよびメンテナンスカートリッジのドアが閉じている必要があります。

フロントパネルにはカートリッジが新品か使用中のものかを尋ねるメッセージが表示されます。使用中のカートリッジの場合、残りの布量をパーセントで入力するように求められます。この情報はプリンタがカートリッジの交換時期を推定するために使用されます。




メンテナンスカートリッジのトラブルシューティング

取り付けたカートリッジをプリンタが検出しない場合、ドアを開いて、メンテナンスカートリッジが正しく挿入されていることを確認します。これによって問題を解決できない場合は、サポート担当者にお問い合わせください。

セーフモード

環境仕様外でのプリンタの動作など、特定の条件の下で、またはインクカートリッジの再利用、補充、偽造が検出された場合、プリンタは「セーフ」モードで動作します。HP は、環境使用外で動作する印刷システムや、使用済み、補充または偽造インクカートリッジが取り付けられた印刷システムのパフォーマンスは保証できません。セーフモードは、プリンタとプリントヘッドを予期しない状態による損傷から保護するためのモードであり、プリンタのフロントパネルと内蔵 Web サーバおよび HP Utility にアイコンが表示されているときはセーフモードで動作しています。

パフォーマンスを最大限に高めるため、HP 純正インクカートリッジを使用してください。HP 純正インクとプリントヘッドを含む HP DesignJet 印刷システムは、どのような印刷でも妥協のない印刷品質、一貫性、パフォーマンス、耐久性、および価値を実現できるようにセットで設計されています。

-
-  **注記：**このプリンタはインク連続供給システムを使用するようには設計されていません。印刷を再開するには、インク連続供給システムを取り外し、HP 純正カートリッジ(または互換性があるカートリッジ)を取り付けます。
 -  **注記：**このプリンタは、インクカートリッジを使い切るまで使用するようには設計されています。カートリッジが空になる前にインクを補充すると、印刷がエラーになる可能性があります。このような場合は、新しいカートリッジ(HP 純正または互換性があるカートリッジ)を取り付け、印刷を続行します。
 -  **注記：**本プリンターはダイナミック・セキュリティを搭載しています。HP 純正チップを使用したカートリッジのみでの使用を想定しています。HP のチップが搭載されていないプリントカートリッジは使用出来ない場合があります。現在使用が可能な場合でも、将来的に使用出来なくなる場合があります。詳細については以下をご参照下さい。 <http://www.hp.com/go/learnaboutesupplies>。
-

4 ネットワーク

- [はじめに](#)
- [ネットワークプロトコルの制御](#)
- [フロントパネルのメニュー項目](#)
- [リンク設定方法](#)
- [トラブルシューティング](#)

はじめに

このプリンタには、ネットワーク接続用の RJ-45 コネクタ ポートが 1 つ装備されています。Class B 制限の要件を満たすため、シールド I/O ケーブルを使用する必要があります。

内蔵 Jetdirect プリント サーバでは、IEEE 802.3 10Base-T Ethernet、IEEE 802.3u 100Base-TX Fast Ethernet および 802.3ab 1000Base-T Gigabit Ethernet 準拠ネットワークへの接続がサポートされます。プリンタを接続して電源をオンにすると、ネットワークとのオートネゴシエーションが実行され、10、100 または 1000Mbps のリンク速度で動作し、全二重または半二重モードで通信が行われます。ただし、ネットワーク通信の確立後に、プリンタのフロントパネルを使用したり他の設定ツールを使用して、リンクを手動で設定することもできます。

プリンタは、TCP/IPv4 や TCP/IPv6 など、複数のネットワーク通信プロトコルを同時にサポートすることができます。セキュリティ上の理由から、プリンタとの間で IP トラフィックを制御する機能が用意されており、IP Security (IPsec) プロトコルの設定がサポートされます。



ネットワークプロトコルの制御

プリンタでは、複数のネットワーク通信プロトコルを同時にサポート可能です。これにより、異なるプロトコルを使用しているネットワークコンピュータが同じプリンタと通信することができます。

プリンタがネットワークで通信するには、プロトコルごとに設定が必要な場合があります。プロトコルによっては、必要なパラメータが自動的に検出されるため、ユーザ指定の設定が必要ありません。しかし、それ以外のプロトコルには多くのパラメータを設定する必要があります。

ネットワークプロトコルを有効または無効にする



ネットワークプロトコルが有効になっている場合、そのプロトコルを使用するコンピュータがネットワーク上に存在しなくても、ネットワーク上で積極的に通信を行う場合があります。これにより、ネットワークトラフィックが増加する可能性があります。不要なトラフィックをなくすには、使用されていないプロトコルを無効にします。使用しないプロトコルを使用不可能にすると、以下のことが可能になります。

- ネットワークの混雑を軽減するために、使用しないプロトコルからのブロードキャストメッセージを排除できます。
- プリンタでジョブを印刷する他のネットワークのユーザを排除することで、そのプリンタで印刷するユーザを適切に制限できます。
- 有効なプロトコルのプロトコル固有のエラー状態のみ表示されます。

デバイスのコントロールパネルメニューから使用されていないプロトコルを無効にするには、[89 ページのフロントパネルのメニュー項目](#)を参照してください。内蔵 Telnet サーバへのシステム

コマンドアクセスなど、他のツールについては、お使いのプリントサーバモデルの『*HP Jetdirect Print Server Administrator's Guide*』（HP Jetdirect プリントサーバ管理者ガイド）を参照してください。

フロントパネルのメニュー項目

プリンタのネットワーク構成にアクセスするには、フロントパネルで 、 をタップし、**[ギガビットイーサネット]**を選択します。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
情報	セキュリティレポートの印刷		はい : レポートを印刷します。
			いいえ (デフォルト) : レポートを印刷しません。
TCP/IP	ホスト名		デバイスを識別するために使用される、最大 32 文字の英数字です。この名前は、HP Jetdirect 設定ページに表示されます。デフォルトのホスト名は NPIxxxxxx です。ここで、xxxxxx は LAN ハードウェア(MAC)アドレスの末尾 6 桁です。
		IPv4 の設定	設定方法
		DHCP リリース	このメニューは、 設定方法 が DHCP に設定されていて、プリントサーバの DHCP リースが存在する場合に表示されます。 いいえ (デフォルト) : 現在の DHCP リースが保存されず。 はい : 現在の DHCP リースおよびリースされた IP アドレスが解放されます。
		DHCP 更新	このメニューは、 設定方法 が DHCP に設定されていて、プリントサーバの DHCP リースが存在する場合に表示されます。 いいえ (デフォルト) : プリントサーバが DHCP リースの更新を要求しません。 はい : プリントサーバが現在の DHCP リースの更新を要求します。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
		手動設定	<p>(設定方法が手動に設定されている場合のみ使用可能)プリンタのコントロールパネルから直接パラメータを設定します。</p> <p>IP アドレス : プリンタの一意の IP アドレス (n.n.n.n)です。</p> <p>サブネットマスク : プリンタのサブネットマスク (n.n.n.n)です。</p> <p>Syslog サーバ : syslog メッセージの受信およびログに使用される syslog サーバの IP アドレス (n.n.n.n)です。</p> <p>デフォルトゲートウェイ : 他のネットワークとの通信に使用されるゲートウェイまたはルータの IP アドレス (n.n.n.n)です。</p> <p>アイドルタイムアウト : アイドル状態の TCP 印刷データ接続が切断されるまでの時間です(デフォルトは 270 秒、0 にするとタイムアウトは無効になります)。</p>
		デフォルト IP	<p>強制 TCP/IP の再設定時(BootP や DHCP を使用するように手動で設定された場合など)に、プリントサーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合のデフォルトの IP アドレスです。</p> <p>自動 IP : リンク ローカル IP アドレス 169.254.x.x が設定されます。</p> <p>既存 : 以前の HP Jetdirect デバイスに合わせて、アドレス 192.0.0.192 が設定されます。</p>
		プライマリ DNS	<p>プライマリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。</p> <p>注記 : この項目は、内蔵 Web サーバから手動設定の優先度が [設定 優先順位] テーブルの DHCP より高く設定されている場合にのみ表示されません。</p>
		セカンダリ DNS	<p>セカンダリ ドメイン ネーム システム (DNS) サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。</p> <p>注記 : この項目は、内蔵 Web サーバから手動設定の優先度が [設定 優先順位] テーブルの DHCP より高く設定されている場合にのみ表示されません。</p>
	IPv6 の設定	有効化	<p>プリントサーバでの IPv6 の動作を有効または無効にするには、この項目を使用します。</p> <p>オフ : IPv6 は無効です。</p> <p>オン (デフォルト) : IPv6 は有効です。</p>

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
		アドレス	<p>IPv6 アドレスを手動で設定するには、この項目を使用します。</p> <p>手動設定 : TCP/IPv6 アドレスを有効にして手動で設定するには、手動設定 メニューを使用します。</p> <p>有効化 : この項目を選択して、オン を選択すると手動設定は有効になり、オフ を選択すると手動設定は無効になります。</p> <p>アドレス : コロンおよび 16 進数の表記を使用する 32 桁の 16 進数 IPv6 ノードアドレスを入力するには、この項目を使用します。</p>
		DHCPv6 Policy	<p>ルータ指定 : プリントサーバで使用されるステートフル自動設定方法が、ルータにより決定されます。ルータは、プリントサーバが自身のアドレス、設定情報、またはその両方を DHCPv6 サーバから取得するかどうかを指定します。</p> <p>ルータ使用不能 : ルータが使用できない場合、プリントサーバは自身のステートフル設定を DHCPv6 サーバから取得しようとします。</p> <p>常にオン : ルータが使用できるかどうかにかかわらず、プリントサーバは常に自身のステートフル設定を DHCPv6 サーバから取得しようとします。</p>
		プライマリ DNS	<p>プリントサーバが使用するプライマリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。</p> <p>注記 : この項目は、内蔵 Web サーバから 手動 設定の優先度が[設定の優先順位]テーブルの DHCP より高く設定されている場合にのみ表示されます。</p>
		セカンダリ DNS	<p>プリントサーバが使用するセカンダリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。</p> <p>注記 : この項目は、内蔵 Web サーバから 手動 設定の優先度が[設定の優先順位]テーブルの DHCP より高く設定されている場合にのみ表示されます。</p>
	プロキシサーバ		<p>デバイスの内蔵アプリケーションにより使用されるプロキシサーバを指定します。一般に、プロキシサーバはインターネットアクセス時に、ネットワーククライアントにより使用されます。プロキシサーバが Web ページをキャッシュするため、クライアントのインターネットセキュリティがある程度高まります。</p> <p>プロキシサーバを指定するには、IPv4 アドレスまたは完全に記述したドメイン名を入力します。名前は最大 255 オクテットにすることができます。</p> <p>ネットワークによっては、独立系サービスプロバイダ(ISP)にプロキシサーバアドレスを問い合わせる必要があります。</p>

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	プロキシポート		クライアントをサポートするプロキシサーバによって使用されているポート番号を入力します。ポート番号は、ネットワークでのプロキシアクティビティ用に予約されたポートを識別し、使用可能な値は0~65535です。
セキュリティ	セキュリティページの印刷		はい : HP Jetdirect プリントサーバの現在のIPsecセキュリティ設定を含むページを印刷します。 いいえ (デフォルト) : セキュリティ設定ページは印刷されません。
	セキュア Web		設定管理の目的で、内蔵 Web サーバで HTTPS (Secure HTTP)を使用した通信のみ許可するか、HTTP および HTTPS の両方を受け入れるかを指定します。 HTTPS 必須 : セキュアな暗号化通信では、HTTPS アクセスのみが許可されます。プリントサーバはセキュアなサイトとして表示されます。 HTTP/HTTPS オプション : HTTP および HTTPS のどちらかを使用したアクセスが許可されます。 注記 : 工場出荷時のデフォルト設定は、プリントサーバのモデルで異なります。
	IPSEC		プリントサーバの IPsec またはファイアウォールの状態を指定します。 保持 : IPsec/ファイアウォールの状態が、現在の設定と同じままになります。 無効化 : プリントサーバでの IPsec/ファイアウォールの動作が無効になります。
	802.1x		
	拭取りの有効化		

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
セキュリティのリセット			<p>プリントサーバの現在のセキュリティ設定を保存するか、工場出荷時のデフォルト値にリセットするかを指定します。</p> <p>いいえ (デフォルト) : 現在のセキュリティ設定を維持します。</p> <p>はい : セキュリティ設定が工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。</p>
リンク速度			<p>プリントサーバのリンク速度および通信モードは、ネットワークと一致している必要があります。利用可能な設定は、デバイスおよびインストールされているプリントサーバで異なります。以下のいずれかのリンク設定を選択します。</p> <p>注意 : リンク設定を変更すると、プリントサーバおよびネットワークデバイスとのネットワーク通信が失われる可能性があります。</p> <p>自動 (デフォルト) : プrintサーバは、オートネゴシエーションを使用して、許可される最速のリンク速度と通信モードを自動的に設定します。オートネゴシエーションに失敗した場合、ハブ/スイッチポートの検出リンク速度に応じて100TX HALF または10TX HALF が設定されます。(1000T 半二重の選択はサポートされていません)。</p> <p>10T 半二重 : 10Mbps、半二重で動作します。</p> <p>10T 全二重 : 10Mbps、全二重で動作します。</p> <p>100TX 半二重 : 100Mbps、半二重で動作します。</p> <p>100TX 全二重 : 100Mbps、全二重で動作します。</p> <p>100TX 自動 : オートネゴシエーションでリンク速度を最大100Mbpsに制限します。</p> <p>1000TX 全二重 : 1000Mbps、全二重で動作します。</p>

リンク設定方法

プリンタでは、全二重または半二重通信モードを使用した10Mbps、100Mbps、または1000Mbpsのネットワークリンク速度がサポートされます(1000T 半二重の選択はサポートされません)。デフォルトでは、ネットワークとのリンク動作のオートネゴシエーションが試みられます。

オートネゴシエーションがサポートされないネットワークハブおよびスイッチに接続されている場合、プリンタは10Mbpsまたは100Mbps半二重動作で設定されます。例えば、ネゴシエーションを行わない10Mbpsハブに接続されている場合、プリントサーバは10Mbps半二重で動作するように自動的に設定されます。

プリンタがオートネゴシエーションを介してネットワークに接続できない場合は、次のいずれかの方法を行うことでリンク設定を行うことができます。

- フロントパネル
- 内蔵 Web サーバ

- システムのコマンドプロンプトを使用した Telnet インタフェース
- BootP サーバや DHCP サーバなどからダウンロードされた TFTP (Trivial File Transfer Protocol)設定ファイル
- HP Web Jetadmin などのネットワーク管理ツール

トラブルシューティング

I/O 設定ページ

I/O 設定ページには、全体的なプリントサーバステータスが表示されます。これは、特にネットワーク通信が使用できない場合は重要な診断ツールです。I/O 設定ページに表示される可能性のあるメッセージについては、お使いのプリントサーバモデルの『*HP Jetdirect Print Servers Administrator's Guide*』(HP Jetdirect プリントサーバ管理者ガイド)を参照してください。

I/O 設定ページを印刷するには、フロントパネルで  をタップし、[接続]>[接続設定の印刷]を選択します。

正しい動作の確認：

1. I/O 設定ページを印刷してステータスメッセージを確認します。
2. I/O 設定ページの上部セクションで、「I/O カード準備完了」というステータスメッセージを探します。
3. 「I/O カード準備完了」が表示されている場合、プリントサーバが正しく動作しています。次のセクションに進みます。

「I/O カード準備完了」以外のメッセージが表示されている場合、以下の手順を試してください。

- a. プリンタの電源を切り、再度電源を入れて、プリントサーバを再度初期化します。
- b. ステータスインジケータランプ(LED)に適切なステータスが表示されていることを確認します。

他のメッセージの説明とトラブルシューティングについては、お使いのプリントサーバモデルの『*HP Jetdirect Print Servers Administrator's Guide*』(HP Jetdirect プリントサーバ管理者ガイド)を参照してください。

ネットワークパラメータをリセットする

プリンタのネットワーク設定が間違っている場合、、、 をタップし、[工場出荷時の設定に戻す]を選択すると、工場出荷時の値にリセットできます。

⚠注意：工場出荷時にインストールされた HP Jetdirect X.509 証明書は、工場出荷時のデフォルト値にリセットされた後も保存されます。ネットワーク認証サーバを検証するためにユーザがインストールした証明機関 (CA)証明書は保存されません。

リンクのトラブルシューティング

プリンタには、ネットワーク コネクタの横にリンクのステータスおよびネットワーク アクティビティを示すステータスランプ(LED)があります。

- 緑色のランプが点灯している場合、プリンタは正常にネットワークにリンクされています。
- ランプが黄色に点滅している場合、ネットワーク転送アクティビティがあります。

プリンタがネットワークに正常に接続されていない場合は、以下のようになります。

- 両方の LED がオフになります。
- I/O 設定ページで、「LAN エラー - キャリアの喪失」と表示されます。

この場合、以下の処理を実行します。

1. 両端でケーブルの接続状態をチェックします。
2. 良好であることがわかっているケーブルに交換してみます。
3. プリンタが接続されているネットワーク スイッチ、ハブ、またはデバイスで、別のネットワーク コネクタに切り替えてみます。
4. リンク設定を手動で設定して、ネットワーク ハブまたはスイッチのポート設定と合わせます。手動設定の方法については、[93 ページのリンク設定方法](#)を参照してください。プリンタの電源を切ってから再度電源を入れて、設定を再度初期化します。
5. I/O 設定ページを印刷して、リンク設定を確認します。

項目	説明
ポート設定	<p>プリンタが正しくリンクされている場合、この項目の値は以下のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none">● 10BASE-T 半二重 : 10Mbps、半二重● 10BASE-T 全二重 : 10Mbps、全二重● 100TX 半二重 : 100Mbps、半二重● 100TX 全二重 : 100Mbps、全二重● 1000TX 全二重 <p>プリンタが正しくリンクされていない場合、以下のいずれかのメッセージが表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none">● 不明 : プリンタが初期化状態になっています。● 切断 : ネットワーク接続が検出されませんでした。ネットワーク ケーブルを確認します。リンク設定を再設定するか、プリンタを再起動します。
オート ネゴシエーション	<p>リンク設定のオート ネゴシエーションがオンかオフかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none">● オン(デフォルト) : プリンタのネットワーク設定が、適切な速度および通信モードで自動的に試みられます。● オフ : フロントパネルを使用してリンク速度と通信モードを手動で設定する必要があります。正しく動作するには、設定がネットワークの設定と一致している必要があります。

6. リンク設定が不明であったり、間違っている場合は、ネットワーク パラメータを工場出荷時の設定にリセットします。[94 ページのネットワーク パラメータをリセットする](#)を参照してください。

コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある


問題の例を以下に示します。

- プリンタにイメージを送信しても、フロントパネルのディスプレイに「データを受信しました」というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとする、コンピュータにエラーメッセージが表示される。
- 通信が確立された状態で、コンピュータまたはプリンタのいずれかがハングしている(アイドル状態)。
- コンピュータのプリントスプーラで印刷ジョブが止まっている。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する(線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど)。


通信の問題を解決するには、以下の処理を実行します。

- ジョブを送信するときに、正しいプリンタを選択していることを確認します。
- 問題が起きているアプリケーションとは別のアプリケーションで印刷した場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチボックス、バッファボックス、ケーブルアダプタ、ケーブルコンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- 別のネットワークケーブルを試してみます。
- 大判印刷の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- 対処が必要な警告やエラーメッセージがプリンタに表示された場合は、印刷を行う前に必要な操作を行います。

内蔵 Web サーバにアクセスできない

1. まだお読みでない場合は、まず[13 ページの内蔵 Web サーバ](#)をお読みください。
2. プリンタで内蔵 Web サーバが有効になっていることを確認します。それには、フロントパネルで  をタップし、[セキュリティ]>[接続]>[内蔵 Web サーバ(EWS)]>[オン]を選択します。
3. プリンタとの通信エラーが起きている場合、Web ブラウザでプロキシ設定を確認します。
4. 問題が起きているアプリケーションとは別のアプリケーションで印刷またはアクセスした場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
5. 対処が必要な警告やエラーメッセージがプリンタに表示された場合は、問題を解決するために必要な操作を行います。
6. どれもうまくいかない場合は、フロントパネルの電源ボタンでプリンタの電源を切り、もう一度オンにします。

HP Utility からプリンタにアクセスできない

1. まだお読みでない場合は、まず[13 ページの HP Utility](#) をお読みください。
2. プリンタドライバが使用できること、および HP DesignJet Utility Windows) で正しく機能することを確認します。
3. フロントパネルで  をタップし、[セキュリティ]>[Web サービス]>[印刷と管理]を選択し、印刷と管理が有効になっていることを確認します。無効になっている場合は、HP Utility の一部が適切に動作していない可能性があります。

プリンタが印刷ジョブを受信するまでに時間がかかる

大判印刷の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。ただし、印刷ジョブをプリンタに送信してからフロントパネルのジョブキューに表示されるまでの時間が異常に長い場合は、以下のようにいくつかの点を確認します。

- プリンタに接続されているネットワークケーブルが Cat5e 以上の品質であることを確認します。
- ギガビット速度のネットワーク機器とケーブルによりコンピュータクライアントがプリンタに接続されていることを確認します。
- ネットワークのリンクに問題がないことを確認します。[94 ページのリンクのトラブルシューティング](#)を参照してください。
- プリンタで有効にされ設定された IPSec セキュリティ プロトコルを使ったネットワークのデプロイメントでは、ネットワーク通信を保護するために使用される暗号化アルゴリズムによってパフォーマンスが低下する可能性があることに注意してください。
- HP SmartStream やサードパーティの RIP などのツールを使用すると、ネットワークのパフォーマンスが低下する場合、[内蔵 Web サーバ]>[ネットワーク]>[その他の設定]>[高速 RIP モード]>[高速モードの有効化]を選択し、RIP 印刷サービスおよび 9101 と 9102 の高速印刷ポートが有効になっていることを確認します。
- 標準的なネットワーク環境の大半に適しているデフォルトの設定を取得するために、ネットワーク設定を工場出荷時の設定にリセットしてみます。[94 ページのネットワークパラメータをリセットする](#)を参照してください。
- また、イーサネットスイッチやルータを通過させず、標準のイーサネット(Cat5e または Cat6)ケーブルのポイントツーポイント接続によりコンピュータとプリンタを直接接続しテストすると役に立つ場合もあります。この設定では、プリンタとコンピュータの両方の IPv4 アドレスが 169.254.x.x の形式に自動的に変更される必要があります。このポイントツーポイントの設定で、他のネットワーク機器によって生じた問題を排除することができます。

5 印刷ジョブを送信する


お使いの環境および設定に応じて、選択可能なさまざまな印刷方法があります。

- HP SmartStream から：<http://www.hp.com/go/smartstreampagewidthxl/manuals/>で HP SmartStream のドキュメントを参照してください。
- プリンタドライバから：ファイルを開くことができるソフトウェアアプリケーション、およびプリンタ付属のプリンタドライバを使用して、ネットワークでプリンタに接続されているコンピュータからあらゆる種類のファイルを印刷します。[99 ページのドライバから印刷する](#)を参照してください。
- USB フラッシュドライブから：USB フラッシュドライブからファイルを直接印刷します。[102 ページの USB フラッシュドライブから印刷する](#)を参照してください。
- RIP から：Raster Image Processor (RIP)プログラムをコンピュータで実行し、プリンタにジョブを送信することができます。RIP ソフトウェアはさまざまな会社から提供されています。RIP ベンダのドキュメントを参照してください。
- MFP のみ：ファイルをコピーします。[114 ページの「スキャンとコピー\(MFP のみ\)」](#)を参照してください。
- すでにジョブキューにあるファイルを印刷します。[106 ページの「キューの管理」](#)を参照してください。
- 電子メールから印刷します。

ドライバから印刷する

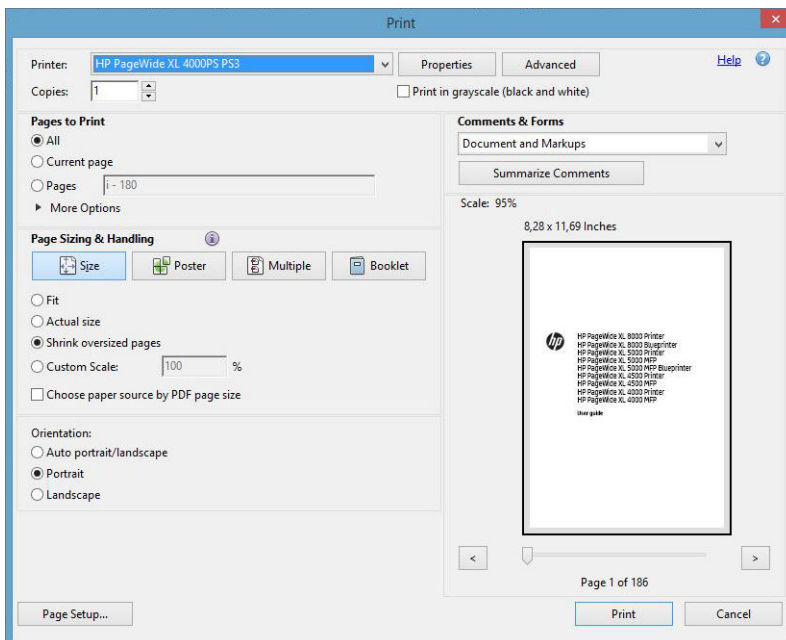
これはコンピュータから印刷する従来の方法です。正しいプリンタドライバがコンピュータにインストールされている必要があります。また、コンピュータはネットワークでプリンタに接続されている必要があります。

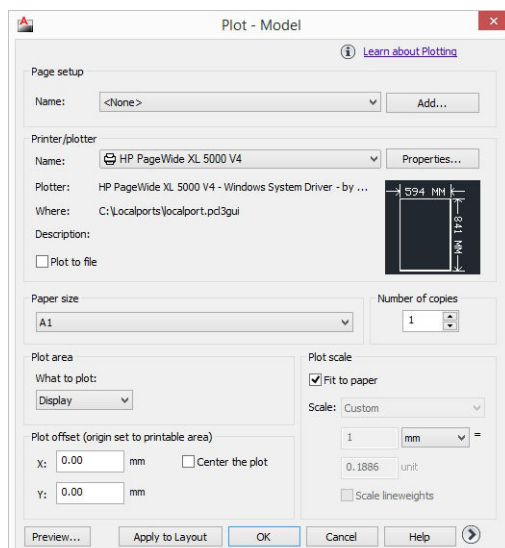
プリンタドライバがインストールされ、コンピュータがプリンタに接続されている場合は、アプリケーション独自の【印刷】コマンドを使用し、正しいプリンタを選択して、ソフトウェアアプリケーションから印刷できます。

 **注記：**初回の印刷時、Windows によりプリンタドライバが自動的にインターネットで検索されます(コンピュータがインターネットに接続されている場合)。ユーザがドライバを検索する必要はありません。ただし、このプロセスではその他のソフトウェアがインストールされません。そのため、すべてのプリンタソフトウェアがインストールされるように、HP の Web サイト (<http://www.hp.com/go/pagewidexseries/support/drivers>) からダウンロード可能なインストールパッケージを使用してインストールすることを推奨します。

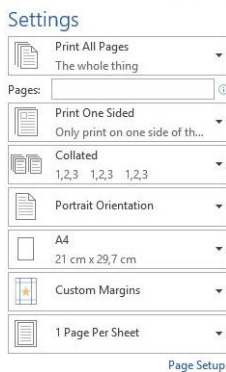
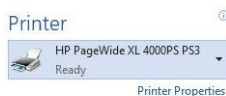
メインのドライバ設定を確認および変更する

プリンタドライバを使って印刷する場合、すべての要件を満たすために使用できる印刷設定が比較的多数あります。アプリケーションから印刷する場合は、【ファイル】>【印刷】をクリックし、【印刷オプション】または【プロパティ】(アプリケーションに応じて異なる)を選択して、ドライバ設定を確認できます。



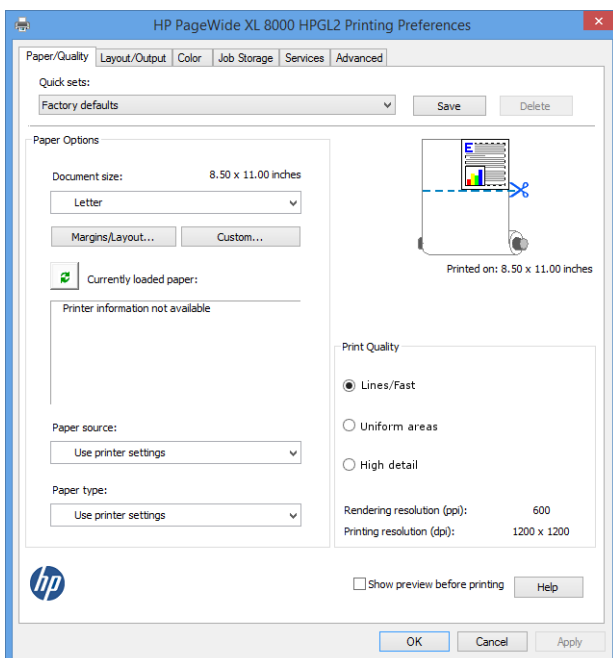


Print

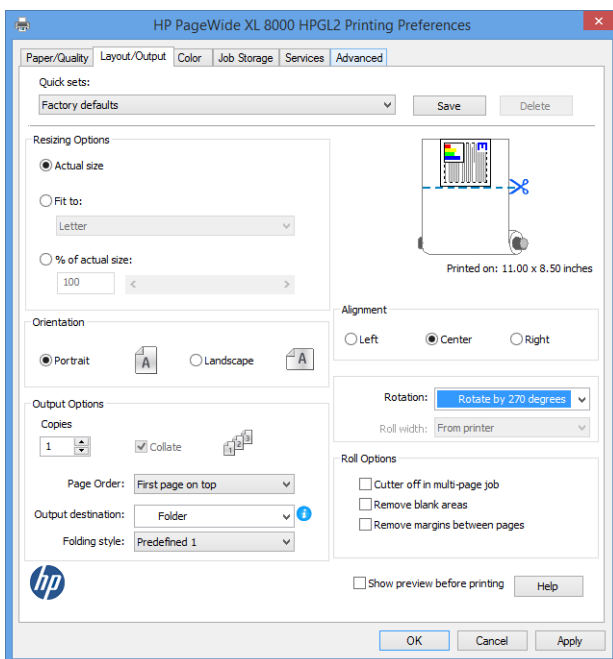


💡 ヒント : 要件を満たさないことがわかっている場合を除いて、通常はデフォルト設定を使用することを推奨します。プリンタでは、ジョブに最も適したロール紙と用紙を選択するために、それらに関する固有のポリシーが適用されます。

💡 ヒント : Windows の場合のみ: 特定の設定グループを繰り返し使用する場合は、独自に選択した名前でこれらの設定を保存し、後で呼び出すことができます。保存した設定グループは、クイックセットと呼ばれます。



プリンタドライバは、お使いのプリンタに接続されているスタッカや折畳デバイスなどのアクセサリをサポートします。プリンタのデフォルトの出力先は、ドライバでもデフォルトの出力先です。ただし、ドライバから、折り畳みスタイル、丁合い、最初のページから印刷または最後のページから印刷など、出力先とその他のオプションを変更することができます。



ジョブストレージとPIN印刷

ジョブストレージでは、ジョブを保存し、必要なときに印刷することができます。また、個人の識別番号(PIN)を使って、印刷ジョブを「プライベート」として設定する機能もあります。ジョブストレージ機能にアクセスするには、プリンタのプロパティを開き、**[印刷設定]**をクリックします。**[ジョブストレージ]**タブをクリックすると、以下のジョブストレージ機能を使用できます。

- **[印刷して保存]**：ジョブは印刷されるとプリンタに保存されます。その後、フロントパネルから追加の部数を印刷することができます。
- **[印刷して削除]**：ジョブは印刷されるとプリンタから自動的に削除されます。

- **[フロントパネルから取得(個人ジョブ)]**: 個人ジョブ印刷機能を使用して、プリンタのフロントパネルで解除するまでジョブを印刷できないように指定します。

このジョブを内蔵 Web サーバでプレビューするには、PIN を入力する必要があります。

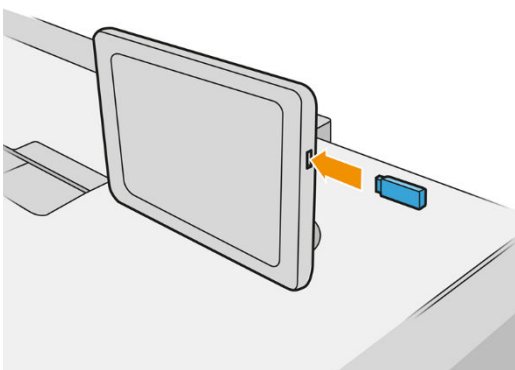
- **[フロントパネルから取得(プライベート ジョブ)]**: プライベート印刷機能を使用して、PIN を使用して解除するまでジョブを印刷できないように指定します。まず、**[フロントパネルから取得(プライベート ジョブ)]**をクリックすると、**[印刷の PIN]**チェックボックスを選択できるようになります。このチェックボックスをオンにすると、4桁の個人識別番号を設定する必要があります。PIN は、印刷ジョブの一部としてプリンタに送信されます。印刷ジョブを送信した後、PIN を使用してジョブを印刷できます。ジョブは印刷されるとプリンタから自動的に削除されます。

このジョブを内蔵 Web サーバまたはフロントパネルでプレビューするには、PIN を入力する必要があります。

☝ **ヒント**: ジョブキューで簡単に識別できるように、**[ジョブストレージ]**タブでユーザー名とジョブ名を定義します。


USB フラッシュ ドライブから印刷する


1. 1つ以上の TIFF、JPEG、HP-GL/2、RTL、PDF、または PostScript ファイルを含む USB フラッシュドライブをプリンタの USB ポートに挿入します。



📌 **注記**: PDF または PostScript ファイルを印刷するには、PostScript プリンタが必要です。

📌 **注記**: プリンタで USB フラッシュドライブを使用することは、管理者によって無効になっている場合があります。


2. フロントパネルでホーム画面に移動し、 をタップします。


フォルダをタップして、その内容を参照します。ファイルはドキュメントのサムネイルとして表示され、**[プレビュー]**アイコンをタップすると、ファイルをプレビューできます。プレビューが表示されたら、拡大および縮小することができます。印刷できないファイルには、 が付いています。




3. 印刷するファイルを選択します。複数ページのドキュメントは PDF ファイルでのみサポートされています。このような場合は、印刷するページを選択することもできます。
4. USB から印刷クイックセットのリストが表示されます。選択したジョブのいずれかのクイックセットを選択したり、編集したりすることができます。

以下の設定があります。

- **[クイックセット名]**では、使用するクイックセットに名前を付けることができます。
- **[出カスケール]**では、「元のサイズに対する比率」または「特定の用紙サイズに合わせる」の2つの方法で、印刷のサイズを変更できます。デフォルト値は100%です(元のサイズ)。
- **[印刷品質]**では、印刷品質を**[線画/高速]**、**[均一の塗りつぶし]**、**[高精細]**に設定することができます。
- **[カラーオプション]**では、カラーまたはグレースケールを選択できます。
- **[給紙方法]**では、ロール紙1またはロール紙2で印刷を指定するか、または**[用紙の節約]**を選択して、印刷に適する最も幅の狭いロール紙を自動的に選択できます(2つのロール紙が取り付けられている場合)。

 **注記：**プリンタの**[ロール紙幅の選択]**の設定には、**[同幅の用紙のみ印刷]**および**[同幅以上の用紙のみ印刷]**という2つの値があります。**[同幅の用紙のみ印刷]**を選択すると、ページと同じ幅のロール紙のみに各ページが印刷されます。

- **[排紙先]**では、出力をスタッカ(デフォルト)またはバスケットに指定することができます。
- **[ページ順序]**では、最初のページが上になるように印刷するか、最後のページが上になるように印刷するかを選択できます。
- **[丁合い]**では、丁合いをオンまたはオフにすることができます。
- **[回転]**では、印刷対象を90度ごとに回転させることができます。また、**[自動]**を選択すると、印刷対象を自動的に回転させて、用紙が節約されます。
- **[プリンタのマージン]**では、プリンタのデフォルトのマージンを変更できます。
- **[ストレージモード]**には、印刷して削除(ジョブはジョブキューに保持されません)と印刷して保存(ジョブはジョブキューに保持されます)の2つのオプションがあります。
- **[折畳スタイル]**では、折畳デバイスが取り付けられている場合に、折畳スタイルを選択することができます。折畳デバイスを使用するには、**[排紙先]**設定で**[折畳デバイス]**を選択する必要があります。
- **[カッター]**を使用すると、コピー間またはジョブの終了後のカットを無効にすることができます。デフォルト動作を変更するには、 をタップし、**[ジョブ管理]**>**[カッターオフ]**を選択します。
- **[アライメント]**を使用すると、ロール紙上のイメージの位置を決定することができます。


 **注記：**ジョブを選択した後にクイックセットを編集した場合、変更された設定は現在のジョブにのみ適用され、永続的には保存されません。自分のクイックセットを永続的に変更するには、クイックセット画面で をタップするか、 をタップし、**[印刷、スキャン、コピーのクイックセット]**>**[USBのクイックセットから印刷する]**を選択します。

 **注記：**工場出荷時のクイックセットは変更できません。

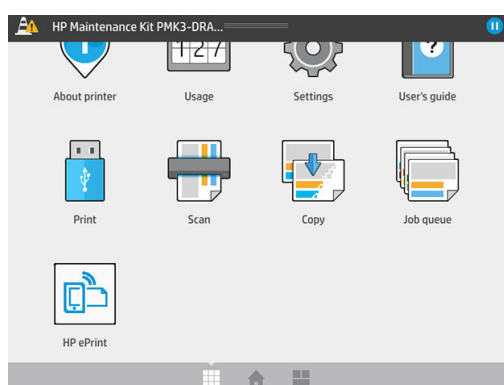
5. クイックセットの設定に満足したら、**[OK]**をタップして続行します。

- 画面に、[部数]、[ページ順序]、および[丁合い]の設定が表示されます。クイックセットの設定に関わらず、この手順で確認して変更することができます。[印刷]をタップして次に進みます。
- 印刷後、別のファイルを印刷するか、またはジョブキューに移動するかを選択できます。ホーム画面に戻らずに直ちに別のファイルを印刷する場合は、前のファイルに使用された一時的な設定が再び使用されます。

電子メールで印刷 (HP ePrint)

このオプションはデフォルトで無効になっていますが、をタップし、[接続] > [HP Connected] > [HP ePrint 接続]を選択することで、フロントパネルから有効にすることができます。HP ePrint は、フロントパネルの[HP Connected]画面で設定することもできます。

これを有効にすると、フロントパネルに次のような HP ePrint アイコンが追加されます。



プリンタの電子メールアドレスを確認するには、この新しいアイコンをタップします。アドレスを変更するか、使用を制限する場合は、<http://www.hpconnected.com> から行うことができます。

この方法では、プリンタドライバがなくてもインターネット接続を使用してどこからでも印刷できます。ただし、いくつか制限がある点に注意してください。

- 印刷する添付ファイルは PDF、JPEG、または TIFF 形式にする必要があります。
- 最大ファイルサイズは 10MB ですが、電子メールサーバ側の制限がそれより小さいことがあります。
- ファイルは、元のドキュメントサイズ(100%の倍率)、標準印刷、カラー、および通常は縦向き(一部のプリンタでは自動回転されます)で印刷されます。


印刷品質を選択する

プリンタには3つの印刷品質モードがあり、モードのそれぞれの名前が示すように、さまざまな種類のイメージの特定のニーズに対応します。

すべての印刷品質モードは、1パスの印刷(HP DesignJet プリンタとは異なる)のためですが、印刷速度、カラー戦略、イメージ処理などのいくつかのパラメータが、それぞれの場合に対して最適化されています。

目的に最も適した印刷モードを選択するには、以下の印刷モードの表と図を参照してください。

	印刷するイメージ	推奨される印刷モード	得られる結果
A	モノクロまたはカラーの線画と文字 最高の生産性が必要なコンテンツ	線画/高速	高品質の線画と高い生産性
B	均一の色による大きな領域	均一な塗りつぶし	色の均一性と彩度が向上し、遠くからでもよく見える
C	背景色の上に表示される文字や線 非常に詳細で複雑な描画	高精細	滑らかな背景と精細な線や文字


 **注記:** 線画/高速モードの目的は2つあります。線と文字のみのイメージに使用するか、高い生産性が必要なあらゆる種類のイメージに使用することです。



6 キューの管理

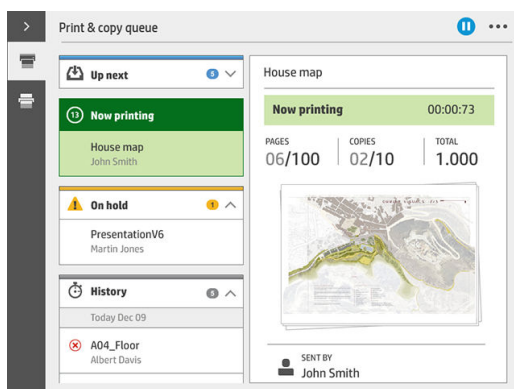
- [ジョブキューについて](#)
- [ジョブキューへの操作](#)
- [ジョブキューのオプション](#)
- [デフォルトの印刷設定](#)
- [ジョブの削除](#)
- [内蔵 Web サーバのジョブキュー](#)

ジョブキューについて


フロントパネルでジョブキューを表示するには、ホーム画面で  をタップします。ジョブキューは、内蔵 Web サーバでも確認できます。 [113 ページの内蔵 Web サーバのジョブキュー](#) を参照してください。

MFP のみ：画面の左側にあるタブから **[印刷およびコピー ジョブ]** または **[スキャン ジョブ]** を選択できます。ジョブキューのページには、選択したジョブキューにあるすべてのジョブが表示されます。

印刷キューには、受信中、解析中、レンダリング中、印刷中、およびすでに印刷されたジョブなどが含まれます。



スキャンキュー(MFP のみ)には、スキャンされているジョブとスキャンされたジョブが含まれます。

 をタップすると、ツールバーが表示されます。ジョブを選択すると、ジョブの詳細が表示されます。これには、ステータスに関する情報、ページ数、コピー部数、合計数およびプレビューなどがあります。

有効なキューでは、印刷中のジョブがキューの真中に、印刷済みのジョブがその下に、これから印刷されるジョブがその上に表示されます。上下にスクロールすることができます。スクロールすると、キューが静止し、自動的に移動しなくなります。

左側のパネルのジョブは、上から日付順に4つのカテゴリ(待機中、印刷中、保留、履歴)に分かれています。保留カテゴリは、保留中のジョブが1つ以上ある場合にのみ表示されます。ジョブ名の下にステータスが表示されます。


待機中

- **処理を待っています**：ジョブはプリンタによって受信され、レンダリングを待っています。
- **データを処理しています**：プリンタがジョブを解析し、レンダリングしています。
- **印刷待ちまたは一時停止**：ジョブは処理され、印刷エンジンが印刷に移行するのを待っています。

印刷中

ジョブが印刷されています。

- **一時停止**：ジョブは一時停止しています。

 **注記**：場合によっては、印刷中にセルフサービス中のステータスが表示されます。これは、あるジョブのページの印刷の間に、用紙種類の変更や印刷モードの変更など、プリンタが何らかのタスクを実行していることを意味します。

保留


ジョブは何らかの操作を行うまで印刷されません。以下のいずれかの操作を行います。

- **保留：プライベートジョブ**：ジョブを印刷するのに必要な PIN を入力します。印刷後にジョブがキューから削除されます。
- **保留：個人ジョブ**：ジョブは自動的に印刷されません。キューから選択する必要があります。詳細は表示されません。
- **プレビュー待ち**：ジョブは自動的に印刷されません。キューから選択する必要があります。
- **用紙の不一致のため待機中**：ジョブに必要な用紙を取り付けます。
- **出力の不一致のため待機中**：ジョブに必要な出力先を有効にするか、または変更します。
- **アカウント情報待機中**：ジョブで使用するアカウント ID を入力します。
- **保留：復元されたジョブ**：プリンタの復元後に、印刷されなかったジョブが保留になっています。
- **サプライ品待ち**：プリンタの用紙、インクカートリッジ、プリントヘッド、クリーニングコンテナ、またはメンテナンスカートリッジを交換する必要があります。



履歴

- **印刷済み**：日付順に、今日、昨日、先週などのように分かれています。
- **キャンセル**：ユーザによりキャンセルされました。
- **失敗**：ジョブは1つ以上の理由で印刷されませんでした。

ジョブキューへの操作

ジョブキューへの一部の操作は選択した設定により決定します。デフォルトの設定は、ご利用の環境に応じて変更することもできます。これを行うには、ホーム画面で  をタップし、**[ジョブ管理]**を選択します。または、ジョブキューのアプリケーションの右上にある**[...]**ボタンをタップし、**[設定]**をタップします。

ジョブキューの一時停止

ジョブキューは、 をタップすると一時停止し、 をタップすると再開します。一時停止は、現在印刷中のページが終了すると有効になります。

再印刷

[履歴]のセクションで、再印刷するジョブを選択し、**[再印刷]**をタップします。次の画面で、コピー部数、丁合いのオンまたはオフ、ページ順序、給紙方法、出力先を選択できます。

次に印刷

キュー内のジョブが現在の印刷ジョブのすぐ後に印刷されるように順序を変えるには、必要なジョブを選択し、**[次に印刷]**ボタンをタップします。

今すぐ印刷

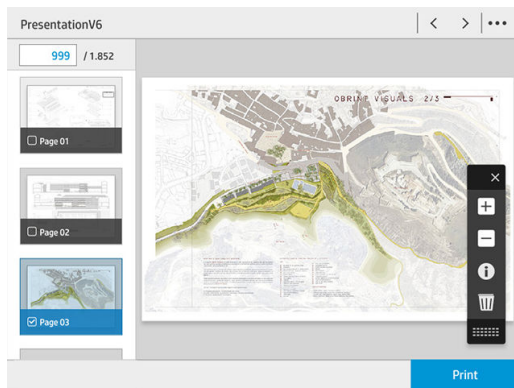
現在印刷中のジョブを中断し、キュー内のジョブがすぐに印刷されるように順序を変えるには、必要なジョブを選択し、**[今すぐ印刷]**ボタンをタップします。



注記: この操作を有効にするには、ホーム画面の  に続いて**[ジョブ管理]**をタップし、**[今すぐ印刷を有効にする]**を有効にします。

ジョブの詳細を表示する

右側のパネルで詳細を表示するジョブ名をタップします。ステータスに関する情報、ページ、コピー部数、合計およびプレビューなどが表示できます。すべての情報を確認するには、必要に応じて下にスクロールします。



サムネールをタップすると、ジョブのすべてのページに移動できます。ツールバーを表示または非表示にするには、**[...]**を使用します。その場所で拡大縮小して、各ページの詳細情報を参照することができます。


ロール紙に関するポリシー


2つのロール紙が取り付けられていて、両方ともジョブに適している場合は、設定に従ってロール紙が選択されます。

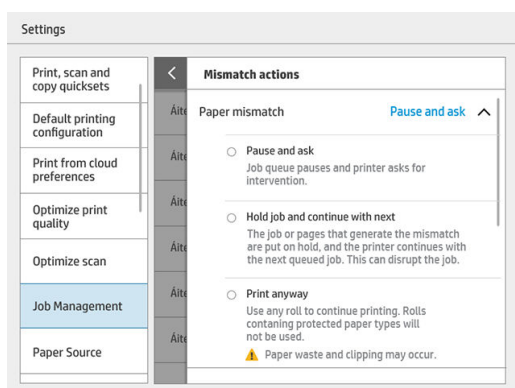
- **[生産性の向上]**: プリンタの生産性を高めるために使用します。

- [ジョブの自動回転]：用紙を節約するために、ジョブが自動的に回転されます。
- [自動ロール紙選択]：ロール紙が定義されていないジョブを受信すると、プリンタでは以下の設定に従ってロール紙が選択されます。
 - [ロール紙幅の選択]：印刷するロール紙の幅を選択する際には、多少制約があります。同じ幅のみで印刷(ページと同じ幅のロール紙に各ページを印刷)することを選択するか、同じ幅またはそれよりも広い幅で印刷(ページと同じ幅かそれ以上の幅のロール紙に各ページを印刷)することを選択できます。
 - [より幅広のロール紙で印刷しない]：定義されているロール紙が切れた場合でも、より幅の広いロール紙に切り替わりません。[ロール紙幅の選択]が[同幅以上の用紙のみ印刷]の場合にのみ適用されます。
 - [残量の最も少ないロール紙を使用]：同じ種類で同じ幅の用紙が2本以上ある場合、残量の少ないロール紙が選択されます。
 - [保護する用紙の種類]：間違っても印刷しないように、特別な用紙の種類を保護することができます。保護された種類は、ジョブで用紙の種類またはロール紙が指定された場合にのみ印刷できます。

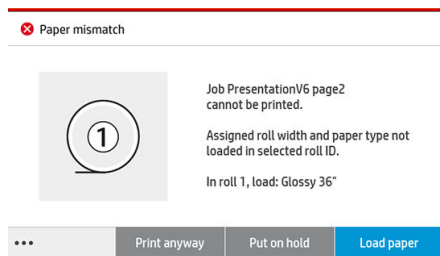
用紙の不一致を解決する

プリンタに現在取り付けられている用紙が特定のジョブやページに適さない場合、プリンタのポリシーに応じて自動的に競合が解決されるか、多数の選択肢が提供されます。そのような競合は、ロール紙や用紙の種類を具体的に指定しないでジョブがプリンタに送信されたり、印刷中にロール紙がなくなりかけると生じる場合があります。用紙の不一致に関する設定メニューには、以下のオプションがあります。ジョブキューからこのメニューにアクセスするには、をタップし、[不一致が起きた場

合の対処]を選択するか、をタップし、[ジョブ管理] > [不一致が起きた場合の対処]を選択します。





- [停止して、連絡](最も制約の高いオプション)：正しい用紙が取り付けられるまで印刷は停止します。プリンタを有人操作している場合に、このオプションを推奨します。メッセージが表示され、ジョブのキャンセル、印刷続行、印刷保留、用紙の取り付けの中でどれを行うかを尋ねられます。これらのオプションはジョブキューからも使用できます。



- **[ジョブを保留して、次を続行]**：正しい用紙が取り付けられるまで不一致が起きたジョブを保留にし、ジョブキューの残りの印刷を続けます。ジョブが保留になると、プリンタはアラートを送信します。ジョブの完全性が損なわれる可能性があっても、プリンタが無人で、キューの停止を避ける必要がある場合には、このオプションを推奨します。ジョブに必要な用紙が取り付けられると、ジョブまたはページの印刷が自動的に再開します。
- **[そのまま印刷をする]**(最も制約の少ないオプション)：取り付けられている種類の用紙にかかわらず、印刷されます。プリンタで印刷に使用されるロール紙の選択条件は、最初にページが収まる用紙で、次に同じ種類の用紙です。このオプションでは、保護されている用紙の種類は決して選択されません。

出力の不一致を解決する

特定のジョブに選択した出力先が何らかの理由で使用できないことがあります。例えば、出力先の接続が切断されている、取り外されている、一杯である、空であることが必要なジョブに対して空になっていない、出力先でサイズ/種類/長さがサポートされていない、折畳デバイスがオフラインになっているなどの理由があります。用紙の不一致に関する設定メニューには、以下のオプションがあります。ジョブキューからこのメニューにアクセスするには、 をタップし、**[不一致が起きた場合の対**

処]を選択するか、 をタップし、**[ジョブ管理]** > **[不一致が起きた場合の対処]**を選択します。

- **[ジョブを保留にする]**：適切な出力先が使用できるようになるまで不一致が起きたジョブを保留にし、ジョブキューの残りの印刷を続けます。ジョブが保留になると、プリンタはアラートを送信します。プリンタが無人で、キューの停止を避ける必要がある場合には、このオプションを推奨します。
- **[ジョブキューを一時停止して尋ねる]**：適切な出力先が使用できるようになるまで印刷は停止します。プリンタを有人操作している場合に、このオプションを推奨します。メッセージが表示され、ジョブのキャンセル、印刷続行、印刷保留、用紙の取り付けの中でどれを行うかを尋ねられます。


ジョブキューのオプション

ジョブキューのオプションを変更するには、 をタップし、**[ジョブ管理]** > **[ジョブキュー]**を選択します。


このオプションでは、キューに保持する最大数の印刷済みジョブ、印刷済みジョブを削除する時期、指定した時間の経過後に保留中のジョブを削除するかどうかを選択できます。

MFPのみ：スキャンキューを含めるかどうかを選択することもできます。

デフォルトの印刷設定

フロントパネルで  をタップし、**[デフォルトの印刷設定]** を選択して、リモートの場所からプリンタに送信されたジョブのデフォルト プロパティを定義します。

設定を定義できるのは、印刷品質、カラー、用紙、マージン、HP-GL/2、PostScript、印刷の取得です。

 **注記：**用紙オプションでは、デフォルト サイズ、回転などの設定を定義することができます。この種の設定は、ドライバ別のジョブ、HP SmartStream、クイックセットなどに対して変更できます。ただし、HP SmartStream やクイックセットでは左右反転オプションを使用できません。そのため、このオプションを使用している場合は、プリンタ ドライバを除き、あらゆる給紙経路で印刷されるすべてのジョブに影響が及びます。

左右反転して印刷する場合は、この設定のステータスを確認します (**[デフォルトの印刷設定]** > **[用紙オプション]** > **[左右反転]**)。

ジョブの削除

プリンタに新しいジョブを保存する領域がなくなった場合、一番古い印刷済みジョブが自動的にキューから削除されます。

印刷済みジョブの合計数が指定した制限を超えた場合(履歴の最大数設定)、または指定した時間よりも前にジョブが印刷済みである場合(履歴の消去設定)、印刷済みのジョブが自動的にキューから削除されるようになります。

保留中のジョブを削除するには、**[保留中のジョブを削除]**設定で時間を設定すると、この時間(2~48時間)の経過後にジョブが削除されます。

ジョブを手動で削除するには、ジョブを選択し、フッターにある**[削除]**をタップします。すべてのジョブを削除するには、**[...]**メニューで**[すべてのジョブを削除]**をタップします。すべてのジョブキューが削除されます。

削除オプションではキューのジョブが削除されますが、キャンセルオプションではジョブがキャンセルされるだけでキューには残り、「**ユーザの指示によりキャンセルしました**」と表示されます。

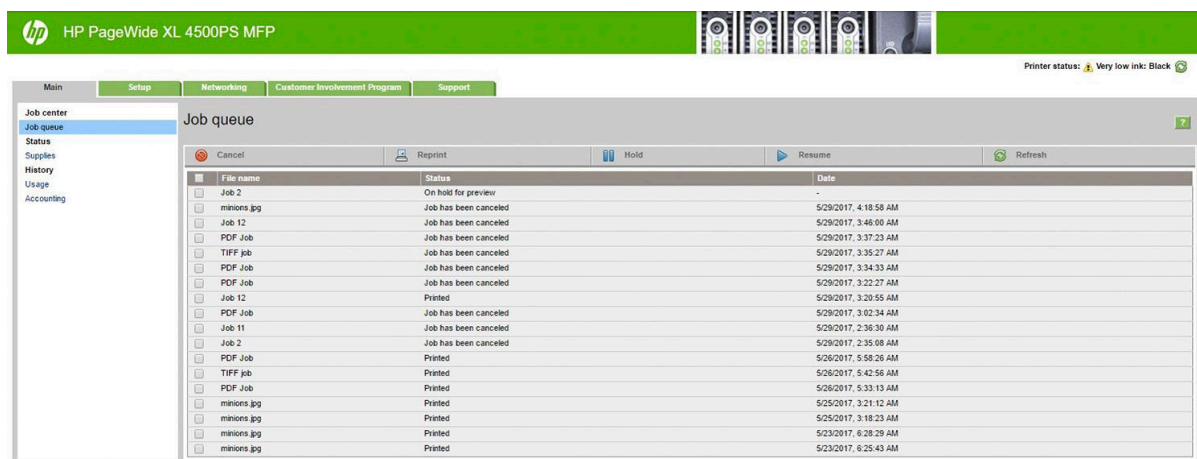
ジョブをキャンセルするには、リストのジョブ名をタップして、右下の**[ジョブのキャンセル]**をタップします。ジョブキュー画面になっていない場合は、印刷中に**[X]**をタップし、ジョブをキャンセルすることができます。

 **注記：** **[X]**をタップすると、現在の印刷ジョブのみがキャンセルされます。

内蔵 Web サーバのジョブキュー


インターネットに接続されたコンピュータであれば、Web ブラウザにプリンタの IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバにアクセスすることができます。ジョブキューはデフォルトで最初のウィンドウに表示されます。


内蔵 Web サーバは最高 32 件のジョブを表示できます。各ジョブには、ファイル名、ステータス、および作成日時が表示されます。ジョブのプレビューはありません。



使用できる機能

- **[キャンセル]**：既に印刷中であっても、ジョブをキャンセルします。
- **[再印刷]**：前と同じ設定でジョブを再印刷します。ここではコピー部数を変更することができます。
- **[保留]**：プリンタに送信されたジョブを保留します。
- **[再開]**：保留にしたジョブの保留を解除して印刷します。
- **[更新]**：ジョブの一覧をアップデートします(自動的にアップデートされません)。

 **注記**：管理者アカウントが有効な場合は、ジョブキューを表示できますが、これらの機能を実行するには、パスワードを入力する必要があります。

 **ヒント**：ジョブキューが表示されない場合は、ブラウザのキャッシュのクリアが必要になる可能性があります。

7 スキャンとコピー(MFPのみ)

- [クイックセット](#)
- [スキャン](#)
- [コピー](#)
- [スキャナ環境設定](#)
- [スキャナのトラブルシューティング](#)
- [スキャナ診断プロット](#)

クイックセット

スキャンとコピーではクイックセットを使用します。クイックセットは名前が付いた設定グループで、デフォルトの値が定義されています。これにより効率が高まり、経験が少ないユーザにとっても便利な機能です。

工場出荷時に定義されたクイックセット

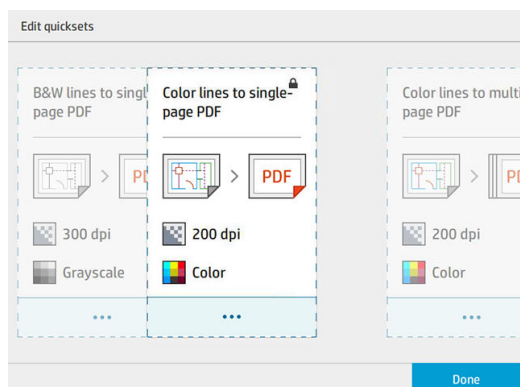
プリンタには工場出荷時に定義されたクイックセットが付属しており、一般的なユーザの要件をサポートします。クイックセットは、スキャン、コピー、印刷ジョブに使用できます。

ユーザー定義のクイックセット

プリンタに設定された許可に応じて、クイックセットを作成、削除、順序変更、変更できます。これらを行うには、設定のアプリケーションで、[印刷、スキャン、コピーのクイックセット]をタップするか、スキャン、コピー、印刷のワークフローから[クイックセットの管理]をタップします。

自分のクイックセットを複製して、一時的または永続的に編集したり、削除することができます。工場出荷時に定義されたクイックセットのみが複製できます。

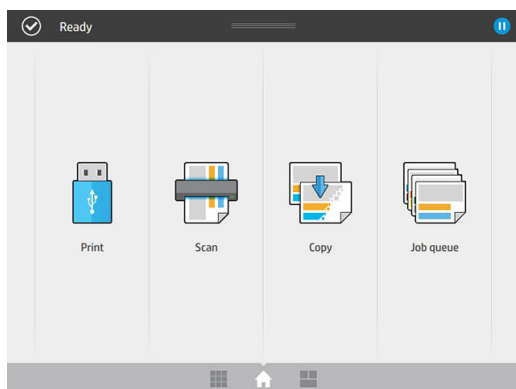
[クイックセットの管理]からクイックセットの順序を変更することができます。クイックセット全体をタップし、目的の位置にドラッグします。[最後の設定]クイックセットは常に最初に表示されます。



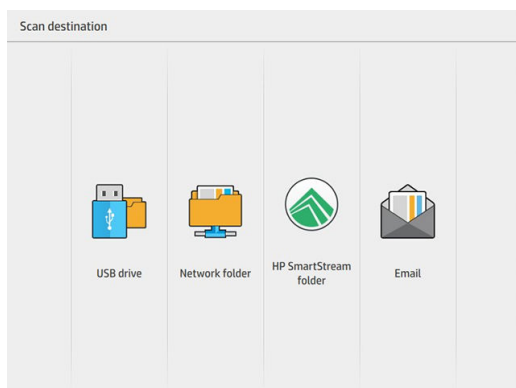
スキャン




1.  をタップします。

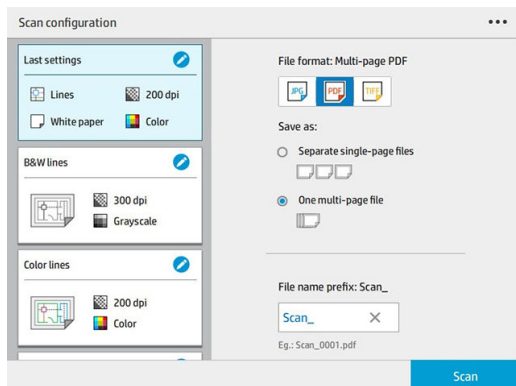



2. スキャンの送信先を選択します。



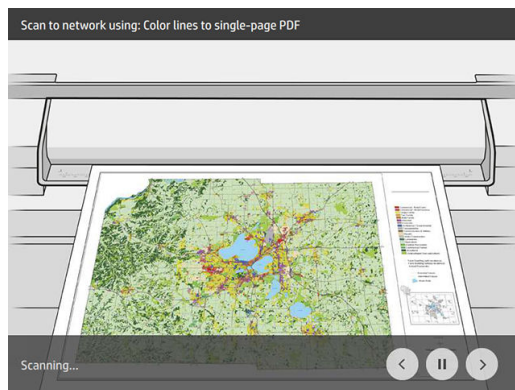
- USB フラッシュ ドライブにスキャン
- ネットワークフォルダにスキャン(ネットワーク フォルダが追加されている場合)
- HP SmartStream フォルダにスキャン(インストールされている場合)
- 電子メールにスキャン(電子メール サーバが設定されている場合)

3. スキャンジョブに適したクイックセットを選択します。クイックセットは、すべて  をタップして変更できます。1 ページまたは複数ページでファイル形式を選択したり、デフォルトのファイル名を変更したりすることができます。

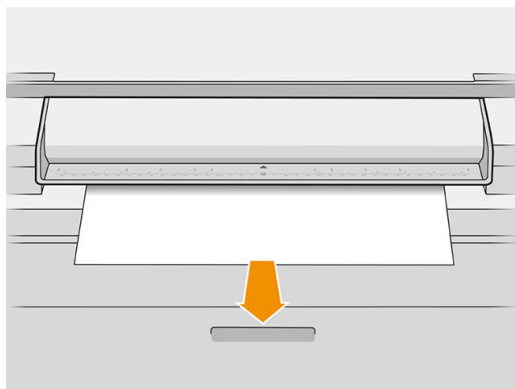


クイックセットを完全に変更するには、 をタップして、[クイックセットの管理]を選択します。

4. 原稿を上向きにして挿入します。



5. スキャナが原稿を排紙したら、受け取ります。

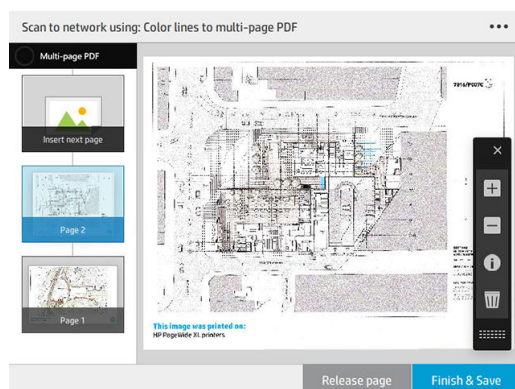


ヒント: ページを排紙するには、クイックセットの自動排紙を選択するか、保留中の原稿を排紙する[ページ解除]をタップするか、新しい原稿を挿入します。

6. 最も役に立つオプションのひとつが、複数ページまたは1ページの原稿をスキャンするためのオプションです。

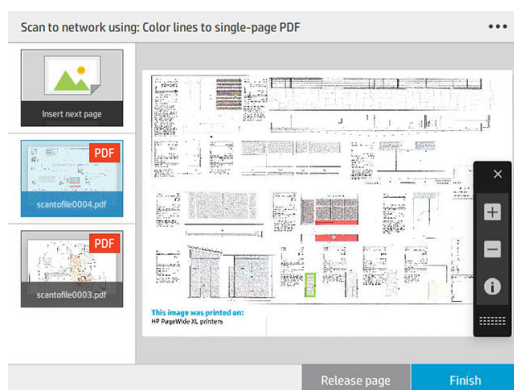
- マルチページの場合: スキャンの結果は、スキャンされたすべてのページが1つのファイルに格納されます。


複数ページのドキュメントをスキャンする場合は、指示されたら次のページを挿入します。





- 1 ページの場合：スキャンの結果は、スキャンされたページがそれぞれ 1 ページのファイルに格納されます。

1 ページをスキャンする場合、ドキュメントが自動的に保存されます。別のページを挿入すると、新しいドキュメントが作成されます。

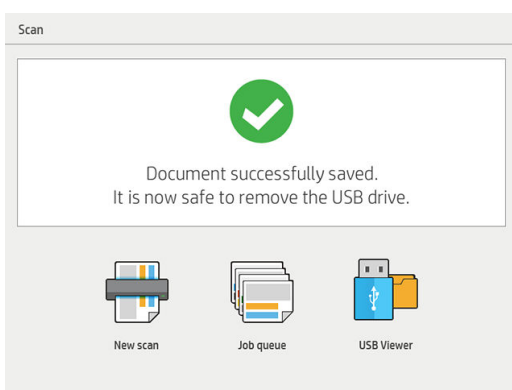


 **注記：** ... をタップすると、ツールバーの表示または非表示、背景の除去設定の表示または非表示、および続くページのスキャン設定を変更することができます。必要に応じて設定を変更したら、[OK]をタップします。

 **注記：** ツールバーのボタンを使用すると、拡大縮小を行ったり、選択したページのスキナ情報を表示できます。複数ページのドキュメントでは、ページを削除することができます。

 **注記：** USB フラッシュドライブにスキャンする場合は、ドライブの残りの容量が表示されます。

7. 1 ページのドキュメントの場合は[終了]をタップし、マルチページのドキュメントの場合は[完了と保存]をタップしてスキャンを終了します。
8. もう一度同じ設定でスキャンするには、[新しいスキャン]をタップします。スキャン済みのジョブのステータスを確認するには、[ジョブキュー]をタップします。[USB ビューワー] (USB にスキャンする場合のみ) を使って、USB フラッシュドライブにジョブがあることを確認し、プレビューすることができます。



スキャンのクイックセットで以下の設定を使用できます。

- [クイックセット名]では、使用するクイックセットに名前を付けることができます。
- [コンテンツの種類]では、コンテンツの種類を[線]、[混在]、[イメージ]に設定することができます。
- [原稿の種類]では、コンテンツの種類を[白紙]、[フォト用紙]、[古紙/リサイクル紙]、[半透明紙]、[ブループリント]、または[アンモニア/古いブループリント]に設定することができます。
- [ブループリントの反転]では、青写真を反転(または反転を無効化)することができます。

- **[原稿の自動リリース]**では、スキャンしたページを自動リリースできます。
- **[給紙サイズ]**では、給紙ページサイズを**[自動]**、**[カスタムサイズ]**、取り付けられている使用可能なロール紙のリスト(**[ロール幅]**)、幅と長さによる標準サイズの固定リスト(**[標準サイズ]**)に設定することができます。

[カスタムサイズ]を選択すると、2つの新しい設定が表示されます。

- **[カスタム幅]**では、特定のスキャン領域幅を設定できます。0を入力すると幅が自動検出されます。
- **[カスタム長]**では、特定のスキャン領域の長さを設定できます。0を入力すると長さが自動検出されます。
- **[向き]**では、**[給紙サイズ]**が**[カスタムサイズ]**、**[ロール幅]**、**[標準サイズ]**(A0を除く)に設定されている場合のページの向きを**[横]**または**[縦]**に設定することができます。
- **[位置]**では、給紙サイズが自動でない場合に、給紙サイズ領域に配置する原稿ページの位置を設定することができます。オプションには、**[左上]**、**[上中央]**、**[右上]**、**[中央左]**、**[中央]**、**[中央右]**、**[左下]**、**[下中央]**、**[右下]**があります。

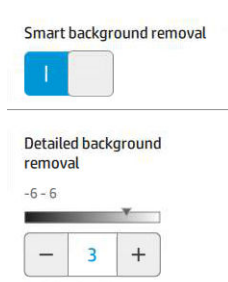
たとえば、A1の原稿をスキャンしたときに給紙サイズがこれよりも小さい(A2など)場合は、位置が左上であれば、原稿ページが左上からトリミングされます。

A2の原稿をスキャンしたときに給紙サイズがこれよりも大きい(A1など)場合は、位置が左上であれば、原稿が左上に配置され、右側と下側に余白が追加されたA1イメージになります。

- **[スキャン解像度]**では、解像度を200、300、600、1200 dpiに設定することができます。
- **[カラーオプション]**では、**[白黒]**、**[グレースケール]**、または**[カラー]**を選択することができます。


- 原稿の背景が完全な白でないか、半透明紙の原稿の場合は、[スマートな背景の除去と詳細な背景の除去]を使用することができます。

スマートな背景の除去では、スキャンした原稿のコンテンツを分析して、コンテンツ(線および領域)を除去することなく、背景を自動的に除去して完全に白い背景にします。スマートな背景の除去は、[グレースケール](カラー オプション)の[線]および[混在]イメージ(コンテンツの種類)でのみ使用できます。



詳細な背景の除去では、スマートな背景の除去をオンにしている場合の結果を微調整したり、スマートな背景の除去をオフにしている場合は、あらゆるタイプの原稿に対する手動背景除去レベルを設定することができます。これらの値は-6~+6 で表される濃いめからより淡めまでのスケールを使用して定義できます。これら両オプションのデフォルト値はゼロです。

たとえば、ブループリントの原稿(青い背景の線)をコピーした場合に、スマートな背景の除去を選択した結果、背景にノイズが示される場合は、詳細な背景の除去を増やして(+3 など)、背景を除去して白い背景にすることができます。スマートな背景の除去はページごとに分析されることに注意してください。そのため、背景が異なる複数のページがある場合は、各ページに自動的に異なる除去値が設定されます。

 **注記**：より優れた結果を得るためには、ほとんどの原稿の種類で、コンテンツ(線、領域フィールド、タイトルボックス)が最初の長さ 8.4 cm のスキャン領域にくるように原稿を挿入する必要があります。

アンモニア/古いブループリントの場合は、原稿のスマートな背景の除去アルゴリズムが不均一な背景やノイズの多い背景用に最適化されているため、どちらのサイドからでも挿入することができます。

- [黒強調]は、濃いグレーを黒に変更するために使用できます。

たとえば、テキストと図を組み合わせたブローシャをコピーする場合、黒に見えても実際には濃いグレーにテキストがデジタル化されることがよくあります。プリンタがこのグレーのテキストを受け取ると、塗りつぶされた黒ではなく、分散したドットを使用するハーフトーンパターンで印刷されることがあります。


黒強調の値を大きくすることにより、実際の黒でテキストがコピーされ、したがってよりクリアになります。黒強調オプションを使用する場合は、(グレーではない)他の暗いカラーも黒に変化し、図に小さな暗い点が現れることがあるので、注意が必要です。

黒強調と背景はいずれも限界値として機能し、この設定の特定の値未満か特定の値を超えるピクセルが影響を受けます。これらの値は、黒強調には0~25 で表される低明度から高明度までのスケールを使用し、詳細な背景の除去には-6~+6 で表されるスケールを使用して定義します。

たとえば、コピーした原稿のテキストをより黒く、背景をより白くすることで原稿を向上させたいとします。この場合は、黒強調の値をデフォルトのゼロから増加し(25 など)、詳細な背景の除去を増やして(6 など)、低明度のピクセルを黒にし、高明度のピクセルを白にします。

- [スキューの除去]では、デジタル スキュー補正をオンまたはオフにすることができます。
- [スキャン速度を低減して品質を向上]を使用すると、200、300 dpi でのスキャン時に、スキャン速度を落としてスキャン結果を向上することができます。

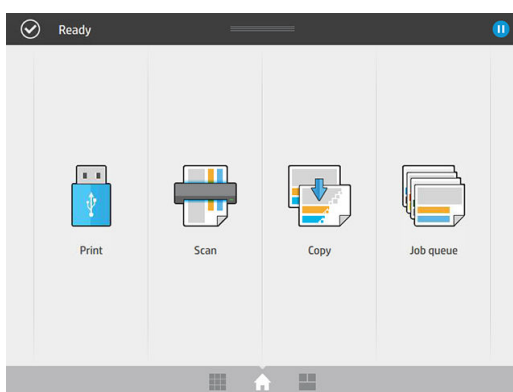
- [形式]では、ファイル形式を[シングルページ PDF]、[複数ページ PDF]、[JPG]、[シングルページ TIFF]、または[マルチページ TIFF]に設定することができます。


 **注記**：PDF ファイルへの出力は、適切なライセンスがある場合にのみ可能です。

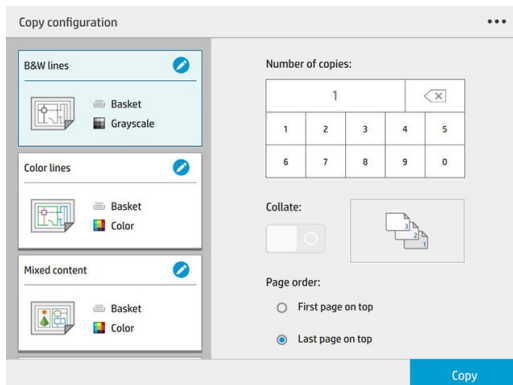
- [圧縮]では、圧縮のレベルを設定できます。
- [ファイル名のプリフィックス]では、生成したファイルのファイル名のプリフィックスを設定することができます。
- [ジョブストレージモード]には、2つのオプションがあります。
 - － [スキャンして削除]：スキャンされたファイルはスキャンキューに保存されません。
 - － [スキャンして保存]：スキャンされたファイルはスキャンキューに保存されます。


コピー

1.  をタップします。



2. コピー ジョブに適したクイックセットを選択します。クイックセットは、すべて  をタップして変更できます。




3. 部数、ページ順序(先頭/最終ページが上)、丁合いの有無を選択することができます。
画面の右側には、コピー部数、丁合い、順序、出力デバイスに応じたジョブの印刷方法が表示されます。
4. コピーモードは、 に続いて[コピーモードの選択]をタップすることで変更できます。

コピーモードでは、2種類のコピージョブ印刷方法のいずれかを選択することができます。

- **[スキャン中にコピージョブをプリントキューに直接送信]**

- ページのスキャン中にコピージョブを印刷します(排紙先と印刷設定に依存)。
- コピージョブは、キューの他のジョブより優先されます。
- コピージョブのページを削除するオプションは使用できません。
- 給紙サイズは常に自動です。手動値は設定できません。
- 現在印刷中のジョブを中断して、緊急のジョブを印刷する場合は、**[コピーが現在の印刷ジョブを中断できるようにする]**を選択します。

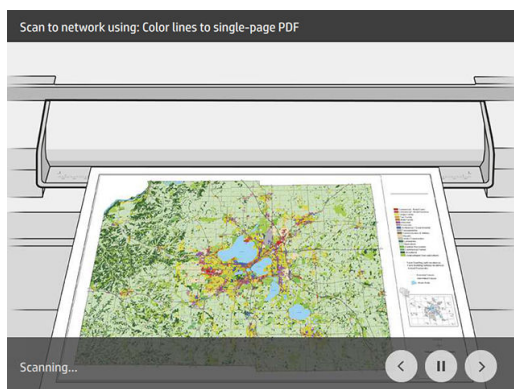
 **注記:** 選択したページの順序が出力デバイスに必要な順序と一致しない場合、または丁合いを使用する場合は、**[完了と印刷]**をタップした時にジョブがジョブキューに送信されます。

- **[すべてのページをスキャンしてからプリントキューに送信]**

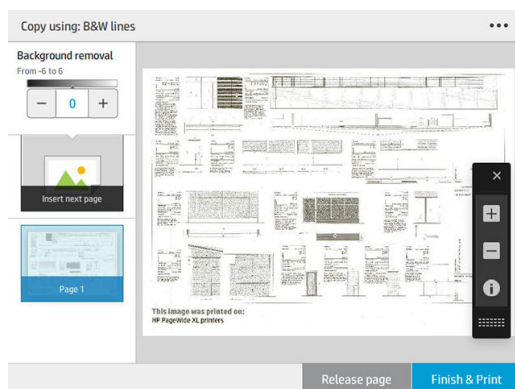
- すべてのページをスキャンした後に、コピージョブを印刷します。
- ジョブキューは、コピージョブの実行中に他のジョブの印刷を継続します。
- コピージョブのページを削除するオプションが使用できます。


5. **[コピー]**を押して次に進みます。


6. 原稿を上向きにして挿入します。



7. 次の画面では、コピーした各ページのプレビューを表示して、サムネールを参照できます。

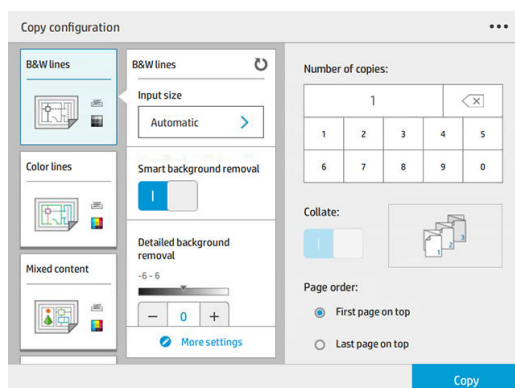


 **注記：** ●●● をタップすると、ツールバーの表示または非表示、背景の除去設定の表示または非表示、および続くページのコピー設定を変更することができます。必要に応じて設定を変更したら、[OK]をタップします。

 **注記：** ツールバーのボタンを使用すると、拡大縮小を行ったり、選択したページのスキャナ情報を表示できます。[すべてのページをスキャンしてからプリントキューに送信]コピーモードを使用している場合は、ページを削除することができます。

8. 他にコピーするページがない場合は、[終了]をタップします。

コピーを開始する前にクイックセットのメイン設定を変更する場合は、●●●をタップして[クイックセットの詳細パネルの表示]を選択できます。



コピーのクイックセットで以下の設定を使用できます。

- [クイックセット名]では、使用するクイックセットに名前を付けることができます。
- [コンテンツの種類]では、コンテンツの種類を[線]、[混在]、[イメージ]に設定することができます。
- [原稿の種類]では、コンテンツの種類を[白紙]、[フォト用紙]、[古紙/リサイクル紙]、[半透明紙]、[ブループリント]、または[アンモニア/古いブループリント]に設定することができます。
- [青写真の反転]では、青写真を反転(または反転を無効化)することができます。
- [原稿の自動リリース]では、スキャンしたページを自動リリースできます。
- [給紙サイズ]では、給紙ページサイズを[自動]、[カスタムサイズ]、取り付けられている使用可能なロール紙のリスト([ロール幅]、幅と長さによる標準サイズの固定リスト([標準サイズ])に設定することができます。

[カスタム サイズ]を選択すると、2つの新しい設定が表示されます。

- [カスタム幅]では、特定のスキャン領域幅を設定できます。0を入力すると幅が自動検出されます。
- [カスタム長]では、特定のスキャン領域の長さを設定できます。0を入力すると長さが自動検出されます。

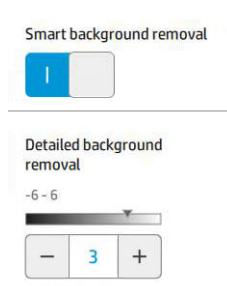
- [向き]では、[給紙サイズ]が[カスタム サイズ]、[ロール幅]、[標準サイズ](A0を除く)に設定されている場合のページの向きを[横]または[縦]に設定することができます。
- [位置]では、給紙サイズが自動でない場合に、給紙サイズ領域に配置する原稿ページの位置を設定することができます。オプションには、[左上]、[上中央]、[右上]、[中央左]、[中央]、[中央右]、[左下]、[下中央]、[右下]があります。

たとえば、A1の原稿をスキャンしたときに給紙サイズがこれよりも小さい(A2など)場合は、位置が左上であれば、原稿ページが左上からトリミングされます。

A2の原稿をスキャンしたときに給紙サイズがこれよりも大きい(A1など)場合は、位置が左上であれば、原稿が左上に配置され、右側と下側に余白が追加されたA1イメージになります。


- [スキャン解像度]では、解像度を200、300、600 dpiに設定することができます。
- [カラー オプション]では、[白黒]、[グレースケール]、または[カラー]を選択することができます。
- 原稿の背景が完全な白でないか、半透明紙の原稿の場合は、[スマートな背景の除去と詳細な背景の除去]を使用することができます。

スマートな背景の除去では、スキャンした原稿のコンテンツを分析して、コンテンツ(線および領域)を除去することなく、背景を自動的に除去して完全に白い背景にします。スマートな背景の除去は、[グレースケール](カラー オプション)の[線]および[混在]イメージ(コンテンツの種類)でのみ使用できます。



詳細な背景の除去では、スマートな背景の除去をオンにしている場合の結果を微調整したり、スマートな背景の除去をオフにしている場合は、あらゆるタイプの原稿に対する手動背景除去レベルを設定することができます。これらの値は-6~+6で表される濃いめからより淡めまでのスケールを使用して定義できます。これら両オプションのデフォルト値はゼロです。

たとえば、ブループリントの原稿(青い背景の線)をコピーした場合に、スマートな背景の除去を選択した結果、背景にノイズが示される場合は、詳細な背景の除去を増やして(+3など)、背景を除去して白い背景にすることができます。スマートな背景の除去はページごとに分析されることに注意してください。そのため、背景が異なる複数のページがある場合は、各ページに自動的に異なる除去値が設定されます。

 **注記**：より優れた結果を得るためには、ほとんどの原稿の種類で、コンテンツ(線、領域フィールド、タイトルボックス)が最初の長さ 8.4 cm のスキャン領域にくるように原稿を挿入する必要があります。

アンモニア/古いブループリントの場合は、原稿のスマートな背景の除去アルゴリズムが不均一な背景やノイズの多い背景用に最適化されているため、どちらのサイドからでも挿入することができます。

- **[黒強調]**は、濃いグレーを黒に変更するために使用できます。


たとえば、テキストと図を組み合わせたブローシャをコピーする場合、黒に見えても実際には濃いグレーにテキストがデジタル化されることがよくあります。プリンタがこのグレーのテキストを受け取ると、塗りつぶされた黒ではなく、分散したドットを使用するハーフトーンパターンで印刷されることがあります。

黒強調の値を大きくすることにより、実際の黒でテキストがコピーされ、したがってよりクリアになります。黒強調オプションを使用する場合は、(グレーではない)他の暗いカラーも黒に変化し、図に小さな暗い点が現れることがあるので、注意が必要です。

黒強調と背景はいずれも限界値として機能し、この設定の特定の値未満か特定の値を超えるピクセルが影響を受けます。これらの値は、黒強調には0~25で表される低明度から高明度までのスケールを使用し、詳細な背景の除去には-6~+6で表されるスケールを使用して定義します。

たとえば、コピーした原稿のテキストをより黒く、背景をより白くすることで原稿を向上させたいとします。この場合は、黒強調の値をデフォルトのゼロから増加し(25など)、詳細な背景の除去を増やして(6など)、低明度のピクセルを黒にし、高明度のピクセルを白にします。

- **[コントラスト]**では、コントラストのレベルを設定できます。
- **[スキューの除去]**では、デジタルスキュー補正をオンまたはオフにすることができます。
- **[スキャン速度を低減して品質を向上]**を使用すると、200、300 dpiでのスキャン時に、スキャン速度を落としてスキャン結果を向上することができます。
- **[印刷品質]**では、印刷品質を**[線画/高速]**、**[均一の塗りつぶし]**、**[高精細]**に設定することができます。
- **[出力スケール]**では、出力ページサイズを選択できます。
- **[給紙方法]**では、ロール紙1またはロール紙2で印刷を指定するか、または**[用紙の節約]**を選択して、印刷に適する最も幅の狭いロール紙を自動的に選択できます(2つのロール紙が取り付けられている場合)。

 **注記：** プリンタの**[ロール紙幅の選択]**の設定には、**[同幅の用紙のみ印刷]**および**[同幅以上の用紙のみ印刷]**という2つの値があります。**[同幅の用紙のみ印刷]**を選択すると、ページと同じ幅のロール紙のみに各ページが印刷されます。

- **[用紙のカテゴリ]**では、印刷に使用する用紙のカテゴリを変更することができます。
- **[回転]**では、回転を**[自動]**、**[0°]**、**[90°]**、**[180°]**、または**[270°]**に設定することができます。
- **[アライメント]**を使用すると、ロール紙上のイメージの位置を決定することができます。
- **[コピーのマージン]**では、プリンタのデフォルトのマージンを変更できます。
- **[ジョブストレージモード]**には、2つのオプションがあります。
 - **[印刷して削除]**：ジョブはジョブキューに保持されません。
 - **[印刷して保存]**：ジョブはジョブキューに保持されます。
- **[排紙先]**では、プリンタに使用できるものの中から排紙先を選択できます。
- **[折畳スタイル]**では、折畳デバイスが取り付けられている場合に、折畳スタイルを選択することができます。折畳デバイスを使用するには、**[排紙先]**設定で**[折畳デバイス]**を選択する必要があります。

スキャナの環境設定

 をタップし、**[スキャナの環境設定]**を選択すると、次の設定を選択できます。

- **[給紙の遅延]**では、スキャナに原稿を給紙する前の遅延を追加することができます。

 **注記**：最小遅延は1秒です。

- **[PDF/A]**では、アーカイブ用のPDF/A形式を有効にすることができます。
- **[拡張カラー]**を使用すると、**[原稿の種類]**が**[白紙]**の場合に拡張カラーを再現できます。

スキャナのトラブルシューティング

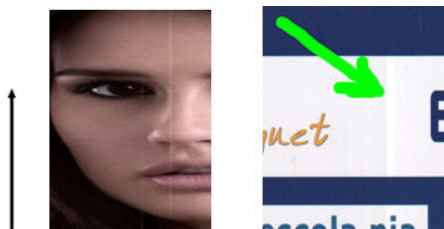
このセクションでは、最も一般的な問題や障害モードを、関連性や出現頻度別に示します。不具合とは、CISスキャナを使用した場合に通常発生する一般的なイメージアーティファクトです。これらの不具合は、設定が正しくないか、製品の限界であるか、または簡単に解決可能な間違いに起因します。障害モードは一部のスキャナコンポーネントの故障に起因します。

ここで提案される修正措置の一部では、[138 ページのスキャナ診断プロット](#)で説明されているように、印刷およびスキャン可能なスキャナ診断プロットを使用する必要があります。スキャナをテストする場合、このガイドの印刷版を使用しないでください。印刷版に含まれているイメージの解像度はテストには不十分です。この章で説明されているエラーに応じて、推奨される場合は診断プロットを使用してください。

最初のインストール時、またはスキャナの品質が重要な場合に、CISセンサーのクリーニングを推奨します。


不規則な縦線

これはシートフィードスキャナの最も一般的な問題の1つです。通常、縦線は、スキャナ内部のほこりの粒子、またはスキャナのキャリブレーションエラーが原因で発生します(この場合は、問題を解決できます)。以下は、縦線ができていないイメージの例です。この例の黒い矢印は、スキャン方向を示しています。



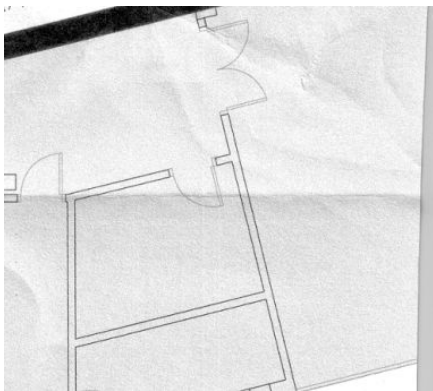
対処

1. [163 ページのスキヤナのガラスプレートをクリーニングする\(MFPのみ\)](#)の説明に従って、スキヤナのガラスプレートおよびスキャンする原稿をクリーニングします。その後、原稿を再度スキャンします。
2. 線がまだ残っている場合は、[168 ページのスキヤナをキャリブレーションする\(MFPのみ\)](#)の説明に従って、スキヤナの再キャリブレーションを実行します。スキヤナのキャリブレーションを実行する前に、保守シートをクリーニングし、保守シートが破損していないことを確認します(破損している場合は、サポート担当者に連絡して、新しい保守シートを依頼してください)。キャリブレーションが完了したら、原稿を再度スキャンします。
3. 線がまだ残っている場合は、スキヤナのガラスプレートを目で確認します。破損がある(傷がついていたり、割れている)場合は、サポート担当者に連絡してください。
4. 線が残っている場合は、ガラスプレート内部にほこりの粒子がある場合があります。[163 ページのスキヤナのガラスプレートをクリーニングする\(MFPのみ\)](#)の説明に従って、ガラスプレートを取り外して、クリーニングしてください。

 **注記** : CIS テクノロジーの技術的な限界が原因の場合は、縦線の問題を常に解決できるわけではありません。HP では、高い品質要件を満たすために、CCD テクノロジーを備えた HD スキヤナを提供します。上記のような修正措置を行っても線が残る場合は、さらに高価な CCD スキヤナを購入する以外に、イメージ品質を向上させる手段はありません。


しわや折れ

CIS テクノロジーベースのスキヤナには、フィールドが非常に制限される代わりに、光学的に高い解像度を備えたフォーカスプレーンが備わっています。したがって、スキャンされる原稿がガラスプレートに対して完全に平らである場合には、イメージは鮮明で詳細まで表現されます。ただし、原稿にしわや折れが含まれる場合には、以下の例に示す通り、スキャンされたイメージにこれらの問題がはっきりと見えます。



対処

1. コンテンツの種類を **[イメージ]** に設定し、コントラストと白レベルを 0 に設定して、原稿を再スキャンします。
2. 問題が解決しない場合は、スキヤナの解像度を下げて原稿を再スキャンします(スキャンする場合は「標準」品質、コピーする場合は「高速」または「標準」)。スキャンをやり直す前に、原稿を可能な限り手で平らにしておくことを推奨します。

 **注記**： CIS テクノロジーの技術的な限界が原因の場合は、しわの問題を常に解決できるわけではありません。HP では、高い品質要件を満たすために、CCD テクノロジーを備えた HD スキャナを提供します。上記のような修正措置を行ってもしわが残る場合は、さらに高価な CCD スキャナを購入する以外に、イメージ品質を向上させる手段はありません。

線が不連続になる

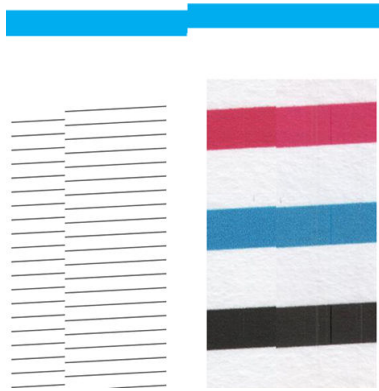
大きな原稿をスキャンまたはコピーする場合は、以下のイメージに示されるような問題が見つかる場合があります。ここでは、直線(必ずしも水平であるとは限らない)が不連続または小さな筋で現れます。この例の黒い矢印は、スキャン方向を示しています。



対処

1. プリンタが正しく配置され(床の上に平らに置かれ、動かない)、スキャン中に印刷していないことを確認した上で、可能であればより高い解像度を使ってスキャンをやり直します。原稿を 90 度または 180 度回転させて再びスキャンすると、問題が解決する場合があります。
2. 問題が解決しない場合は、スキャンする原稿にスキューが生じていないこと、またスキャン中にスキューが生じていないことを確認します。必要に応じて、[132 ページの不適切な用紙送り、スキャン中のスキュー、横のしわ](#)を参照してください。[135 ページのコピーしたイメージまたはスキャンイメージに多くのスキューが生じている](#)で説明されているように、自動デスクューアルゴリズムを無効にすることもできます。
3. スキューはないけれど問題が解決しない場合は、[161 ページの「保守」](#)で説明されているように、スキャナのクリーニングとキャリブレーションを実行します。キャリブレーション中にプリンタを動かさないように気をつけてください(スキャナ キャリブレーション中にプリンタで印刷しないでください)、またキャリブレーションを開始する前に保守シートが正しく配置されていることを確認してください。また、スキャナのキャリブレーション前に保守シートが破損していないことを確認してください(古い保守シートまたは破損している保守シートによってこの問題が発生する可能性があります)。破損している場合は、サポート担当者に連絡して、新しい保守シートを依頼してください。
4. 問題が解決しない場合は、診断プロットの以下の領域の分析に進んでください。
 - a. 4 (モジュール A ~ E)
 - b. 10、モジュール間の接合部
 - c. 13 (モジュール A および E)、および 14 (モジュール B、C、D)

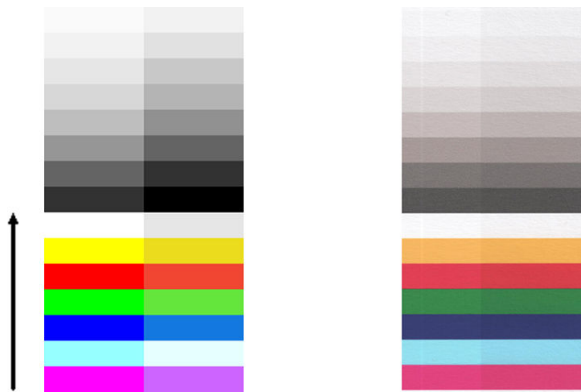
分析領域でこれらの問題が見られる場合は、サポート担当者に連絡して、キャリブレーション後に「線が不連続になる」エラーがあると報告してください。



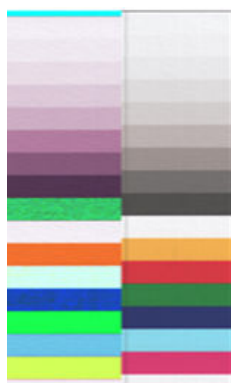
診断プロットの最初と最後の4つの縦の黒線は、CIS モジュール間の接合部のおよその位置を示しており、この種のエラーは通常この接合部あたりに発生します。これらの領域の外側にエラーが表示される場合は、サポート担当者に連絡して、「CIS モジュール内で線が不連続になる」と報告してください。

隣接する CIS モジュール間のわずかな色の差異

ワイドプロットをスキャンする場合は、2つの CIS モジュール間の接合部の両側にわずかに異なる色が見られる場合があります。この問題(存在する場合は)、CIS モジュール間の接合部の診断プロットのパターン9を分析することによって簡単に確認できます。以下にいくつか例を示します。この例の黒い矢印は、スキャン方向を示しています。



以下の例のように、隣接するモジュール間の色の不一致が非常に多く、重大なスキャナの異常を示す可能性があります。

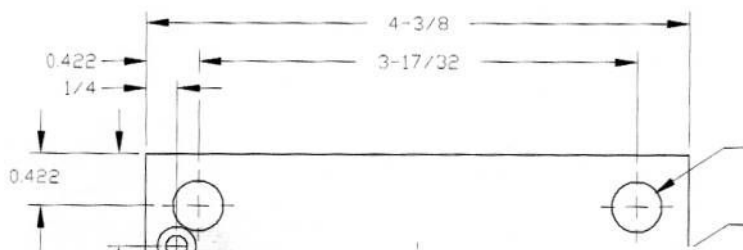


対処

1. コンテンツの種類を[イメージ]に設定し、白レベルを0に減らしてスキャンまたはコピーを繰り返すか、または再度スキャンする前に原稿を90度回転させます。
2. 問題が解決しない場合は、[161ページの「保守」](#)で説明されているように、スキャナのクリーニングとキャリブレーションを実行します。キャリブレーションがエラーなしで終了したら、診断プロットのパターン番号9およびモジュールA~Eの分析に進んでください。
3. パターン9を分析した後で、中間色および鮮明な色のバーの左側および右側の間で多少の色の差異が見られる場合は、サポート担当者に連絡して、「隣接したCISモジュール間のわずかな色の差異」について報告してください。

線の太さがまちまちである、または線が印刷されない

「標準」解像度でCADプロットをスキャンする際、主に極細の線を含むグレースケールまたはモノクロ印刷の場合、線の太さがまちまちであったり、線が印刷されない場合があります。

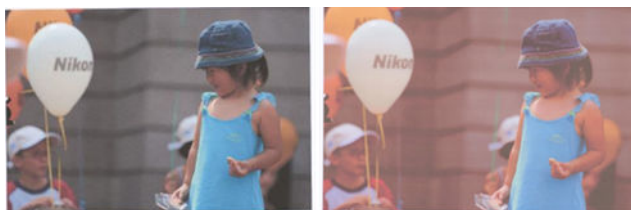


対処

1. より高い解像度を使用してスキャンまたはコピーを繰り返します(スキャンの場合は「高」または「最大」、コピーの場合は「標準」または「高品質」)。また、白レベルを2に設定するか、コンテンツの種類を[混在]に設定する必要もあります。[135ページのコピーしたイメージまたはスキャンイメージに多くのスキューが生じている](#)で説明されているように、自動デスクューアルゴリズムを無効にすることもできます。モノクロモードで作業している場合は、代わりにグレースケールを使用することを推奨します。
2. 問題が解決しない場合は、スキャンをやり直す前に元のプロットをを90度回転させます。
3. 問題が解決しない場合は、[161ページの「保守」](#)で説明されているように、スキャナのクリーニングとキャリブレーションを実行します。

色が正確に再現されない

スキャンする原稿と、その結果として得られるコピーまたはスキャンファイルの色が完全に一致している必要がある場合、いくつかの異なる状態に対処する必要があります。以下の例のように、望ましくない色が見られる場合(左側が原稿、右側がスキャンイメージ)、ここでのガイドラインに従います。



対処

1. スキャンする前に、スキャン設定で正しい用紙の種類を選択したことを確認します。
2. コピーの場合、原稿とそのコピーの間で色が一致するのは、両方が同じ種類の用紙に印刷される場合のみであることに注意してください。スキャンファイルの場合、モニタでカラーキャリブレーションが実行されるか、sRGB または AdobeRGB 標準に準拠している場合にのみ、色が一致します。
3. 上記の条件が満たされていても、さまざまなスキャナ設定が、コントラスト、白レベル、コンテンツの種類、用紙の種類などの最終的なカラーの結果に影響を及ぼすことを考慮する必要があります。最高のカラーを取得するには、コントラストと白レベルを 0 に設定し、コンテンツの種類を【イメージ】に設定して、スキャンしている原稿に応じて最も適切な用紙の種類を選択します(用紙の種類が不確かな場合は、フォト用紙を使用します)。
4. イメージ調整設定は、一定の時間が経つと自動的にデフォルト値にリセットされるため、ジョブを開始する前に設定を確認しないと、同じ原稿をコピーしても異なる結果が表示される場合があります。
5. PDF ファイルにスキャンした場合は、Adobe Acrobat の PDF ファイルを開いて、それを PDF/A ファイルとして保存してください。詳細については、<http://www.adobe.com/products/acrobat/standards.html> を参照してください(英語のみ)。
6. 最適な色の結果を得るには、[161 ページの「保守」](#)で説明されているように、スキャナのクリーニングとキャリブレーションを実行します。
7. スキャナは、直射日光が当たる場所や、冷熱源の近くには置かないでください。

色ぶち

「色ぶち」と呼ばれる問題は、適切ではない用紙送りやキャリブレーションエラーによってスキャナが影響を受ける場合に発生します。ただし、特に高速スキャンの場合には、若干の色ぶちは避けられません。色ぶちは、以下に示す例のように、シャープな黒色のテキストが白い背景に表示されている場合、その境界に見られます(左側が原稿、右側がスキャンイメージ)。黒い矢印は、スキャン方向を示しています。



対処

1. スキャナの解像度を上げた後でスキャンを繰り返します(スキャンの場合は「最大」品質、コピーの場合は「高品質」を選択します)。必要な場合は、スキャンをやり直す前に、原稿を 90 度回転させます。
2. 問題が解決しない場合は、[161 ページの「保守」](#)で説明されているように、スキャナのクリーニングとキャリブレーションを実行します。より高い解像度でスキャンを繰り返す(スキャンの場合は「最大」、コピーの場合は「高品質」)、問題がなくなるかどうか確認します。

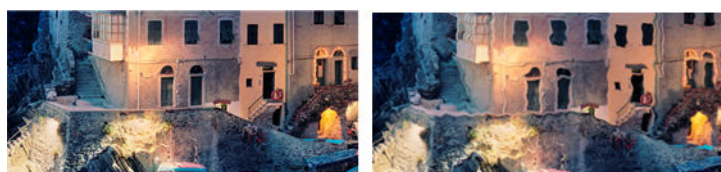
- それでも問題が解決しない場合は、診断プロットのパターン 6 および 8 (A~E)を分析することによってこの問題を診断できます。黒色の横線が上下の両端にわずかに色付いて見えます(以下の右側の例)。通常、上部は赤色、下部は青色または緑色に見えますが、反対の場合もあります。



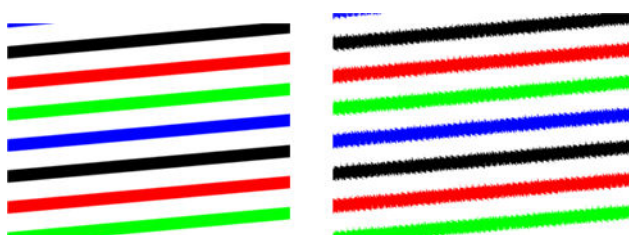
この影響が見られる場合は、サポート担当者に連絡して、「キャリブレーション後の色ぶちの問題」について報告してください。

振動

プリンタが平らな面に正しく配置されない場合、またはスキャナのふたが正しく閉まっていない場合、以下の例のように、スキャンイメージに、振動による影響が見られる場合があります。左側が原稿、右側がスキャンイメージです。



- スキャナが平らな面に配置されていて、スキャナのふたが正しく閉められ、プリンタがスキャン中に機能していないことを確認します。原稿をスキャンし直します。
- 問題が解決しない場合は、スキャンの解像度を変更し(上げるか下げる)、原稿をスキャンし直します。原稿のスキャンをやり直す前に、90度回転させることも推奨します。
- 問題が解決しない場合は、診断プロットのパターン 4 を分析します。右側に問題が見られる場合は、サポート担当者に連絡して、「振動の問題」について報告してください。



不適切な用紙送り、スキャン中のスキュー、横のしわ

厚い光沢原稿がスキャナの用紙経路を移動する際に、問題が発生する場合があります。また、スキャンプロセス中に原稿にスキューが生じる場合があります。

用紙ローラーの一部が正しく機能していない場合、用紙が特定の場所で詰まり、スキャンしたイメージに小さな横のしわが現れる場合があります。

対処

- 原稿を 90 度回転させて、スキャンをやり直します。
- 問題が解決しない場合は、スキャナのふたを開けます。モーターのキャスト(小さな黒色のラバー)と圧力ロール(幅広い白色のプラスチック)をクリーニングします。すべての圧力ロールが自由に動くかどうかを確認します。ローラーの動きの障害となるほこりの粒子または物体が見られる場合は、それらを取り除いて、スキャナのふたを閉じてから、スキャンをやり直します。

3. 問題が解決しない場合は、スキャナをオフにしてから再びオンにして、再起動してください。この操作中にフロントパネルにエラーメッセージが表示される場合は、サポート担当者に連絡して、エラーメッセージについて報告してください。エラーメッセージが表示されない場合は、スキャンをやり直してみてください。
4. 問題が解決しない場合は、診断プロットのパターン 4、13、14 を分析します。診断プロットは次のように見えるはずです。



以下の不正な例に似たイメージが表示される場合は、サポート担当者に連絡して、「用紙送りが正しく行われない」問題について報告してください。



20cm 幅の縦方向の黒いバンディング

スキャナにはさまざまな CIS モジュールがあり、それぞれが 20cm 幅の領域をカバーしています。モジュールの 1 つで障害が発生していても、スキャナハードウェアチェックでその障害が検出されない場合、1 つの CIS モジュールによってカバーされる領域に対応する、スキャンイメージまたはコピーの部分に黒い縦線が現れる場合があります。

以下に例を示します。左側が原稿、右側がスキャンイメージです。黒い矢印は、スキャン方向を示しています。



対処

1. スキャナのふたを開き、5 つの CIS モジュールの赤、緑、青のランプが交互に点滅していることを確認します。モジュールに障害が発生している場合、サポート担当者に連絡して、「CIS モジュールの照明」エラーを報告してください。
2. 前の手順ですべてのモジュールが正しく点灯している場合、スキャナをオフにしてから再びオンに切り替えて、再起動します。この操作中にフロントパネルにエラーメッセージが表示される場合は、サポート担当者に連絡して、エラーメッセージについて報告してください。エラーメッセージが表示されない場合は、スキャンをやり直してみてください。
3. 問題が解決しない場合は、[168 ページのスキャナをキャリブレーションする\(MFP のみ\)](#) で説明されているように、スキャナのキャリブレーションを実行してみてください。この操作が失敗した

ら、サポート担当者に連絡して、フロントパネルに表示されたエラーコードについて報告してください。エラーコードが表示されない場合は、スキャンをやり直してみてください。

4. 問題が解決しない場合は、サポート担当者に連絡して、「20cm 幅の縦方向の黒いバンディング」について報告してください。

スキャナが原稿に損傷を与える

HP では、このスキャナの使用により、厚い光沢紙のインクジェット原稿に縦の傷が生じる場合があることを認識しています。非常に薄いトレーシングペーパーまたは古い原稿も損傷を受ける可能性があります。これは、CIS テクノロジには、正確な結果を取得して、ぶれやピンぼけの問題を避けるために高圧力で原稿を押さえる必要があるためです。

スキャンする原稿が貴重なものであったり、またその原稿が上記のタイプの 1 つに属している場合(インクジェット印刷、厚い原稿、光沢原稿、または古い/薄い/トレーシングペーパーの原稿)、HP DesignJet T1200 HD MFP などの CCD スキャナを使用することを推奨します。

二重になったオブジェクト(ゴースト)

このエラーは CIS スキャナではめったに現れません。ただし、以下のようなイメージの問題が見られる場合があります。左側が原稿、右側がスキャンイメージです。



許可により再現されたイメージ© www.convincingblack.com。

対処

1. プリンタを再起動します。次に、[168 ページのスキャナをキャリブレーションする\(MFP のみ\)](#)で説明されているように、スキャナのキャリブレーションを実行して、スキャンを繰り返します。スキャンをやり直す前に、可能であれば原稿を 90 度回転させます。
2. 問題が解決しない場合は、診断プロットのマジュール A~E のパターン 3 を分析します。右側にエラーの種類が表示される場合は、サポート担当者に連絡して、「二重になったオブジェクト」の問題を報告してください。



コピーまたは印刷で縮小する際に発生するクリッピングまたは不適切な倍率

コピーまたは印刷を実行する場合(USB、内蔵 Web サーバー、またはプリンタ ドライバから)、倍率設定には可能なさまざまなオプションがあります。境界近くのイメージが印刷されない問題が発生している場合、または印刷の倍率調整が正しく行われていない場合、今後のジョブで最適な倍率の設定値を選択するために、このセクションを注意してお読みください。

- **正確な倍率**：この場合は、元のイメージのコンテンツが、選択した割合によって縮小されます。例えば、元の CAD イメージが 1:100 の倍率の場合に、ユーザーが 50%の倍率を選択すると、印刷されたプロットは正確に 1:200 の倍率になります。ただし、固定の割合を選択して縮小すると、プリンタが用紙の端から端まで印刷できないため、プロット境界近くのコンテンツが切り取られる場合があります。
- **ページサイズに合わせてスケール**：この場合は、すべてのコンテンツが正しく印刷され、クリッピングが発生しないようにするために、必要な割合で元のイメージのコンテンツが拡大・縮小されます。ただし、[用紙に合わせる]を選択して縮小すると、調整された倍率は元の倍率を整数で除算したものにはならない場合があります。例えば、元の CAD プロットが A2 用紙サイズの 1:100 の場合に、ユーザーが A3 の用紙サイズに合わせるように倍率を選択すると、倍率は正確に 50%にはならず、印刷されたプロットは正確に 1:200 にはなりません。ただし、プロットはコンテンツのクリッピングなく完全に印刷されます。

トレーシングペーパーのスキャン時の正しくないエッジ検出

完全に透明な用紙はサポートされていませんが、トレーシングペーパーまたは半透明な用紙をスキャンして、良い結果が得られる場合があります。ただし、用紙の端の検出が正確でないと、場合によっては余分なマージンやコンテンツのクリッピングが生じます。ガラスプレートが汚れていると、普通紙をスキャンしても発生する可能性があります。これらの悪影響を避けるには、以下の推奨事項を実行します。


対処


1. スキャナのガラスプレートおよびスキャンする原稿を布で慎重にクリーニングします。可能な場合は、原稿を 90 度回転させてから、スキャンし直します。原稿が半透明である場合は、スキャナの用紙の種類として**[半透明]**を選択します。
2. 問題が解決しない場合は、スキャナのキャリブレーションを実行して、あとで原稿を再スキャンします。
3. 半透明紙の場合に問題が解決しない場合は、スキャンする原稿の裏に白紙を取り付けます。この場合にはスキャナの用紙の種類として、**[白紙]**を選択します。

コピーしたイメージまたはスキャンイメージに多くのスキューが生じている

多くの場合、原稿はある程度のスキューを伴ってスキャナに取り付けられます。この避けられない問題を修正するために、スキャナには自動デスキュー アルゴリズムが内蔵されています。これは原稿のスキューを測定して、スキャンイメージを回転させ、完全にまっすぐな結果にするためのものです。ただし、場合によっては、デスキュー アルゴリズムによりスキューが修正されるのではなく、むしろ増加することがあります。つまり、スキューが悪すぎるため自動的に修正できません。

原稿を最小のスキューで取り付けるには、原稿のイメージ側を上に向けて、左右の端を持ちます。スキャナの入口トレイに手や原稿を置かないでください。原稿の先端全体がスキャナのラバー ロールに十分あたっていると感ずるまで、原稿をスキャナの挿入スロットに入れます。0.5 秒後に原稿が引

き込まれます。これで原稿から手を放すことができます。原稿の固定方法を変更する場合は、 をタップして、再び実行できます。

自動スキュー除去アルゴリズムの操作は、 をタップし、**[印刷、スキャン、コピーのクイックセット]**、**[スキャンクイックセット]**または**[コピークイックセット]**をタップして無効にできます(無効にしたい項目とそうでない項目がある場合)。新しいスキャンジョブで使用するクイックセットから自動デスキューを無効にすることもできます。

ネットワークフォルダまたは HP SmartStream (アクセサリとしてインストールしている場合)にアクセスできない

ネットワークフォルダを設定していても([21 ページのスキャン先ネットワークフォルダまたはスキャン先 FTP フォルダを設定する\(MFP のみ\)](#)を参照)、プリンタがそれにアクセスできない場合は、以下の対処を試してください。

- 各フィールドに正しく入力していることを確認する。
- プリンタがネットワークに接続されていることを確認する。
- リモートコンピュータがオンになっていて、正常に機能しており、ネットワークに接続されていることを確認する。
- フォルダが共有になっていることを確認する。
- プリンタのログオン資格情報を使用して、ネットワーク上の別のコンピュータから同じフォルダにファイルを保存できるかどうかを確認する。
- プリンタとリモートコンピュータが同じネットワークサブネットにあることを確認します。同じサブネットにない場合、ネットワークルータがCIFSプロトコルトラフィック(Sambaとも呼ばれます)を転送するように設定されていることを確認します。

スキャンしてファイルに保存する処理が遅い

大判の原稿をスキャンすると、大きなファイルが作成されます。これは、ファイルへのスキャンが最適なシステム設定および条件下でさえも時間がかかる可能性があることを意味します。これは特に、ネットワークを介してスキャンする場合に当てはまります。ただし、お使いのシステムでのファイルへのスキャンが異常に低速であると思う場合は、以下の手順を実行すると、問題を見つけて、解決できる場合があります。

1. フロントパネルを使用して、スキャンジョブのステータスを確認します。異常に長い時間がかかっている場合は、ジョブを選択して、キャンセルできます。
2. **[解像度]**設定がジョブに対して適切であることを確認します。すべてのスキャンタスクに高解像度が必要なわけではありません。解像度を下げると、スキャン処理が高速化します。JPEG と PDF のスキャンのジョブの場合、**[品質]**設定を変更することもできます。低品質にすると、小さいサイズのファイルが作成されます。
3. ネットワーク設定を確認します。最適なスキャン速度を得るためには、ネットワークをギガビットイーサネットまたはより高速な転送レートのいずれかにする必要があります。ネットワークが10/100イーサネット設定である場合、スキャンデータの転送がより低速になると想定されるため、スキャン速度がより遅くなる可能性があります。
4. 速度を増すためのネットワーク設定、転送レート、ネットワーク上のスキャンファイルの保存先、および可能な解決策については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5. ネットワーク上でファイルへのスキャンが非常に低速で、ネットワーク設定を変更してもそれを修正できない場合は、USB フラッシュドライブにスキャンすることによって速度を改善できません。
6. USB フラッシュドライブへのスキャンも低速な場合、USB フラッシュドライブ インタフェースの互換性を確認してください。お使いのシステムは高速 USB インタフェースをサポートしています。USB フラッシュドライブが高速 USB (USB 2 と呼ばれる場合もある) と互換性がある必要があります。また、スキャンした大判のイメージを保存するための十分な領域が USB フラッシュドライブにあることを確認してください。

コントラストが弱く、青い領域が汚れているブループリントのコピー

次の設定を使用して印刷品質を向上することができます

強力クリーニングを行うには

- 背景の除去 : 4
- 黒強調 : 6
- コントラスト : 2

細い線を維持しながらクリーニングするには

- 背景の除去 : 5
- 黒強調 : 6
- コントラスト : 1

低解像度のコントラストが弱い細い線を向上するには

次の設定を使用して、200 または 300 dpi での印刷品質を向上することができます。

スキャン

- 背景の除去 : 2
- 黒強調 : 6

コピー

- 背景の除去 : 2
- 黒強調 : 6
- コントラスト : 0

スキャナ診断プロット

プリンタと診断シートを印刷する用紙を準備する

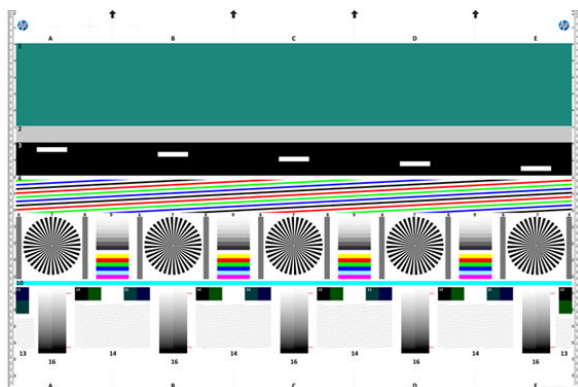
プリンタの電源をオンにして、操作できるようになるまで待ちます。診断プロットを印刷する用紙を選択します(診断プロットを大切に保存すれば、今後いつでも再利用できます)。診断プロットは、光沢紙に印刷するのが最適です。プリンタを主にフォト原稿(ポスター、光沢紙に印刷された写真など)のスキャンまたはコピーに使用する場合には、光沢紙の使用を強く推奨します。プリンタを主にマット原稿のスキャンまたはコピーに使用する場合は、診断プロットの印刷にマットの白紙を使用できます。このプロットを印刷する場合、再生紙やトレーシングペーパーを使用しないでください。診断プロットのサイズは、610×914mmです。914mmの横置きのリール紙または610mmの縦置きのリール紙に印刷できます。また、少なくとも610×914mmの単独のカット紙を使用することもできます。


正しい用紙を取り付けたら、この用紙がカラーキャリブレーションを許可している場合は、プリンタのカラーキャリブレーションを実行することを推奨します。

診断プロットはフロントパネルから印刷できます。 をタップし、[印刷メニュー]>[スキャナ IQ プロット]または[イメージ品質の保守]>[スキャナ IQ プロット]を選択します。

診断シート印刷後のエラーのビジュアルチェック

診断プロットが印刷されたら、最初の手順は、それに含まれるすべてのパターンが正しく印刷されていることを確認することです。正しく印刷された場合、診断プロットは次のように見えるはずですが、



問題が見つかった場合は、推奨される回復手順に従う必要があります。この手順を実行するには、フロントパネルで  をタップし、[イメージ品質の保守]を選択します。プリンタが診断され、正しく機能していたら、[138 ページのスキャナ診断プロット](#)の説明に従って診断プロットを再印刷できます。

診断プロットのスキャンまたはコピー

診断プロットを評価するには、JPEG ファイルのスキャン、または用紙にコピーの2つのオプションがあります。必要に応じて、生成されたファイルがリモート サポート エンジニアによってより簡単に分析できるように、スキャン オプションを使用することを推奨します。プロットをスキャンする場合は、最初に、[139 ページのモニタのキャリブレーション](#)で説明されているように、コンピュータのモ

ニタを調整します。診断プロットをスキャンしたら、イメージビューアソフトウェアでスキャンしたファイルを開き、パターンの視覚的評価修正のため 100%のズームを選択します。

コピーする場合は、少なくとも 914mm (36 インチ)幅のロール紙をプリンタに取り付けます。できるなら、診断プロットを印刷するために使用した用紙の種類をコピーにも使用します。

以下の設定を選択する必要があります。

スキャン

- 品質：最高
- ファイルの種類：JPG
- コンテンツの種類：イメージ
- 圧縮：中
- 用紙の種類：診断プロットの印刷に使用した用紙に従って、フォト用紙またはマット紙。不確かな場合はフォト紙を使用します。

コピー

- 品質：高品質
- コンテンツの種類：イメージ
- 用紙の種類：診断プロットの印刷に使用した用紙に従って、フォト用紙またはマット紙。不確かな場合はフォト紙を使用します。

プロットの印刷面を上に向けて、診断プロットをスキャナの入カトレイに挿入します。診断プロットの黒色の矢印は、取り付け方向を示しています。診断プロットがスキューなしで取り付けられ、中央に配置されていること(つまり、スキャナ領域全体をおおっていること)を確認します。

診断プロットをスキャンしたら(スキャン オプションを選択した場合)、イメージビューアソフトウェアでスキャンしたファイルを開き、パターンの視覚的評価修正のため 100%のズームを選択します。

モニタのキャリブレーション

プロットを評価するモニタでキャリブレーションを行うのが理想的です。ただし、常に行えるとは限らないため、パターンを正しく表示するためにモニタの明度やコントラストを調整するための簡単な手順に従うことを推奨します。

以下の 2 つの四角の明度の差を確認できるまで、モニタの明度とコントラストを調整します。




これで個々に各パターンを確認する準備が整いました。

今後使用するために診断プロットを保存する

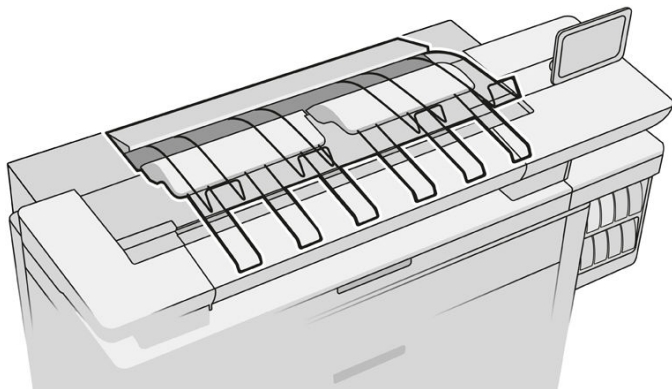
診断プロットは、付属の頑丈なチューブに保守シートとともに保管することを推奨します。

8 回収と完了

ジョブの出力先を選択しないと、印刷はデフォルトの出力先に送信されます。この設定はフロントパネルで変更できます。ホーム画面で  をタップし、**[排紙先]**を選択します。

- [トップスタッカ](#)
- [HP フォルダ](#)

トップスタッカ



プリンタにはトップスタッカが付属していて、ジョブのページが自動的に積み重ねられます。

用紙の種類とサイズに応じて、最大 100 枚の用紙を収容できます。

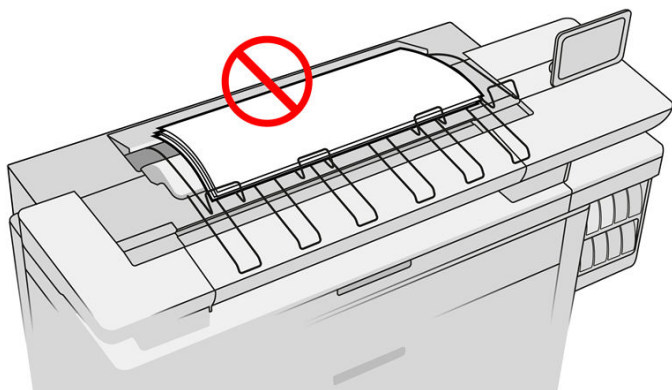
トレーシングペーパーを積み重ねる場合は、トップスタッカに付属のサポートを使用します(その他の種類の用紙には推奨されません)。

デフォルトで、プリンタはページが印刷されるたびに用紙をカットし、用紙がスタッカにきれいに積み重ねられます。


スタッカに 1.2 m より長いページを送信する場合は、印刷物の落下を防止するために、スタッカに付き添うことを推奨します。

現在のジョブが終了したら、または現在のジョブを一時停止して、スタッカに積み重ねられた印刷物の一部を回収することができます。


スタッカから印刷物を回収した後は、スタッカに戻したり、スタッカの上に置いたりしないでください。こういったことを行うと紙詰まりの原因となります。



スタッカを使用するには、ジョブを印刷に送信する前に、以下の設定を選択します。


- フロントパネル：  をタップし、**[排紙先]** > **[トップスタッカ]** を選択します。
- プリンタドライバ：プリンタのプロパティに移動し、**[レイアウト/排紙]** タブを選択し、排紙先を **[トップスタッカ]** に変更します。
- HP SmartStream：ジョブの準備パネルまたは設定パネルで排紙先を **[トップスタッカ]** に設定します。

印刷されたジョブは自動的にトップスタッカにまとめられます。ジョブが終了するのを待って、印刷物を回収します。

 **注記：** 通常の使用の場合、印刷物を取り除く以外、スタッカに対して特別なことを行う必要はありません。時々、上部カバーを開いて、交換するプリントヘッドにアクセスしたり([74 ページのプリントヘッドを交換する](#)を参照)、紙詰まりを解消する必要がある場合があります([57 ページのトップスタッカでの紙詰まり](#)を参照)。

フロントパネルのスタッカのステータス

- **使用可能：** 印刷を受信する準備が整っています。
- **エラー：** ハードウェアの故障、紙詰まりなどです。選択したポリシーに応じて、ジョブが保留になったり、出力が一時停止されます。
- **開く：** リアアーム、フロントトレイ、クリーンアウトが開いています(開いている部分を閉じる必要があります)。選択したポリシーに応じて、ジョブが保留になったり、出力が一時停止されます。
- **一杯：** スタッカが一杯です。選択したポリシーに応じて、ジョブが保留になったり、出力が一時停止されます。

 **注記：** 湾曲した用紙など、一部の用紙の種類はスタッカで紙詰まりを発生させる可能性があります。そのため、ロール紙の終端からの印刷物が積み重ねられる場合に、スタッカが一杯であると報告されることがあります。

- **回収必要：** 一部の用紙の特性が原因で発生する問題を防ぐには、場合によっては、印刷を続行するために、印刷済みのジョブを回収する必要があります。

HP フォルダ

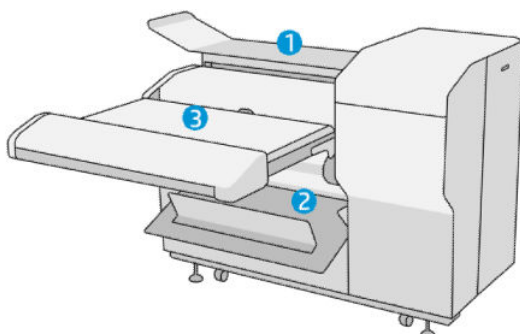
HP F60、HP F70、および HP PageWide フォルダ

HP フォルダは、印刷された用紙を折り畳み、印刷物を最初から最後まで管理します。幅最大 914 mm のサイズのロール紙の各種の折り畳み方法に対応しており、75 ~ 90 g/m²までの用紙重量を処理することができます。

四つ折りまたは連続折りのいずれかのトレイを選択できます。印刷物を折り畳まない場合は、折畳なしトレイに積み重ねることができます。

1. **四つ折りトレイ**は、折り畳まれた印刷物を積み重ねます。このトレイは折り畳まれた A0 サイズの印刷物を最大 150 枚収容できます。印刷物は最大 914 mm の幅、最大 2.5 m の長さになります。それより長い印刷物は四つ折りトレイに送られず、折畳なしトレイの下のキャッチトレイの連続折りトレイに排紙されます。
2. **連続折りトレイ**には 5 ~ 10 枚の長いページを収容できます。このトレイは 210 mm から 6 m(80g/m² の用紙)の長さ、または余長ライセンスがある場合はそれを超える長さ(オプション)で、914 mm の幅の用紙サイズに対応します。長い印刷物は折畳なしトレイの下のキャッチトレイの連続折りトレイに排紙されます。

3. 折畳なしトレイは、折り畳まないページを積み重ねるために使用し、最大約 10 枚まで収容できます。A1 サイズの横向きまたは A0 サイズの用紙で、最大 914 mm の幅に対応しています。折り畳まない印刷物は、折畳なしトレイの上に排紙されます。



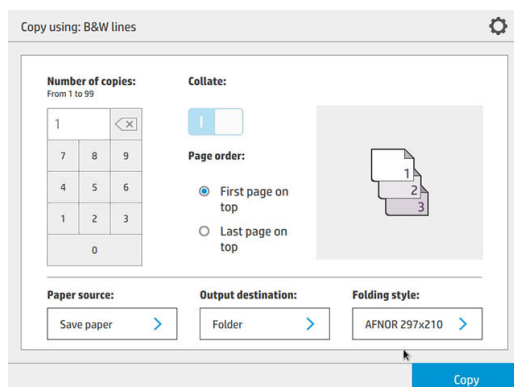
ジョブを折畳デバイスに送信する

- 注記：**折畳デバイスが取り付けられていると、これがプリンタのデフォルトの出力先デバイスになります。折り畳みスタイルを指定しないでジョブを送信すると、デフォルトのスタイルが適用されます。折り畳み設定またはデフォルトの折り畳みスタイルを変更するには、 をタップします。
- 注記：**印刷物を折り畳まずに積み重ねる場合、折り畳みスタイルに[折り畳みなし]を選択します。
- 注記：**ほとんどの場合、表題欄(凡例)は、折畳デバイスに挿入される先端に付されている必要があります。表題欄の位置は、使用している印刷ソフトウェアで(必要に応じて回転させて)設定する必要があります。

折畳デバイスを使用するには、ジョブを印刷に送信する際に、以下の設定を選択します。

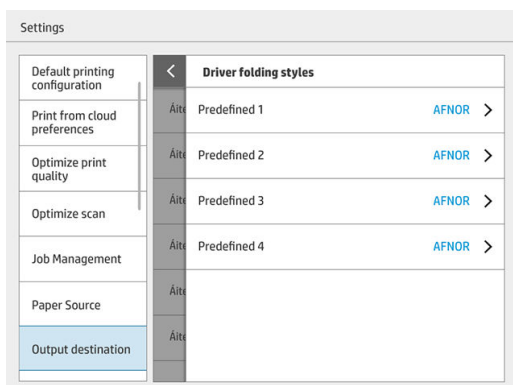
- **フロントパネル：** をタップし、[排紙先] > [折畳デバイス]を選択します。

USB フラッシュドライブから印刷する場合、またはコピーする場合、折畳デバイスを出力先として選択し、折り畳みスタイルを選択できます。

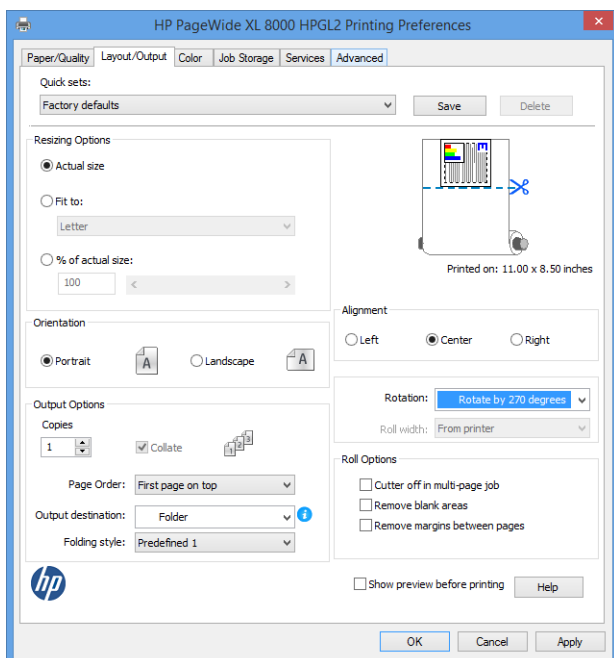


- **プリンタドライバ：**プリンタのプロパティに移動し、[レイアウト/排紙]タブを選択し、排紙先を[折畳デバイス]に変更します。

初めて折畳デバイスを使用する際は、使用する折り畳みスタイルを指定する必要があります。これを行うには、フロントパネルで をタップし、[排紙先] > [ドライバから印刷する]を選択します。ここで、各事前定義に 1 つの折り畳みスタイルを割り当てることができます。



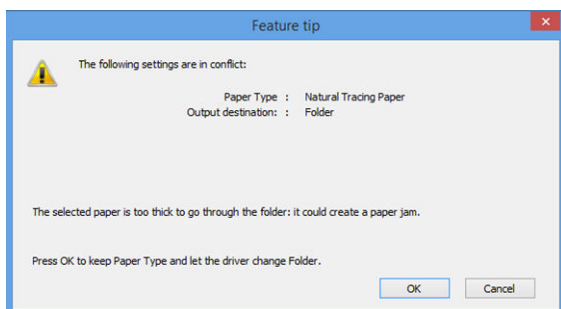
次に、印刷ダイアログで各事前定義またはデフォルトを選択できます。



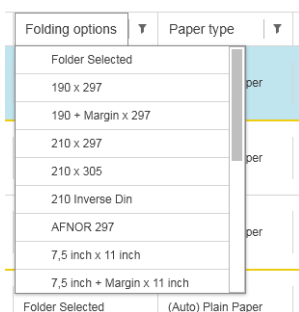
折り畳むジョブに対する推奨設定：

- 内容をマージンでクリップ：マージンへの印刷を避け、適切な折り畳みにするには、**[用紙/品質]**タブで、**[マージン/レイアウト]**>**[内容をマージンでクリップ]**をクリックします。
- 右揃え：折り畳む際に表題欄が正しい位置になるようにするには、**[レイアウト/排紙]**タブで、縦方向を選択します。
- 縦方向：**[レイアウト/排紙]**タブで、縦方向を選択します。

折畳デバイスでサポートされていない用紙の種類がいくつかあります。折畳デバイスにこのような用紙の種類を送信しようとすると、警告メッセージが表示されます。

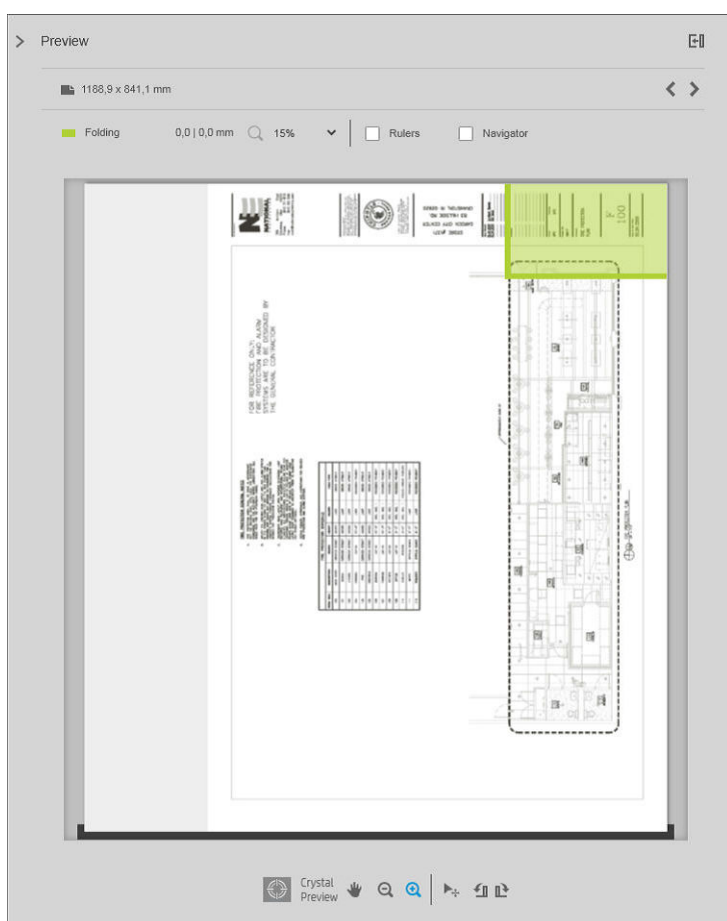


- **HP SmartStream** : ジョブの準備パネルまたは設定パネルで排紙先を**[折畳デバイス]**に設定します。折り畳みスタイルを選択することもできます。



アプリケーションの環境設定で、折り畳み用紙のサイズをプレビューに緑色で表示するかどうかを指定できます。

注記 : この時点で折り畳んだ後の用紙サイズが不明な場合は、表示されません。



プレビュー内の緑色の四角形は、折り畳まれた後にページのどの部分が上になるかを示します。ページの内容を説明する何らかのヘッダーまたは概要情報がページに含まれる場合、その情報を緑色の四角形に含めることをお勧めします。これによって、ページが折り畳まれた後も内容を容易に確認できます。ページの内容を移動するには、回転、軸合わせ、マージンの各オプション（設定パネルの給紙方法オプション）を使用できます。

必要な内容が緑色の四角形に収まっていることを確認し、必要に応じてページを調整するには、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. ロール紙の正しい側にページが配置されるように、環境設定でページのデフォルトの配置とロール紙を設定します。これは一度行えば十分です。
2. ジョブの最初のページを選択してプレビューに表示します。

3. 緑色の四角形を拡大します。プレビューを最大化することをお勧めします。
4. 必要な場合は、キーボードの **E** キーを使用してページを左に 90 度回転するか、**R** キーを使用して右に 90 度回転します。
5. 下矢印ナビゲーションキーを使用して、次のページを選択してプレビューを表示します。

折畳デバイスのステータス

- **起動中**: 折畳デバイスは初期化中で、まだ使用できません。
- **使用可能**: 折畳デバイスはジョブの受信準備が整ったか、ジョブを待機中か、ジョブを受信中です。
- **一杯**: 四つ折りトレイまたは折畳なしトレイが一杯になりました。プリンタは現在のページを終了し、印刷を停止します。
- **エラー**: この場合、すべてのジョブの出力が一時停止になります。
 - 紙詰まり
 - カバーが開いています
 - 折畳デバイスが取り付けられていません
 - 通信エラー (ケーブルが接続されていますが、通信していません)
 - タブ貼り付けデバイスが空です (ジョブがタブとともに折り畳まれる場合)
- **オフラインでの折り畳みが有効になっています**
- **切断** (ケーブルが接続されていません)

折畳デバイスのステータスランプ

- 白色: 使用可能です
- 白色の点滅: 作業中
- 白色と黄色の点滅: タブなし
- 赤色: エラー、対処が必要です (一杯である可能性があります)

折り畳みスタイル

折畳デバイスは、次の 2 つの方法で印刷物を折り畳むことができます。

- 連続折り - 印刷方向に対して、垂直に折り畳まれます。
- 四つ折り - 印刷方向に対して、平行に折り畳まれます。

折り畳みスタイルは、通常 DIN B スタイルまたは DIN C スタイルに基づいています。



DIN B

折り畳まれる印刷物の上と下は、常に反対の面になります。このスタイルが必要な場合、以下の折り畳みスタイルの中からアスタリスクが付いたものを選択します。アスタリスクが付いたスタイルは、DIN B スタイルに基づいています。ファイリング オプション(タブまたはファイリング マージン)を含む、すべての折り畳みスタイルは、その設定に従う必要があります。ファイリング オプション(ハンギング ストリップ/ファイリング マージン)に応じて最後のページの端が特定の場所にこなければならぬため、多くのスタイルでは折り畳みの補正が必要になります。これらのパッケージでは、折り畳み部分が均等に分散していないため、片側が厚くなり、積み重ねる際に倒れることがあります。さらに、印刷物が分厚くなります。



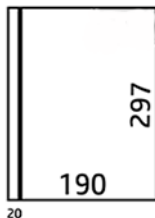
DIN C

折り畳まれる印刷物の上および下は、必ずしも反対の面になりません。折り畳みが補正されないため、大量の印刷を行った場合に、積み重ねがそれほど分厚くならず、均等になるため、プラスチック製のカバーまたは封筒やフォルダに1つにまとめて保管することができます。

DIN

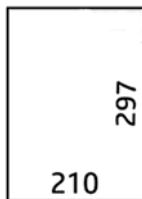
- DIN A 190+20 × 297 mm (綴じ代付き)*

幅 190 mm、マージン 20 mm、高さ 297 mm



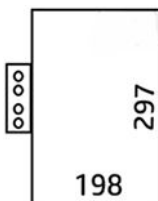
- DIN B 210 × 297 mm (背面パネルカバー)*

幅 210 mm、高さ 297 mm

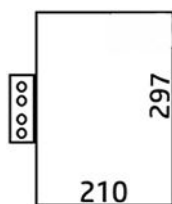


- DIN B 198 × 297 mm TAB*

幅 198 mm、高さ 297 mm、タブ付き



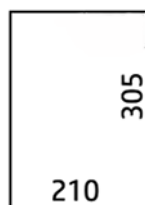
- DIN B 210 × 297 mm TAB*
幅 210 mm、高さ 297 mm、タブ付き



- DIN C 210 × 297 mm (コンパクトな折り畳み)
幅 210 mm、高さ 297 mm



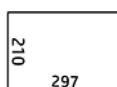
- DIN B 210 × 305 mm*
幅 210 mm、高さ 305 mm



AFNOR (HP F60、HP F70、および HP PageWide XL フォルダのみ)

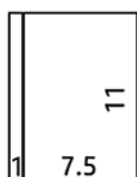
AFNOR スタイルの場合、DIN サイズのロール紙を使用してください。ジョブは、A0 縦、A1 横、または A3 横として送信する必要があります。

- AFNOR (297 × 210 mm)
幅 297 mm、高さ 210 mm

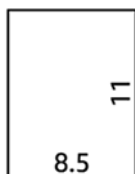


ANSI

- ANSI 7.5 + 1 × 11 インチ
幅 7.5 インチ、マージン 1 インチ、高さ 11 インチ



- ANSI 8.5 × 11 インチ
幅 8.5 インチ、高さ 11 インチ

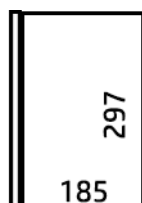


連続折りのみ

- 連続折りのみ(210 mm)
- 連続折りのみ 9 インチ

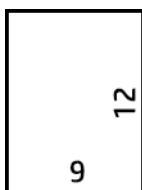
その他

- 185 + 25 × 297 mm (綴じ代付き)
幅 180 mm、マージン 25 mm、高さ 297 mm

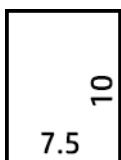


20

- ARCH 9 × 12 インチ
幅 9 インチ、高さ 12 インチ

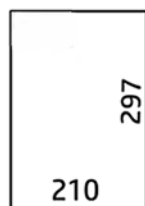


- 郵便 7.5 × 10 in
幅 7.5 インチ、高さ 10 インチ



- 逆 DIN (210 × 297 mm)

幅 210 mm、高さ 297 mm



折畳なしの場合、表題欄は以下のように表示されます。



完全なリストについては、フロントパネルメニューでデフォルトの[折り畳みスタイル]を参照してください。

※ **ヒント**：折畳デバイスは、上記の用紙幅を超えると自動的に補正しようとします。補正されなかった場合は、DIN B 210 × 305 mm の折り畳みスタイルを選択してください。

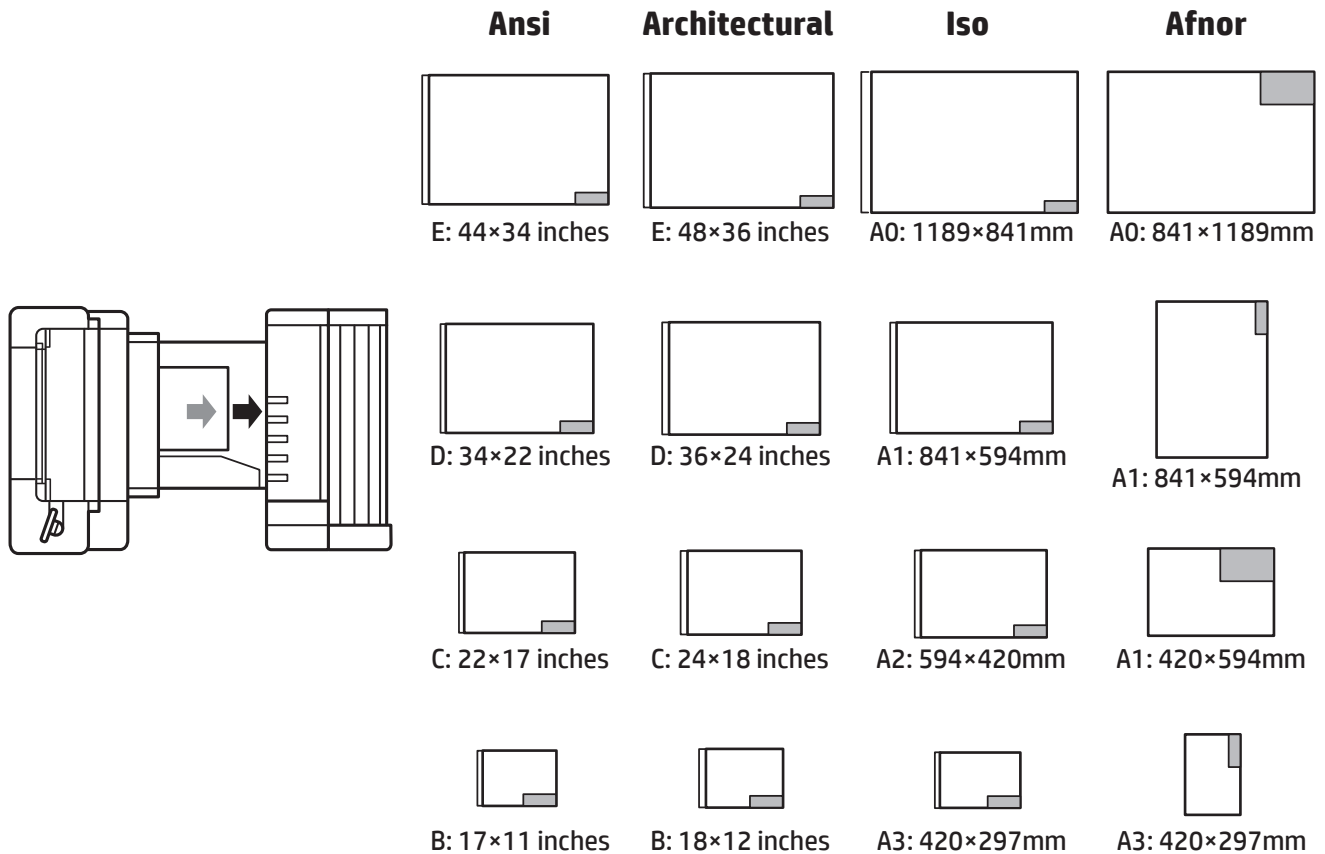
その他の機能は別途ご購入いただけます。詳細は、サポート担当者にお問い合わせください。

タブ貼り付け装置(HP F60、HP F70、および HP PageWide XL フォルダのみ)

- この機能が利用可能な場合は、HP SmartStream、プリンタドライバ、USB フラッシュドライブ、またはコピーからタブの貼り付けを設定した折り畳みスタイルを選択できます。
- インストール中または交換中に、ロールにタブがいくつあるか尋ねられます。[169 ページの折畳デバイスのタブリールを交換する](#)を参照してください。
- 折畳デバイスにタブがなくなり、タブの必要なジョブが保留になると、「折畳デバイスにタブがありません」というメッセージが表示されます。

表題欄

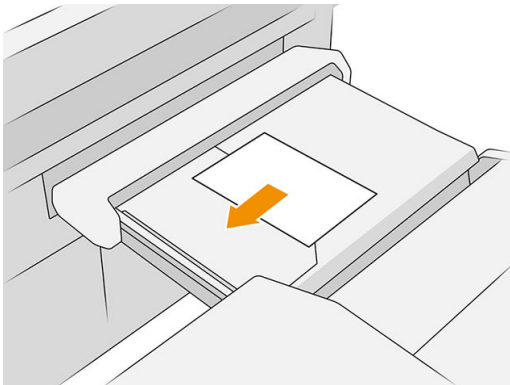
以下の図では、ページサイズ、折り畳みスタイル、印刷方向に応じて、表題欄がどこに配置されるかを示します。



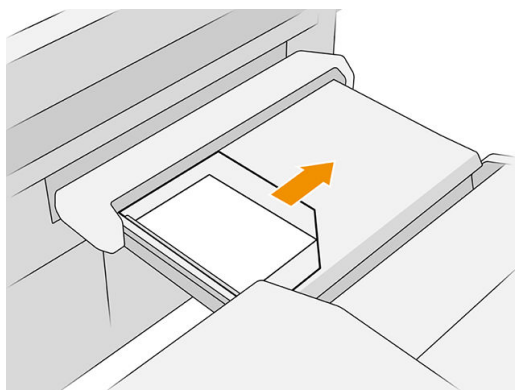
オフライン折り(HP F60、HP F70、および HP PageWide XL フォルダのみ)

オフラインでの折り畳みとは、印刷物を手動で折り畳みデバイスに挿入することで、プリンタから直接送信されないことを意味します。デフォルトの折り畳みスタイルが使用されます。

1. [出力]メニューで**[オフライン折畳]**をタップします。ジョブが自動的に一時停止されます。
2. 折り畳みトレイに印刷物が積み重ねられている場合は、空にします。
3. 印刷面を下にして、表題欄を先端にし、印刷物を挿入します。



4. トレイを中央に移動します。テーブル上の挿入ガイドレールは挿入しているドキュメントに合わせて最適な位置にスライドします。



5. ジョブキューの一時停止を解除します。

トラブルシューティング

- **紙詰まり**：紙詰まりが検出されると、フロントパネルに表示されます。[50 ページの紙詰まり](#)を参照してください。
- **キャリブレーション**：折り畳まれたジョブの端が揃っていない場合、または予期したよりもスキューが多い場合、折畳デバイスがキャリブレーションされていない可能性があります。サポートの担当者にお問合せ下さい。
- **通信の問題**：プリンタが折畳デバイスを認識しない場合、プリンタと折畳デバイスの電源を切ります。通信ケーブルを取り外し、ブリッジが取り付けられていることを確認したら、プリンタと折畳デバイスの電源を個々に入れます。両方のシステムが起動して、使用できる状態(折畳デバイスのLEDが青く点灯)になったら、通信ケーブルを接続し、折畳デバイスがオンラインに切り替わる(折畳デバイスのLEDが白く点灯)のを待ちます。問題が解決しない場合は、サポート担当者にお問合せください。

生産性の向上方法

- 縦置きを使用します。
- メートル表示のロール紙(A0、A1、A2、A3、A4)には、DIN または AFNOR の折り畳みスタイルを使用します。
- インチ表示のロール紙(36 インチ、24 インチ)には、ANSI の折り畳みスタイルを使用します。

9 印刷品質

- [印刷に関する一般的なアドバイス](#)
- [印刷品質アプリケーションを最適化する](#)
- [印刷診断プロット](#)
- [詳細オプション](#)
- [高度なプリントヘッドの復元](#)
- [ページの長さの正確さ](#)
- [プリントヘッド手動軸合わせ](#)

印刷に関する一般的なアドバイス

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP 純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。
- フロントパネルで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認します。同時に、使用する用紙の種類に対応したキャリブレーションが済んでいることを確認します。また、ソフトウェアで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認します。

△注意：誤った用紙の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。

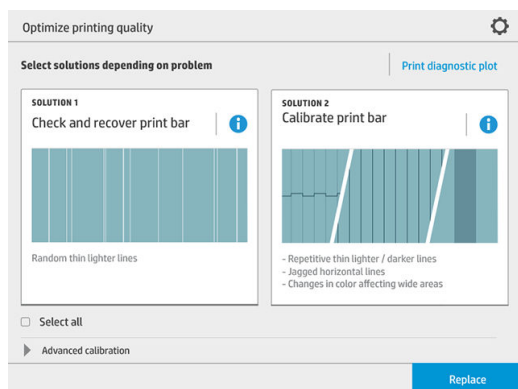
- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します([104 ページの印刷品質を選択する](#)を参照)。
- 環境状況(温度、湿度)がプリンタと用紙に推奨される範囲内であることを確認します。
- インクカートリッジの使用期限が過ぎておらず、インクカートリッジが良好な状態であることを確認します。
- プリントヘッドのステータスを確認します。
- 用紙の種類に保留中のキャリブレーションがある場合は、**[プリントバーのキャリブレーション]**をタップします。

それでも印刷品質に問題がある場合は、以下のように、印刷、印刷物の確認、是正処置を行い、実際にプリンタを操作して印刷品質のトラブルシューティングをします。



印刷品質アプリケーションを最適化する

フロントパネルの印刷品質最適化アプリケーションには、さまざまなオプションがあります。

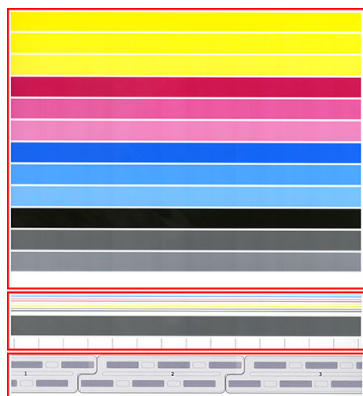


印刷診断プロット

発生している可能性のある問題を特定するには、**[診断プロットを印刷]**ボタンをタップします。

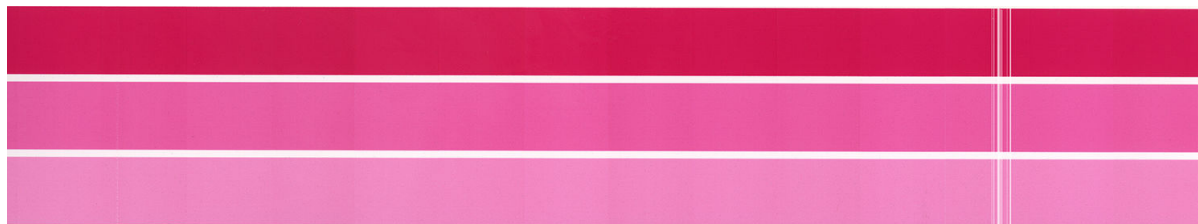
問題を検出したときに使用したのと同じ種類の用紙を使い、選択した種類の用紙がプリンタに取り付けられている用紙と同じものであることを確認します。

印刷は3つの部分に分かれています。一番上はプリントバーとカラー キャリブレーションの問題について、中央は軸合わせの問題について、一番下はプリントヘッドの位置を示す図で、基準として使用できます。



プリントバーを確認し復元する

プロットの一番上で問題が検出され、ランダム(不規則)な薄い色の非常に細い線が印刷されたら、プリントヘッドのクリーニングが必要な場合があります。**[プリントバーの確認と復元]**をタップします。



所要時間は、クリーニングするプリントヘッドの数によって異なります。プリントヘッドがクリーニングされたら、診断プロットを再度印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。1つのプリントヘッドあたり10分ほどかかります。

それでも問題が解決しない場合は、問題のあるプリントヘッドの診断プロットを確認します。一番上の部分の下部に番号の付いたプリントヘッドの画像があり、その画像からどのプリントヘッドが問題

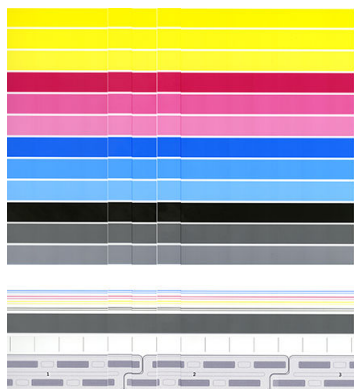
があるかを特定できます。そのプリントヘッドのみをクリーニングするには、**[強化プリントヘッドの修復]**をタップします(158 ページの高度なプリントヘッドの復元を参照)。

プリントバーをキャリブレーションする

プロットの上部の帯に色のばらつきがあれば、カラー キャリブレーションに問題がある可能性があります。



プロットの中央部分には、プリントバーが正しくキャリブレーションされているかどうかを示されます。縦方向の線は、プリントヘッド内の異なる印刷要素の境界線(ダイの境界線)を示します。グレーの横方向の帯に、ダイの境界線の上に非連続的な白い線または暗い色の線があってはなりません。異なる色の横方向の線はダイの境界線で連続的でなければならず、切れていたり、ぎざぎざになってはなりません。これが発生した場合は、プリントヘッドの軸合わせが必要です。



問題を検出したら、印刷品質最適化アプリケーションで**[プリントバーのキャリブレーション]**をタップして、プリンタをキャリブレーションする必要があります。ロール紙のステータスがキャリブレーション保留中になっていることを警告された場合も、プリンタをキャリブレーションする必要があります。

プリントバーのキャリブレーションには、プリントヘッドの軸合わせとカラー キャリブレーションが含まれます。

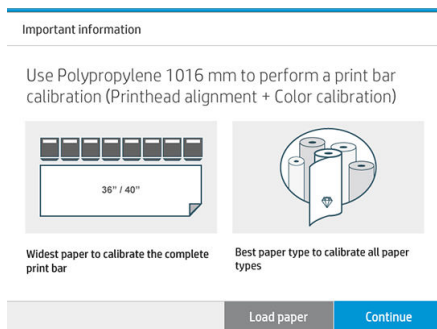
これまでどのようなキャリブレーションが行われたかを確認するには、**[キャリブレーションの履歴]**ボタンをタップします。いつでも工場出荷時のキャリブレーションを復元することができます。


注記： キャリブレーションの実行中の室温は、通常の印刷中の室温とほぼ同じに保つようにします。室温が大きく異なる(> 10°C)と、キャリブレーションに影響を及ぼすことがあります。

注記： 用紙の種類によってはキャリブレーションを行うことができない場合があります。

キャリブレーションの手順

1. [プリントバーのキャリブレーション]をタップし、[続行]をタップします。
2. 最適な結果を得て、無駄を最小限に抑えるために、1016 mm (40 インチ)幅の HP プロダクション マットポリプロピレン紙が取り付けられていることを確認します。



 **注記：** プリントバーのキャリブレーションを実行するには、1016 mm (40 インチ)幅の HP プロダクションマットポリプロピレン紙の使用を強く推奨します。

この種類の用紙がない場合、または均一の色がそれほど重要ではない場合(CAD の図面を印刷する場合など)は、印刷品質最適化の設定で[プリントヘッドの軸合わせのみ]チェックボックスをタップして選択し、カラーキャリブレーションを無効にして、キャリブレーションの時間を短縮し、用紙の使用量を減らすことができます。これ以降、この操作が行われると、プリンタは軸合わせのみを実行します。その場合、異なる種類の用紙を使用して、プリントバーのキャリブレーションを実行することができます。

最も幅の広いロール紙を使用しないと、ロール紙の一部はキャリブレーションされず、追加のキャリブレーションをするように後で求められます。

3. カラーキャリブレーションは約 1 m の用紙を使用し、16 分ほどかかります。
4. プリントヘッドの軸合わせは約 1.3 m の用紙を使用し、16 分ほどかかります。
5. キャリブレーションが終わると、その他すべての用紙の種類でキャリブレーションを計算するために、プリンタでその結果が使用されます。

プリントバーのキャリブレーションが失敗し、エラーメッセージが表示されたり、またはいくつかのダイの位置がずれた場合は、診断プロットを印刷し、連続的にインクが吐出されていない大きな領域がないことを確認します。連続的にインクが吐出されていない大きな領域がある場合、プリントヘッドの復元手順に従ってください。

すべてを選択


[すべてを選択]ボックスを選択すると、基本的な手順である、プリントバーの確認と復元およびプリントバーのキャリブレーションの両方を実行できます。これらの作業がしばらく行われていない場合、またはいずれの作業が適切であるかを判断できない場合に便利です。

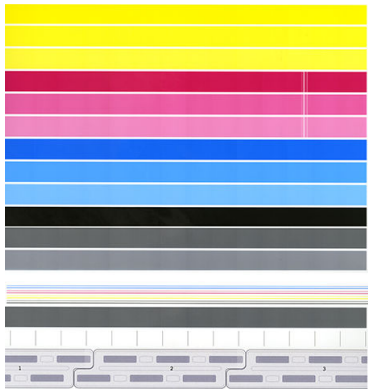
詳細オプション

[詳細オプション]では、特定の問題を解決するために、カスタムのキャリブレーションを実行することができます。

高度なプリントヘッドの復元

ここでの手順は、頻繁な使用により、または他の方法がうまく行かなかったために劣化したプリントヘッドを復元することを目的としています。複数のノズルが機能していなかったり、色が混じるなどの深刻な劣化のあるプリントヘッドを復元するための徹底的な手順です。印刷範囲が大きいジョブのプリントヘッドを最適化するためにも使用できます。[156 ページのプリントバーを確認し復元する](#)を参照してください。

 **注記：**最初に、診断プロットを印刷して、クリーニングが必要であり、それによりインクの無駄使いを防ぐことができるプリントヘッドを特定します。高度な復元のために特定のプリントヘッドを選択することができます。以下の例では、影響のあるプリントヘッドは3番です。




ページの長さの正確さ

印刷されたページの長さがわずかに不適切であることを検出した場合、印刷品質のアプリケーションで[\[ページの長さの精度\]](#)をタップします。

次の画面には、取り付けられている用紙の種類が表示されます。自動または手動での修正が必要な用紙の種類を選択します。[\[開始\]](#) (推奨)をタップすると、プリンタにより自動修正されます。フロントパネルには、修正のために多少の時間と用紙が必要なことが警告されます。[\[手動で調整\]](#)を選択した場合は、長さ誤差の値を入力する必要があります。

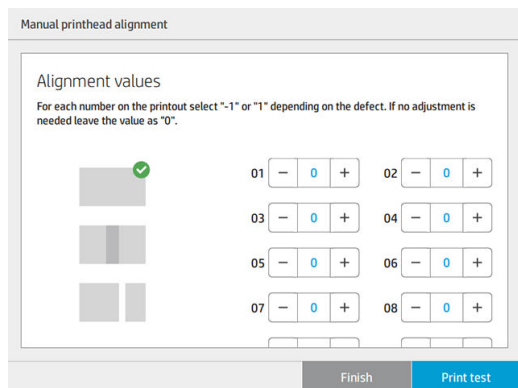
例えば、A0 (1189 mm)の用紙で印刷する場合に、印刷物を計測したら、長さが1187 mm であることがわかりました。その場合、A0 と、計測したページの長さとして1187 mm を選択する必要があります。ページの長さの修正値は、この計測値を入力すると、自動的に+2 mm に更新されます。

 **重要：**[\[手動で調整\]](#)した後に、間違った誤差値を入力すると、システムエラーが発生したり、プリンタに損傷を生じる可能性があります。

上記の手順によって問題を解決できない場合は、サポート担当者に連絡してください。

プリントヘッド手動軸合わせ

プリントヘッド手動軸合わせは、プリントバーのキャリブレーション([印刷品質の最適化]メニュー)で実行される自動軸合わせに加えて機能するキャリブレーションです。このキャリブレーションの目的は、白/濃い線を除去するために、異なるプリントヘッドと印刷領域の間のオーバーラップを微調整することです。



💡 **ヒント** : 特定の用紙の種類で一部の不具合が発生する可能性があります。用紙の種類を変更することで、よりよい結果が得られる場合があります。

ヒント : 場合によっては、[プリントバーのキャリブレーション]のみで不具合を修正できる場合があります。うまくいかない場合は、プリントヘッド手動軸合わせを試します。

ヒント : ただし、プリントヘッド手動軸合わせの後でも満足できる結果が得られない場合、[プリントバーのキャリブレーション]を使用して自動軸合わせを復元することができます。

10 保守

- [プリンタ ステータスを確認する](#)
- [プリンタ外観のクリーニング](#)
- [プリンタを移動または保管する](#)
- [折畳デバイスを移動または保管する](#)
- [スキャナのガラス プレート をクリーニングする\(MFP のみ\)](#)
- [スキャナのガラス プレート を交換する\(MFP のみ\)](#)
- [スキャナをキャリブレーションする\(MFP のみ\)](#)
- [折畳デバイスのタブ リール を交換する](#)
- [ファームウェアをアップデートする](#)
- [安全なファイル消去](#)
- [ディスク拭取り](#)

プリンタ ステータスを確認する

プリンタのステータスは、以下のさまざまな方法で確認できます。

- HP Utility を起動して、使用するプリンタを選択すると、プリンタ、用紙、インク サプライ品のステータスが記述されたページが表示されます。
- 内蔵 Web サーバにアクセスすると、プリンタの全般的なステータスに関する情報が表示されます。[メイン]タブの[サプライ品]ページに、用紙およびインク サプライ品のステータスが表示されます。
- 用紙、インク容量、インクカートリッジ、およびプリントヘッドに関する情報を表示するには、フロントパネルで対応するアイコンをタップします。
- 現在アラートがある場合には、フロントパネルでホーム画面の上部行に、優先度が最も高いアラートが表示されます。このメッセージをタップすると、現在のすべてのアラートのリストが表示されます。各アラートには重要度を示すアイコンが付いています。問題を解決するためのヘルプを表示するには、アラートをタップします。
- ビーコンを確認することで、遠くからでもプリンタのステータスを簡単に把握することができます。[10 ページのプリンタアラート](#)を参照してください。

プリンタ外観のクリーニング

プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分のクリーニングには、湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹼など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用します。

⚠ 警告！ 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。

⚠ 注意： プリンタに研磨剤入りクリーナーを使用しないでください。


プリンタを移動または保管する


📦 重要： プリンタを別の場所に輸送する必要がある場合、販売店に連絡して支援を依頼してください。プリンタには、輸送中に破損しやすいコンポーネントがあります。特殊な輸送方法とツールが必要です。

プリンタを移動したり、同じ場所で長期間保管する必要がある場合は、以下の手順に従って、準備作業を正しく行い、プリンタの損傷を防ぐ必要があります。プリンタのホイールを使って移動させるのは、平らで滑らかな表面でのみ行い、階段を上がったたり降りたりするためには使わないでください。

1. インクカートリッジ、メンテナンスカートリッジ、またはクリーニング コンテナを取り外さないでください。
2. プリンタを別の場所に移動する場合は、プリントヘッドを取り外し、この目的のために付属している容器に保管してください。
3. 引き出しに用紙が取り付けられていないことを確認します。
4. フロントパネルの電源ボタンを押して、電源をオフにします。
5. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。

6. プリンタをネットワーク、コンピュータ、スキャナ、またはその他のアクセサリに接続しているケーブルを外します。
7. プリンタを裏返したり横向きにしないでください。
8. 保管環境の正しい条件については、[190 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。

 **注記：**プリンタとは別の、プリントヘッドの環境仕様があります。ただし、最適な保管方法はプリンタに取り付けられていることです。

 **注記：**プリンタやインクカートリッジを気温の低い場所から、気温と湿度が高い場所に移動すると、大気中の水分がプリンタの部品やカートリッジ上で結露し、インク漏れやプリンタエラーの原因になることがあります。この場合、結露した水分を蒸発させるために、プリンタの電源を入れたり、インクカートリッジを取り付けたりする前に少なくとも3時間、プリンタやインクカートリッジを放置します。

折畳デバイスを移動または保管する

折畳デバイスのホイールを使って移動させるのは、平らで滑らかな表面でのみ行い、階段を上がったり降りたりするためには使わないでください。

折畳デバイスを移動したり保管する前に、ケーブルを外します。

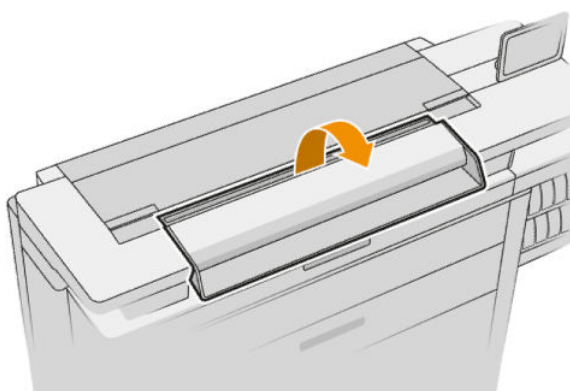
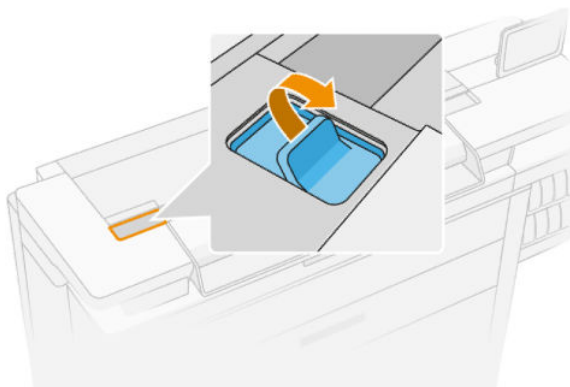
折畳デバイスを次に使用する前に、高さを調節して、ケーブルを再接続します。

スキャナのガラスプレートをクリーニングする(MFPのみ)

スキャナを使用する頻度に応じて、スキャナのガラスプレートを定期的にクリーニングすることを推奨します。

1. 前面にある**電源**ボタンを使用してプリンタの電源をオフにして、背面にある電源スイッチもオフにして、電源ケーブルを取り外します。

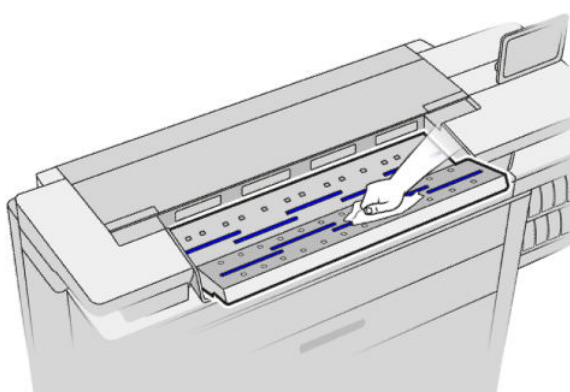
2. スキャナの背面の左側に小さなレバーがあります。レバーを上方にスライドさせて、スキャナカバーを開きます。



-
- ⚠ 警告！** スキャナカバーが開いているときは、スキャナを持ち上げないでください。指や手をはさんだり傷つけたりする恐れがあります。
-

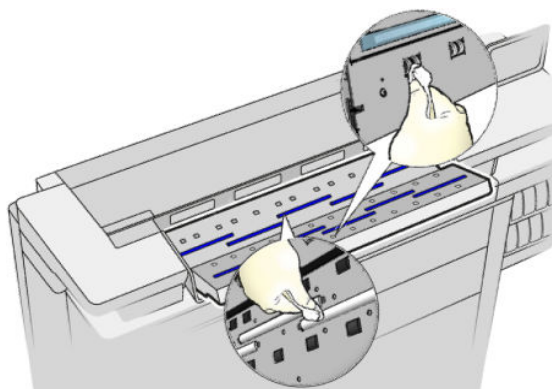
3. 糸くずの出ない布を水で湿らせて、ガラスプレートと周辺部分を丁寧に拭いてから、布を絞って水気を取ります。製品に適した布が付属しています。

- ⚠ 注意：** 研磨剤、アセトン、ベンゼン、またはこれらの化学物質を含む液体を使用しないでください。スキャナのガラスプレートやスキャナのその他の場所に、液体を直接スプレーしないでください。
-

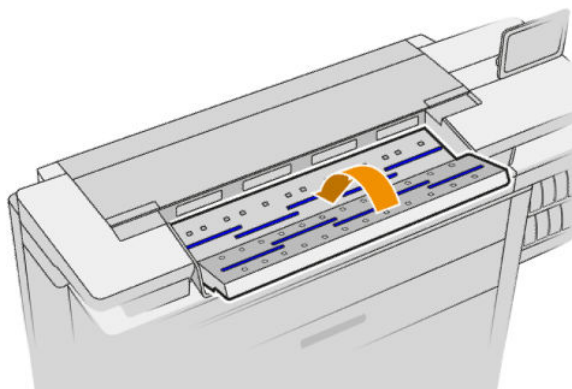


ガラスに水滴が多少ついていても、蒸発するので気にしないでください。

4. 必要に応じて、さらに詳細なクリーニングを行うには：
- ガラスプレートを取り外して、その両側をクリーニングします。[165 ページのスキヤナのガラスプレートを交換する\(MFPのみ\)](#)を参照してください。
 - 加圧ローラーおよび給紙ローラーをクリーニングします。



5. スキヤナのカバーを閉じて、それをゆっくり下方に押し込んで所定の位置に固定します。



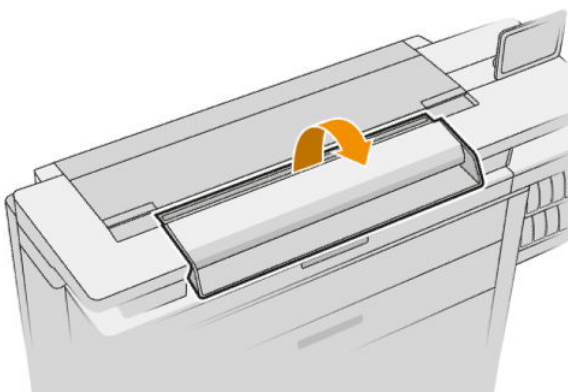
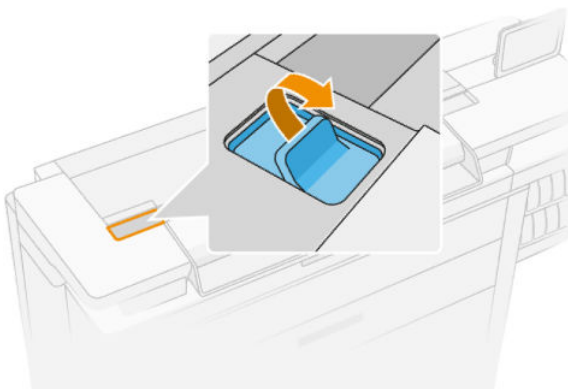
6. スキャンする前にスキャンするシートを置く、スキヤナのすぐ前の部分をクリーニングします。
7. プリンタの電源ケーブルを再接続して、背面にある電源スイッチをオンにし、電源ボタンを使用してプリンタの電源をオンにします。

スキヤナのガラスプレートを交換する(MFPのみ)

時間の経過とともに、ガラスプレートが劣化する可能性があります。表面の小さな傷はイメージ品質を低下させることがあります。新しいガラスプレートを注文する場合は、サポート担当者に問い合わせてください([179 ページの「サポートが必要な場合」](#)を参照)。

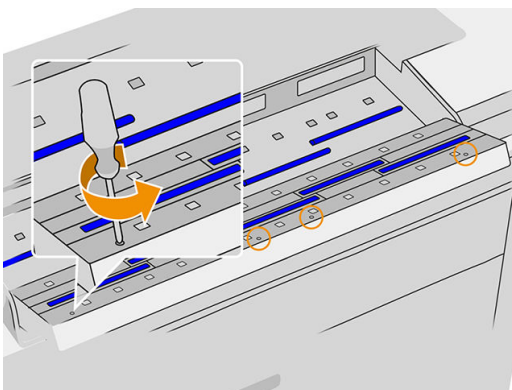
1. 前面にある電源ボタンを使用してプリンタの電源をオフにして、背面にある電源スイッチもオフにして、電源ケーブルを取り外します。

2. スキャナの背面の左側に小さなレバーがあります。レバーを上方にスライドさせて、スキャナカバーを開きます。

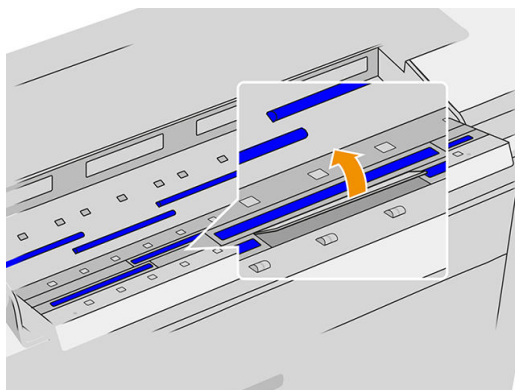
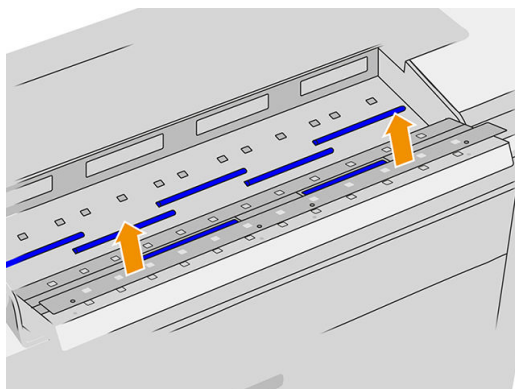


⚠ 警告！ スキャナカバーが開いているときは、スキャナを持ち上げないでください。指や手をはさんだり傷つけたりする恐れがあります。

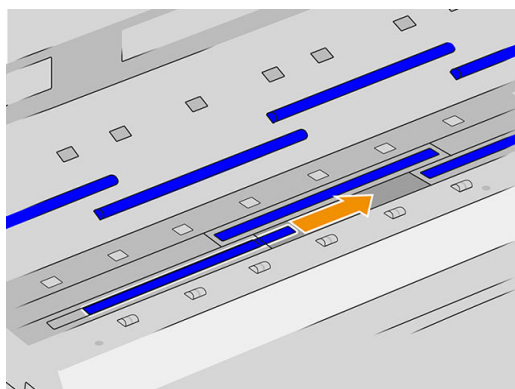
3. 上側の3つのガラスのいずれかを交換する場合は、上部の4本のネジを取り外します。または、下側の2つのガラスを交換する場合は、下部の4本のネジを取り外します。



4. 黒い金属部分(必要に応じて上部または下部のいずれか)、および取り外すガラスの横にあるプラスチックのタブを取り外します。

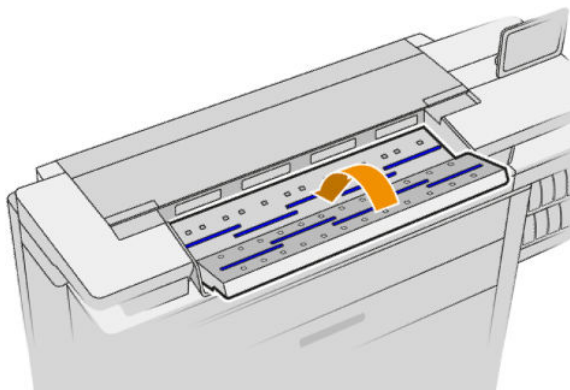


5. ガラスを横方向にスライドさせて取り外します。



6. 新しいガラスを所定の位置に押し込みます。
7. 外したプラスチックのタブを取り付け直します。
8. 前の手順で外した黒い金属部分のネジを取り付け直します。

9. スキャナのカバーを閉じて、それをゆっくり下方に押し込んで所定の位置に固定します。




10. プリンタの電源ケーブルを再接続して、背面にある電源スイッチをオンにし、電源ボタンを使用してプリンタの電源をオンにします。

スキャナをキャリブレーションする(MFP のみ)

スキャナは出荷時にキャリブレーションされており、CIS スキャナは理論的には製品寿命までに再度キャリブレーションする必要がありません。ただし、環境の変化によって、スキャナでイメージの問題が発生し、スキャナを再度キャリブレーションすることで簡単に修正できることがあります。この手順全体で10分もかかりません。また、CIS技術の限界についてこのガイドですでに説明していることを念頭において、スキャンしたファイルまたはコピーに望ましくない影響や品質の劣化が見られる場合には常に、スキャナに再度キャリブレーションを実行することを推奨します。キャリブレーションを正常に実行してもまだイメージ品質に問題がある場合、[126 ページのスキャナのトラブルシューティング](#)を参照してください。または、CCD スキャナの購入をご検討ください。

スキャナのキャリブレーションを実行するには

1. スキャナをクリーニングします。[163 ページのスキャナのガラスプレートをクリーニングする\(MFP のみ\)](#)を参照してください。
2. フロントパネルで  をタップし、[スキャナの実環境設定] > [スキャナのキャリブレーション] を選択します。
3. フロントパネルに表示される指示に従ってください。

スキャナのキャリブレーションを実行するのに必要な付属の保守シートは、以下のように見えます。



保守シートの表を上にし、中央に、できるだけスキューを少なくして、スキャナに取り付けます。キャリブレーションが終わったら、保守シートを注意深く頑丈なカバーに入れて、風通しのよい、湿気

のない場所に保存してください。それを怠ると保守シートが損傷する場合があります、今後のスキャナの操作に影響を及ぼす可能性があります。スキャナのキャリブレーションを実行する前に、保守シートに汚れや、しわ、傷がないか、折れていないかを確認します。必要に応じて、サポート担当者に連絡し、新しい保守シートを依頼してください。

キャリブレーションが失敗する場合

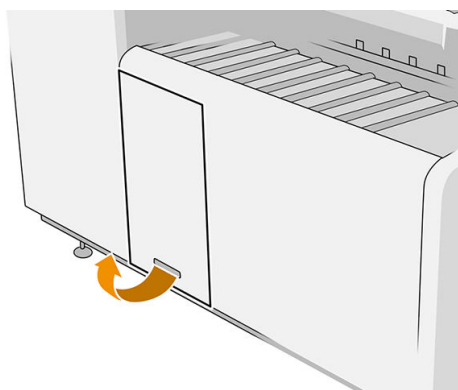
1. プリンタの電源がオンになっていて、通常の操作を行う準備ができていることを確認します。
2. スキャナが正しく動作していることを確認します。それをテストするには、小さいドキュメントをファイルにスキャンします。
3. キャリブレーションを実行する前に、スキャナが汚れていないことを確認します。不確かな場合は、スキャナをクリーニングしてから、キャリブレーション処理を再開します。
4. キャリブレーションシートを取り出して、汚れがない良好な状態であり、表を上にして、スキャナの完全に中央に配置していることを確認して、再度取り付けます。
5. 上記の手順が役立たない場合は、シートを取り出して、プリンタを再起動します(電源をオフにしてからオンにします)。システムが再起動したら、キャリブレーションを繰り返します。
6. 3回連続して試しても正しくキャリブレーションを実行できない場合は、サポート担当者に連絡して、フロントパネルに表示されるエラーコードを報告してください。

折畳デバイスのタブリールを交換する

タブを含むフォルダのビデオ例

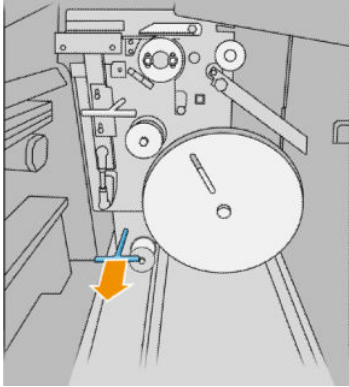


1. ドアを開きます。

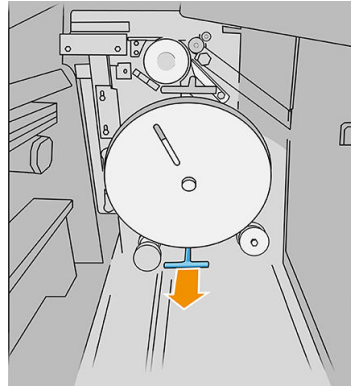


2. 下のレバーを引きます。

部品番号 L3M58A のフォルダの図

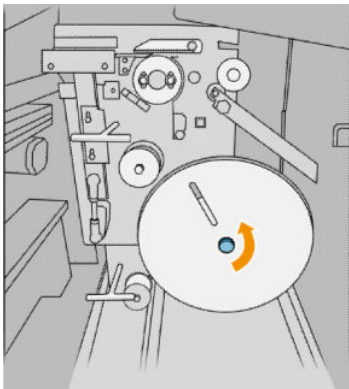


部品番号 L3M58B のフォルダの図

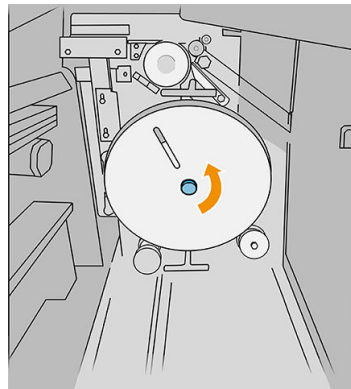


3. タブのプロテクタを回して外します。

部品番号 L3M58A のフォルダの図

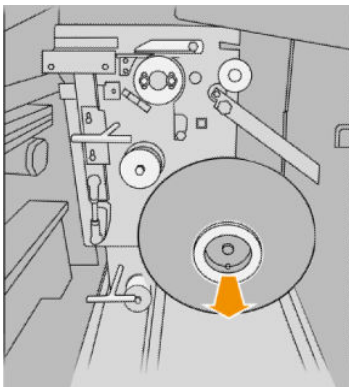


部品番号 L3M58B のフォルダの図

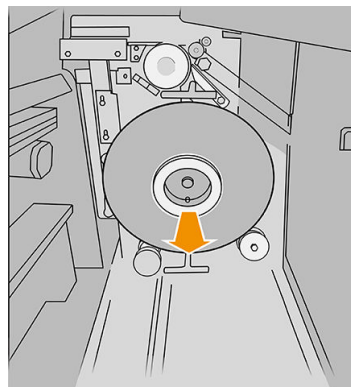


4. 空のタブを取り出します。

部品番号 L3M58A のフォルダの図

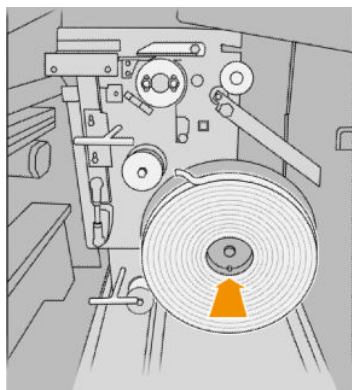


部品番号 L3M58B のフォルダの図

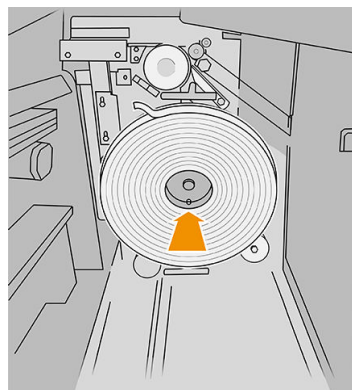


5. 新しいタブリールを取り付けます。

部品番号 L3M58A のフォルダの図

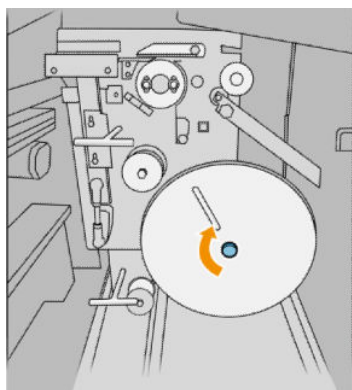


部品番号 L3M58B のフォルダの図

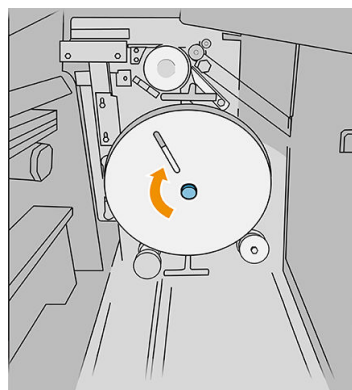


6. タブのプロテクタを戻します。

部品番号 L3M58A のフォルダの図

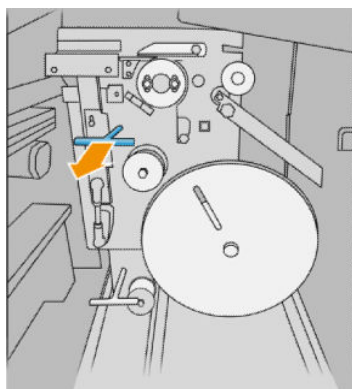


部品番号 L3M58B のフォルダの図

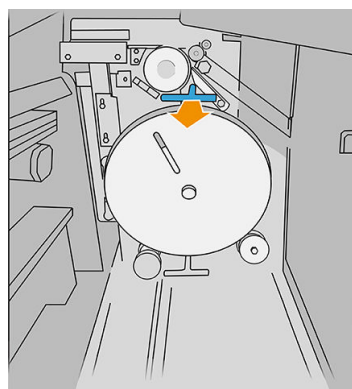


7. 上のレバーを引きます。

部品番号 L3M58A のフォルダの図



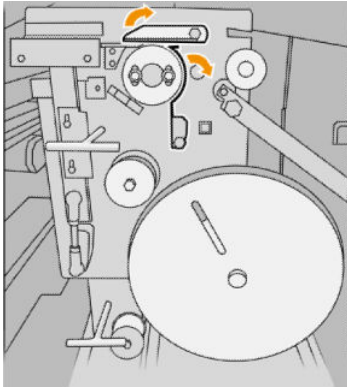
部品番号 L3M58B のフォルダの図



8. タブリールを通します。

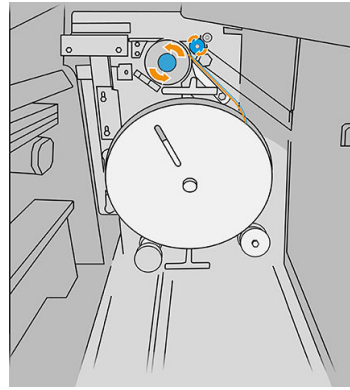
部品番号 L3M58A のフォルダの図

タブリールを通すために、図に示された2つの部品を開きます。



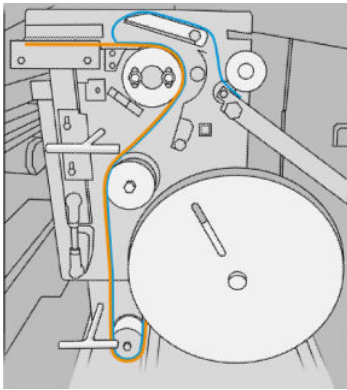
部品番号 L3M58B のフォルダの図

ホイールの中にタブを通す

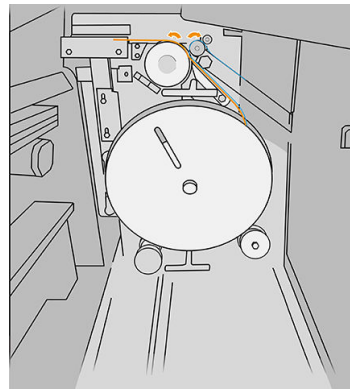


9. 図に示す経路に従って、タブリールを通します。

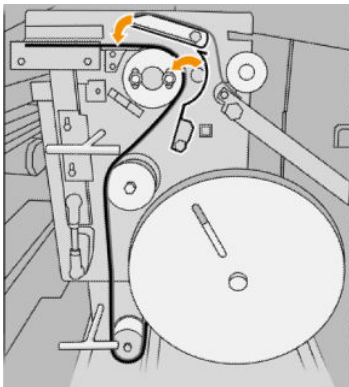
部品番号 L3M58A のフォルダの図



部品番号 L3M58B のフォルダの図

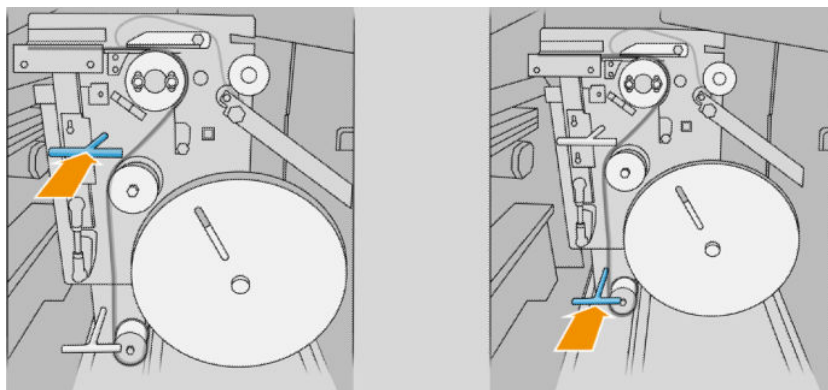


10. 製品番号 L3M58A のフォルダのみ：手順8で開いた2つの部品を閉じます。

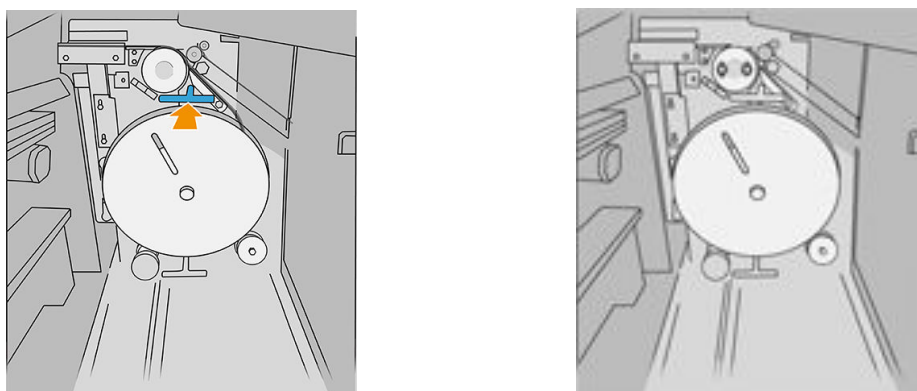


11. 2つのレバーを押し戻します。

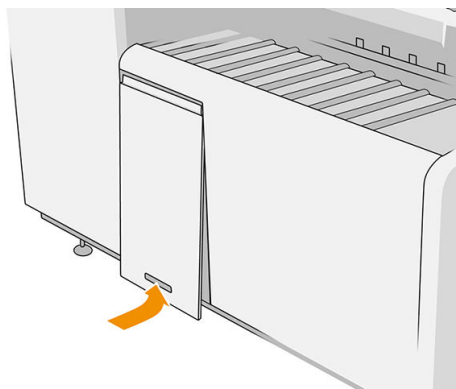
部品番号 L3M58A のフォルダの図




部品番号 L3M58B のフォルダの図



12. ドアを閉じます。




 **注記** : タブをリクエストしたにも関わらず、折り畳みジョブに貼り付けられない場合は、カバーを開き、タブが正しく取り付けられていて、問題が発生していないことを確認します。


ファームウェアをアップデートする

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のファームウェアによって制御されています。

ファームウェアのアップデートは、随時、HP から入手することができます。これらのアップデートによって、プリンタの機能が強化されます。小さい問題が修正されることもあります。

 **重要：**最新の開発機能を活用するため、ファームウェアを定期的に更新することを強く推奨します。

ファームウェアのアップデートをダウンロードおよびインストールするには、下記のようなさまざまな方法があります。最も便利な方法を選択できます。自動アップデートと手動アップデートの2つのカテゴリに分けることができます。

 **注記：**ファームウェアには、最も一般的に使用される用紙プリセットが含まれています。追加の用紙プリセットは、別途ダウンロードできます。

自動ファームウェア アップデート

自動ファームウェア アップデートは、HP に接続したプリンタで使用すると便利です。プリンタで最新のファームウェア リリースを自動的にダウンロードし、インストールすることができます。

重要な注意事項

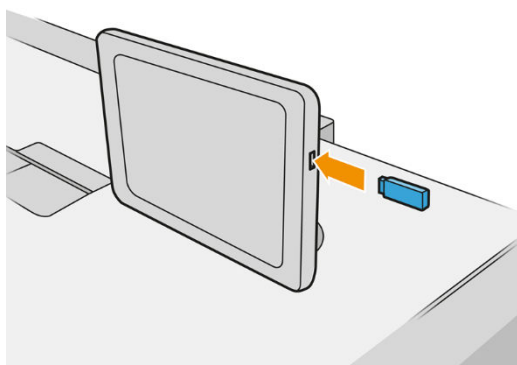
- プリンタがインターネットに接続されている必要があります。[19 ページの接続を設定する](#)を参照してください。
- 自動ファームウェア アップデートを設定するには、フロントパネルまたは内蔵 Web サーバを使用します。[19 ページの接続を設定する](#)を参照してください。
- ファームウェア アップデートのパッケージサイズが大きい可能性があります。ネットワーク接続またはインターネット接続に何らかの影響を与えないかどうかを検討してください。
- ファームウェア アップデートはバックグラウンドでダウンロードされます。プリンタは、同時に印刷することができます。ただし、バックグラウンドでインストールすることはできません。印刷を停止する必要があります。

手動ファームウェア アップデート

手動ファームウェア アップデートは、以下のいずれかの方法で実行できます。

- 内蔵 Web サーバで[**セットアップ**]タブをクリックし、[**ファームウェアのアップデート**]を選択します。[\[参照\]](#)をクリックし、自分のコンピュータにすでにダウンロード済みのファームウェア ファイル(.fmw)を選択します。
- Windows で HP DesignJet Utility を使用して[**管理者**]タブをクリックし、[**ファームウェアのアップデート**]を選択します。
- Mac OS X で HP Utility を使用して、[**ファームウェアのアップデート**]をクリックします。
- HP Web Jetadmin を使用して、ファームウェアのアップデートを手動で行うことができます。また、自動アップデートを要求することもできます。

- USB フラッシュ ドライブを使用する : <http://www.hp.com/go/pagewidexlseries/support/firmware/> (プリンタ モデルによって異なります)から USB フラッシュ ドライブにファームウェア ファイルをダウンロードし、それをフロントパネルにある高速 USB ホスト ポートに挿入します。ファームウェアのアップデート アシスタントがフロントパネルに表示され、アップデート 処理手順を説明します。



安全なファイル消去

プリンタのハードディスクは、印刷ジョブの一時的な格納領域として使用されます。[安全なファイル消去]では、ハードディスクから一時ファイルを消去して、権限のないアクセスから保護できます。有効にするとすぐに消去されますが、すでにハードディスク上にあった古い一時ファイルがさかのぼって消去されることはありません。古いファイルも消去する場合は、[176 ページのディスク拭取り](#)を参照してください。

[安全なファイル消去]機能では、次の3つのセキュリティ レベルを設定できます。

- **非セキュア**：情報の参照元がすべて消去されます。情報そのものは、その情報が入っているディスク領域が他の目的で必要になるまでハードディスクに残りますが、その後は上書きされます。情報はディスクに残りますが、ほとんどのユーザにとってアクセスすることは困難です。ただし、特定の目的で設計されたソフトウェアを使用すればアクセス可能です。これは、ほとんどのコンピュータ システムでファイルが消去される通常の方法です。最も高速ですが、最も安全性が低くなります。
- **セキュア高速消去(1 パス)**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものも固定された文字パターンで上書きされます。[非セキュア]よりは時間がかかりますが、より安全な方法です。それでも、磁気の痕跡を検出する特殊なツールを使用すれば、消去した情報の断片にアクセスすることが可能な場合があります。
- **セキュア サニタイジング消去(5 パス)**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものもすべての痕跡を除去するために作られたアルゴリズムを使用して繰り返し上書きされます。最も時間はかかりますが、最も安全な方法です。セキュア サニタイジング消去は、米国国防総省の、ディスク メディアの消去およびサニタイジングの要件(5220-22.m)に適合しています。安全なファイル消去を使用する際は、これがデフォルトのセキュリティ レベルです。

ファイルの消去中は、プリンタのパフォーマンスに影響が及ぶ可能性があります。

安全なファイル消去は、HP から無料で提供されている Web ベースの印刷管理ソフトウェア Web JetAdmin の機能の1つです。<http://www.hp.com/go/webjetadmin> を参照してください。


Web JetAdmin から安全なファイル消去を使用するときに問題が発生した場合は、サポート担当者にお問い合わせください。[179 ページの「サポートが必要な場合」](#)を参照してください。

安全なファイル消去の設定は、Web JetAdmin または内蔵 Web サーバから変更できます([**セットアップ**] > [**セキュリティ**])。

ディスク拭取り

ディスク拭取りは、安全なファイル消去と同じですが([175 ページの安全なファイル消去](#)を参照)、古い一時ファイルを含むすべての一時ファイルが消去される点が異なります。

ファイル拭取りの設定は、Web JetAdmin または内蔵 Web サーバから変更できます([\[セットアップ\] > \[セキュリティ\]](#))。

 **注記:** ハードディスク全体を消去すると、処理中に何度かプリンタの再起動を要求される場合があります。この処理は、安全なファイル消去では約 6 時間、セキュア サニタイジング消去では約 24 時間かかります。

11 アクセサリ

注文方法

サポート担当者に問い合わせて([179ページの「サポートが必要な場合」](#)を参照)、必要なものがお住まいの地域で入手可能であることを確認します。

以下は、本書の執筆時点でご利用いただけるサプライおよびアクセサリと製品番号のリストです。

アクセサリのリスト

- HP SmartStream ソフトウェア
- HP DesignJet SD Pro 44-in Scanner (G6H50B)
- HP DesignJet HD Pro 42-in Scanner (G6H51B)
- HP PageWide XL PostScript/PDF アップグレードキット(CZ317A)


PostScript アップグレードを使用すると、PDF および PostScript ファイルを印刷することができます。PostScript アップグレードは、プリンタの USB ホスト ポートに接続できます。永続的に接続したままにする必要はありません。一度接続するだけで、プリンタは無期限にアップグレードされます。

- HP PageWide XL 引き出し(CZ318A)

他社製のアクセサリ

インストール

他社製のアクセサリを取り付けるには、 をタップし、[排紙先] > [他社製のアクセサリの取り付け] を選択します。

 **注記：** 他社製のアクセサリを取り付ける前に、アクセサリがケーブルやフックを使ってプリンタに接続され、オンになっていることを確認します。

設定

以下の設定があります。

- [用紙間の最小ギャップ]。100～3000 ミリ秒の範囲。
- [最大サポート速度]。毎秒 2～15 インチの範囲。
- [最小ページ長さをサポート]。180～1000 ミリメートルの範囲。

12 サポートが必要な場合

- [リクエストのサポート](#)
- [カスタマーセルフリペア](#)
- [サービス情報](#)

リクエストのサポート

サポートは、サポート担当者が提供します。通常、プリンタを購入された会社から受けられます。そうでない場合は、Web サイト <http://www.hp.com/go/pagewidexlseries/support/>。

サポート担当者にお電話される場合は、以下のように準備してください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 関連する場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- 次の情報がお手元にあることを確認してください。
 - － お使いのプリンタの製品番号とシリアル番号。
 - － フロントパネルにエラー コードが表示される場合は、エラー コードをメモしてください。[191 ページの「フロントパネルエラーメッセージ」](#)を参照してください。
 - － ソフトウェアの名前とバージョン番号。
 - － 印刷品質に問題がある場合は、用紙の名前と製品番号、印刷に使用した用紙プリセットの名前と取得源。

カスタマー セルフリペア

HP のカスタマー セルフ リペア プログラムは、お客様に保証または契約に基づく最も迅速なサービスを提供します。このプログラムでは、HP が交換部品をお客様(エンド ユーザ)に直接お送りし、お客様が部品を交換できます。このプログラムを使用すれば、お客様の都合のよいときに部品を交換できます。

便利で使いやすいプログラム

- サポート担当者は、不具合のあるハードウェア コンポーネントに対処するために交換部品が必要であるかどうかを判断します。

カスタマー セルフ リペアの詳細については、<http://www.hp.com/go/selfrepair/>を参照してください。

サービス情報

要求に従い、プリンタはさまざまな側面からみた現在のステータスに関するリストを生成することができます。これは、サービスエンジニアが問題を解決する際に役立つ場合があります。このリストの取得方法は2通りあります。このリストを要求するには、2種類の方法があります。

- 内蔵 Web サーバ ([13 ページの内蔵 Web サーバ](#) を参照) で、**[サポート]** タブをクリックしてから、**[サービス サポート]** > **[プリンタ情報]** を選択します。リスト全体を要求することを推奨します (**[全ページ]** をクリック)。
- インターネットにアクセスできるコンピュータの Web ブラウザで、プリンタの URL の後に /hp/device/webAccess/allServicePlot.htm と入力します。例えば、お使いのプリンタの URL が http://123.123.123.123 の場合、以下を入力します。

```
http://123.123.123.123/hp/device/webAccess/allServicePlot.htm
```

電子メールでリストを送信する必要がある場合、Web ブラウザからそのページをファイルとして保存し、後ほどそのファイルを送信してください。その他の方法としては、次の方法で Internet Explorer からページを直接送信することもできます。**[ファイル]** > **[送信]** > **[ページを電子メールで]** をクリックします。

13 プリンタの使用状況に関する情報を取得する

- [プリンタ使用状況とアカウントリング情報を入手する](#)
- [使用状況に関する情報の取得](#)
- [詳細なジョブアカウントリング情報を入手する](#)

プリンタ使用状況とアカウント情報を入力する

プリンタ使用状況に関して、次の2種類の情報を入力できます。

- 使用状況に関する累積情報：プリンタの使用期間全体に対するプリンタ使用状況(用紙およびインクの消費量)とスキャナ使用状況(スキャンおよびコピー)に関する情報です。
- 詳細なジョブアカウント情報：ジョブの作成者、ジョブの送信日時、終了時のステータス(成功、失敗など)、ジョブの処理に使用したリソース(インクや用紙)など、特定のスキャンジョブや印刷ジョブの特性に関する情報です。

この情報は、プリンタのフロントパネルや内蔵 Web サーバからアクセスでき、印刷することもできます。使用状況やアカウントに関するレポートを電子メールで送信するようにプリンタを設定する機能もあります。

Accounting	Job type	Job source	Status	Copies	Cost type	Cost value	Paper type	Paper usage	Mono category	Ink used*	User name	Printing time	Print quality	Scanned area
Full page photo	Print	Driver	printed	1	Total	7.48	Plain Paper (<90 g/m ²)	0.2716 m ²		0.893 ml	testpc	Jul 17, 2015 9:52:53 AM	Lines/Fast	-
009_connections.pdf	Print	Driver	printed	1	Total	9.08	Plain Paper (<90 g/m ²)	0.3839 m ²		0.433 ml	testpc	Jul 17, 2015 12:54:14 PM	Lines/Fast	-
012_00_Portfolio_A1_L.pdf	Print	Driver	printed	1	Total	6.25	Plain Paper (<90 g/m ²)	0.2716 m ²		0.272 ml	testpc	Jul 17, 2015 3:16:32 PM	Lines/Fast	-
Usage Report	Print	Internal	printed	1	Total	6.18	Plain Paper (<90 g/m ²)	0.2768 m ²	mono no	0.184 ml	Internal prints	Jul 17, 2015 3:17:59 PM	Uniform areas	-
017_04_Salon_A3_L.pdf	Print	Driver	printed	1	Total	10.96	Blue back paper	0.3839 m ²		3.292 ml	testpc	Jul 17, 2015 3:19:55 PM	Lines/Fast	-
022_Tev_L_A0.pdf	Print	Driver	printed	1	Total	1.64	Blue back paper	0.2716 m ²		0.477 ml	testpc	Jul 17, 2015 3:47:52 PM	Lines/Fast	-
027_02_Fra_Amposta_A1_L.pdf	Print	Driver	printed	1	Total	6.09	Plain Paper (<90 g/m ²)	0.2716 m ²	mono no	0.227 ml	testpc	Jul 17, 2015 4:23:09 PM	Lines/Fast	-

使用状況、ステータス、およびアカウント情報は、HP が提供するソフトウェア開発キットを通じて、サードパーティのアプリケーションで使用することもできます。

使用状況に関する情報の取得

フロントパネルで **127** をクリックし、使用状況に関する情報を表示します。

Print categories usage	ml	ft ²	ft
TOTAL	342.18 ml	147.06 ft²	49.54 ft
Mono lines	10.33 ml	33.11 ft ²	11.19 ft
Color lines	289.99 ml	5.06 ft ²	1.77 ft
Low density image	0.00 ml	0.00 ft ²	0.00 ft
High density image	41.85 ml	108.88 ft ²	36.58 ft
Premium quality image	0.00 ml	0.00 ft ²	0.00 ft

次の情報が取得できます。

- **印刷カテゴリの使用状況**：使用状況がカテゴリ別に表示されます。

注記：サポート担当者とお客様との契約によって異なりますが、印刷のカテゴリまたは用紙の種類に関する情報が得られなかったり、異なる場合があります。

- モノクロライン：標準用紙に印刷された白黒 CAD ジョブ
- カラーライン：標準用紙に印刷されたカラー CAD ジョブ

- 低濃度イメージ：標準用紙に印刷された 10%～50%のピクセル範囲
- 高濃度イメージ：標準用紙に印刷された 50%超のピクセル範囲
- プレミアム品質イメージ：プレミアム用紙に印刷された任意のコンテンツの種類

Print categories usage

Print categories usage			
TOTAL	342.18 ml	147.06 ft²	49.54 ft
Mono lines	10.33 ml	33.11 ft ²	11.19 ft
Color lines	289.99 ml	5.06 ft ²	1.77 ft
Low density image	0.00 ml	0.00 ft ²	0.00 ft
High density image	41.85 ml	108.88 ft ²	36.58 ft
Premium quality image	0.00 ml	0.00 ft ²	0.00 ft

Print usage report

- スキャン使用状況：コピーおよびスキャンの使用状況(m²)と総使用量

Scan usage

Scan usage	
TOTAL	0.67 ft²
Copy	0.00 ft ²
Scan	0.67 ft ²

Print usage report

- インクの使用状況：各カートリッジのインクの消費量(ml)と総消費量

Ink - Approximate values. Actual consumption may vary.

Ink usage	
TOTAL	53.27 ml
Cyan	0.00 ml
Black	0.00 ml
Yellow	11.63 ml
Magenta	15.99 ml
Cyan	15.75 ml
Black	9.90 ml
Yellow	0.00 ml
Magenta	0.00 ml

Print usage report

- **用紙の使用状況**：以下の用紙カテゴリまたはファミリーごとの使用量と総使用量(最初に表示)使用状況はレベルごとに確認できます。

Paper usage		
TOTAL	170.97 ft²	58.33 ft
Plain Paper	170.97 ft²	58.33 ft
Plain Paper (<90 g/m²)	170.97 ft²	58.33 ft

[使用状況レポートの印刷]ボタンをタップすると、「使用状況レポートはジョブキューに送られ、すぐに印刷されます」というメッセージが表示されます。

すべてのデータは、インチまたはメートルの単位で表示されます。



内蔵 Web サーバから

フロントパネルと同じ情報を内蔵 Web サーバからも取得できます。

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします([13 ページの内蔵 Web サーバ](#)を参照)。
2. [メイン]タブに移動します。
3. [履歴] > [使用状況] をクリックします。

使用状況に関する情報の印刷

フロントパネルのホーム画面から使用状況に関する情報を印刷するには、2通りの方法があります。

-  をタップして使用状況に関する情報の画面を表示し、[使用状況レポートの印刷] ボタンをタップします。
-  をタップし、[印刷メニュー] > [プリンタ使用状況] > [ユーザ情報の印刷] > [使用状況レポートの印刷]を選択します。

詳細なジョブ アカウンティング情報を入手する

内蔵 Web サーバでのアカウンティング情報

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします([13 ページの内蔵 Web サーバ](#)を参照)。
2. [メイン]タブに移動します。
3. 左側の列の[履歴]見出しから、[アカウンティング]をクリックします。

電子メールにより使用状況およびアカウントデータを取得する

1. IT 部門から、送信メールサーバ(SMTP)の IP アドレスを取得します。これは、電子メールメッセージの送信に必要です。
2. 送信メールサーバが、プリンタから送信される電子メールメッセージのリレーが可能になるように設定されていることを確認します。
3. Web ブラウザを開き、プリンタの内蔵 Web サーバに接続します。
4. **[[Setup]]** タブをクリックします。
5. 左側列の**[[設定]]**見出しから、**[[日付と時刻]]**をクリックします。
6. プリンタの日付および時刻が正しく設定されていることを確認します。
7. **[[セットアップ]]**タブの左側列にある**[[設定]]**見出しで、**[[電子メールサーバ]]**をクリックします。
8. 送信メールサーバ(SMTP)の IP アドレスを入力します。
9. 送信メールサーバがパスワードで保護されている場合は、アクセスするのに必要なユーザ名とパスワードを入力します。
10. 電子メールメッセージを送信する場合にプリンタの識別に使用されるプリンタの電子メールアドレスを指定します。通常は、前の手順で指定したユーザ名にすでに関連付けられている電子メールアドレスを選択することを推奨します。[29 ページの使用状況に関する情報をオン/オフにする](#)を参照してください。
11. **[[セットアップ]]**タブの**[[設定]]**見出しで、**[[プリンタ設定]]**をクリックします。
12. **[[アカウント]]**セクションで、**[[アカウント ID の要求]]**を**[[オン]]**に設定している場合は、印刷ジョブをプリンタに送信するたびに、アカウント ID を入力する必要があります。例えば、自分が所属する部門に対応する ID または特定のプロジェクトまたはクライアントに対応する ID など。アカウント ID を提供しないでジョブを送信する場合、プリンタはその特定されないジョブをアカウント ID が提供されるまで印刷せずにキューに保留にします。
[[アカウント ID の要求]]を**[[オフ]]**に設定している場合、プリンタはアカウント ID を持っているか否かにかかわらず、すべてのジョブを印刷します。
13. **[[アカウント]]**セクションの**[[アカウント ID の要求]]**を**[[オフ]]**に設定している場合は、印刷ジョブを送信するたびに、アカウント ID を入力する必要があります。例えば、自分が所属する部門に対応する ID または特定のプロジェクトまたはクライアントに対応する ID など。アカウント ID を提供しないでジョブを送信する場合、プリンタはその特定されないジョブをアカウント ID が提供されるまで印刷せずにキューに保留にします。
14. **[[アカウント]]**セクションの**[[アカウント ID の要求]]**を**[[オフ]]**に設定している場合は、印刷ジョブを送信するたびに、アカウント ID を入力する必要があります。例えば、自分が所属する部門に対応する ID または特定のプロジェクトまたはクライアントに対応する ID など。アカウント ID を提供しないでジョブを送信する場合、プリンタはその特定されないジョブをアカウント ID が提供されるまで印刷せずにキューに保留にします。
15. **[[アカウント]]**セクションの**[[アカウント ID の要求]]**を**[[オフ]]**に設定している場合は、印刷ジョブを送信するたびに、アカウント ID を入力する必要があります。例えば、自分が所属する部門に対応する ID または特定のプロジェクトまたはクライアントに対応する ID など。アカウント ID を提供しないでジョブを送信する場合、プリンタはその特定されないジョブをアカウント ID が提供されるまで印刷せずにキューに保留にします。
16. **[[アカウント]]**セクションの**[[アカウント ID の要求]]**を**[[オフ]]**に設定している場合は、印刷ジョブを送信するたびに、アカウント ID を入力する必要があります。例えば、自分が所属する部門に対応する ID または特定のプロジェクトまたはクライアントに対応する ID など。アカウント ID を提供しないでジョブを送信する場合、プリンタはその特定されないジョブをアカウント ID が提供されるまで印刷せずにキューに保留にします。
17. **[[セットアップ]]**タブの**[[設定]]**見出しで、**[[セキュリティ]]**をクリックします。アカウントデータにユーザ名を含める場合、**[[ジョブ アカウントにユーザ名を表示する]]**ボックスをオンにします。このボックスがオフの場合、ユーザ名が含められません。

上記の手順を完了すると、アカウントデータが電子メールにより指定した頻度でプリンタから送信されます。データは XML で提供され、サードパーティ製のプログラムで簡単に解釈できます。各印刷ジョブで提供されたデータには、ジョブの送信日、ジョブの印刷日、印刷時刻、画像の種類、ページ数、コピー部数、用紙の種類およびサイズ、使用された各色のインク量およびジョブの他のさまざまな属性が含まれます。アカウントデータはスキャンおよびコピー ジョブでも提供されません。

14 プリンタの仕様

- [機能の仕様](#)
- [物理的仕様](#)
- [メモリの仕様](#)
- [電源の仕様](#)
- [動作環境の仕様](#)
- [動作音に関する仕様](#)
- [速度に関する仕様\(線画/高速モードの場合\)](#)

機能の仕様

HP インク サプライ

プリントヘッド	8つのCMYKプリントヘッド、それぞれに25344のノズルがあり、1インチあたり1200のノズル間隔
インクカートリッジ	400mlのインクが入っているカートリッジ：ブラック、シアン、マゼンタ、イエロ

用紙サイズ

	最小	最大
ロール紙の幅	279 mm (11 インチ)	1016 mm (40 インチ)
ロールの直径		177 mm (7 インチ) *
ロールのコア径		76 mm (3 インチ)
ロールの重量		18 kg
カット紙の幅 (スキャナ)		914 mm (36 インチ)
カット紙の長さ (スキャナ)		最大 15 m (49.21 フィート) (用紙タイプにより異なる)
ロール紙の厚さ		0.4mm (0.016 インチ)
用紙の重さ	70g/m ²	200g/m ²

* 最大 914 mm (36 インチ)のロール紙の場合

印刷解像度

印刷品質	レンダリング解像度(ppi)	ハーフトーン解像度(dpi)	印刷解像度(dpi)
線画/高速	600 × 600	600 × 600	1200 × 1200
均一な塗りつぶし	600 × 600	600 × 600	1200 × 1200
高精細	600 × 600	1200 × 1200	1200 × 1200

スキャナ解像度：最高 1200 ppi

マージン：3 mm

最大印刷幅：1000 mm

機構的な精度

気温 23°C、相対湿度 50 ~ 60%の条件下で、E/A0 サイズのポリプロピレン紙に高精細または均一ぬりつぶしモードを使った場合、指定ベクトル長の±0.1%または±0.2 mm (いずれか大きい方)。

サポートされているグラフィック言語

プリンタ	言語
PostScript	PostScript、PDF、TIFF、JPEG
非 PostScript	HP-GL/2、PCL 3 Win

物理的仕様

プリンタの物理的仕様

幅	1960 mm
奥行き	800 mm
バスケットを閉じた場合の奥行き	991 mm
バスケットを開いた場合の奥行き	1266 mm
フロントパネルを使用する場合の高さ	1303 mm

メモリの仕様

メモリ仕様(MFP 以外)

物理 DRAM	8 GB
ハードディスク	500 GB

メモリ仕様(MFP)

物理 DRAM	8 GB
ハードディスク	500 GB

電源の仕様

プリンタの電源の仕様

入力電圧	AC 100 ~ 127V/AC200 ~ 240V ±10%
	2 極、接地極付き
入力周波数	50/60Hz
最大負荷電流	7/3.5 A

プリンタの電源の仕様 (続き)

消費電力 (印刷中)	0.7 kW
消費電力 (印刷可能状態)	

動作環境の仕様

プリントヘッドの動作環境の仕様

保管温度	5 ~ 40°C
保管湿度	20 ~ 80% RH (用紙の種類により変動)

プリンタの動作環境の仕様

動作温度	5 ~ 40°C
最適なパフォーマンスのために推奨される動作温度	15 ~ 35°C (用紙の種類により変動)
保管温度	-25 ~ 55°C
推奨動作湿度	20 ~ 80% RH (用紙の種類により変動)
保管湿度	< 90% (相対湿度)
標高	0 ~ 3000m

動作音に関する仕様

プリンタの動作音に関する仕様

	HP PageWide XL 4500	HP PageWide XL 4600
印刷時の音圧	≤ 55 dB(A)	≤ 58 dB(A)
印刷時の音響出力	≤ 7.3 B(A)	≤ 7.6 B(A)
待機時の音圧		≤ 35 dB(A)
待機時の音響出力		≤ 5.2 B(A)
スリープ時の音圧		≤ 16 dB(A)
スリープ時の音響出力		≤ 3.4 B(A)

速度に関する仕様(線画/高速モードの場合)

HP PageWide XL 4500 : 12 D/A1 ページ/分

HP PageWide XL 4600 : 15 D/A1 ページ/分

15 フロントパネルエラー メッセージ

プリンタは随時システム エラーを表示します。これは 12 桁の数字コードと推奨される措置で構成されています。

ほとんどの場合、プリンタを再起動することが求められます。プリンタが起動すると問題がより適切に診断され、自動的に解消される場合があるためです。それでも問題が解決しない場合は、サポート担当者にお問い合わせください。その際には、エラーメッセージの数字コードをお手元にご用意ください。

エラーメッセージにその他の推奨事項が含まれている場合は、プリンタの手順に従ってください。

用語集

Bonjour

IETF のゼロコンフィギュレーション仕様フレームワークの実装に関する Apple Computer 株式会社の商標で、Apple の Mac OS X バージョン 10.2 以降で使用されているコンピュータ ネットワーク技術。ローカルエリアネットワークで使用可能なサービスを検索するために使用され、当初は Rendezvous と呼ばれていました。

ESD

静電気の放電。静電気は、日常的に頻繁に発生します。自動車ドアに触れた時に火花を発生させたり、衣服を張り付けたりします。制御された静電気には役に立つ用途がありますが、未制御の静電気の放電は電子製品の主な障害のひとつとなります。したがって、破損を防ぐには、プリンタを設定したり、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に、いくつかの手順が必要です。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなる場合があります。未制御の静電気放電を最小限にして、このような破損を減らす方法の 1 つは、静電気放電に敏感なデバイス(プリントヘッドまたはインクカートリッジなど)を扱う前に、プリンタの接地した箇所(主に金属部分)に触れることです。また、身体での帯電の発生を減らすには、カーペットを敷いた場所での作業を避け、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に身体の移動を最小限に抑えます。さらに、湿度の低い環境での作業を避けます。

HP-GL/2

HP Graphics Language 2 : HP 社が定義するベクトルグラフィック描画用の言語。

HP RTL

HP Raster Transfer Language : HP 社が定義するラスタ(ビットマップ)グラフィック描画用の言語。

I/O

入出力 : デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

ICC

カラー プロファイルの標準化に同意している企業の団体である、国際カラーコンソーシアムの略称です。

IPSec

ネットワーク上でノード間に送信される IP パケットを認証し、暗号化することによって、ネットワークセキュリティを提供する高度なメカニズム。各ネットワーク ノード(コンピュータまたはデバイス)には IPSec が設定されています。アプリケーションは通常、IPSec が使用されているか否かを認識しません。

IPv4 アドレス

IPv4 ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。IPv4 アドレスは、4 組の整数から構成され、各組はピリオドで区切られています。世界中のほとんどのネットワークは、IPv4 アドレスを使用しています。

IPv6 アドレス

IPv6 ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。IPv6 アドレスは最大 8 グループの 16 進数字で構成され、それぞれがコロンで区切られています。各グループには最大 4 つの 16 進数字が含まれます。世界中のごく少数の新たなネットワークで、IPv6 アドレスを使用しています。

IP アドレス

IPv4 アドレス(最も一般的)または IPv6 アドレスを指します。

LED

発光ダイオード : 電氣的な刺激が与えられると発光する半導体デバイスです。

MAC アドレス

Media Access Control address (メディア アクセス コントロール アドレス)の略。ネットワーク上で、特定のデバイスを識別するために使用される固有の識別子です。IP アドレスよりも下位レベルの識別子であり、デバイスは MAC アドレスおよび IP アドレスの両方を持つ場合があります。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol: インターネットのベースとなる通信プロトコルです。

USB

Universal Serial Bus (ユニバーサル シリアルバス)の略。コンピュータに接続するために設計された標準シリアルバスです。このプリンタは高速 USB をサポートしています (USB 2.0 と呼ばれる場合があります)。

USB デバイス ポート

USB デバイス上にある四角い USB ソケット。それを介してコンピュータがデバイスを制御することができます。コンピュータが USB 接続を使用してプリンタに印刷するには、コンピュータがプリンタの USB デバイス ポートに接続されている必要があります。

USB ホスト ポート

コンピュータ上のソケットのような長方形の USB ソケット。プリンタはこのようなポートに接続される USB デバイスを制御できます。プリンタには2つの USB ホスト ポートがあり、アクセサリや USB フラッシュ デバイスを制御するために使用します。

イーサネット

ローカルエリア ネットワーク用の一般的なコンピュータ ネットワーク技術。

インクカートリッジ

取り外し可能なプリンタ コンポーネント。特定カラーのインクが収められておりプリントヘッドに提供します。

ガモット

プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能な色および濃度値の範囲。

カッター

プラテン上を前後にスライドし、用紙をカットするプリンタのコンポーネント。

カラー スペース

各カラーが一連の固有の数値で表されるカラー モデル。また、複数のカラー スペースで同じカラー モデルを使用することもできます。例えば、通常、モニタは RGB カラー モデルを使用しますが、特定の RGB 数値セットがさまざまなモニタ上でさまざまなカラーとなるので、モニタはさまざまなカラー スペースを持ちます。

カラー モデル

RGB または CMYK など、数値でカラーを想定したシステム。

ギガビット イーサネット

最大 1 ギガビット/秒でデータを転送できるイーサネット ネットワーク。ギガビットイーサネット インタフェースは、より古いイーサネット デバイスとの互換性のために必要に応じて、より低速なネゴシエートが可能です。

ネットワーク

ネットワークはコンピュータとデバイス間でデータのやり取りをする接続セットです。あらゆるデバイスは、同じネットワークの他のすべてのデバイスと通信できます。これにより、データがコンピュータとデバイス間を移動することができ、プリンタのようなデバイスを多くのコンピュータ間で共有することができます。

ノズル

プリントヘッドにある多数の小さな穴の一つ。印刷に使用するインクが通過します。

プラテン

プリンタ内にある平らな面。印刷中に用紙がプラテン上を通過します。

プリンタ ドライバ

生成フォーマットされた印刷ジョブを、特定のプリンタに適したデータに変換するソフトウェア。

プリントヘッド

取り外し可能なプリンタ コンポーネント。対応するインクカートリッジから 1 つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して用紙に付着させます。

ファームウェア

プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます(アップデート可能)。

ファストイーサネット

最大 0.1 ギガビット/秒でデータを転送できるイーサネット ネットワーク。ファスト イーサネット インタフェースは、より古いイーサネット デバイスとの互換性のために必要に応じて、より低速なネゴシエートが可能です。

高速 USB

USB のバージョンの 1 つで、USB 2.0 と呼ばれる場合があります。元の USB よりも 40 倍高速に実行できますが、元の USB と互換性があります。ほとんどのパーソナルコンピュータは現在、高速 USB を使用しています。

色の一貫性

大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じカラーを印刷する機能。

色の精度

元のイメージにできるだけ忠実な色あいを印刷する機能。色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定のカラーについて色を完全に一致させることができない場合があります。

用紙

書くため、または印刷用に作られた薄くて平らな物質。通常は繊維をパルプ化し、乾燥させ、プレスして作られます。

索引

C

CSR 180

D

DHCP の設定 89
DNS の設定 90

F

FTP フォルダ
設定する 21

H

HP ePrint 104
HP Utility
アクセス 13
アクセスできない 97

I

IPSEC ステータス 92
IPv6 の設定 90
IP アドレス 90

T

TCP/IP 設定 89

U

USB フラッシュドライブから印刷
する 102

あ

アカウントリング 183
アカウント ID
要求する 34
アクセサリ 177
アクセス制御 30

い

インクカートリッジ
仕様 188
インクカートリッジ 69

え

エラー 191

か

カートリッジ 69
カスタマー セルフリペア 180
カラー キャリブレーション 157

き

キャリブレーション
スキャナ 168
キューの一時停止 108
キューの管理 106

く

グラフィック言語 189
クイックセット 115
クリーニング コンテナ 80

こ

コピー 121
コピー モード 121
コンピュータの通信
コンピュータとプリンタ間の通
信問題 96

さ

サービス情報 181

し

ジョブキュー 106
ジョブキューのオプション 111
ジョブキューへの操作 108
ジョブの削除 112
ジョブの詳細 109
ジョブを再印刷する 109
システム エラー 191

す

スキャナ
ガラスプレートのクリーニン
グ 163

ガラスプレートを交換する
165

キャリブレーション 168
コントラストが弱いブループリ
ント 137
コントラストが弱い細い線
137
スキヤンが遅い 136
トラブルシューティング 126
ネットワークフォルダにアク
セスできない 136
最適化 126
診断プロット 138

スキヤン 115

スキヤン品質の問題
20cm 幅の縦方向の黒いバンデ
ィング 133
CIS モジュール間の色の差異
129

エッジ検出 135

ゴースト 134

しわや折れ 127

縮小 135

色が正確に再現されない 130

色ぶち 131

振動の影響 132

線が不連続になる 128

線の太さがまちまち 130

損傷された原稿 134

多すぎるスキュー 135

不規則な縦線 126

用紙送り 132

スタッカ

トップ 142

スリープモード 11

せ

セーフモード 86

セキュリティ 30

ネットワーク設定 92

- た
 - タブリール
 - 交換 169
- て
 - ディスク拭取り 176
- と
 - ドライバ 34
 - ドライバから印刷する 99
 - ドライバの環境設定 36
- ね
 - ネットワーク
 - セキュリティ設定 92
 - プロトコル 89
 - リンク速度 93
 - ネットワークフォルダ
 - アクセスできない 136
 - 設定する 21
 - ネットワークのトラブルシューティング 94
- は
 - ハードディスクの仕様 189
- ひ
 - ビーコン 10
- ふ
 - プリンタ ステータス 162
 - プリンタ ソフトウェア
 - Mac OS X でのアンインストール 19
 - Windows でのアンインストール 18
 - プリンタのキャリブレーション 157
 - プリンタのコンポーネント 7
 - プリンタの主なコンポーネント 7
 - プリンタをクリーニングする 162
 - プリンタを接続する
 - Mac OS X ネットワーク 18
 - Windows ネットワーク 17
 - 一般的 16
 - プリントバー 72
 - プリントバーをキャリブレーションする 157
 - プリントヘッド 72
 - 高度な復元 159
 - 仕様 188
 - プリントヘッドクリーナ
 - 仕様 188
 - プリントヘッドの軸合わせ 157
 - 手動 160
 - プロキシサーバの設定 91
 - プロトコル、ネットワーク 89
 - ファームウェアのアップデート 174
 - 手動設定 21
 - ファイアウォールの状態 92
 - ファイルを安全に消去 175
 - ファイル消去、安全 175
 - フォルダ 143
 - フロントパネル 8
 - ユーザ補助機能 36
 - 言語 12
 - フロントパネルオプション
 - スピーカ音量 12
 - ビーコン 12
 - プリンタのスリープモード 13
 - 印刷と管理 97
 - 警告アラートを通知する 12
 - 言語 12
 - 工場出荷時の設定に戻す 13
 - 単位の選択 13
 - 内蔵 Web サーバ 96
 - 日付と時刻オプション 12
 - 表示の明るさ 12
- へ
 - ページの長さの正確さ 159
 - ヘルプ 179
- ま
 - マージン
 - 仕様 188
- め
 - メモリの仕様 189
 - メンテナンスカートリッジ 83
- も
 - モニタ
 - キャリブレーションを行う 139
- ら
 - ラベル、警告 6
- り
 - リンク速度 93
- ろ
 - ロール紙に関するポリシー 109
- ん
 - 安全なファイル消去 175
 - 安全に関する注意事項 2
 - 安全ラベル 6
 - 移動
 - プリンタ 162
 - 折畳デバイス 163
 - 印刷が遅い 97
 - 印刷メニュー 15
 - 印刷モード 104
 - 印刷解像度 188
 - 印刷設定
 - デフォルト 112
 - 印刷品質 154
 - 環境設定、Windows ドライバ 36
 - 機構的な精度 188
 - 機能の仕様 188
 - 警告 5
 - 警告ラベル 6
 - 言語 12
 - 今すぐ印刷 109
 - 最も一般的な質問の一部に対する回答については 179
 - 仕様
 - インク サプライ 188
 - グラフィック言語 189
 - ハードディスク 189
 - マージン 188
 - メモリ 189
 - 印刷解像度 188
 - 機構的な精度 188
 - 機能 188
 - 速度 190
 - 電源 189
 - 動作音 190
 - 動作環境 190
 - 物理的 189
 - 用紙サイズ 188
 - 使用状況に関する情報
 - オン/オフにする 29
 - 次に印刷 109
 - 出力の不一致 111
 - 情報
 - 使用状況 183
 - 診断プロット 156
 - 接続
 - 設定する 19
 - 前面図 7
 - 速度に関する仕様 190

- 注意 5
- 調光モード 11
- 電源
 - オン/オフ 15
- 電源の仕様 189
- 電子メールアドレス帳
 - 設定する 27
- 電子メールサーバ
 - 設定する 26
- 電子メールから印刷する 104
- 電子メール印刷 104
 - 設定する 20
- 電子メール通知 29
- 動作音に関する仕様 190
- 動作環境の仕様 190
- 内蔵 Web サーバ 13
 - アクセスできない 96
 - ユーザ補助機能 36
 - 使用状況に関する情報 183
- 背面図 7
- 物理的仕様 189
- 保管
 - プリンタ 162
 - 折畳デバイス 163
- 用紙
 - オプション 48
 - サイズ(最大と最小) 188
 - サポートされている種類 40
 - ステータス 43
 - 詰まり 50
 - 取り外す 47
 - 取り付け 43
 - 取り付けられない 49
 - 保管 48
 - 保護する 49
- 用紙の取り付け
 - 一般的なヒント 39
- 用紙の不一致 110